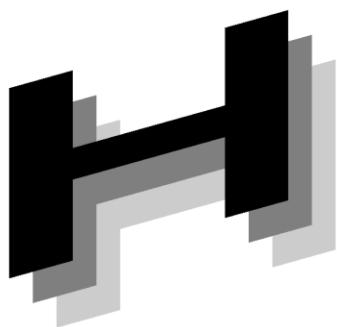




Japanese



Association of



Healthcare



Information



Systems Industry



JAHIS標準 24-***

J A H I S
臨床検査データ交換規約
V e r . 5 . 0 C

2024年 *月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
医療システム部会 検査システム委員会

JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 5.0C

まえがき

今日、医療環境が変化し、分業化と連携が進むにつれ、標準化と客観化の重要性がより認識されるようになった。システムベンダにおいても、一社ですべての業務システムをカバーすることが困難となり、マルチベンダ化が進み、システム間のスムーズな連携のための標準化が強く望まれている。臨床検査の分野では大量の検査データを効率よく処理するため、いち早く標準化の取り組みが行われている。

臨床検査そのものの標準化は 1985 年より日本臨床検査標準協議会 JCCLS(Japan Committee for Clinical Laboratory Standards)が設立され、検査方法や精度管理を中心に信頼される検査データが流通することを目的として活動している。

検査項目コードについては、1962 年より日本臨床検査医学会（旧：日本臨床病理学会）が臨床検査項目分類コードを発表し、1997 年の第 10 回改訂にて JLAC10 として利用されている。また、2011 年には JLAC10 をベースとした MEDIS 臨床検査マスタが HELICS 協議会にて医療情報標準化指針として採択され検査項目コードの標準コードとして利用されている。2012 年から、日本臨床検査医学会（検査項目コード委員会）、臨床検査項目標準マスター運用協議会では、JLAC10 の課題解決を目的として「臨床検査項目分類コード（Ver.11）」（以下、JLAC11）を検討し、2016 年初版を発表した。

一方、臨床検査データのシステム間でのやり取りについては、1993 年、(財)医療情報システム開発センター（MEDIS-DC）臨床検査データ交換標準化協議会により「臨床検査データ交換規約（暫定版）」が発表されたが実装上の課題も多かった。そこで 1994 年に発足した保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）の臨床検査センターシステム専門委員会にて課題や要望を抽出、整理した結果、課題の一部は、仕様の解釈が不十分なことに起因していることがわかった。そこで 1994 年度に、課題の共通認識と解決方法・注意点などを討議し、円滑な導入を図るため「臨床検査データ交換規約（暫定版）利用ガイド」をまとめ、発表した。

1995 年より課題の根本的解決と医療情報の標準化動向に沿った臨床検査データ交換規約の検討にはいり、標準化動向の調査学習をすすめた。1997 年度に、関係諸先生方の多数のご意見や HL7 をはじめ関連規約との調整を図り、病院・医院ほか保健医療関連施設（臨床検査センターを含む）間で発生する、検査依託業務に関する情報要素を抽出し、つぎに情報要素を ASTM E-1238 及び HL7 と対比し原案検討を行い、「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 1.0」をまとめた。その後、1999 年に病院情報システム（HIS）と臨床検査情報システム（LIS）間のオンライン通信機能を強化した「JAHIS 臨床検査データ交換規約<オンライン版>Ver. 1.0」を、2000 年 5 月には各種マスタファイル情報の設定更新するメッセージを追加した「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 2.0」を制定した。さらに 2002 年 4 月には HL7 における臨床検査自動化に関する通信仕様の追加等の改訂に準拠した「JAHIS 臨床検査データ交換規約<オンライン版>Ver. 2.0」を制定した。2003 年にはそれぞれ HS002「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 2.0」、HS003「JAHIS 臨床検査データ交換規約<オンライン版>Ver. 2.0」として医療情報標準化指針に採択された。

1999 年に米国で HL7 他標準規約を医療各分野でどのように使うかを定める IHE (Integrated Healthcare Enterprise) 活動が始まり、2002 年には臨床検査分野の検討も開始され、その結果と JAHIS 臨床検査データ交換規約の整合を取ることにした。臨床検査分野で HL7 V2.5 を採用したこと、ならびに「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 2.0」と会話型仕様「JAHIS 臨床検査データ交換規約<オンライン版>Ver. 2.0」の 2 つの規約を一本化すべく、2008 年 4 月に「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 3.0」を制定した。HL7 V2.5 準拠とすることで、従来のオーダ依存型メ

ッセージに加え、検体依存型のメッセージも可能となり、いずれの場合も必要に応じ検体容器について記述することが可能となった。また、2010年にはHS002・HS003の改訂版としてHS012「JAHIS臨床検査データ交換規約」が医療情報標準化指針に採択された。

その後、2012年に日本HL7協会の適合性認定の実施に伴う指摘事項や他JAHIS標準のデータ交換規約との整合性を保つために「JAHIS臨床検査データ交換規約Ver. 3.1」を制定した。

また、「JAHISデータ交換規約 共通編 Ver. 1.1」が制定されたことに伴い、2016年7月に臨床検査部門個別編として「JAHIS臨床検査データ交換規約Ver4.0C」を制定した。

今回、「JAHISデータ交換規約 共通編 Ver. 1.3」が制定されたことに伴い、「JAHIS臨床検査データ交換規約Ver. 5.0C」として発行する。本規約が医療資源の有効利用、保健医療福祉サービスの連携・向上を目指す医療情報標準化とデータ交換円滑化に多少とも貢献できれば幸いである。

2024年 *月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
医療システム部会 検査システム委員会

<< 告知事項 >>

本規約は利用者が本工業会の会員であるか否かに関わらず、規約の引用を明示することで自由に利用することができるものとします。本規約に対する適合性を宣言する際には、部分実装や拡張がある場合を含め、その適合範囲を所定のフォーマットに記述した適合性宣言書を作成し、実装したシステムの関係者に提供、公開することを推奨します。

本規約ならびに本規約に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本工業会は何らの責任を負わないものとします。ただし、本工業会の会員は本規約についての疑義を申し入れることができ、担当委員会はこれに誠意をもって対応するものとします。

目 次

1.はじめに.....	1
2.使用している HL7 について.....	2
2.1 概要.....	2
2.2 メッセージ.....	2
2.3 フィールド.....	2
2.4 メッセージ区切り文字.....	2
2.5 データ型.....	2
3.主な用語と参照規格.....	3
3.1 主な用語.....	3
3.2 参照する外部の標準規格・マスタ.....	5
4.JAHIS 標準テーブル.....	11
4.1 本規約で定義する JAHIS 標準テーブル.....	11
5.本規約の対象範囲.....	12
5.1 基本方針.....	12
5.2 対象範囲.....	12
5.2.1 HIS/LIS 間メッセージ.....	13
5.2.2 LIS/LAS 間メッセージ.....	13
5.2.3 LIS または LAS/分析装置間メッセージ.....	14
5.2.4 LIS または LAS/前・後処理装置間メッセージ.....	15
5.2.5 LIS/検査センター間メッセージ.....	16
5.2.6 マスタファイル通知.....	17
5.3 臨床検査固有の特記事項.....	18
5.3.1 ファイル転送型としての利用.....	18
5.3.2 臨床検査依頼・報告メッセージの対応関係.....	18
5.3.3 検査結果コメントの扱い.....	20
5.3.4 定性結果・不等号等の表現方法.....	24
6.臨床検査依頼・臨床検査結果メッセージ構文.....	26
6.1 臨床検査依頼(OML/ORL).....	27
6.1.1 OML 検査オーダーメッセージ イベント(O21).....	27
6.1.2 ORL 任意の OML に応答する検査オーダー応答メッセージ イベント(O22).....	29
6.1.3 OML 1 検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ イベント(O33).....	30
6.1.4 ORL 1 検体に対する複数依頼の肯定応答メッセージ イベント(O34).....	32
6.1.5 OML 1 検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ イベント(O33) (IHE PaLM LAW プロファイル仕様).....	33
6.1.6 ORL 1 検体に対する複数依頼の応答メッセージ イベント(O34) (IHE PaLM LAW プロファイル仕様).....	36
6.1.7 OML 1 検体 1 容器複数依頼時の検査オーダーメッセージ イベント(O35).....	37

6.1.8	ORL 1 検体 1 容器複数依頼の肯定応答メッセージ イベント(O36)	39
6.2	到着確認報告、臨床検査結果(ORU/ACK, OUL/ACK)	40
6.2.1	OUL 非要求検体ベース検査結果メッセージ イベント(R22)	42
6.2.2	OUL 非要求検体ベース検査結果メッセージ イベント(R22) (IHE PaLM LAW プロファイル仕様)	44
6.2.3	ORU 非要求検査結果転送メッセージ イベント(R01)	46
6.2.4	OUL 非要求検査結果メッセージ イベント(R21)	47
6.2.5	OUL 非要求検体採取容器ベース検査結果メッセージ イベント(R23)	47
6.2.6	OUL 非要求オーダベース検査結果メッセージ イベント(R24)	49
6.2.7	ORU 非要求 Point-Of-Care 検査メッセージ依頼部門オーダなし イベント(R30)	50
6.2.8	ORU 非要求 Point-Of-Care 検査メッセージーオーダの検索 (R31)	52
6.2.9	ORU 要求事前 Point-Of-Care 検査オーダ イベント(R32)	53
6.3	情報照会(QBP/RSP)	55
6.3.1	QBP 患者基本属性照会メッセージ イベント(Q22)	55
6.3.2	RSP 患者基本属性応答メッセージ イベント(K22)	55
6.3.3	QBP 患者基本属性及び所在照会メッセージ イベント(ZV1)	55
6.3.4	RSP 患者基本属性及び所在応答メッセージ イベント(ZV2)	55
6.3.5	QBP 検査依頼情報照会メッセージ イベント(WOS)	55
6.3.6	RSP 検査依頼情報応答メッセージ イベント(WOS)	56
6.3.7	QBP 検査依頼情報照会メッセージ イベント(Q11) (IHE PaLM LAW プロファイル 仕様)	58
6.3.8	RSP 検査依頼情報の有無の応答メッセージ イベント(Q11) (IHE PaLM LAW プロファイル仕様)	60
6.3.9	QBP ラベル情報照会メッセージ イベント(SLI)	60
6.3.10	RSP ラベル情報応答メッセージ イベント(SLI)	61
6.4	患者情報通知(ADT/ACK)	62
7.	関連セグメント	63
7.1	AL1 - Patient Allergy Information Segment 患者アレルギー情報セグメント	64
7.2	ERR - Error Segment エラー情報セグメント	65
7.3	EVN - Event Type Segment 事象型セグメント	66
7.4	IN1 - Insurance Segment 保険セグメント	67
7.5	MSA - Message Acknowledgment Segment メッセージ応答セグメント	68
7.6	MSH - Message Header Segment メッセージ・ヘッダー・セグメント	69
7.7	NTE - Notes and Comments Segment 注釈コメントセグメント	70
7.8	OBR - Observation Request Segment 検査要求セグメント	71
7.9	OBX - Observation /Result Segment 検査結果セグメント	84
7.10	ORC - Common Order Segment 共通オーダセグメント	95
7.11	PID - Patient Identification Segment 患者識別セグメント	96
7.12	PV1 - Patient Visit Segment 来院情報セグメント	97
7.13	PV2 - Patient Visit - Additional Information Segment 来院補足情報セグメント	98
7.14	QAK - Query Acknowledgment Segment 照会認知セグメント	106
7.15	QPD - query parameter definition 照会パラメータ定義	107
7.16	RCP - response control parameter segment 応答制御パラメータセグメント	108
7.17	ROL - Role Segment 役割セグメント	111
7.18	SPM - Specimen Segment 検体セグメント	115

7.19	TQ1 - Timing/Quantity Segment	タイミング／数量セグメント	133
8.	臨床検査自動化用メッセージ構文		134
8.1	自動化装置ステータス(ESU/ESR)		135
8.1.1	ESU/ACK	自動化装置ステータス更新 イベント (U01)	135
8.1.2	ESR/ACK	自動化装置ステータス要求 イベント(U02)	136
8.2	検体ステータス(SSU/SSR)		137
8.2.1	SSU/ACK	検体ステータス更新 イベント(U03)	137
8.2.2	SSR/ACK	検体ステータス要求 イベント(U04)	138
8.3	自動化装置在庫 (INU/INR)		139
8.3.1	INU/ACK	自動化装置在庫更新 イベント(U05)	139
8.3.2	INR/ACK	自動化装置在庫情報要求 イベント(U06)	140
8.4	自動化装置コマンド(EAC/EAR)		141
8.4.1	EAC/ACK	自動化装置コマンド イベント(U07)	141
8.4.2	EAR/ACK	自動化装置応答 イベント(U08)	143
8.5	自動化装置通知(EAN/ACK)		144
8.5.1	EAN/ACK	自動化装置通知 イベント(U09)	144
8.5.2	EAC/ACK	自動化装置コマンド(通知クリア) イベント(U07)	145
8.6	自動化装置検査コード設定(TCU/TCR)		147
8.6.1	TCU/ACK	自動化検査コード設定 イベント(U10)	147
8.6.2	TCR/ACK	自動化検査コード要求 イベント(U11)	148
8.7	自動化装置ログ／サービス (LSU/LSR)		149
8.7.1	LSU/ACK	自動化装置ログ／サービス更新 イベント(U12)	149
8.7.2	LSR/ACK	自動化装置ログ／サービス要求 イベント(U13)	150
9.	臨床検査自動化用セグメント詳細		151
9.1	CNS - Clear Notification Segment	通知クリアセグメント	151
9.2	ECD - Equipment Command Segment	装置コマンドセグメント	152
9.3	ECR - Equipment Command Response Segment	装置コマンド応答セグメント	154
9.4	EQP - Equipment Log/Service Segment	装置ログ／サービスセグメント	155
9.5	EQU - Equipment Detail Segment	装置詳細セグメント	156
9.6	INV - Inventory Detail Segment	在庫詳細セグメント	158
9.7	ISD - interaction status detail segment	インタラクションステータスの詳細セグメント	162
9.8	NDS - Notification Detail Segment	通知詳細セグメント	163
9.9	SAC - Specimen And Container Detail Segment	検体と容器の詳細セグメント	164
9.10	SID - Substance Identifier Segment	試薬等識別セグメント	174
9.11	TCC - Test Code Configuration	検査コード設定セグメント	175
9.12	TCD - Test Code Detail Segment	検査コード詳細セグメント	177
10.	マスタファイル Master Files		179
10.1	目的		179
10.2	トリガーイベント		180
10.3	メッセージ		181
10.3.1	MFN/MFK - master files notification	マスタファイル通知メッセージ	181
10.3.2	MFQ/MFR -	マスタファイル照会(事象 M01-M14)	181
10.3.3	コンフォーマンスに基づくマスタファイル照会の例		182

10.4	マスタファイル通知メッセージ共通セグメント	185
10.4.1	MFI - Master file identification segment マスタファイル識別セグメント	185
10.4.2	MFE - master file entry segment マスタファイルエントリセグメント	187
10.4.3	MFA - マスタファイル応答セグメント	188
10.5	一般マスタファイル	190
10.5.1	MFN 一般マスタファイル通知メッセージ	190
10.5.2	対象とするコード表	191
10.5.3	ZGN - 一般マスタファイルセグメント (事象 M14)	192
10.5.4	一般マスタファイル更新の MFN メッセージ例	192
10.6	検査項目マスタファイル	194
10.6.1	検査項目マスタファイル全般	194
10.6.2	MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査/観察 (事象 M03)	195
10.6.3	MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査/観察 (数値) (事象 M08)	196
10.6.4	MFN/MFK マスタファイル通知-検査/観察 (カテゴリ値) (事象 M09)	197
10.6.5	MFN/MFK マスタファイル通知-検査/観察バッテリー (事象 M10)	198
10.6.6	MFN/MFK マスタファイル通知-計算型検査/観察 (事象 M11)	199
10.6.7	MFN/MFK マスタファイル通知-付加的基本的観察/サービス属性 (事象 M12)	200
10.6.8	OM1 general segment 検査項目一般セグメント	201
10.6.9	OM2 - numeric observation segment 数値結果検査項目セグメント	212
10.6.10	OM3 - categorical test/observation segment カテゴリ値結果項目セグメント ...	215
10.6.11	OM4 - observations that require specimens segment 要検体検査セグメント ...	217
10.6.12	OM5 observation batteries (sets) segment セット検査セグメント	220
10.6.13	OM6 - Observations that are Calculated from Other Observations Segments 計算 値結果項目セグメント	221
10.6.14	OM7 - Additional Basic Attributes (Fields That Apply to Most Observations/ Services) 付加的基本属性	222
付録-1.	メッセージ例	226
1.	検体検査依頼送信メッセージの例	226
2.	到着確認 OUL メッセージの例	230
3.	検体検査結果メッセージの例	231
4.	患者特有の臨床情報を伴った検査報告メッセージの例	234
5.	計算項目のオーダメッセージと検査結果メッセージの例	234
6.	細菌検査 (一般細菌・抗酸菌) の例	238
	一般細菌	238
	抗酸菌 245	
7.	前回値のある検査依頼	250
8.	LIS/LAS と自動分析装置の検査依頼情報照会メッセージ~検査結果メッセージの例...	251
9.	自動化装置ステータス更新メッセージの例	255
10.	検体ステータス要求(Specimen status request)メッセージの例	256
11.	自動化装置在庫更新メッセージの例	257
12.	自動化装置在庫要求メッセージの例	258
13.	自動化装置コマンド(Automated equipment command)メッセージの例	258
14.	自動化装置応答(Automated equipment response)メッセージの例	258

15.	自動化装置通知(Automated equipment notification)メッセージの例	258
16.	自動化装置検査コード設定更新メッセージの例	258
17.	自動化装置検査コード設定要求メッセージの例	258
18.	自動化装置ログ/サービス更新メッセージの例	259
19.	自動化装置ログ/サービス要求メッセージの例	259
20.	ロケーションマスタファイル照会	259
21.	一般マスタファイル更新通知（オリジナル応答モード）	259
22.	一般マスタファイル更新通知（拡張モードアプリケーションレベル応答）	260
23.	検査項目マスタファイル更新通知	261
24.	検査項目マスタファイル更新通知（オリジナルモード）	261
25.	検査項目マスタファイル更新通知（拡張モード）	262
26.	検査項目マスタファイル更新通知（遅延アプリケーション応答）	262
27.	検体ラベル発行メッセージの例	263
28.	ラベル情報メッセージの例（OML^O33^OML_O33）	263
29.	検体ラベル情報照会メッセージの例	263
	付録-2. 作成者名簿	265

1. はじめに

臨床検査ではオーダーシステムからの検査オーダーを受信・管理し、あわせて検体（容器）の管理を行うとともに、様々な分析装置群に必要な情報を提供、それら検査の状況（ステータス）や、検査結果を集約して送信するという多段階&複雑な連携を行っている。本規約は、その連携に必要なメッセージ、想定する業務フローを定義するものであり、具体的には以下の仕様を規定している。

- 1) 検査を依頼するためのメッセージ（検査付帯情報、患者情報を含む）
 - 2) 受け付けた検査依頼を管理・照会するためのメッセージ
- 3) 到着確認報告、臨床検査結果を通知するためのメッセージ
 - 4) 検査の進行状況を関連部門と共有するためのメッセージ（ステータス）
- 5) 自動化装置と連携するためのメッセージ
 - 6) 検査結果を他部門に渡す、あるいは参照してもらうためのメッセージ
- 7) マスタファイルを通知・照会するためのメッセージ

本改定においては旧版(4.0C)から次の見直し、補強を行った。

(データ交換規約共通編関連)

- ・ 日本HL7協会が2020年6月に公開したHL7 V2.5日本語訳見直し版の表現を基に見直した。
- ・ HL7 V2.5でCE型であったデータ項目についてCWE型から元のCE型に戻した。
- ・ 新たに共通編に記載することとなったセグメントにあわせて本規約の説明範囲を見直した。
- ・ 参照している他規約やマスタを「3.2.参照する外部の規格やマスタ」にまとめた。
- ・ 各ベンダが提供する製品の本規約への適合性を示す「適合性宣言書」に対応した。

(本規約固有)

- ・ 本規約に記載するメッセージ類を実際の臨床検査に必要な機能を踏まえて整理し、記載順、サンプル電文などを見直した。
- ・ 本規約に関連するシステム（分析装置含む）について付録1に代表的なシナリオとメッセージの利用について記載し、利用者の注目するシステムに関連するメッセージ、利用方法を明確にした。
 - ・ 検査項目表記の表現を見直した。
 - ・ HL7、IHE PaLM Technical Frameworkの整合性の確認を行い見直した。

また、新しく制定された分析装置に特化したIHE PaLM のLAWプロファイルについて記載した。

なお、本規約には「JAHIS データ交換規約（共通編）」と差異がある部分だけを記載した資料構成になっているため、「JAHIS データ交換規約（共通編） Ver. 1. 3」との併読を前提としている事を留意いただきたい。

2. 使用している HL7 について

2.1 概要

JAHIS データ交換規約共通編Ver.1.3「2. 使用しているHL7 について」を参照のこと。

2.2 メッセージ

JAHIS データ交換規約共通編Ver.1.3「2. 使用しているHL7 について」を参照のこと。

2.3 フィールド

JAHIS データ交換規約共通編Ver.1.3「2. 使用しているHL7 について」を参照のこと。

2.4 メッセージ区切り文字

JAHIS データ交換規約共通編Ver.1.3「2. 使用しているHL7 について」を参照のこと。

2.5 データ型

JAHIS データ交換規約共通編 Ver.1.3「2. 使用している HL7 について」を参照のこと。

3. 主な用語と参照規格

3.1 主な用語

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「3. 主な用語と参照規格」を参照のこと。

以下は共通編との差異のみを記載する。

検査群 (バッテリー) Battery :

いくつかの検査の組み合わせ。単一名と単一コード番号で識別される 1 個以上の検査を含む検査集合であり、構成要素である検査を依頼・検索するのに使用する包括的なまとまりとして扱われる。例えば、電解質であれば、 Na^+ 、 K^+ 、 Cl^- 、 HCO_3^- などで構成され、それら構成要素は、依頼者に返される時、個別の“結果”として返される。

臨床検査情報システム(LIS) Laboratory Information System :

患者検体の識別、検査の依頼、検査の報告、精度管理などの、検査の様々な面に関するデータ管理を行う情報システムをいう。

注 a : 臨床検査情報システム(LIS)は臨床検査自動化システム(LAS)と連携して、患者、到着、採取管、検査依頼、検体ステータス、検査の結果を通信する。

注 b : 臨床検査情報システム(LIS)または臨床検査自動化システム (LAS) は装置 (または検体処理装置) と連携して、特定の検査依頼と報告のための結果のやり取りを行う。

注 c : 臨床検査情報システム (LIS) は、医師および他の医療職員が使用するために、臨床システムと連携する場合が多い。

臨床検査自動化システム(LAS) Laboratory Automation System :

臨床検査室のシステムの運用においてオペレータの介在をできるだけ少なくした、情報とハードウェアテクノロジーのシステムをいう。

注 : 典型的な機能には、LAS との連携を通じた装置の情報システム管理があり、これには検体の操作 (遠心分離)、検体の搬送、結果の計算、再検査、検査の考察、品質評価と結果報告を行う技術が含まれる。

検体 Specimen :

ある量や性質を検査、研究、分析して全体の特性を決定するために採取した、体液または組織の一部をいう。

注 : 採取した検体を処理したのもも検体と呼ばれる。従って、検体の例には、全血および全血から得られる血清や血漿、唾液、髄液、便、尿、爪、毛髪、パラフィンブロックに内包された組織サンプルなども含まれる。

採取容器 Specimen Container :

患者の検体を保持する容器をいう。(図 1 参照)

注 : 臨床検査では多くの場合、採取容器として採取管が使われる。が、用途によって様々な形態の容器が存在する。採取管は通常、検体が液体であればガラスまたはプラスチック製の片側が閉じた管で、反対側に取り外し可能な蓋が付いていることが多い。

ロケーション Location :

一意の識別子（冷蔵庫の棚番号、機器バッファ ID、トラック ID など）を持つ、検査室内の物理的な場所をいう。（図 1 参照）

キャリア Carrier :

採取管を保持するデバイスをいう。（図 1 参照）

注： キャリアは、搬送システムと機械的にインターフェースして、ロケーションからロケーションに検体を移動させる。運搬する採取管の数は 1 個の場合も複数の場合もある。

トレイ Tray : 1 個以上のキャリアを保持するデバイスをいう。（図 1 参照）

LECIS Laboratory Equipment Control Interface Specification :

分析装置と機器のリモート制御の、規格動作またはインタラクションのためのメッセージ内容を定める高レベルプロトコル（ASTM E 1989-98）。

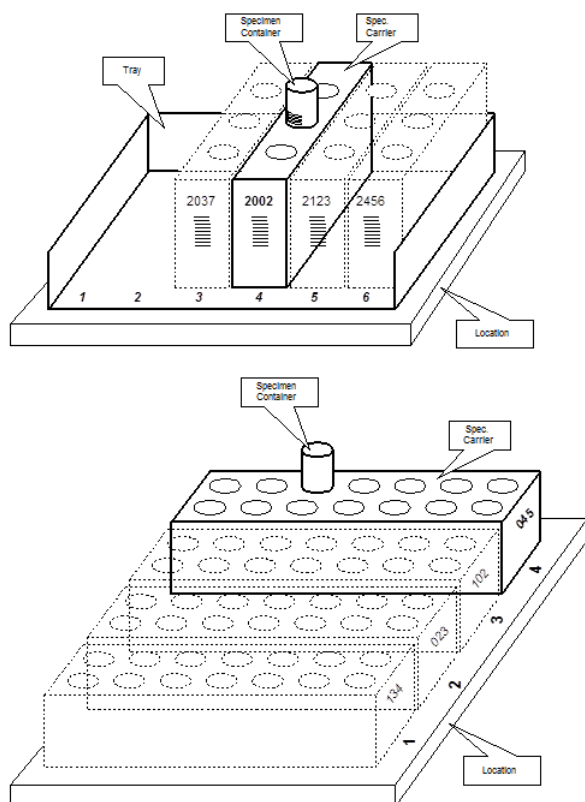


図 1 採取管、キャリア、トレイ、ロケーションの関係

3.2 参照する外部の標準規格・マスタ

MEDIS-DC「臨床検査マスター」

一般財団法人 医療情報システム開発センター (MEDIS-DC) にて、日本臨床検査医学会が策定した JLAC10 コード (臨床検査項目分類コード第 10 改訂版) を採用した臨床検査マスタが開発され、同じく HELICS 協議会の HS014 (<http://helics.umin.ac.jp/helicsStdList.html>) として採択されている。2019 年 10 月に日本臨床検査医学会 (JSLM) から JLAC の次期バージョンである JLAC11 コードが公開された。

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス (JANIS) コード表

厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業において、サーベイランスデータ提出時の各コードが定められている。菌コード及び薬剤コードについては OID が定められており、本コードの利用を推奨する。本事業及び本事業にて定められたコード等を「JANIS」と略称、略記する。

HL7 コード体系表

この表は ASTM E1238-94、診断、処置、検査、薬物 ID、健康上のアウトカムおよび他のコード体系を示す。

コードセットを発行している機関は、複数のコードセットを作成していることがある。そのため、コード体系を一意に表現するためには、コード化専門機関の名称と、コードセットまたは表名称の組み合わせで表現する。CE または CWE データ型に HL7 の表が用いられた場合、コード体系の名称の欄には、HL7 表番号 nnnn に対し、HL7nnnn と定義される。同様に ISO の表は ISO 番号が nnnn の場合、ISOnnnn と名づけられる。(最新情報はこちらを参照 http://www.hl7.org/special/committees/vocab/table_0396/index.cfm)

HL7表0396 - コード体系表

Value	Description	Comment/Source
一般的なコード		
L	Local general code	送信側または受信側の目的のためにローカルに定義されたコード。下位互換性のため、本規約では非推奨。
99zzz	Local general code (where z is an alphanumeric character)	送信側または受信側の目的のためにローカルに定義されたコード。ローカルコードは99zzz (zはアルファベットと数字を組み合わせた文字) により識別される。
LB	Local billing code	特定地域内の支払いコードまたは名前 (もし必要なら、拡張有り)。
HL7nnnn	HL7 Defined Codes where nnnn is the HL7 table number	nnnn はHL7(Health Level Seven) 表ナンバー
ISOnnnn	ISO Defined Codes where nnnn is the ISO table number	International Standards Organization where nnnn is the ISO table number
ISO+	ISO 2955.83 (units of measure) with HL7 extensions	
医薬品コード		
ART	WHO Adverse Reaction Terms	WHO Collaborating Centre for International Drug Monitoring, Box 26, S-751 03, Uppsala, Sweden.
CAS	Chemical abstract codes	これらは、後発品も含めてすべての一般的な薬を含む。コードは違った形態の服用のなかでは区別されない。さまざまな同等のCAS 番号が存在したとき、USAN に最初に記載されているものを使う。USAN 1990 and the USP dictionary of drug names, William M. Heller, Ph.D., Executive Editor, United States Pharmacopeial Convention, Inc., 12601 Twinbrook Parkway, Rockville, MD 20852.
CDCM	CDC Methods/Instruments Codes	Public Health Practice Program Office, Centers for Disease Control and Prevention, 4770 Buford Highway, Atlanta, GA, 30421. Also available via FTP

Value	Description	Comment/Source
FDDC	First DataBank Drug Codes	全国医薬品データファイル。First DataBank, Inc. (800) 633-3453, or http://www.firstdatabank.com の所有物
FDDX	First DataBank Diagnostic Codes	薬-診断上の相互作用チェックに使う。First DataBank, Inc.の所有物。FDDC参照。
MDDX	Medispan Diagnostic Codes	薬-診断上の相互作用チェック。所有権のある製品。MediSpan, Inc., 8425 Woodfield Crossing Boulevard, Indianapolis, IN 46240. Tel: (800) 428-4495. As above for MGPI.
MEDC	Medical Economics Drug Codes	薬を識別するための所有権のあるコード。 Medical Economics Data, Inc. (800) 223-0581の製品
MEDR	Medical Dictionary for Drug Regulatory Affairs (MEDDRA)	Dr. Louise Wood, Medicines Control Agency, Market Towers, 1 Nine Elms Lane, London SW85NQ, UK Tel: (44)0 171-273-0000 http://www.meddrasso.com/MSSOWeb/index.htm
MEDX	Medical Economics Diagnostic Codes	薬-診断上の相互作用チェック。 Medical Economics Data, Inc. (800) 223-0581の製品
MGPI	Medispan GPI	薬の製造元やサイズまでのレベルで薬を識別するMedispan hierarchical drug コード。MediSpan, Inc., 8425 Woodfield Crossing Boulevard, Indianapolis, IN 46240. Tel: (800) 428-4495の製品
MXV	CDC Vaccine Manufacturer Codes	CVXと同様
W1	WHO record # drug codes (6 digit)	World Health organization record number code。一意的な連続した番号は、それぞれ一意的な成分薬とそれぞれ一意的な多様成分薬に割り当てられる。8つの数は次のようなコードに割り当てられる：6つの数は効果のある薬剤を識別し、2つの数は塩を識別する。6つの数は調剤ユニットで一意的な薬剤を示している。6つの指数コードはW1によって分類され、8つの指数はW2によって分類される。
W2	WHO record # drug codes (8 digit)	
W4	WHO record # code with ASTM extension	ASTM extensions (参照：実装ガイド)といっしょにWHOコードは、血清レベルレポート、薬使用教育での患者応諾、平均日常服用量などに使用される (参考：Appendix X1 実装ガイド)。
WC	WHO ATC	WHOのATC コードは治療上の部類によって薬の階層的分類を与える。それらは上記に記したレコード番号にリンクする。
NDC	National drug codes	このコードは投薬形式、メーカーおよびパッケージングに関して、個々の薬に一意的なコードを与える。 (National Drug Code Directory, FDA, Rockville, MDおよび他の文献より)
CST	COSTART	薬副作用の反対のための国際コードシステム。In the USA, maintained by the FDA, Rockville, MD.
CVX	CDC Vaccine Codes	国民免疫プログラム, Centers for Disease Control and Prevention, 1660 Clifton Road, Atlanta, GA, 30333
医薬品以外の特定のコード		
ACR	American College of Radiology finding codes	American College of Radiology, Reston,VA のRadiological Diagnosis Revised, 3 rd Edition 1986 からの索引。
AS4	ASTM E1238/ E1467 Universal	American Society for Testing & Materials and CPT4 (参考：Appendix X1 of Specification E1238 and Appendix X2 of Specification E1467).
AS4E	AS4 Neurophysiology Codes	神経生理学のためのASTMの診断コードと検査結果コード/グレードシステム。 参考：ASTM Specification E1467, Appendix 2.
ATC	American Type Culture Collection	生物学的材料と関連するデータに関する培養 (微生物、組織培養など)の参照。 American Type Culture Collection, 12301 Parklawn Dr, Rockville MD, 20852. (301) 881-2600. http://www.atcc.org

Value	Description	Comment/Source
C4	CPT-4	American Medical Association, P.O. Box 10946, Chicago IL 60610.
C5	CPT-5	(発展途上のため、上記と同じ連絡先)
CD2	CDT-2 Codes	American Dental Association's Current Dental Terminology (CDT-2) code. American Dental Association, 211 E. Chicago Avenue, Chicago, Illinois 60611.
CDS	CDC Surveillance	CDC 監視コード。公衆衛生監視に必要な独自のデータ。 Epidemiology Program Office, Centers for Disease Control and Prevention, 1600 Clifton Rd, Atlanta, GA, 30333. (404) 639-3661.
CE	CEN ECG diagnostic codes	CEN PT007. ECGの診断コード(略記)と説明の包括的なセットがCENTC251によって副-標準として発行された。以下から入手可能: CENTC251 secretariat, c/o Georges DeMoor, State University Hospital Gent, De Pintelaan 185-5K3, 9000 Gent, Belgium or Jos Willems, University of Gathuisberg, 49 Herestraat, 3000 Leuven, Belgium.
CLP	CLIP	Simon Leeming, Beth Israel Hospital, Boston MA. Codes for radiology reports.
CPTM	CPT Modifier Code	上記CPTに明記したAMAから得られる。これらのコードはAppendix A of CPT 2000 Standard E. (CPT 2000 Standard Edition, American Medical Association, Chicago, IL)により創られた。
DCM	DICOM Controlled Terminology	DICOMコンテンツの原文でコードが定義されている。Digital Imaging and Communications in Medicine (DICOM). NEMA Publication PS-3.16 National Electrical Manufacturers Association (NEMA). Rosslyn, VA, 22209. Available at: http://medical.nema.org
E	EUCLIDES	Euclides Foundation International nv, Excelsiorlaan 4A, B-1930 Zaventem, Belgium; Phone: 32 2 7. 17 90 60から得られる。
E5	Euclides quantity codes	Euclides Foundation International nv (上記参照)から得られる。
E6	Euclides Lab method codes	Euclides Foundation International nv, Excelsiorlaan 4A, B-1930 Zaventem, Belgium; Phone: 32 2 720 90 60から得られる。
E7	Euclides Lab equipment codes	Euclides Foundation International nv (上記参照)から得られる。
ENZC	Enzyme Codes	生化学と分子生物学の国際協会の酵素委員会。Enzyme Nomenclature: Recommendations on the Nomenclature and Classification of Enzyme-Catalysed Reactions. London: Academic Press, 1992.
FDK	FDA K10	Dept. of Health & Human Services, Food & Drug Administration, Rockville, MD 20857. (device & analyte process codes).
HB	HIBCC	Health Industry Business Communications Council, 5110 N. 40 th St., Ste 120, Phoenix, AZ 85018.
HCPCS	CMS (formerly HCFA) Common Procedure Coding System	医療の設備、注射薬、交通サービスなどCPT4には含まれていないサービスのためのコードが含まれる。
HCPT	Health Care Provider Taxonomy	X12に外部のものとして、コード構造が分類されるように、BlueCrossおよびBlue Shield協会は、供給者分類学の管理者の役割をするだろう。進行中のメンテナンスはANSI ASC X12Nの内に単独でワークグループ15(供給者情報)、あるいは仕事グループの後継者にまかされている。Blue Cross and Blue Shield Association, 225 North Michigan Avenue, Chicago, IL 60601, Attention: ITS Department, ECNS Unit. http://www.wpc-edi.com/taxonomy/ 第1次配布は上記ウェブサイトで、そのワールドワイド・ウェブ・サイトを通して、ワシントン出版会社にゆだねられている。
HHC	Home Health Care	Home Health Care Classification System; Virginia Saba, EdD, RN; Georgetown University School of Nursing; Washington, DC.

Value	Description	Comment/Source
HI	Health Outcomes	Stratis Health (以前のHealth Care Evaluation と Health Outcomes Institute)の治療効果を表すHealth Outcomes Institute コード, 2901 Metro Drive, Suite 400, Bloomington, MN, 55425-1525; (612) 854-3306 (voice); (612) 853-8503 (fax); dziegen@winternet.com. See examples in the Implementation Guide.
HPC	CMS (formerly HCFA) Procedure Codes (HCPCS)	修正を含む、Health Care Financing Administration (HCFA) Common Procedure Coding System (HCPCS)。
I10	ICD-10	World Health Publications, Albany, NY.
I10P	ICD-10 Procedure Codes	Procedure Coding System (ICD-10-PCS.) 参照 : https://www.cms.gov/medicare/coding-billing/icd-10-codes
I9	ICD9	World Health Publications, Albany, NY.
I9C	ICD-9CM	Commission on Professional and Hospital Activities, 1968 Green Road, Ann Arbor, MI 48105 (includes all procedures and diagnostic tests).
IBT	ISBT	HL7 V2.5ではHL7旧バージョンとの互換性のために保持された。このコード値はIBTnnnnによって取って代わられた。 International Society of Blood Transfusion. Blood Group Terminology 1990. VOX Sanquines 1990 58(2):152-169.
IBTnnnn	ISBT 128 codes where nnnn specifies a specific table within ISBT 128.	International Society of Blood Transfusion. (specific contact information will be supplied to editor.) The variable suffix (nnnn) identifies a specific table within ISBT 128.
IC2	ICHPPC-2	International Classification of Health Problems in Primary Care, Classification Committee of World Organization of National Colleges, Academies and Academic Associations of General Practitioners (WONCA), 3 rd edition. An adaptation of ICD9 intended for use in General Medicine, Oxford University Press.
ICDO	International Classification of Diseases for Oncology	International Classification of Diseases for Oncology, 2nd Edition. World Health Organization: Geneva, Switzerland, 1990. Order from: College of American Pathologists, 325 Waukegan Road, Northfield, IL, 60093-2750. (847) 446-8800.
ICS	ICCS	Commission on Professional and Hospital Activities, 1968 Green Road, Ann Arbor, MI 48105.
ICSD	International Classification of Sleep Disorders	International Classification of Sleep Disorders Diagnostic and Coding Manual, 1990, available from American Sleep Disorders Association, 604 Second Street SW, Rochester, MN 55902
IUPP	IUPAC/IFCC Property Codes	International Union of Pure and Applied Chemistry/International Federation of Clinical Chemistry. The Silver Book: Compendium of terminology and nomenclature of properties in clinical laboratory sciences. Oxford: Blackwell Scientific Publishers, 1995. Henrik Olesen, M.D., D.M.Sc., Chairperson, Department of Clinical Chemistry, KK76.4.2, Rigshospitalet, University Hospital of Copenhagen, DK-2200, Copenhagen.
IUPC	IUPAC/IFCC Component Codes	成分の数量を見分けるIUPAC/IFFIによって使われるコード。 Contact Henrik Olesen、上記のIUPPのように。
LN	Logical Observation Identifier Names and Codes (LOINC®)	Regenstrief Institute, c/o LOINC, 1050 Wishard Blvd., 5 th floor, Indianapolis, IN 46202. 317/630-7433. Available from the Regenstrief Institute server at http://www.Regenstrief.org/loinc/loinc.htm . January 2000 version has identifiers, synonyms and cross-reference codes for reporting over 26,000 laboratory and related observations and 1,500 clinical measures.

Value	Description	Comment/Source
MCD	Medicaid	Medicaid支払いコード／名前。
MCR	Medicare	Medicare支払いコード／名前。
NDA	NANDA	North American Nursing Diagnosis Association, Philadelphia, PA.
NIC	Nursing Interventions Classification	Iowa Intervention Project, College of Nursing, University of Iowa, Iowa City, Iowa
NPI	National Provider Identifier	Health Care Finance Administration, US Dept. of Health and Human Services, 7500 Security Blvd., Baltimore, MD 21244.
OHA	Omaha System	Omaha Visiting Nurse Association, Omaha, NB.
OHA	Omaha	Omaha Visiting Nurse Association, Omaha, NB.
POS	POS Codes	HCFA Place of Service Codes for Professional Claims
RC	Read Classification	The Read Clinical Classification of Medicine, Park View Surgery, 26 Leicester Rd., Loughborough LE11 2AG (includes drug procedure and other codes, as well as diagnostic codes).
SDM	SNOMED- DICOM Microglossary	College of American Pathologists, Skokie, IL, 60077-1034. (formerly designated as 99SDM).
SNM	Systemized Nomenclature of Medicine (SNOMED)	Systemized Nomenclature of Medicine, 2 nd Edition 1984 Vols 1, 2, College of American Pathologists, Skokie, IL.
SNM3	SNOMED International	SNOMED International, 1993 Vols 1-4, College of American Pathologists, Skokie, IL, 60077-1034.
SNT	SNOMED topology codes (anatomic sites)	College of American Pathologists, 5202 Old Orchard Road, Skokie, IL 60077-1034.
UC	UCDS	Uniform Clinical Data Systems. Ms. Michael McMullan, Office of Peer Review Health Care Finance Administration, The Meadows East Bldg., 6325 Security Blvd., Baltimore, MD 21207; (301) 966 6851.
UML	Unified Medical Language	National Library of Medicine, 8600 Rockville Pike, Bethesda, MD 20894.
UPC	Universal Product Code	The Uniform Code Council. 8163 Old Yankee Road, Suite J, Dayton, OH 45458; (513) 435 3070
UPIN	UPIN	Medicare/CMS 's (formerly HCFA) universal physician identification numbers, available from Health Care Financing Administration, U.S. Dept. of Health and Human Services, Bureau of Program Operations, 6325 Security Blvd., Meadows East Bldg., Room 300, Baltimore, MD 21207
USPS	United States Postal Service	各州を表す2文字からなる略記がPublication 28, Postal Addressing Standardsにリストされている。これはAddress Information Products, National Address Information Center, 6060 Primacy Parkway, Suite 101, Memphis, Tennessee 38188-0001で手に入れられる。 質問やコメントはthe Office of Address and Customer Information Systems, Customer and Automation Service Department, US Postal Service, 475 Lenfant Plaza SW Rm 7801, Washington, DC 20260-5902へ。
装置コード		
UMD	MDNS	Universal Medical Device Nomenclature System. ECRI, 5200 Butler Pike, Plymouth Meeting, PA 19462 USA. Phone: 215-825-6000, Fax: 215-834-1275.
その他		
ANS+	HL7 set of units of measure	HL7の測量ユニットセットはANSI X3.50 – 1986、ISO 2988-83および US customary units/のchapter 7 section 7.4.2.6を基本にしている。
CDCA	CDC Analyte Codes	As above, for CDCM

Value	Description	Comment/Source
HOT	Japanese Nationwide Medicine Code	
ICD10AM	ICD-10 Australian modification	
ICD10CA	ICD-10 Canada	
JC8	Japanese Chemistry	医療検査分別コード。 Japan Association of Clinical Pathology. Version 8, 1990. A multiaxial code including a subject code (e.g., Rubella = 5f395, identification code (e.g., virus ab IGG), a specimen code (e.g., serum =023) and a method code (e.g., ELISA = 022)
JC10	JLAC/JSLM, nationwide laboratory code	Source: Classification & Coding for Clinical Laboratory. Japanese Society of Laboratory Medicine(JSLM, Old:Japan Society of Clinical Pathology). Version 10, 1997. A multiaxial code including a analyte code (e.g., Rubella = 5f395), identification code (e.g., virus ab IGG=1431), a specimen code (e.g., serum =023) and a method code (e.g., ELISA = 022)
JJ1017	Japanese Image Examination Cache	
NUBC	National Uniform Billing Committee Code	

4. JAHIS 標準テーブル

4.1 本規約で定義する JAHIS 標準テーブル

本規約で使用する各種コードは、JLAC10 コード、LOINC や HL7 であらかじめ用意されているものを使用するが、存在しない項目については以下のような項目コードを定義して必要なセグメントに記載する。コーディングシステム名は“JHSLnnnn”(nnnn は 4 桁の表番号)とする。

本規約制定時点では本規約固有の JAHIS 標準テーブルは未定義。

5. 本規約の対象範囲

5.1 基本方針

本規約では、日本国内での HL7 の使用状況を鑑みて、相互運用性を確保するために、使用している HL7 V2.5 に加えて本節で述べる内容を固有事項として規定する。

特に記載がない限りは、本規約が参照する JAHIS データ交換規約（共通編）に準じる。

5.2 対象範囲

本規約は「図 5.2-1 システム間情報伝達イメージ」の範囲を対象とする。

個々のシステム間の具体的なメッセージ及びトリガーイベント等は以下に示す項を参照のこと。また、ファイル転送型としての利用（5.3.1）や臨床検査依頼・報告メッセージの対応関係（5.3.2）については次節を参照されたい。

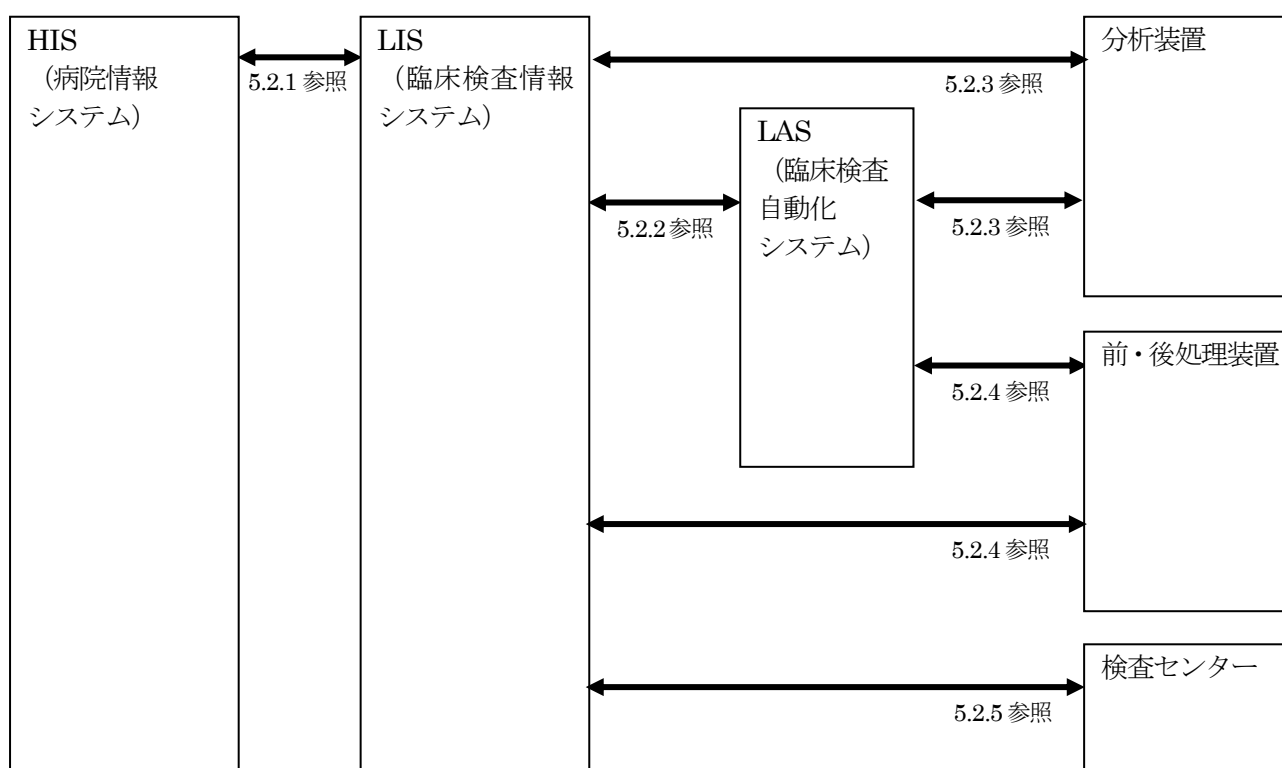


図 5.2-1 システム間情報伝達イメージ（臨床検査依頼・報告関連システム間情報伝達）

5.2.1 HIS/LIS 間メッセージ

本規約の HIS/LIS 間として「図 5.2.1-1 システム間情報伝達イメージ (HIS/LIS 間)」の範囲を対象とする。また、取り扱うメッセージタイプおよびトリガーイベントを「表 5.2.1-1 メッセージとトリガーイベント (HIS/LIS 間)」に示す。

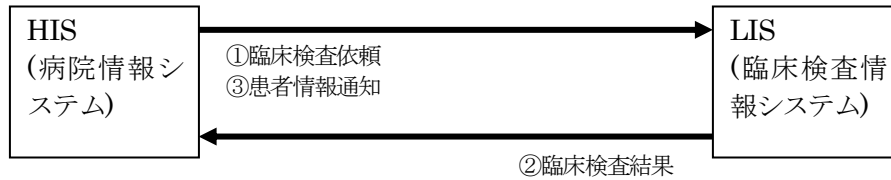


図 5.2.1-1 システム間情報伝達イメージ (HIS/LIS 間)

表 5.2.1-1 メッセージとトリガーイベント (HIS/LIS間)

NO	メッセージ定義	メッセージ型	トリガーイベント	イベント型	R/O
①	臨床検査依頼	OML→ ←ORL	一般オーダーメッセージ	O21/O22	R
			1 検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ	O33/O34	
			1 検体 1 容器複数依頼時の検査オーダーメッセージ	O35/O36	
②	到着確認報告、臨床検査結果	ORU→ ←ACK OUL→ ←ACK	非要求検体ベース検査結果メッセージ	R22	R
			非要求検査結果転送メッセージ	R01	
			非要求検査結果メッセージ	R21	
			非要求検体採取容器ベース検査結果メッセージ	R23	
			非要求オーダーベース検査結果メッセージ	R24	
			非要求 POCT 検査メッセージ 依頼部門オーダーなし	R30	
			非要求 POCT 検査メッセージオーダー検索	R31	
非要求事前 POCT 検査オーダー	R32				
③	患者情報通知	ADT→ ←ACK	患者管理メッセージ	A08	O

5.2.2 LIS/LAS 間メッセージ

本規約の LIS/LAS 間として「図 5.2.2-1 システム間情報伝達イメージ (LIS/LAS 間)」の範囲を対象とする。また、取り扱うメッセージタイプおよびトリガーイベントを「表 5.2.2-1 メッセージとトリガーイベント (LIS/LAS 間)」に示す。

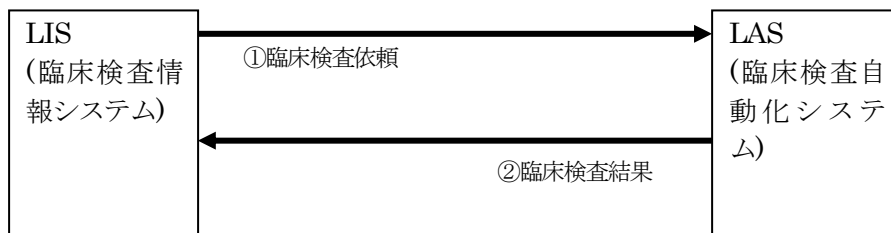


図 5.2.2-1 システム間情報伝達イメージ (LIS/LAS 間)

表 5.2.2-1 メッセージとトリガーイベント (LIS/LAS間)

NO	メッセージ定義	メッセージ型	トリガーイベント	イベント型	R/O
①	臨床検査依頼	OML→ ←ORL	一般オーダーメッセージ	O21/O22	R
			1 検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ	O33/O34	

NO	メッセージ定義	メッセージ型	トリガーイベント	イベント型	R/O
			1 検体 1 容器複数依頼時の 検査オーダーメッセージ	O35/O36	
②	到着確認報告、臨床検査結果	ORU→ ←ACK OUL→ ←ACK	非要求検体ベース検査結果メッセージ	R22	R
			非要求検査結果転送メッセージ	R01	
			非要求検査結果メッセージ	R21	
			非要求検体採取容器ベース検査結果メッセージ	R23	
			非要求オーダーベース検査結果メッセージ	R24	

5.2.3 LIS または LAS/分析装置間メッセージ

LIS または LAS と分析装置間は IHE PaLM の LAW プロファイルに準拠した情報伝達を行う。
本規約の LIS または LAS/分析装置間として「図 5.2.3-1 システム間情報伝達イメージ(LIS または LAS/分析装置間)」の範囲を対象とする。

また、取り扱うメッセージタイプおよびトリガーイベントを「表 5.2.3-1 メッセージとトリガーイベント(LIS または LAS/分析装置間)」に示す。

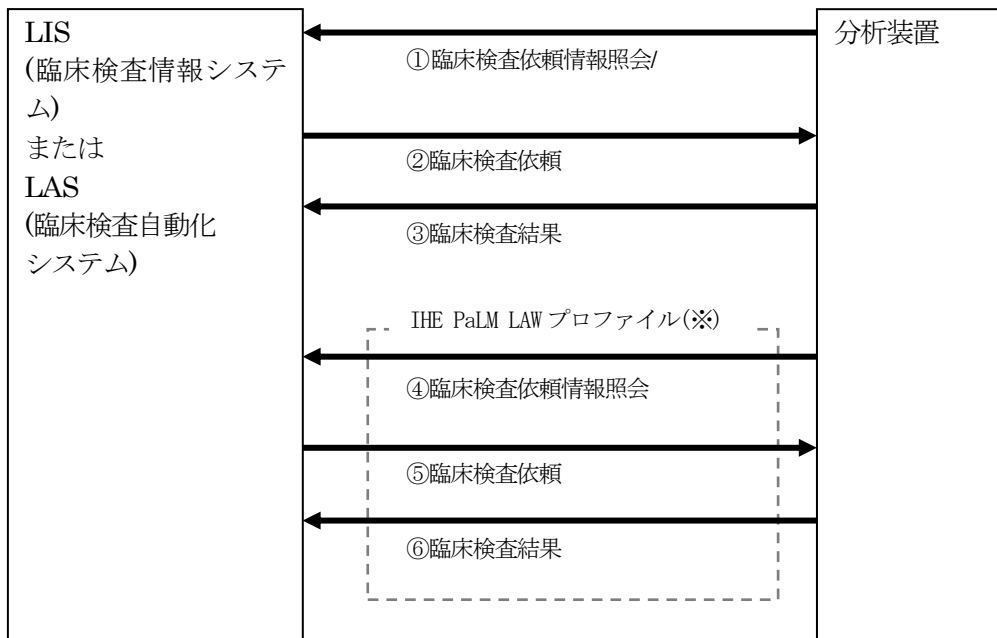


図 5.2.3-1 システム間情報伝達イメージ(LIS または LAS/分析装置間)

※IHE PaLM LAW プロファイルに準拠した国内外の LIS/LAS 又は分析装置と通信する場合は、本メッセージによる情報伝達を推奨する。

表5.2.3-1メッセージとトリガーイベント(LISまたはLAS/分析装置間)

NO	メッセージ定義	メッセージ型	トリガーイベント	イベント型	R/O
①	臨床検査依頼情報照会	QBP→ ←RSP	分析装置からの検査依頼情報の照会 LIS/LAS からの検査依頼情報の応答	WOS	O
②	臨床検査依頼	OML→ ←ORL	1 検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ	O33/O34	R
③	臨床検査結果	OUL→ ←ACK	非要求検体ベース検査結果メッセージ	R22	R
④	臨床検査依頼情報照会	QBP→ ←RSP	分析装置からの検査依頼情報の照会 LIS/LAS からの検査依頼情報の有無の応答 (IHE PaLM LAW LAB-27)	K11	O
⑤	臨床検査依頼	OML→ ←ORL	1 検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ (IHE PaLM LAW LAB-28)	O33/O34	R
⑥	臨床検査結果	OUL→ ←ACK	非要求検体ベース検査結果メッセージ (IHE PaLM LAW LAB-29)	R22	R

5.2.4 LIS または LAS/前・後処理装置間メッセージ

本規約の LIS または LAS/前・後処理装置間として「図 5.2.4-1 システム間情報伝達イメージ (LIS または LAS/前・後処理装置間)」の範囲を対象とする。

また、取り扱うメッセージタイプおよびトリガーイベントを「表 5.2.4-1 メッセージとトリガーイベント (LIS または LAS/前・後処理装置間)」に示す。

なお図中矢印の始点が●の場合、要求メッセージを省略して送信されることも想定されている。

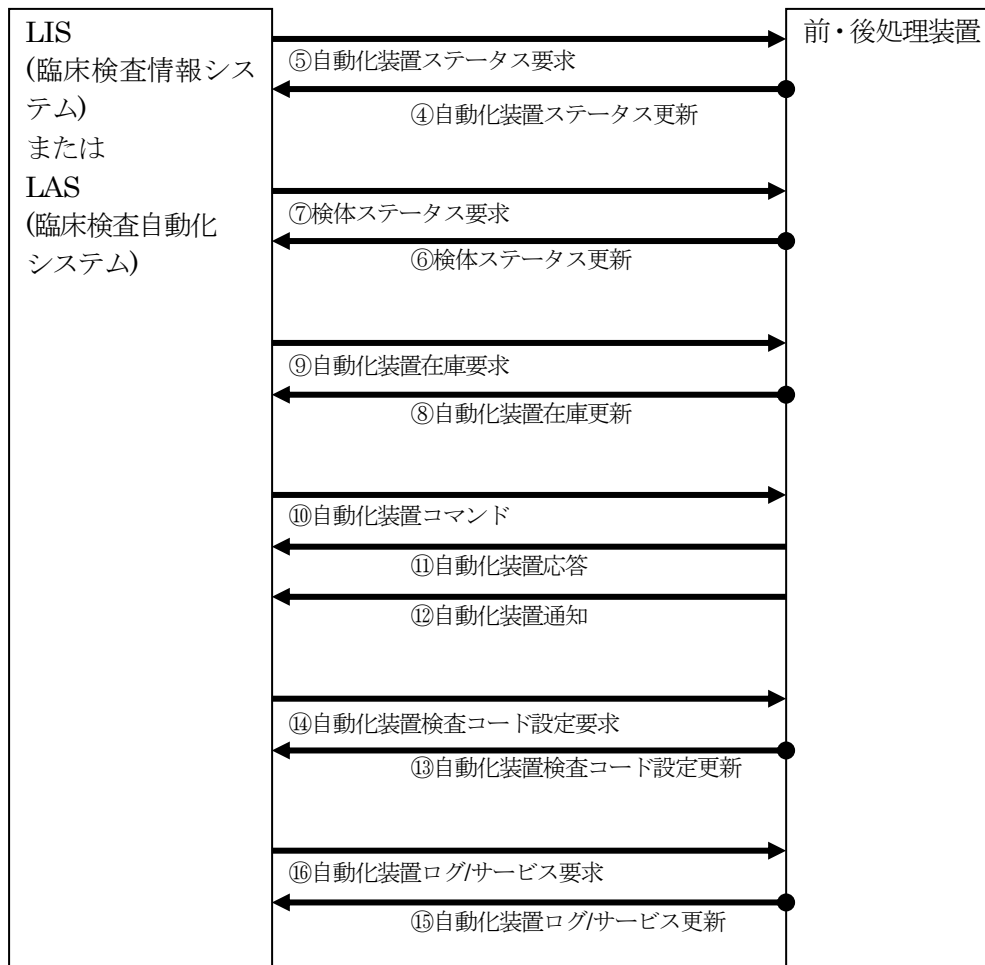


図 5.2.4-1 システム間情報伝達イメージ (LIS または LAS/前・後処理装置間)

表 5.2.4-1 メッセージとトリガーイベント（LISまたはLAS／前・後処理装置間）

NO	メッセージ定義	メッセージ型	トリガーイベント	イベント型	R/O
④	自動化装置ステータス更新	ESU→ ←ACK	自動化装置または自動化装置のステータスに関する情報の更新	U01	○
⑤	自動化装置ステータス要求	ESR→ →ACK	自動化装置または自動化装置のステータスに関する情報の要求	U02	○
⑥	検体ステータス更新	SSU→ ←ACK	検体の位置とステータスに関する情報の更新	U03	○
⑦	検体ステータス要求	SSR→ ←ACK	検体の位置とステータスに関する情報の要求	U04	○
⑧	自動化装置在庫更新	INU→ ←ACK	在庫項目に関する情報の更新	U05	○
⑨	自動化装置在庫要求	INR→ ←ACK	在庫項目に関する情報の要求	U06	○
⑩	自動化装置コマンド	EAC→ ←ACK	自動化装置コマンドの発行	U07	○
⑪	自動化装置応答	EAR→ ←ACK	自動化装置コマンドに対する応答	U08	○
⑫	自動化装置通知	EAN→ ←ACK	自動化装置に関する通知	U09	○
⑬	自動化装置検査コード設定更新	TCU→ ←ACK	検査コードとパラメータに関する情報の更新	U10	○
⑭	自動化装置検査コード設定要求	TCR→ ←ACK	検査コードとパラメータに関する情報の要求	U11	○
⑮	自動化装置ログ/サービス更新	LSU→ ←ACK	ログ/サービスのイベントのどちらかまたは両方の更新	U12	○
⑯	自動化装置ログ/サービス要求	LSR→ ←ACK	ログ/サービスのイベントのどちらかまたは両方の要求	U13	○

5.2.5 LIS/検査センター間メッセージ

本規約の LIS と検査センター間として「図 5.2.5-1 システム間情報伝達イメージ (LIS－検査センター間)」の範囲を対象とする。また、取り扱うメッセージタイプおよびトリガーイベントを「表 5.2.5-1 メッセージとトリガーイベント (LIS－検査センター間)」に示す。

なお本規約（本節）ではラボシステム（検査センターにおいて使用する検査のための情報システム）に対応する医療機関におけるシステムを LIS と総称して記載している。（詳細は「5.3.1 ファイル転送型としての利用」を参照のこと）

また、LIS/検査センター間においてはソケット通信等によるリアルタイムな情報伝達は行わないことが多いため、本節では各メッセージの戻りと「到着確認報告」は省略可能としてカッコ付きとしている。（「5.3.1 ファイル転送型としての利用」参照の事）

検査センターとの情報伝達およびかかる運用については「20-101_JAHIS 臨床検査データ交換規約を用いた外注検査連携のための実装ガイド」も参考にされたい。



図 5.2.5-1 システム間情報伝達イメージ (LIS－検査センター間)

表 5.2.5-1 メッセージとトリガーイベント (LIS-検査センター間)

NO	メッセージ定義	メッセージ型	トリガーイベント	イベント型	R/O
①	臨床検査依頼	OML→ (←ORL)	1 検体に対する複数依頼の 検査オーダーメッセージ	O33/(O34)	O
			一般オーダーメッセージ	O21/(O22)	
②	(到着確認報告)、 臨床検査結果	ORU→ (←ACK)	非要求検査結果転送メッセージ	R01	R

5.2.6 マスタファイル通知

本規約の HIS/LIS 間として「図 5.2.6-1 システム間情報伝達イメージ (マスタファイル通知)」の範囲を対象とする。また、取り扱うメッセージタイプおよびトリガーイベントを「表 5.2.6-1 メッセージとトリガーイベント (マスタファイル通知)」に示す。伝達方向は片方向、両方向のケースが存在する。

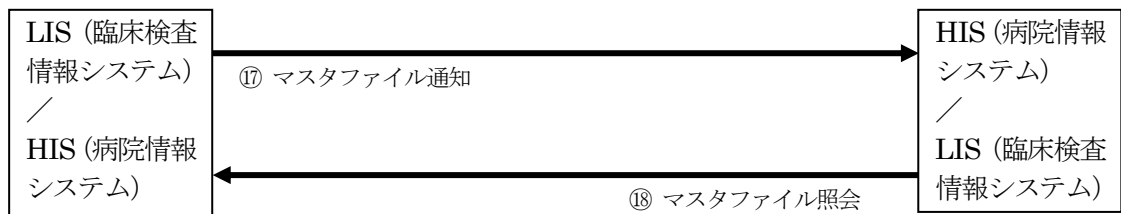


図 5.2.6-1 システム間情報伝達イメージ (マスタファイル通知)

表 5.2.6-1 メッセージとトリガーイベント (マスタファイル通知)

NO	メッセージ定義	メッセージ型	トリガーイベント	イベント型	R/O
⑰	マスタファイル通知	MFN→ ←MFK	他に特定されないマスタファイル (旧版互換のみ)	M01	O
			職員/従事者マスタファイル	M02	
			検査項目マスタファイル (旧版互換のみ)	M03	
			課金明細マスタファイル	M04	
			ロケーションマスタファイル	M05	
			相とスケジュールを伴う 治験マスタファイル	M06	
			相を除くスケジュールを伴う 治験マスタファイル	M07	
			数値型検査項目マスタファイル	M08	
			カテゴリ型検査項目マスタファイル	M09	
			群 (セット) 検査項目マスタファイル	M10	
			計算型検査項目マスタファイル	M11	
			付加的基本的観察サービス属性マスタ ファイル	M12	
			一般マスタファイル	M13	
			サイト定義マスタファイル	M14	
			在庫管理項目マスタファイル	M15	
⑱	マスタファイル照会	MFQ→ ←MFR	マスタ通知と同様	M01~M15	O

5.3 臨床検査固有の特記事項

一般的に施設内の臨床検査依頼、結果報告などのデータ交換では、病院情報システム（HIS）、臨床検査情報システム（LIS）、臨床検査自動化システム（LAS）の間で、会話型（インタラクティブ、対話型）の通信が使用される。本規約は特別のコメントがない限り、会話型について記述している。また本節では臨床検査依頼・報告メッセージの対応関係についても記述する。

5.3.1 ファイル転送型としての利用

ファイル転送型はシステム間のデータ交換をファイル転送することで実現するが、ファイル転送の手段としてSMB/CIFS、NFS、FTP、電子メールなどのオンラインファイル伝送や、USBメモリ等のオフラインメディア搬送などが利用でき、施設内・外を問わず極めて導入が容易である。

ファイル転送型の利用形態について以下に示す。

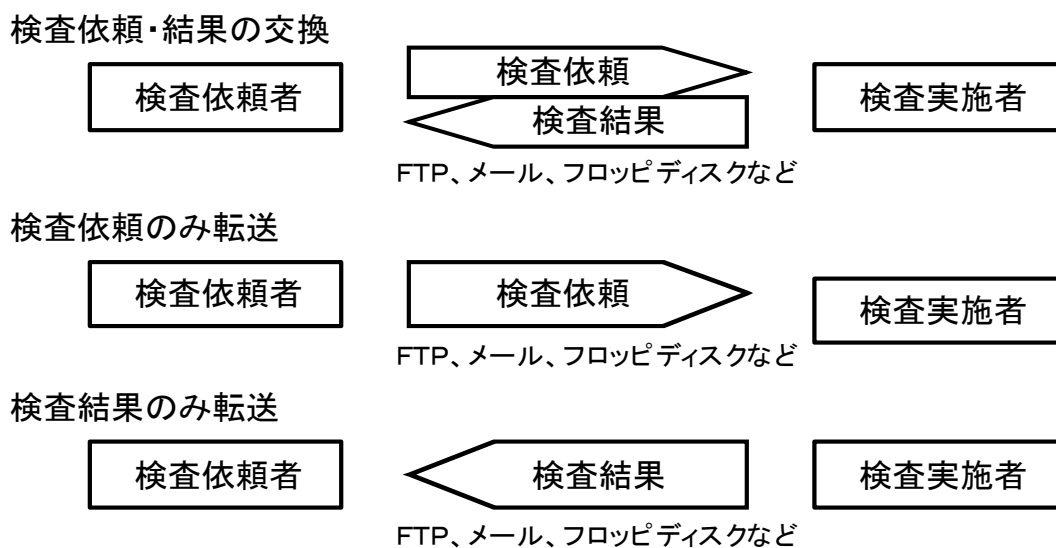


図 5.3.1-1 ファイル転送型の利用形態

以下に本規約利用上の考慮点を記述する。

- 臨床検査依頼メッセージと臨床検査報告メッセージはそれぞれ単独でも使用可能であるが、電子化メッセージ交換の効果を高めるには両者を使用し精度の高い情報交換を実現することを推奨する。
- ファイル転送型で使用するメッセージは、臨床検査依頼（OML^O21）、臨床検査結果報告（ORU^R01）、マスタファイル通知（MFN^M08~M14）であり、照会、到着確認、検査自動化関係のメッセージは適用しない。
- 本規約では会話型で使用する応答メッセージについても記載があるが、ファイル転送型ではMSHセグメント等での応答指定にかかわらず応答メッセージは使用しない。送信側はメッセージ出力が成功した時点で全件成功とみなす。受信側でメッセージ読み取り時にエラーが発生した場合の処理については関係者で事前に協議しておく必要がある。

5.3.2 臨床検査依頼・報告メッセージの対応関係

- 臨床検査結果報告メッセージにおける患者識別PID、来院PV1、検査依頼OBRの各セグメントは検査依頼メッセージの当該セグメントの内容を引き継ぐようシステム設計すべきである。特にOBRセグメントは実施者情報を設定するフィールドや依頼者情報を保持したまま返すフィールドがあるのでシステム設計上の配慮が必要である。
- 検査結果セグメントOBXは臨床検査依頼メッセージでも使用されるが、臨床検査結果報告メッセージ

の検査結果セグメントOBXと対応するものではない。すなわち、臨床検査結果報告メッセージにおけるOBXセグメントは依頼された検査に対応する結果表現の最小単位ごとに出現し、その数は結果により可変である。

- 検査結果セグメントOBXのOBX-5検査結果には参照ポインタを設定し、画像やチャートなど別のファイルやデータを参照することも可能としている。そのため関連してHL7メッセージファイル以外のファイルの伝送や、参照する仕組みについてもシステム設計上の配慮が必要である。
- 臨床検査報告に含まれる検査結果の件数は検査内容や結果により適宜変化する。例えば、判定値や所見の付加、あるいは検査結果から必要とされる次の検査項目の追加による検査結果の発生などがある。そのため、臨床検査依頼メッセージに含まれるOBRやOBXの件数と対応する臨床検査報告メッセージに含まれるOBRやOBXの件数は一致しない。システム設計上、OBRやOBXの件数は可変であることに注意が必要である。
- 国内では、HL7V2.3.1以降、OBX-11の検査結果状態を"O"（オーダ詳細記述のみ、結果なし）とすることでOMG、OMLメッセージにおける検査項目の定義として使用し、優先度の記述にOBX-13（ユーザー定義アクセス点検）を利用してきたが、HL7V2.5よりTQ1セグメント（TQ1-9）が使用できるようになっている。OBX-13は検査結果の分類に使われるフィールドなので優先度の記述には使用しないこと。
- 検査依頼項目の記載箇所について国際的な使用方法を調査した結果OBX-3ではなく、OBR-4に記載されていることを確認しており、実装に於いては、検査依頼項目の記載箇所は関係者間で確認、調整されたい。（特に、海外で使用されることを前提とされている、装置、システム等。または、海外で開発・製造された製品と接続する装置、システム等。）

本規約では国内で通常使用する場合は従来の記述方法を推奨するが、国際的な相互運用性を鑑みて、設定変更等によりどちらのオーダ方法（OBX-3あるいはOBR-4）にも対応できることが望ましい。OBR、OBXの対応関係の例を以下に示す。対応関係を記述しており、正しいセグメント順序、および優先度に関しては6章、7章を参照のこと。

表5.3.2-1 検査依頼項目をOBX-3に記載する場合のメッセージ例

検査依頼メッセージ中のOBR, OBX		結果報告メッセージ中のOBR, OBX	
SPM	血清	SPM	血清
OBR	肝炎セット検査、血清	OBR	肝炎セット検査、血清
OBX	AST 依頼	OBX	AST、10U
OBX	ALT 依頼	OBX	ALT、5U
		OBX	file://肝炎チャート.png
SPM	尿	SPM	尿
OBR	尿一般検査、尿	OBR	尿一般検査、尿
		OBX	尿蛋白定性、(－)
		OBX	尿糖定性、(－)
		OBX	ウロビリ定性、(－)
OBR	クレアチニンクリアランス検査、尿	OBR	クレアチニンクリアランス検査、尿
OBX	身長、170cm	OBX	クレアチニンクリアランス、100ml/min
OBX	体重、60kg		
OBX	尿量、70ml/min		
		別 File：肝炎チャート.png	

本表では身長、体重、尿量は依頼メッセージのOBXで記述するが、結果として返送しないことを想定している。また、ペア材料に関しては、オーダエントリシステムの実装状況を鑑みて血清と尿に分解して記述した。

表5.3.2-2 検査依頼項目をOBR-4に記載する場合のメッセージ例

検査依頼メッセージ中のOBR, OBX		結果報告メッセージ中のOBR, OBX	
SPM	血清	SPM	血清
ORC	依頼者オーダ番号などのオーダ情報	ORC	依頼者オーダ番号などのオーダ情報+実施者オーダ番号など
OBR	AST (AST)	OBR	AST (AST)
		OBX	AST、10U

検査依頼メッセージ中のOBR, OBX		結果報告メッセージ中のOBR, OBX	
OBR	ALT (ALT)	OBR	ALT (ALT)
		OBX	ALT、5U
		OBX	file://肝炎チャート.png
OBR	24時間クレアチニンクリアランス	OBR	24時間クレアチニンクリアランス
OBX	身長、170cm	OBX	クレアチニン (血清)、1.00mg/dl
OBX	体重、60kg	OBX	クレアチニンクリアランス、107.2ml/min
OBX	尿量、70ml/min		
SPM	尿(含むその他)	SPM	尿(含むその他)
ORC	依頼者オーダ番号などのオーダ情報	ORC	依頼者オーダ番号などのオーダ情報+実施者オーダ番号など
OBR	尿一般検査	OBR	尿一般検査
		OBX	尿蛋白定性、(-)
		OBX	尿糖定性、(-)
		OBX	ウロビリ定性、(-)
OBR	24時間クレアチニンクリアランス	OBR	24時間クレアチニンクリアランス
OBX	身長、170cm	OBX	クレアチニン (尿)、1.5mg/dl
OBX	体重、60kg	OBX	クレアチニンクリアランス、107.2ml/min
OBX	尿量、70ml/min		
		別 File : 肝炎チャート.png	

本表では身長、体重、尿量は依頼メッセージのOBXで記述するが、結果として返送しないことを想定している。また、ペア材料に関しては、オーダエントリーシステムの実装状況を鑑みて血清と尿に分解して記述した。

5.3.3 検査結果コメントの扱い

検査結果コメントを必要とする場合、検査項目 ID(OBR-4,OBX-3)を接尾辞で修飾し OBX を追加する。以下にその方法について解説する。

OBXに伴う叙事的報告について

HL7 は、叙事的報告共通成分に使う検査 ID を構築するためのコード接尾辞を定義した(HL7 図 7-1 を参照)。そのような成分に使う検査項目は、適切な接尾辞を検査項目 ID(どのようなコーディング方式の場合でも先行 OBR の「OBR-4 検査項目 ID」内の ID)に連結することで得られる。

送り手と受け手が合意した場合、結果セグメントの"検査 ID"成分は、先行 OBR の検査 ID と同じならば、オプションで省略することができる。この場合、結果セグメントの OBX-3 検査項目 ID 内には&TCM などと記述して、&と接尾辞だけを送信する。

表5.3.3-1 HL7 図 7-1. Observation ID suffices 検査項目接尾辞

Coded Results	Suffix	Type
Diagnostic Impression 所見	IMP	CE
Recommendation 指導	REC	CE
Confirming Procedures 処置確認	CNP	CE
Procedure Medication 投薬治療	MED	CE
Anatomic Site 部位	ANT	CE
Device/Instrument 機器/器具	DEV	CE
Serial # Device/Instrument 機器/器具の連番	SER	ST
Bulk Text Reports テキスト・レポート		
Gross Or General Description Of The Study 検査の概略記述または概要	GDT	TX or FT
Microscopic Or Secondary Description 詳細または2次的記述	MDT	TX or FT

Coded Results	Suffix	Type
Technician's Comment 医療技術者のコメント	TCM	TX or FT
Addendum Note 追加メモ	ADT	TX or FT
Other その他		
Diagnosis Onset Date/Time 診断開始日時	ITM	TS
Diagnosis Resolution Date/Time 診断終了日時	RTM	TS
Comparison Study 比較検査	CMS	CE
Comparison Date/Time 比較日時	CMT	TS
Comparison Results 比較結果	CMR	CE
Comparison Change 比較変化	CMC	CE
Predicted Value 推定値	PRD	ST
Percent Predicted 推定率	PPR	ST
After Drug Observed 投薬後観察	AFD	ST
Predicted Value After Drug 投薬後推定値	ADP	ST
Percent Predicted After Drug 投薬後推定率	APP	ST
Timing Information タイミング	TIM	TS
Channel Definition Data チャンネル定義	CHN	CD
Waveform Digital Data 波形デジタルデータ	WAS	NA or MA
Waveform Annotation 波形注釈	ANO	CE

叙事的報告の共通成分に使う検査 ID を定義するための接尾辞の解説

Diagnostic impressions 診断所見(IMP)

接尾辞が IMP の場合結果は診断か所見であり CE データ型として保管される。僧帽弁脱出症と大動脈弁狭窄症などの複数の別個の診断が報告されている場合、それぞれの診断は個別の OBX セグメントで送るべきである。1 個のコード化結果セグメントに複数のコードが含まれているのは、そのようなコードが主要診断の修飾子である場合に限られる。つまり主要診断に関する追加詳細情報を報告するためであり、全く異なる診断を報告するためではない。

所見用コード化データ型が存在するからといって、報告部門でそのような所見を全て実際にコード化しなければならないということではない。所見は書き取りテキストとして送信できるが、テキストは、CE データ型の第 2 成分で送信することにより、コードを区別すべきである、つまり、テキストの前には成分区切り文字を記述すべきである(例えば、うっ血性心不全のように)。複数のテキスト所見が報告されている場合、個別の OBX セグメントで報告し、それらのテキスト所見が別個の所見であることを示すべきである。

Recommendations 指導(REC)

接尾辞が REC の場合、その値は CE データ型結果であり、反復テスト、フォローアップ、あるいは治療に関する読影医師の指導を表わしている。例えば、疑わしい病変結果がマンモグラフィ上で見られたら、読影医師は、6 か月以内にマンモグラフィを再実施するかあるいは直ちに穿刺生検を実施するよう指導することができる。指導手順は、コードとして、および(もしくは)コード化識別子構造のテキスト記述として記録する。複数のフォローアップ検査が推奨されている場合、そのような指導はそれぞれ個別の REC で送られる。

Confirming procedure 処置確認(CNP)

処置確認 OBX 接尾辞は、IMP OBX に報告された診断を確定するのに使用される追加検査を識別する。例えば、電子顕微鏡を使って外科病理学診断を確定する場合、電子顕微鏡「OBX-3-検査項目 ID」用識別子は、処置確認を表す接尾辞の付いた検査 ID の値フィールドとして保管されるだろう。処置確認は、外科病理学レポートにおいて最も重要である。しかし処置確認は内視鏡検査などのサービスでも使用され、処置確認として生検や培養などを実施したと記録することもできる。

Procedure medication 処置投薬治療(MED)

接尾辞 MED の付いた OBX-3 検査項目 ID は、造影剤の投薬、生理反応を引き起こすことを目的とした投薬(ストレス試験などを実施するために)、あるいは事前投薬など、手順の一部として投薬を実施した場合その薬剤に関する情報が含まれていることを示す。患者が複数の投薬を受ける場合、それぞれの薬剤は個別の OBX 投薬セグメントで報告すべきである。伝送システムで投薬にコードを利用できる場合、そのようなコードは OBX-3 検査項目 ID の第 1 成分として記録する。薬剤名と(または)投薬量は、OBX-5 検査結果値の第 2 成分に含むことができる。

Anatomic site 解剖部位(ANT)

単一レポートに複数部位についての検査を含むような診断観察がある。例えば患者が胆嚢手術に伴い虫垂切除術を受けた場合、両検体に対する病理学者の病理診断は通常、1 つのレポートの単一検体番号に含まれるだろう。それぞれ個別の部位は、接尾辞 ANT(OBX-3 検査項目 ID)を持つ個別の OBX セグメントとして報告されることになる。

Devices 装置(DEV)

要求があれば、検査の実施に使用した器具あるいは装置を検査の追加"結果"として転送することができる。この場合、OBX-3 検査項目 ID の接尾辞は DEV である。例えば、臨床検査室の自動化装置、放射線科の画像装置とそのモデル番号、病棟の自動血圧測定器など。装置の識別子はいずれコードとして指定されることが予想されるので、コード化された入力値として装置を指定する。とりあえず当初は、装置関連情報のほとんどを CE 識別子の第 2 成分のテキストとして転送すると期待される。

Serial# Device / Instrument 機器/器具の連番(SER)

必要に応じ、検査に使用した機器や器具の製造番号などの連番を表記する場合に用いる。

Gross or general description 概略記述もしくは一般記述(GDT)

一般記述を表す接尾辞により、診断検査の記述成分が識別される。解剖病理学の場合には、一般記述は検体についての概略記述に適用される。記述が複数のパラグラフから成る場合、受信コンピュータ側でパラグラフをパラグラフとして表示できるようにするため、パラグラフは反復区切り文字により分離すべきである。レポートが簡潔に表現できる通常検査や EKG 検査などの場合は、診断セグメントですべての情報を表現し尽くしていれば、レポート用記述セグメントを含む必要はないだろう。

Secondary or microscopic description 2 次的記述もしくは詳細記述(MDT)

ほとんどの検査では 2 次的記述は必要ないだろう。しかし、外科病理学の場合には、詳細記述はレポートの独立箇所として存在する。それは顕微鏡を通して見られるような顕微鏡組織検査について記述する。詳細記述は、OBX-3 検査項目 ID の接尾辞に MDT を指定したセグメントで送られるだろう。

Technician comment 医療技術者コメント(TCM)

医療技術者がコメントを記述するのに使用するフリーテキストであり、OBX-3 検査項目 ID の接尾辞が TCM である結果セグメントに保管される。このコメントの内容は通常、処置を実施する際の技術情報である。通常、検査部門からのコメントはこの接尾辞を使用する。

Addendum note 追加情報メモ(ADT)

オリジナルの叙述の後に追加情報として加えられ、レポートの個別のラベル付きセクションとして送られる情報を報告するのに使用する。

Diagnosis (problem) onset date time 診断(プロブレム)開始日時(ITM)

プロブレムが存在するとはじめて認識された日時を記録するのに使用。

Diagnosis (problem) resolution date time 診断(プロブレム)終了日時(RTM)

プロブレムが治療されたか軽減した日時を記録するのに使用。

Comparison study 比較検査(CMS)

診断レポートの読み手が現在の検査結果を以前の検査結果と比較する場合、この接尾辞により、比較検査の性質を個別の結果として報告することができる(つまり検査 ID の接尾辞が CMS であるセグメントを持つ OBX セグメント)。他の任意の比較値が転送されていけば、他の比較 OBX セグメント内の検査 ID によりテストが識別されるので、通常これは必要とされない。

Comparison date time 比較日時(CMT)

診断処置の読み手が以前の検査結果と現在の検査結果を比較する場合、この接尾辞により、以前の検査の日時を個別の結果として現行レポートで報告することができる。

Comparison results 比較結果(CMR)

診断処置の読み手が、現在の結果を同じ患者に関する以前の結果と比較する場合、この接尾辞により、以前の結果(診断)を個別の結果として現行レポートで報告することができる。

Comparison change 比較変化(CMC)

診断部門が現在の検査と以前の検査の比較を報告する場合、この接尾辞を使って変化の程度を個別の結果としてレポートに報告する。(例えば、大幅に悪化、悪化、最小限悪化しないこと、変化なし、少し回復、回復、非常に回復、正常に回復)現行の書き取りレポートでは、比較に関する情報は通常、検査記述に含まれる。上に列記した比較接尾辞の規定は、この情報を個別の成分として送信しなければならないという意味ではない。単に比較変数を使用できるという意味である。システム側で個別のレポート成分としてこの情報を転送したい場合、これらの接尾辞により所望の比較を選択することができる。

Predicted 推定(PRD)

多くの肺活量測定の場合がそうであるように、検査に推定値がある場合、この接尾辞により推測と実測定が区別される。最大肺活量を表す AS4 コードは 94010. 1 である。推定される最大肺活量は 94010. 1&PRD になるだろう。

Percent of predicted 推定率(PPR)

これは(実測)/(推測)により計算される観察である。最大肺活量の場合、推定率は 94010. 1&PPR となるだろう。

After drug observed 投薬後検査(AFD)

投薬の前後に検査を実施する場合がある。これは特に肺活量測定で生じる。投薬前検査は基本 ID により識別される。投薬後測定は接尾辞「AFD」により識別される。最大肺活量に基本コード「AS4」を使用して、投薬後結果は 94010. 1&AFD として特定されるだろう。

Predicted value after drug 投薬後推測値(ADP)

投薬後推測値は、接尾辞「ADP」により識別される。上記のパターン例に従い、94010. 1&ADP となるだろう。

Percent predicted after drug 投薬後推測率(APP)

投薬後の推測率は、基本単位コードへ接尾辞「APP」を適用することで識別される—— 最大肺活量に AS4 コードを使用して 94010. 1&APP となる。

Timing Information タイミング情報(TIM)

TIM 属性 OBX 結果セグメントは、波形チャンネルをグループ化する与えられた検査サブ ID において、第 1 のデータポイントの日付および時間を確立する。波形データの時間シーケンスでギャップがある場合、これは、同じ検査サブ ID を備えた事後の WAV 属性結果セグメントに先立ち、新しい TIM 属性結果セグメントの送信によって示されるべきである。

Channel Definition Data チャンネル定義データ(CHN)

CHN 属性 OBX 結果セグメントは、デジタルでサンプリングされた時系列波形のための 1 つ以上の記録チャンネルを定義する。OBX-5-検査値フィールドは補足チャンネルを定義するために反復することがある。

Waveform Digital Data 波形デジタルデータ(WAV)

WAV 属性 OBX 結果セグメントは、実際の波形データ(アナログ/デジタル変換器(ADC)またはサンプリングされた時系列デジタルデータ)を送信するためである。WAV 属性結果セグメントは、それらの対応チャンネル定義(CHN 属性 OBX 結果セグメント)に検査サブ ID を介して関係している。CHN 属性結果セグメントの中で定義されたチャンネルの数は、それに関連した WAV 属性結果セグメントに含まれていた、多重化データのチャンネルの数を指定する。すべてのチャンネルに対する多数の連続の時間での波形データの与えられたセットは、単一の WAV 属性結果セグメント中で送信される。または多数の連続の WAV 属性結果セグメント中で送信される。このとき、おそらく他の種類の点在した結果セグメントとともに送信される(例えばコメン

トを含む)。

WAV 属性結果セグメントのデータ型はNA(数値の配列)またはMA(多重化される配列)である。NA データ型を使用すると、データ値は「チャンネルブロック」、すなわち「多重化されていない」書式で記録される。各チャンネルのためのデジタルサンプルは、成分の区切記号を使用して分離される。また、連続のチャンネルは、反復区切記号を使用して分離される。MA データ型を使用すると、データ値は「多重化チャンネル」の書式で記録される。すなわち、第 1 時間サンプルの値(すべてのチャンネル)が最初に送信される。次に第 2 時間サンプルの値(すべてのチャンネル)が送信される。以下同様にすべてのサンプルが送信されるまで続く。各チャンネルのデジタルデータは成分区切記号によって分離される。また、連続のデータは反復区切記号によって分離される。チャンネル多重化書式が使用できるのは、多重化チャンネルが全て同じ有効なサンプリング周波数を持っているときだけである。

Waveform Annotation 波形注釈(ANO)

ANO 属性 OBX セグメントが使用されるのは、波形注釈(波形記録中に与えられたときに関連したコード化された入力)を送信するためである。ANO 属性結果セグメントは、それらの対応するチャンネル定義(CHN 属性 OBX 結果セグメント)に対して、検査サブ ID を介して参照される。CHN 属性結果セグメントの中で定義されたチャンネルの数は、それに関連した任意の ANO 属性結果セグメントに含まれる注釈のチャンネルの数を指定する。

ANO 属性結果セグメントのデータ型は CE である。連続のチャンネルへの注釈コード化入力は、反復区切記号を使用して分離される。隣接する反復区切り記号が使用されるのは、チャンネルの注釈コード化入力が多重チャンネルの結果セグメントの中にあるときである。値については「使用者定義表 0317-注釈」を参照。

表5.3.3-2 使用者定義表0317-Annotations 注釈

Value	Description
9900	ベーススパイク
9901	SAS マーカー
9902	感知マーカー
9903	ビートマーカー
9904	etc

検査結果コメントの例

検査結果コメントは検査結果の OBX に続く OBX で表現する。コメントの値型は ST や TX が代表的と考えられるがコメントコードでの運用しか出来ない場合は二者間の協議の上で、値型 CE または CWE でコードでの運用やコメント内容に制限のないフリーテキストでの利用も可能である。一般財団法人 医療情報システム開発センター (MEDIS-DC) 制定の臨床検査結果コメントマスタは統一結果コメントを定めている。下記に記載例を示す。

```
OBX|NM|3A016000002327101^A/G 比^JC10||2.33||1.30-2.00|H|||F      検査結果
OBX|CWE|3A016000002327101&TCM^JC10||E01^参考値です^L|||F      そのコメント
```

5.3.4 定性結果・不等号等の表現方法

OBX セグメントの検査結果値 (OBX-5) は必ず値型 (OBX-2) で定義されているものであり、下記に参考のため例を示す。

OBX-2 値型	OBX-5 検査結果値	検査結果の表示
NM	+0123.5	123.5 または+123.5
NM	-0199.8	-199.8
NM	<100 (これは誤り)	

OBX-2 値型	OBX-5 検査結果値	検査結果の表示
NM	+4.5E+3	4.5E+3 または+4.5E+3 (4.5 x 10 ³)
ST	+0123.5	+0123.5
ST	<100	<100
ST	陽性	陽性
CE または CWE	^陽性	陽性
SN	<^100	<100
SN	<^1E+2	<1E+2 (<100)

定性結果値の場合、そのまま ST 型にて表現する方法と結果をコードとして表記する CE または CWE 型、CNE 型がある。また、数値結果であっても以下・以上など比較演算子を伴う場合がある。その場合文字を含むため NM 型ではなく、そのまま文字列とし ST 型で表現する方法と構造的に表現する SN 型がある。SN 型はデータを構造的に表現するため統計的扱いに適するが表示の際に編集が必要である。どの値型を使用するかは、検査報告をする施設にゆだねられるが結果を受け取る側のシステムではどの値型でも正しく処理できる様配慮しなければならない。さらに SN 型の表記例をあげておく。

結果値	SN型表記
100 超	>^100
100 以上	>=^100
10 未満	<^10
5 以下	<=^5
(-)	^-
(+)	^+
(+)	^-+
1+	^1^+
2+	^2^+
2~3	^2^~3
1:128	^1^:~128
1/3	^1/^3

6. 臨床検査依頼・臨床検査結果メッセージ構文

本規約では、HL7 メッセージを構成するセグメントの省略の可否 ([]表記) や繰り返しの可否 ({}表記) に加え、JAHIS 仕様での要否を明確にするためコメント Usage に要否等を付記した。

メッセージ構文での表記規則：

Usage (JAHIS 仕様での取り扱い)

- R - 必須
- RE - 存在すれば必須 (送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する)
- C - トリガーイベントまたはメッセージの使用条件による
- O - オプション
- X - 本規約では使用しない
- N - 使用しない (関係者の合意のもとに関係システム内限定で使用可)

注: [] は省略可能、{ } は繰り返し可能を示す。

注: 特にセグメントグループについては、そのセグメントグループの要否等を記し、さらにそのグループに属する個々セグメントの要否等を記した。

例えば、OML^O33 の場合、PRIOR_RESULT セグメントグループはオプション「O」であるが、そのセグメントグループを使用する場合それに属する PATIENT_VISIT_PRIOR セグメントグループは該当データが存在すれば必須であるという「RE」となっており、この PATIENT_VISIT_PRIOR セグメントグループを使用する場合そのグループの PV1 セグメントは必須「R」であり、PV2 はオプション「O」であるというように、より明確に要否を記述した。なお、論理構造上、セグメントグループには最低 1 個の必須セグメントが存在しなくてはならない。

表6-1 OML^O33 1検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ (一部抜粋)

OML^O33^OML O33	Laboratory Order - Multiple Order Per Specimen Message	Usage
...	...	
[{	--- PRIOR_RESULT begin	O
[--- PATIENT_PRIOR begin	N
PID	Patient Identification - previous result	N
[PD1]	Additional Demographics - previous result	N
]	--- PATIENT_PRIOR end	
[--- PATIENT_VISIT_PRIOR begin	RE
PV1	Patient Visit - previous result	R
[PV2]	Patient Visit Add. Info - previous result	O
]	--- PATIENT_VISIT_PRIOR end	
...	...	

6.1 臨床検査依頼(OML/ORL)

臨床検査の依頼時には検査オーダーメッセージ(OML)を用い、それに対する応答には検査オーダー肯定応答メッセージ(ORL)を使用する。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.1.1 OML 検査オーダーメッセージ イベント(O21)

検査オーダーメッセージ(O21)はバッテリー中心の構造である。これはバッテリーのリストを含み、夫々のバッテリーの上に検体のリストを含み、検体ごとに容器のリストを含む。この構造は、複数のバッテリーが同一の検体を使用するようであっても、検体/容器情報の重複を示している。オーダーのバッテリーが数種類の検体を必要とするような場合に適合する。

前版まで「一般検査オーダーメッセージ」としていたが、臨床検査においては尿検査などの「一般検査」と混同されるとの指摘があり、また HL7 原文は "laboratory order message" となっていて "general" のような修飾は無いため「検査オーダーメッセージ」とした。

表6.1.1-1 OML^O21 検査オーダーメッセージ

OML^O21^OML O21	Laboratory Order Message	Usage	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[[SFT]]	Software	N	2
[[NTE]]	Notes and Comments (for Header)	O	2
[--- PATIENT begin	RE	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[[NTE]]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
[[NK1]]	Next of Kin/Associated Parties	N	3
[--- PATIENT_VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	RE	3
[PV2]	Patient Visit- Additional Info	O	3
]	--- PATIENT_VISIT end		
[[--- INSURANCE begin	N	
IN1	Insurance	N	6
[IN2]	Insurance Additional Info	N	6
[IN3]	Insurance Add'l Info - Cert.	N	6
]]	--- INSURANCE end		
[GT1]	Guarantor	N	6
[[AL1]]	Allergy Information	O	3
]	--- PATIENT end		
{	--- ORDER begin	R	
ORC	Common Order	R	4
[[--- TIIMING begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[[TQ2]]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
]]	--- TIMING end		
[--- OBSERVATION_REQUEST begin	R	
OBR	Observation Request	R	4
[TCD]	Test Code Details	O	13

<u>OML^O21^OML O21</u>	<u>Laboratory Order Message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
[[NTE]]	Notes and Comments (for Detail)	O	2
[CTD]	Contact Data	N	11
[[DG1]]	Diagnosis	N	6
[[--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation/Result	R	7
[TCD]	Test Code Detail	O	13
[[NTE]]	Notes and Comments (for Results)	C	2
]]	--- OBSERVATION end		
[[--- SPECIMEN begin	O	
SPM	Specimen	R	7
[[OBX]]	Observation/Result related to specimen	O	7
[[--- CONTAINER begin	O	
SAC	Specimen Container	R	13
[[OBX]]	Observation/Result related to container	O	7
]]	--- CONTAINER end		
]]	--- SPECIMEN end		
[[--- PRIOR_RESULT begin	O	
[--- PATIENT_PRIOR begin	N	
PID	Patient Identification - previous result	N	3
[PD1]	Additional Demographics - previous result	N	3
]	--- PATIENT_PRIOR end		
[--- PATIENT_VISIT_PRIOR begin	O	
PV1	Patient Visit - previous result	R	3
[PV2]	Patient Visit Add. Info - previous result	O	3
]	--- PATIENT_VISIT_PRIOR end		
[[AL1]]	Allergy Information - previous result	O	3
{	--- ORDER_PRIOR begin	R	
[ORC]	Common Order - previous result	R	4
OBR	Order Detail - previous result	R	4
[[NTE]]	Notes and Comments - previous result	O	2
[[--- TIMING_PRIOR begin	N	
TQ1	Timing/Quantity	N	4
]]	Timing/Quantity Order Sequence	N	4
]]	--- TIMING_PRIOR end		
{	--- OBSERVATION_PRIOR begin	R	
OBX	Observation/Result - previous result	R	7
}}	Notes and Comments - previous result	O	2
]]	--- OBSERVATION_PRIOR end		
}}	--- ORDER_PRIOR end		
]]	--- PRIOR_RESULT end		
]	--- OBSERVATION_REQUEST end		
[[FT1]]	Financial Transaction	N	6

<u>OML^O21^OML O21</u>	<u>Laboratory Order Message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
[{ CTI }]	Clinical Trial Identification	N	7
[BLG]	Billing Segment	N	4
}	--- ORDER end		

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはオーダーの出力単位 (メッセージ) の先頭に1つ必須である。(ファイル伝送の場合:オーダーがまとめて伝送される場合オーダーごとに先頭にメッセージヘッダ(MSH)セグメントが必須であり、区切りとなる。)
- 患者識別(PID)セグメントは1患者の一連のオーダーに1個必須である。(ファイル伝送の場合:オーダーがまとめて伝送される場合メッセージヘッダ(MSH)セグメントがオーダーの区切りとなる。)
- 共通オーダー(ORC)セグメントは1患者の個々の詳細オーダー検査要求(OBR)セグメントごとに1個必須であり、必要に応じタイミング/数量(TQ1)セグメントを従える。ただし、1オーダー多項目検査の場合、検査要求(OBR)セグメントに続く検査結果(OBX)セグメントで個別の検査項目指示することも可能である。
- 共通オーダー(ORC)セグメントは検査材料単位や検査グループ単位に用いることが望ましい。例えば1オーダーで検査材料が血液と尿の複数材料を扱う場合、血液を用いる検査で1つの共通オーダー(ORC)セグメントと検査要求(OBR)セグメントで検査グループを表現し、続く検査結果(OBX)セグメントで個々の検査項目を、尿を用いる検査で1つの共通オーダー(ORC)セグメントと検査要求(OBR)セグメントで検査グループを表現し、続く検査結果(OBX)セグメントで個々の検査項目を指示する。また検査要求(OBR)セグメントで多項目検査の内容が不明確な場合、検査結果(OBX)セグメントで個々の検査項目を指示することも可能である。例えば検査要求(OBR)セグメントで肝炎セット、検査結果(OBX)セグメントでAST,ALT,HBs抗体や、検査要求(OBR)セグメントで100g糖負荷試験、検査結果(OBX)セグメントで血糖前値,血糖30分値など。
- 検体検査の検査項目コード(OBR-4/OBX-3)は日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コードでコーディングされたものを用いる。
- 検査材料や部位(SPM-4, SPM-8)は日本臨床検査医学会臨床検査分類コードの材料コードを用いる。
- 検査結果(OBX)セグメントは、依頼の際に検査に必要な臨床データを知らせる目的でも利用できるものとする。例えば身長、体重、月経周期など。
- 検査結果(OBX)セグメント又は検査要求(OBR)セグメントに記述できる情報は注釈コメント(NTE)セグメントで送信すべきではない。
- 臨床検査オーダーに前回検査報告を付加する場合、OBSERVATION PRIORブロックの来院情報来院情報(PV1)セグメントは必須である。

6.1.2 ORL 任意の OML に応答する検査オーダー応答メッセージ イベント(O22)

検査オーダー応答メッセージ(O22)は検査依頼(O21)に対する応答をするイベントである。

表6.1.2-1 ORL^O22 一般検査オーダー肯定応答メッセージ

<u>ORL^O22^ORL O22</u>	<u>General Laboratory Order Acknowledgment Message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
[{ SFT }]	Software	N	2
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)	O	2
[--- RESPONSE begin	O	
[--- PATIENT begin	O	
PID	Patient Identification	R	3
[--- ORDER begin	R	

<u>ORL^O22^ORL O22</u>	<u>General Laboratory Order Acknowledgment Message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
ORC	Common Order	R	4
[{	--- TIMING begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING end		
[--- OBSERVATION_REQUEST begin	R	
OBR	Observation Request	R	4
[{	--- SPECIMEN begin	O	
SPM	Specimen	R	7
[{ SAC }]	Specimen Container Details	O	13
}]	--- SPECIMEN end		
}]	--- OBSERVATION_REQUEST end		
}]	--- ORDER end		
]]	--- PATIENT end		
]]	--- RESPONSE end		

- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。
- RESPONSE構文は必要が無い場合は省略可能であるが、IHE-PaLM Technical Frameworkではいくつかのセグメントを必須としている。詳細はIHE-PaLM Technical Framework参照。

6.1.3 OML 1 検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ イベント(O33)

1 検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ(O33)は検体中心の構造である。検体ごとに容器のリストとこの検体で使用するバッテリー (共通オーダー(ORC)セグメント/検査要求(OBR)セグメント) のリスト、および依頼項目 (検査結果(OBX)セグメント) のリストを含む。この場合バッテリーや依頼項目は容器との関連付けが無い。通常日の検体検査ではこの1 検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージが検体検査の依頼時に使用される。

表6.1.3-1 OML^O33 1検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ

<u>OML^O33^OML O33</u>	<u>Laboratory Order - Multiple Order Per Specimen Message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)	O	2
[--- PATIENT begin	RE	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
[{ NK1 }]	Next of Kin/Associated Parties	N	3
[--- PATIENT_VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	RE	3
[PV2]	Patient Visit- Additional Info	N	3
]]	--- PATIENT_VISIT end		
[{	--- INSURANCE begin	N	

<u>OML^O33^OML O33</u>	<u>Laboratory Order - Multiple Order Per Specimen</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u>
	<u>Message</u>		<u>Chapter</u>
IN1	Insurance	N	6
[IN2]	Insurance Additional Info	N	6
[IN3]	Insurance Add'l Info - Cert.	N	6
]]	--- INSURANCE end		
[GT1]	Guarantor	N	6
[[AL1]]	Allergy Information	O	3
]	--- PATIENT end		
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen	R	7
[[OBX]]	Observations related to specimen	O	7
[[SAC]]	Specimen Container	C	13
{	--- ORDER begin	R	
ORC	Common Order	R	4
[[--- TIIMING begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[[TQ2]]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
]]	--- TIMING end		
[--- OBSERVATION_REQUEST begin	R	
OBR	Observation Request	R	4
[TCD]	Test Code Details	O	13
[[NTE]]	Notes and Comments (for Detail)	O	2
[[DG1]]	Diagnosis	N	6
[[--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation/Result	R	7
[TCD]	Test Code Detail	O	13
[[NTE]]	Notes and Comments (for Results)	C	2
]]	--- OBSERVATION end		
[[--- PRIOR_RESULT begin	O	
[--- PATIENT_PRIOR begin	N	
PID	Patient Identification - previous result	N	3
[PD1]	Additional Demographics - previous result	N	3
]	--- PATIENT_PRIOR end		
[--- PATIENT_VISIT_PRIOR begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
- previous result			
[PV2]	Patient Visit Add. Info - previous result	O	3
]	--- PATIENT_VISIT_PRIOR end		
[[AL1]]	Allergy Information - previous result	O	3
{	--- ORDER_PRIOR begin	R	
[ORC]	Common Order - previous result	R	4
OBR	Order Detail - previous result	R	4
[[NTE]]	Notes and Comments - previous result	O	2
[[--- TIMING_PRIOR begin	N	
TQ1	Timing/Quantity	N	4

OML^O33^OML O33	Laboratory Order - Multiple Order Per Specimen Message	Usage	HL7 Chapter
[[TQ2]]	Timing/Quantity Order Sequence	N	4
]]	--- TIMING_PRIOR end		
{	--- OBSERVATION_PRIOR begin	O	
OBX	Observation/Result - previous result	R	7
[[NTE]]	Notes and Comments - previous result	C	2
]	--- OBSERVATION_PRIOR end		
}	--- ORDER_PRIOR end		
]]	--- PRIOR_RESULT end	O	
]	--- OBSERVATION_REQUEST end		
[[FT1]]	Financial Transaction	N	6
[[CTI]]	Clinical Trial Identification	N	7
[BLG]	Billing Segment	N	4
}	--- ORDER end		
}	--- SPECIMEN end		

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはオーダーの出力単位(メッセージ)の先頭に1つ必須である。(ファイル伝送の場合:オーダーがまとめて伝送される場合オーダーごとに先頭にメッセージヘッダ(MSH)セグメントが必須であり、区切りとなる。)
- 患者識別(PID)セグメントは1患者の一連のオーダーに1個必須である。(ファイル伝送の場合:オーダーがまとめて伝送される場合メッセージヘッダ(MSH)セグメントがオーダーの区切りとなる。)
- 検体(SPM)セグメントは検体単位に用いることが望ましい。例えば1オーダーで検査材料が血清の単数材料を扱う場合であっても、検体が分かれる場合、検体(SPM)セグメントは複数に分割される。各々の検体(SPM)セグメント内のOBR-4/OBX-3はその検体に含まれる検査項目が指示される。
- 検体検査の検査項目コード(OBR-4/OBX-3)は日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コードでコーディングされたものを用いる。
- 検査材料や部位(SPM-4, SPM-8)は日本臨床検査医学会検査分類コードの材料コードを用いる。
- 検査結果(OBX)セグメントは、依頼の際に検査に必要な臨床データを知らせる目的でも利用できるものとする。例えば身長、体重、月経周期など。
- OBSERVATION PRIORは同一患者の前回値をあらわす。患者識別(PID)セグメントが無いのは同一患者であるからである。検査部門はこの患者の前回測定時異なる患者識別かどうかを気にする必要は無い。しかし、電文上前回値と今回値の判断ができなくなるため、前回値を記載する場合「Patient Visit - previous result」を表す来院情報(PV1)セグメントは必須である。
- 検査結果(OBX)セグメント又は検査要求(OBR)セグメントに記述できる情報は注釈コメント(NTE)セグメントで送信すべきではない。

6.1.4 ORL 1 検体に対する複数依頼の肯定応答メッセージ イベント(O34)

1 検体に対する複数依頼の肯定応答メッセージ(O34)は臨床検査依頼に対する応答をするイベントである。

表6.1.4-1 ORL^O34 1検体に対する複数依頼の肯定応答メッセージ

ORL^O34^ORL O34	Laboratory Order Acknowledgment Message - Multiple Order Per Specimen	Usage	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[[ERR]]	Error	O	2

ORL^O34^ORL O34	Laboratory Order Acknowledgment Message - Multiple Order Per Specimen	Usage	HL7 Chapter
[{ SFT }]	Software	N	2
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)	O	2
[--- RESPONSE begin	O	
[--- PATIENT begin	O	
PID	Patient Identification	O	3
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen	R	7
[{{ OBX }}]	Observations related to specimen	O	7
[{{ SAC }}]	Specimen Container	O	
[{{	--- ORDER begin	O	
ORC	Common Order	R	4
[{{	--- TIMING begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[{{ TQ2 }}]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}}]	--- TIMING end		
[--- OBSERVATION_REQUEST begin	O	
OBR	Observation Request	R	4
[{{	--- SPECIMEN begin	N	
SPM	Specimen	N	7
[{{ SAC }}]	Specimen Container Details	N	13
}}]	--- SPECIMEN end		
]	--- OBSERVATION_REQUEST end		
}}]	--- ORDER end		
}	--- SPECIMEN end		
]	--- PATIENT end		
]	--- RESPONSE end	O	

- 注：OBSERVATION REQUEST ブロック中にSPMとSACセグメントが存在しているが、これはHL7 V2.5自体の誤記であると思われる。(HL7 V2.6で削除されている。)
- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。
- RESPONSE構文は必要が無い場合は省略可能であるが、IHE-PaLM Technical Frameworkではいくつかのセグメントを必須としている。詳細はIHE-PaLM Technical Framework参照。

6.1.5 OML 1 検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ イベント(O33) (IHE PaLM LAW プロファイル仕様)

本メッセージは、LIS/LAS が分析装置へ検査依頼情報を送るためのメッセージである。
本メッセージは、以下の用途において使用できる。

- (1) LIS/LAS から分析装置へ検査依頼情報を配信する
複数の分析装置が存在し、検査実施対象が確定していない場合、LIS/LAS は検査可能な全ての分析装置へ検査依頼情報を配信する。(ORC-1 を NW にする)
配信した検査依頼情報を修正する場合は、全ての分析装置へキャンセル依頼(ORC-1=CA)した後に再度新しい検査依頼情報の配信(ORC-1=NW)を行う。

(2) LIS/LAS から分析装置へ照会された検査依頼情報を送信する

検査実施対象の分析装置が確定している場合(分析装置に検体が届いた場合)、分析装置から LIS/LAS に対して検査依頼情報を照会し(1.3.7 QBP/1.3.8 RSP メッセージ参照)、LIS/LAS にて照会された検査依頼情報を本メッセージにて分析対象の装置へ送信(ORC-1=NW)を行う。

表6.1.5-1 OML^O33 1検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ

OML^O33^OML O33	Laboratory Order - Multiple Order Per Specimen Message	Usage
MSH	Message Header	R
[--- PATIENT begin	C (RE/X)
PID	Patient Identification	R
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)	RE
[--- PATIENT_VISIT begin	RE
PV1	Patient Visit	R
]	--- PATIENT_VISIT end	
]	--- PATIENT end	
{	--- SPECIMEN begin	R
SPM	Specimen	R
[{ NTE }] ★	Notes and comments (for Specimen)	RE
[{		
SAC	Specimen Container	R
[{ NTE }] ★	Notes and comments (for Container)	RE
]]	Specimen Container	
{	--- ORDER begin	R
ORC	Common Order	R
[{ NTE }] ★	Notes and comments (for Common Order)	RE
[{	--- TIIMING begin	C (RE/N)
TQ1	Timing/Quantity	R
]]	--- TIMING end	
[--- OBSERVATION_REQUEST begin	C (N/RE)
OBR	Observation Request	R
[TCD]	Test Code Details	C (R/RE)
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Detail)	RE
[{	--- OBSERVATION begin	C (RE/N)
OBX	Observation/Result	R
]	Test Code Detail	RE
[TCD]		
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Results)	RE
]]	--- OBSERVATION end	
]	--- OBSERVATION_REQUEST end	
}	--- ORDER end	
}	--- SPECIMEN end	

- MSH-9は「OML^O33^OML_O33」とする。
- MSH-18は「UNICODE UTF-8」を規定値とする。文字セットについては、関係者で確認することを推奨する。

- MSH-21は「LAB-28^IHE」とする。
- 検査依頼情報を送信する場合、オーダ制御(ORC-1)は「NW」を指定する。
- タイミング/数量(TQ1)セグメントには、検査依頼のタイミングに関する情報を記述する。
- 検査要求(OBR)セグメントはLIS/LASの依頼者オーダ番号(OBR-2)が必須である。また、検査項目コード(OBR-4)には、日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コードでコーディングされたものを用いる。
- 検査コード詳細(TCD)セグメントには、検査依頼における検体の希釈指示に関する情報を記述する。但し、希釈が不要である場合は省略して良い。
- 患者識別(PID)セグメントは、分析装置が患者情報に未対応の場合は省略可能である。
- 検体(SPM)セグメントは検体単位に用いることが望ましい。例えば1オーダで検査材料が血清の単数材料を扱う場合であっても、検体が分かれる場合、検体(SPM)セグメントは複数に分割される。各々の検体(SPM)セグメント内のOBR-4はその検体に含まれる検査項目が指示される。
- 検体役割(SPM-11)においては、検査対象検体が患者由来の検体の場合は「P」、精度管理物質の場合は「Q」、プール検体の場合は「L」、材料が不明な場合は「U」を指定する。
- 検査材料や部位(SPM-4, SPM-8)は日本臨床検査医学会検査分類コードの材料コードを用いる。
- 検査結果(OBX)セグメントは、依頼の際に検査に必要な臨床データを分析装置に知らせる目的でも利用する(身長、体重、月経周期など)。検体採取日時を知らせる場合は検査日時(OBX-14)を用いる。本目的で利用する場合、ObservationType(OBX-29)(※HL7 2.8.1参照)は必須である。尚、本セグメントに検査依頼項目コードを指定して検査依頼することはできない。
- 同じ検査依頼を複数回実行する場合は、1回の検査依頼で繰り返し回数を指定することはできないため、複数の検査依頼情報を作成し、各々の依頼として実行する必要がある。
- 検査依頼情報をキャンセルする場合、オーダ制御(ORC-1)は「CA」を指定する。また、キャンセル対象の検査依頼情報を特定できる情報として、依頼者オーダ番号(OBR-2)、検査項目ID(OBR-4)が必須である。
- 分析装置からの検査依頼情報の要求(1.3.7 QBP / 1.3.8 RSPメッセージ参照)に対して、その検体に対する依頼する作業がない場合は、MSH、SPM、SAC、及びORCセグメントのみを送信する。各セグメントは以下のように指定する。
 - ・ SPM-4 : NULL(“”)
 - ・ SPM-11 : U
 - ・ SAC-3 : 1.3.7 QBP メッセージの QPD-3
 - ・ SAC-4 : 1.3.7 QBP メッセージの QPD-9
 - ・ SAC-10 : 1.3.7 QBP メッセージの QPD-4
 - ・ SAC-11 : 1.3.7 QBP メッセージの QPD-5
 - ・ SAC-13 : 1.3.7 QBP メッセージの QPD-6
 - ・ SAC-14 : 1.3.7 QBP メッセージの QPD-7
 - ・ SAC-15 : 1.3.7 QBP メッセージの QPD-8
 - ・ ORC-1 : DC
- PID、SPM、SAC、ORC、OBR、および OBX セグメントの後の反復可能な NTE セグメントを使用することで、人が解釈可能な注釈コメントを記述できる。但し、各セグメント内で記述できる情報は、注釈コメントにすべきではない。
- ★を付記したNTEセグメントはHL7 V2.9で利用可能になった。詳細はIHE PaLM Technical Framework および HL7 Ver.2.9を参照。

6.1.6 ORL 1 検体に対する複数依頼の応答メッセージ イベント(O34) (IHE PaLM LAW プロファイル仕様)

1 検体に対する複数依頼の応答メッセージ(O34)は臨床検査依頼に対する応答をするイベントである。本メッセージは、LIS/LAS の検査依頼情報送信メッセージ(6.1.5 OML メッセージ)に対する分析装置の応答メッセージである。

分析装置は受信した検査依頼情報の受領または拒否を応答する。

表6.1.6-1 ORL^O34 1検体に対する複数依頼の肯定応答メッセージ

ORL^O34^OML O42	Laboratory Order Acknowledgment Message - Multiple Order Per Specimen	Usage
MSH	Message Header	R
MSA	Message Acknowledgment	R
[[ERR]]	Error	C (R/X)
[--- RESPONSE begin	C (X/RE)
[--- PATIENT begin	C (RE/X)
PID	Patient Identification	R
]	--- PATIENT end	
{	--- SPECIMEN begin	R
SPM	Specimen	R
[[SAC]]	Specimen Container	R
[[--- ORDER begin	R
ORC	Common Order	R
]]	--- ORDER end	
}	--- SPECIMEN end	
]	--- RESPONSE end	O

- MSH-9は「ORL^O34^ORL_O42」とする。(ORL_O42構造は、HL7 V2.8.1参照のこと)
- MSH-21は「LAB-28^IHE」とする。
- エラー(ERR)セグメントは、肯定応答(MSA-1=AA)の場合は使用しない。否定応答(MSA-1=AE or AR)の場合にエラー内容を記述する。
- RESPONSE構文は肯定応答(MSA-1=AA)の場合に使用する。否定応答(MSA-1=AE or AR)の場合は使用しない。
- 依頼者オーダ番号(ORC-2)は、応答元の検査依頼情報のORC-2と同じ値とする。
- 分析装置が検査依頼情報を受領する場合は、オーダ制御(ORC-1)を「OK」、オーダ状態(ORC-5)を「SC」、「IP」、「CM」のいずれかとする。
- 分析装置が検査依頼情報を拒否する場合は、オーダ制御(ORC-1)を「UA」、オーダ状態(ORC-5)を「CA」とする。
- 分析装置が検査依頼情報のキャンセル依頼を受領する場合は、オーダ制御(ORC-1)を「CR」、オーダ状態(ORC-5)を「CA」とする。
- 分析装置が検査依頼情報のキャンセル依頼を拒否する場合は、オーダ制御(ORC-1)を「UC」、オーダ状態(ORC-5)を「IP」、「CM」のいずれかとする。
- LIS/LASが1メッセージで複数検体ごとに複数の検査依頼情報を送信してきた場合、各検査依頼情報の依頼者オーダ番号(ORC-2)ごとにオーダ制御(ORC-1)で受領/拒否の応答を伝えるようにする。

6.1.7 OML 1 検体 1 容器複数依頼時の検査オーダーメッセージ イベント(O35)

1 検体 1 容器複数依頼時の検査オーダーメッセージ(O35)は、検体ごとに容器のリストと容器単位で処理されるバッテリーのリストを提供する。この構造はオーダーされたバッテリーが容器単位でソートされているような場合に適合する。

表6.1.7-1 OML^O35 1検体1容器複数依頼時の検査オーダーメッセージ

OML^O35^OML_O35	Laboratory Order - Multiple Order Per Container of Specimen Message	Usage	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[[SFT]]	Software	N	2
[[NTE]]	Notes and Comments (for Header)	O	2
[--- PATIENT begin	RE	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[[NTE]]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
[[NK1]]	Next of Kin/Associated Parties	N	3
[--- PATIENT_VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit- Additional Info	O	3
]	--- PATIENT_VISIT end		
[[--- INSURANCE begin	N	
IN1	Insurance	N	6
[IN2]	Insurance Additional Info	N	6
[IN3]	Insurance Add'l Info - Cert.	N	6
]]	--- INSURANCE end		
[GT1]	Guarantor	N	6
[[AL1]]	Allergy Information	O	3
]	--- PATIENT end		
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen	R	7
[[OBX]]	Observations related to specimen	O	7
{	--- SPECIMEN_CONTAINER begin	R	
SAC	Specimen Container	R	13
{	--- ORDER begin	R	
ORC	Common Order	R	4
[[--- TIIMING begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[[TQ2]]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
]]	--- TIMING end		
[--- OBSERVATION_REQUEST begin	R	
OBR	Observation Request	R	4
[TCD]	Test Code Details	O	13
[[NTE]]	Notes and Comments (for Detail)	C	2
[[DG1]]	Diagnosis	N	6
[[--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation/Result	R	7

<u>OML^O35^OML O35</u>	<u>Laboratory Order - Multiple Order Per Container of Specimen Message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
[TCD]	Test Code Detail	O	13
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Results)	O	2
}	--- OBSERVATION end		
[{	--- PRIOR_RESULT begin	O	
[--- PATIENT_PRIOR begin	N	
PID	Patient Identification - previous result	N	3
[PD1]	Additional Demographics - previous result	N	3
]	--- PATIENT_PRIOR end		
[--- PATIENT_VISIT_PRIOR begin	O	
PV1	Patient Visit - previous result	R	3
[PV2]	Patient Visit Add. Info - previous result	O	3
]	--- PATIENT_VISIT_PRIOR end		
[{ AL1 }]	Allergy Information - previous result	O	3
{	--- ORDER_PRIOR begin	R	
[ORC]	Common Order - previous result	R	4
OBR	Order Detail - previous result	R	4
[{ NTE }]	Notes and Comments - previous result	O	2
[{	--- TIMING_PRIOR begin	N	
TQ1	Timing/Quantity	N	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	N	4
}	--- TIMING_PRIOR end		
{	--- OBSERVATION_PRIOR begin	O	
OBX	Observation/Result - previous result	R	7
[{ NTE }]	Notes and Comments - previous result	O	2
}	--- OBSERVATION_PRIOR end		
}	--- ORDER_PRIOR end		
}	--- PRIOR_RESULT end		
]	--- OBSERVATION_REQUEST end		
[{ FT1 }]	Financial Transaction	N	6
[{ CTI }]	Clinical Trial Identification	N	7
[BLG]	Billing Segment	N	4
}	--- ORDER end		
}	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
}	--- SPECIMEN end		

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはオーダーの出力単位(メッセージ)の先頭に1つ必須である。(ファイル伝送の場合:オーダーがまとめて伝送される場合オーダーごとに先頭にメッセージヘッダ(MSH)セグメントが必須であり、区切りとなる。)
- 患者識別(PID)セグメントは1患者の一連のオーダーに1個必須である。(ファイル伝送の場合:オーダーがまとめて伝送される場合メッセージヘッダ(MSH)セグメントがオーダーの区切りとなる。)
- OML^O35のメッセージ構文では、材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントは検体(SPM)セグメントの下に置かなければならない。
- 検体検査の検査項目コード(OBR-4/OBX-3)は日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コードでコーディングされたものを用いる。
- 検査材料や部位(SPM-4, SPM-8)は日本臨床検査医学会臨床検査分類コードの材料コードを用いる。

- 検査結果(OBX)セグメントは、依頼の際に検査に必要な臨床データを知らせる目的でも利用できるものとする。例えば身長、体重、月経周期など。
- OBSERVATION PRIORは同一患者の前回値をあらわす。患者識別(PID)セグメントが無いのは同一患者であるからである。検査部門はこの患者の前回測定時異なる患者識別かどうかを気にする必要は無い。しかし、電文上前回値と今回値の判断ができなくなるため、前回値を記載する場合「Patient Visit – previous result」を表す来院情報(PV1)セグメントは必須である。
- 検査結果(OBX)セグメント又は検査要求(OBR)セグメントに記述できる情報は注釈コメント(NTE)セグメントで送信すべきではない。

6.1.8 ORL 1 検体 1 容器複数依頼の肯定応答メッセージ イベント(O36)

1 検体 1 容器複数依頼の肯定応答メッセージ(O36)は臨床検査依頼に対する応答をするイベントである。

表6.1.8-1 ORL^O36 1検体1容器複数依頼の肯定応答メッセージ

ORL^O36^ORL O36	Laboratory Order Acknowledgment Message - Multiple Order Per Container of Specimen	Usage	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }	Error	O	2
[{ SFT }	Software	N	2
[{ NTE }	Notes and Comments (for Header)	O	2
[--- RESPONSE begin	O	
[--- PATIENT begin	O	
PID	Patient Identification	O	3
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen	R	7
[{ OBX }	Observations related to specimen	O	7
{	--- SPECIMEN_CONTAINER begin	R	
SAC	Specimen Container	R	13
[{	--- ORDER begin	O	
ORC	Common Order	R	4
[{	--- TIMING begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[{ TQ2 }	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING end		
]	--- OBSERVATION_REQUEST begin	R	
OBR	Observation Request	R	4
]	--- OBSERVATION_REQUEST end		
}]	--- ORDER end		
}]	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
}]	--- SPECIMEN end		
]	--- PATIENT end		
]	--- RESPONSE end		

- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。
- RESPONSE構文は必要が無い場合は省略可能であるが、IHE-PaLM Technical Frameworkではいくつかのセグメントを必須としている。詳細はIHE-PaLM Technical Framework参照。

6.2 到着確認報告、臨床検査結果(ORU/ACK, OUL/ACK)

到着確認報告時、及び臨床検査結果報告時には検査結果メッセージ(ORU あるいは OUL)を用いる。

注：IHE PaLM Technical Framework ではイベント R22 と R24 がサポートされていたが、R24 は旧バージョンとの互換性のためにのみ残し、代わりに R01 をサポートすることにした。

検査結果のステータスの変更については、HL7 V2.5 では MSH セグメントに含まれるトリガーイベントフィールドと ORC-5 (Filler Order status), OBR-25 (Order Result Status), OBX.11 (Observation Result Status) の組み合わせによって表現される。

OBX-11 は個別の検査のステータスを含み、OBR-25 は検査全体のステータスを含み。

ORC,OBR,OBX 間のステータスの相互関係を以下に示す。

表6.2-1 3つのテーブルの関係の要約

ORC-5 (Order Table 0038)	OBR-25 (Request Table 0123)	OBX-11 (Result Table 0085)	詳細
	O	O	オーダーは受信済みだが、検体はまだ到着していない。 オーダーの詳細記述のみに使われる。(OBX に結果はない) この値は ORL (OML に対する肯定応答) メッセージにのみ使用される。OML メッセージでは使われるべきでない。
SC	S		検査はスケジュールされたが、未検査。結果は未だ無い。
IP	I	I	検体は検査部門に届いていないかも知れない。OBX には反映されない。 検査中。検体は検査中であるが結果は保留状態であり、完了していない。(いわゆる“到着確認”)
		D	OBX のレコードが削除された。
A	R	R	いくつかの結果が得られたが、未検証。
A	P	P	いくつかの検証済みの結果が得られた。
CM (CM)	F	F	最終結果：結果は格納され、検証された。以降は修正のみ許される。
CA	C	C	結果が修正された。最終結果と置換した。
	X	X	(OBX では) この検査では結果が得られない。(ORC/OBR では) 結果が得られないので、オーダーをキャンセル。

注：ORC-5 で用いられるステータスコードは OBR-25/OBX-11 で用いられるものよりも少ない。もし、直接的に意味が一致するものがなければ、最も近い意味合いのものを採用すること。上記のテーブルはこれらのフィールドに使用するコードの意味合いを記述したものである。ただし、全ての可能性のある関係を示したものではないことに注意すること。

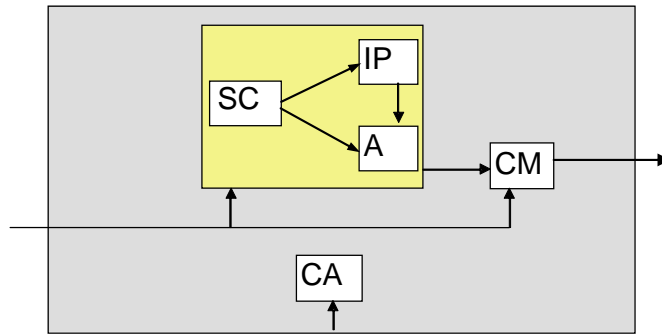
ステータスフィールドの関係の規則

- OBR-25 のステータスは“最低位”の個別のテスト(OBX-11)より早く完了することはできない。例えば OBX-11 のフィールドが全て‘F’になったときに限り、OBR-25 は‘F’にすることができる。
- オーダー実施者によって決められるオーダーステータスは検査依頼のステータス(OBR-25)よりも早く完了することはできない。
例えば OBR-25 のフィールドが‘F’または‘C’になったときに限り、ORC-5 は‘CM’にすることができる。
- 検査を終結する目的で、OBX-11 が‘X’または‘D’の場合、OBR-25 が‘X’の場合には‘F’とみなしてもよい。

ステータスフィールドのステータス遷移

- ORC-5: オーダステータス (Order status)

検査依頼とそれに関連する結果のステータスフィールドは、検査の進行と完了によって表現される。値の遷移は下記に示される。

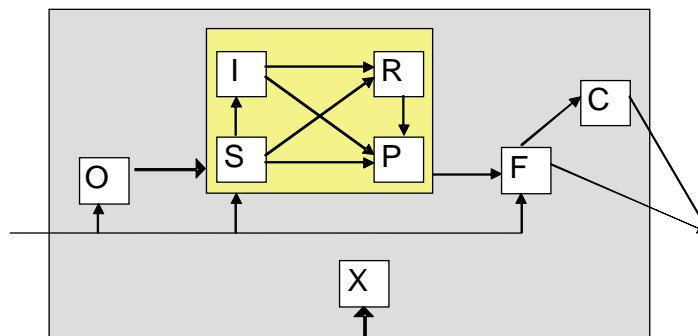


- SC:** 進行中、予定済み(scheduled)、検体は未検査(may not be available yet)
- IP:** 進行中、検体は検査中(available in laboratory)
- A:** 部分的完了
- CM:** オーダが完了した
- CA:** オーダが取り消された (どのステータスでも)

図 6.2-1: The ORC-5 status transition diagram

図 6.2-1 は ORC-5 のステータスコードが SC, から IP, A, CM に変化していく通常のプロセスである。ステータスコードが SC であれば、次の可能なステータスコードは IP, A, CM または SC である。ステータスコードが IP であれば、次の可能なステータスコードは A, CM または IP である。特別なステータスコードとして CA (オーダが取り消された) があり、プロセス中の任意の過程で起こりうる。

2. OBR-25: オーダ結果ステータス (Order Result status)

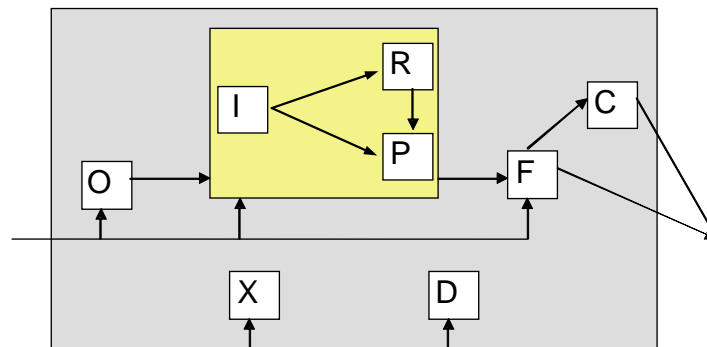


- O:** オーダ受信、検体未到着
- S:** 予定済み(Scheduled)、検体は未検査(specimen may not be available yet)
- I:** 検体は検査中、結果は不完全(results pending)
- R:** 部分的完了、未確認
- P:** 事前的(部分的)に確認された結果
- F:** 確認済み最終結果
- C:** 最終結果後の訂正、結果は最終・確認済みのまま(Results still final and verified)
- X:** オーダが取り消された (どのステータスでも)

図 6.2-2: The OBR-25 status transition diagram

図 6.2-2 は OBR-25 の O が F に遷移する通常のプロセスである。中央部には4つのコードがある。ステータスコードが S であれば、次の可能なステータスコードは I, R, P, F または S のいずれかである。ステータスコードが P であれば、次の可能なステータスコードは F または P のいずれかである。ステータスコードが F であれば、次の可能なステータスコードは F または C のいずれかである。特別なステータスコードとして X（オーダが取り消された）があり、プロセス中の任意の過程で起こりうる。

3. OBX-11: 検査結果ステータス (Observation Result Status)



- O:** オーダ詳細記述のみ、結果なし
- I:** 検査部門に検体あり、結果保留
- R:** 結果入力済み(Result entered)、未確認
- P:** 事前的(部分的)に確認された結果
- F:** 確認済み最終結果
- C:** 最終結果後の訂正、結果は最終・確認済みのまま(Result still final and verified)
- X:** この検査では結果は得られない
- D:** この OBX レコードを削除する

図 6.2-3: The OBX-11 status transition diagram

図 6.2-3 は OBX-11 の O が F に遷移する通常のプロセスである。中央部には3つのコードがある。ステータスコードが I であれば、次の可能なステータスコードは I, R, P または F のいずれかである。ステータスコードが P であれば、次の可能なステータスコードは F または P のいずれかである。特別なステータスコードとして X（この検査では結果が得られない）と D があり、プロセス中の任意の過程で起こりうる。

6.2.1 OUL 非要求検体ベース検査結果メッセージ イベント(R22)

このメッセージは、検体指向の検査を提供することを目指した。それは、例えば採取容器を要求する検査自動化システムに適用可能である。

イベント R22 と R23 の違いは、材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱いである。

参照：表 6.2.1-1 イベント R22 と R23 での材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱い

表 6.2.1-1 イベントR22とR23での材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱い

イベント	HL7 V2.5 での取り扱い	JAHISでの取り扱い
R22	O	RE
R23	R	R

材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの使い方については臨床検査自動化用セグメント詳細 (9 章) を参照のこと。

表 6.2.1-2 OUL^R22/ACK 非要求検体ベース検査結果メッセージ

<u>OUL^R22^OUL R22</u>	<u>Laboratory Order Acknowledgment Message - Multiple Order Per Container of Specimen</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{SFT}]	Software Segment	N	2
[NTE]	Notes and Comments	O	2
[--- PATIENT begin	RE	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{NTE}]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
[--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	RE	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Information	O	3
]	--- VISIT end		
]	--- PATIENT end		
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen information	R	7
[{{ OBX }}]	Observation Result (for Specimen)	O	7
[{{	--- CONTAINER begin	O	
SAC	Container information	RE	13
[INV]	Detailed Substance information (e.g., id, lot, manufacturer, ... of QC specimen)	O	13
}}	--- CONTAINER end		
}	--- ORDER begin	R	
OBR	Observation Order	R	7
[ORC]	Common Order	R	4
[{NTE}]	Notes and Comments (for Detail)	O	2
[{{	--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[{{TQ2}}	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}}	--- TIMING_QTY end		
[{{	--- RESULT begin	O	
OBX	Observation Result	R	7
[TCD]	Test Code Detail	O	13
[{{SID}}	Substance Identifier (e.g., reagents used for testing)	O	13
[{{NTE}}	Notes and Comments	C	2
}}	--- RESULT end		
[{{CTI}}	Clinical Trial Identification	N	7
}	--- ORDER end		
}	--- SPECIMEN end		
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

<u>ACK^R22^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該システムの関係者の同意のもとに HL7 V2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（関連する HL7 V2.5 は、2.10.2節、2.15.4節を参照のこと。）
以下、他のメッセージも同様である。
- OUL^R22、R23、R24の構文において、HL7 V2.6にて PATIENT end の位置の修正がなされた。実用上支障はないと考えられるため、本規約でも修正した。

6.2.2 OUL 非要求検体ベース検査結果メッセージ イベント(R22) (IHE PaLM LAW プロファイル仕様)

本メッセージは、分析装置から LIS/LAS へ検査結果を送信するためのメッセージである。
LIS/LAS は ACK(R22)メッセージにて検査結果の受信応答を行う。

表6.2.2-1 OUL^R22/ACK 非要求検体ベース検査結果メッセージ

<u>OUL^R22^OUL R22</u>	<u>Laboratory Order Acknowledgment Message - Multiple Order Per Container of Specimen</u>	<u>Usage</u>
MSH	Message Header	R
[--- PATIENT begin	C(RE/X)
PID	Patient Identification	R
[{NTE}]	Notes and Comments (for Patient ID)	RE
[--- VISIT begin	C(RE/X)
PV1	Patient Visit	R
]	--- VISIT end	
]	--- PATIENT end	
{	--- SPECIMEN begin	R
SPM	Specimen information	R
[{ OBX }]	Observation Result (for Specimen)	RE
[{	--- CONTAINER begin	R
SAC	Container information	R
[INV]	Detailed Substance information (e.g., id, lot, manufacturer, ... of QC specimen)	C(RE/X)
}]	--- CONTAINER end	
{	--- ORDER begin	R
OBR	Observation Order	R
[ORC]	Common Order	R4
[{NTE}]	Notes and Comments (for Detail)	RE
[{	--- TIMING_QTY begin	C(R/X)

OUL^R22^OUL_R22	Laboratory Order Acknowledgment Message - Multiple Order Per Container of Specimen	Usage
<pre> TQ1 }} [{ OBX [TCD] {[INV] ★ [{NTE}] }} } } } </pre>	<pre> Timing/Quantity --- TIMING_QTY end --- RESULT begin Observation Result Test Code Detail Substance Identifier (e.g., reagents used for testing) Notes and Comments --- RESULT end --- ORDER end --- SPECIMEN end </pre>	<pre> R RE R C (R/X) C (R/X) RE </pre>

- MSH-9は「OUL^R22^OUL_R22」とする。
- MSH-18は「UNICODE UTF-8」を規定値とする。文字セットについては、関係者で確認することを推奨する。
- MSH-21は「LAB-29^IHE」とする。
- PATIENT構文、及びVISIT構文は、分析装置が患者情報に未対応の場合は省略可能である。
- SPECIMEN構文は必須である。
- 検体役割(SPM-11)においては、検査対象検体が患者由来の検体の場合は「P」、精度管理物質の場合は「Q」、プール検体の場合は「L」を指定する。
- SPMセグメント直下のOBXセグメントは、検体の状態などを記述することができる。
- CONTAINER構文は必須である。
- CONTAINER セグメントグループのINVセグメントは、検体役割(SPM-11)が「Q」の場合にのみ精度管理物質の詳細情報を記述する。それ以外は使用しない。
- ORDER構文は必須である。
- OBRセグメントは必須である。
- 依頼者オーダ番号(OBR-2)は、分析装置で作成された検査依頼情報の場合はNULL(“”)とする。LIS/LASから検査依頼された場合は、LIS/LASのOBR-2を転記する。
- 実施者オーダ番号(OBR-3)は、分析装置による依頼情報の管理番号を記述しても良い。
- 検査項目ID(OBR-4)は、分析装置が検査を実施した項目を記述する。LIS/LASから検査依頼された場合は、LIS/LASのOBR-4を転記する。
- 依頼者(OBR-16)、およびオーダコールバック用電話番号(OBR-17)は、検査依頼情報に関する追加情報として記述しても良い。
- OBCセグメントは必須である。
- オーダ制御(ORC-1)は、「SC」を指定する。
- 依頼者オーダ番号(ORC-2)は使用しない。(OBR-2を検査依頼情報の識別子として使用するため)
- オーダ状態(ORC-5)は、分析装置による検査依頼情報の処理状態を記述する。
- 親(ORC-8)は、リフレックス検査の場合に、リフレックス元の検査依頼情報の識別子(OBR-2)を記述する。
- タイミング/数量(TQ1)セグメントはオプションであり、検査タイミングの報告を行う際に記述できる。
- RESULT構文はオーダ状態(ORC-5)が「CM」または「IP」(但し、検査結果出力済み)の場合は必須である。それ以外の状態の場合は省略する。
- 検査項目(OBX-3)は一意に識別可能な検査結果項目を指定する。

- 検査サブID(OBX-4)は検査項目(OBX-3)を細分化可能な場合に、識別可能なIDを指定する。
- ObservationType(OBX-29)は、分析装置による検査結果の回答結果を指定する。
- TCDセグメントにより、分析装置による希釈情報を記述しても良い。その場合、TCD-1とOBX-3を一致させる必要がある。
- TCDセグメントの後続のINVセグメントには測定に寄与した物質の詳細を記述する。
- PID、ORC、および OBX セグメントの後の反復可能な NTE セグメントを使用することで、人が解釈可能な注釈コメントを記述できる。分析装置にて生成された注釈コメントにおいては、コメントの発生源(NTE-2)に「Z」を指定する。
- OUL^R22、R23、R24の構文において、HL7 V2.6にて PATIENT end の位置の修正がなされた。実用上支障はないと考えられるため、本規約でも修正した。
- ★を付記したINVセグメントはHL7 V2.9で利用可能になった。詳細はIHE PaLM Technical Framework および HL7 Ver.2.9を参照。
-

<u>ACK^R22^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[{ ERR }]	Error	C

- MSH-9は「ACK^R22^ACK_R22」とする。
- MSH-21は「LAB-29^IHE」とする。

6.2.3 ORU 非要求検査結果転送メッセージ イベント(R01)

表6.2.3-1 ORU^R01/ACK 非要求検査結果転送メッセージ

<u>ORU^R01^ORU_R01</u>	<u>Unsolicited Observation Message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
{	--- PATIENT_RESULT begin	C ¹⁾	
[--- PATIENT begin	RE	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{ NTE }]	Notes and Comments	O	2
[{ NK1 }]	Next of Kin/Associated Parties	N	3
[--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Info	O	3
]	--- VISIT end		
]	--- PATIENT end		
{	--- ORDER_OBSERVATION begin	R	
[ORC]	Order common	R	4
OBR	Observations Request	R	7
[{ NTE }]	Notes and comments	O	2

<u>ORU^R01^ORU R01</u>	<u>Unsolicited Observation Message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
[[--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[{{TQ2}}	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
]]	--- TIMING_QTY end		
[CTD]	Contact Data	N	11
[[--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation related to OBR	R	7
{{NTE}}	Notes and comments	C	2
]]	--- OBSERVATION end		
[[FT1]]	Financial Transaction	N	6
[[CTI]]	Clinical Trial Identification	N	7
[[--- SPECIMEN begin	O	
SPM	Specimen	R	
[{{OBX}}	Observation related to Specimen	O	
]]	--- SPECIMEN end		
]	--- ORDER_OBSERVATION end		
]	--- PATIENT_RESULT end		
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

<u>ACK^R01^ACK</u>	<u>Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message header	R	2
[[SFT]]	Software segment	N	2
MSA	Message acknowledgment	R	2
[[ERR]]	Error	C	2

通常、1 電文の結果報告は 1 患者についてのみである。

6.2.4 OUL 非要求検査結果メッセージ イベント(R21)

IHE PaLM Technical Framework ではこのメッセージの使用を推奨していない。

このメッセージは HL7 V2.4 以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残している。検体情報（検体 (SPM)セグメント）もしくは採取容器情報（材料と採取容器の詳細(SAC)セグメント）が必要な場合、異なる OUL メッセージを使用しなければならない。（例えば R22）

このメッセージの詳細に関しては HL7 V2.5 7.3.2 節を参照のこと。

6.2.5 OUL 非要求検体採取容器ベース検査結果メッセージ イベント(R23)

このメッセージは、検体指向の検査を提供することを目指した。それは、例えば採取容器を要求する検査自動化システムに適用可能である。

イベント R22 と R23 の違いは、材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱いである。

参照：表 6.2.5-1 イベント R22 と R23 での材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱い

表6.2.5-1 イベントR22とR23での材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱い

イベント	HL7 V2.5 での取り扱い	JAHIS での取り扱い
R22	O	RE
R23	R	R

材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの使い方については臨床検査自動化用セグメント詳細（9章）を参照のこと。

表6.2.5-2 OUL^R23/ACK 非要求検体採取容器ベース検査結果メッセージ

<u>OUL^R23^OUL R23</u>	<u>Unsolicited Specimen Container Oriented</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
	<u>Observation Message</u>		
MSH	Message Header	R	2
[[SFT]]	Software Segment	N	2
[NTE]	Notes and Comments	O	2
[--- PATIENT begin	RE	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[[NTE]]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
[--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Information	O	3
]	--- VISIT end		
]	--- PATIENT end		
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen information	R	7
[[OBX]]		O	7
{	--- CONTAINER begin	R	
SAC	Container information	R	13
[INV]	Detailed Substance information (e.g., id, lot, manufacturer, ... of QC specimen)	O	13
{	--- ORDER begin	R	
OBR	Observation Order	R	7
[ORC]	Common Order	R	4
[[NTE]]	Notes and Comments (for Detail)	O	2
[[--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[[TQ2]]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
]]	--- TIMING_QTY end		
[[--- RESULT begin	O	
OBX	Observation Result	R	7
[TCD]	Test Code Detail	O	13
[[SID]]	Substance Identifier (e.g., reagents used for testing)	O	13
[[NTE]]	Notes and Comments	C	2
]]	--- RESULT end		
[[CTI]]	Clinical Trial Identification	N	7
}	--- ORDER end		
}	--- CONTAINER end		
}	--- SPECIMEN end		
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

<u>ACK^R23^ACK</u>	<u>Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- OUL^R22、R23、R24の構文において、HL7 V2.6にて PATIENT end の位置の修正がなされた。実用上支障はないと考えられるため、本規約でも修正した。

6.2.6 OUL 非要求オーダーベース検査結果メッセージ イベント(R24)

IHE PaLM Technical Framework ではこのメッセージの使用を推奨していない。

材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの使い方については臨床検査自動化用セグメント詳細 (9章) を参照のこと。

表6.2.6-1 OUL^R24/ACK 非要求オーダーベース検査結果メッセージ

<u>OUL^R24^OUL R24</u>	<u>Unsolicited Specimen Container Oriented</u> <u>Observation Message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
[NTE]	Notes and Comments	O	2
[--- PATIENT begin	O	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{{NTE}}]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
[--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Information	O	3
]	--- VISIT end		
]	--- PATIENT end		
{	--- ORDER begin	R	
OBR	Observation Order	R	7
[ORC]	Common Order	R	4
[{{NTE}}]	Notes and Comments (for Detail)	O	2
[{{	--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[{{TQ2}}]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}}	--- TIMING_QTY end		
[{{	--- SPECIMEN begin	O	
SPM	Specimen information	R	7
[{{OBX}}]		O	7
[{{	--- CONTAINER begin	RE	
SAC	Container information	R	13
[INV]	Detailed Substance information (e.g., id, lot, manufacturer, ... of QC specimen)	O	13
}}	--- CONTAINER end		
}}	--- SPECIMEN end		
}			

<u>OUL^R24^OUL R24</u>	<u>Unsolicited Specimen Container Oriented</u> <u>Observation Message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
{	--- RESULT begin	R	
OBX	Observation Result	R	7
[TCD]	Test Code Detail	O	13
{[SID]}	Substance Identifier (e.g., reagents used for testing)	O	13
[{}NTE]}	Notes and Comments	C	2
}}	--- RESULT end		
{[CTI]}	Clinical Trial Identification	N	7
}	--- ORDER end		
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

<u>ACK^R24^ACK</u>	<u>Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message header	R	2
{ SFT }	Software segment	N	2
MSA	Message acknowledgment	R	2
{ ERR }	Error	C	2

- OUL^R22、R23、R24の構文において、HL7 V2.6にて PATIENT end の位置の修正がなされた。実用上支障はないと考えられるため、本規約でも修正した。

6.2.7 ORU 非要求 Point-Of-Care 検査メッセージ依頼部門オーダなし イベント(R30)

IHE PaLM Technical Framework では LPOCT (Laboratory Point Of Care Testing : 臨床検査の診療現場即時検査) プロファイルで LAB-32 トランザクションとしてイベント R30 と 31 の使用が定義されている。

このトリガーイベントは、メッセージに含まれていた検査の新規オーダを作成するように受信側システムに命じる。

医師が検査を行なうように口頭で看護師に命じる場合、このトリガーのユースケースの例が生じる。

情報管理の観点からこのユースケースを見て、看護師が検査を行なう前に検査部門情報システムあるいはオーダエントリシステムへのオーダを予想するかも知れない。

しかしながら、これらのユースケースに於いてオーダエントリのための時間は通常ない。

POC 検査に於いては POC 機器で測定を行うことによりオーダを生成する事が望ましい。

この ORU メッセージは患者、関係する医者、患者の所在場所などの関連情報を伝えるために来院情報 (PV1)セグメントと付加的な患者属性(PD1)セグメントの使用を要求している。

別のユースケースの例として、

共有の患者識別子のないリモートサイトのドクタが、検査を行なうように看護師に命じる場合がある。検査は LIS への事前オーダなしで行なわれ、検査が実施されたならば、結果と患者情報が、LIS に送信される。

いくつかの状況では、LIS はこれに臨床的な解釈を加えて、オーダエントリシステムおよび (または) 別のシステムにそれを報告するかもしれない。

このために診療科、依頼者、実施場所などの情報が要求とされる。

送信システムがすべての結果をその関連するオーダと関連させることを可能にするために、受信側システムは、OML メッセージ中の共通オーダ(ORC)セグメントに含まれるような依頼者番号を返す必要がある。

(注 : IHE PaLM Technical Framework では filler order number としている)

必要があれば、このメッセージはさらにオーダーに対応する患者の名前のように検査実施者から返された情報を含んでいるかもしれない。そして、結果を格納する。

このトリガーイベントは、メッセージに含まれていた検査のオーダーを生成するように受信システムに指示する。

医師がテストを実行するように口頭で看護師に命じる場合、このトリガーのユースケースが発生する。情報管理の観点からこの使用法を見ること、人は次のことを予期するかもしれない、看護師は、テストを実行する前に検査オーダーもしくは検査システムにオーダーをする。しかしながら、これらのケースの場合はオーダーエントリのための時間は通常ない。実際、POC で検査をする場合、POC 機器で検査測定を行うことによりオーダーをする事が望ましい。

患者、医師、患者の所在などに関する特定の情報の受け渡しを可能にするために、PV1 および PD1 セグメントを ORU メッセージに含める必要がある。このトリガーの使用例の1つは、患者情報を共有していないリモートサイトの医師が、看護師にテスト検査を実行するように指示する場合に発生する。検査は、LIS への要求の事前入力なしに実行される。実行されると、結果は患者情報とともに LIS に送信される。場合によっては、LIS はこれに臨時的解釈を加え、オーダーエントリシステムおよびまたは別のシステムに報告することができる。これを可能にするために、要求者情報、所在情報などが必要である。

送信システムがすべての結果をその関連するオーダーと関連させることを可能にするために、受信システムは、別途得た OML ^ O21 メッセージの ORC セグメント中の依頼者番号を返す。もし必要ならば、このメッセージはさらに、オーダーに対応する患者の名前のように検査実施者から得られた情報と結果を含んでいる。

表6.2.7-1 ORU^R30/ACK 非要求 Point-Of-Care検査メッセージ依頼部門オーダーなし

<u>ORU^R30^ORU_R30</u>	<u>Unsolicited Point-Of-Care observation</u> <u>message without existing order</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[[SFT]]	Software Segment	N	2
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional	O	3
]	--- VISIT end		
ORC	Common Order information	R	4
OBR	Observation Request	R	7
{[NTE]}	Notes or Comments for order/result	RE	2
[[--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[[TQ2]]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
]]	--- TIMING_QTY end		
{	--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation Results, one per reported value	R	7
{[NTE]}	Notes or Comments for individual result	C	2
}	--- OBSERVATION end		

<u>ACK^R30^ACK</u>	<u>Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Acknowledgment	R	2

<u>ACK^R30^ACK</u>	<u>Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

IHE PaLM Technical Framework の LPOCT プロファイルでは、米国 CLSI(Clinical and Laboratory Standards Institute)発行の POCT1-A 規格の取り決めにより、ACK^R33 を使用して MSA-3 に Filler-Order-Number を入れる事になっているので留意されたい。

表6.2.7-2 ACK^R33 CLSIでの取り決め

<u>ACK^R33^ACK</u>	<u>Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Acknowledgment	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

6.2.8 ORU 非要求 Point-Of-Care 検査メッセージオーダの検索 (R31)

IHE PaLM Technical Framework では LPOCT (Laboratory Point Of Care Testing : 臨床検査の診療現場即時検査) プロファイルで LAB-32 トランザクションとしてイベント R30 と 31 の使用が定義されている。

このトリガーイベントは、メッセージに含まれていた検査のための既存のオーダを探索するように受信側システムに命じる。

この場合、送信システムは、オーダが既に存在するかどうかは知らない。

このトランザクションは、関連する結果のための既存のオーダを探索するように受信側システムに命じる。

受信側システムは既存のオーダを見つけた場合は、OML メッセージ中の共通オーダ(ORC)セグメントに含まれるような依頼者 ID を送信側に返すべきである。

この情報は、検査結果確認者がすべての結果をその関連するオーダと関連させることを可能にする。

一致するオーダを見つけることができない場合、受信側システムが何を行うかは施設の規則によって決められる。

可能性としてはオーダを(トリガーイベント R30 のように)を自動的に生成する、あるいは結果の記録ではなく例外を記録することである。

患者、関係する医者、患者の所在場所などの関連する情報を伝達することが必要な場合、ORU メッセージの来院情報(PV1)セグメントと付加的な患者属性(PD1)セグメントを使用する。(記述に関しては ORU ^ R30 を参照のこと。

このトリガーイベントは、メッセージに含まれていた検査のための既存のオーダを検索するように受信システムに指示する。

この場合、送信システムはオーダが出されていたかどうか知らない。この処理は、関連する結果のための既存のオーダを探索するように受信システムに指示する。受信者が既存のオーダを見つければ、それは、別途得た) OML ^ O21 メッセージの送信者の ORC セグメント中の依頼者 ID を返すべきである。この情報は、検査確認者がすべての結果をその関連するオーダと関連させることを可能とする。

制度的に、それが一致するオーダを見つけることができない場合、受信システムが何を行うか決める必要がある。可能性としてはオーダを(トリガーイベント R30 の中でのように)を自動的に作成する、あるいは結果の記録ではなく例外を記録することである。

患者、医師、患者の所在などに関する特定の情報を渡す必要がある場合、PV1 および PD1 セグメントを

ORU メッセージタイプに含める必要がある。(説明については ORU ^ R30 も参照のこと。)

表6.2.8-1 ORU^R31/ACK 非要求新Point-Of-Care検査メッセージオーダーの検索

<u>ORU^R31^ORU R30</u>	<u>Unsolicited new Point-Of-Care observation message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[[SFT]]	Software Segment	N	2
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional	O	
]	--- VISIT end		
ORC	Common Order information	R	4
OBR	Observation Request	R	7
{[NTE]}	Notes or Comments for order/result	RE	2
[[--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[[TQ2]]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
]]	--- TIMING_QTY end		
{	--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation Results, one per reported value	R	7
{[NTE]}	Notes or Comments for individual result	C	2
}	--- OBSERVATION end		

<u>ACK^R31^ACK</u>	<u>Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Acknowledgment	R	2
[[SFT]]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[[ERR]]	Error	C	2

IHE PaLM Technical Framework の LPOCT プロファイルでは、米国 CLSI(Clinical and Laboratory Standards Institute)発行の POCT1-A 規格の取り決めにより、ACK^R33 を使用して MSA-3 に Filler-Order-Number を入れる事になっているので留意されたい。

表 6.2.8-2 ACK^R33 CLSI での取り決め

<u>ACK^R33^ACK</u>	<u>Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Acknowledgment	R	2
[[SFT]]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[[ERR]]	Error	C	2

6.2.9 ORU 要求事前 Point-Of-Care 検査オーダー イベント(R32)

このトリガーイベントは、メッセージに含まれたオーダー情報の結果を格納するように受信側システムに命じる。

従来の臨床検査室の視点では、これは恐らく主流なユースケースである。

しかし、POC 環境では、検査が行なわれる時に既にオーダ生成していることは実際には珍しいが、まれに存在する。

患者、関係する医者、患者の所在場所などの関連する情報を伝達することが必要な場合、ORU メッセージの来院情報(PV1)セグメントと付加的な患者属性(PD1)セグメントを使用する。(記述に関しては ORU ^ R30 を参照)

このトリガーイベントは、メッセージに含まれたオーダ情報を備えた結果を格納ように受信者に指示する。伝統的な臨床検査の観点からは、このトリガーイベントのユースケースはすべてではないにしても主要なものである。しかしながら、POC 環境では、テストが実行されたときに既にオーダが存在することは珍しいが、時々起こる。患者、医師、患者の所在などに関する特定の情報を渡す必要がある場合、PV1 および PD1 セグメントを ORU メッセージタイプに含める必要がある。(説明については ORU ^ R30 も参照のこと。)

表6.2.9-1 ORU^R32/ACK 非要求事前Point-Of-Care検査オーダ

<u>ORU^R32^ORU R30</u>	<u>Unsolicited Pre-ordered Point-Of-Care observation message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[[SFT]]	Software Segment	N	2
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional	O	
]	--- VISIT end		
ORC	Common Order information	R	4
OBR	Observation Request	R	7
{[NTE]}	Notes or Comments for order/result	RE	2
[[--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[[TQ2]]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
]]	--- TIMING_QTY end		
{	--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation Results, one per reported value	R	7
{[NTE]}	Notes or Comments for individual result	C	2
}	--- OBSERVATION end		

<u>ACK^R32^ACK</u>	<u>Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Acknowledgment	R	2
[[SFT]]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[[ERR]]	Error	C	2

6.3 情報照会(QBP/RSP)

患者基本情報や検査結果情報の照会には情報照会メッセージ(QBP)を用いる。その応答には情報応答メッセージ(RSP)を用いる。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.3.1 QBP 患者基本属性照会メッセージ イベント(Q22)

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「6.1.1. QBP 患者基本属性照会メッセージ イベント(Q22)」を参照のこと。

6.3.2 RSP 患者基本属性応答メッセージ イベント(K22)

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「6.1.2. RSP 患者基本属性応答メッセージ イベント(K22)」を参照のこと。

6.3.3 QBP 患者基本属性及び所在照会メッセージ イベント(ZV1)

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「6.1.3. QBP 患者基本属性及び所在照会メッセージ イベント(ZV1)」を参照のこと。

6.3.4 RSP 患者基本属性及び所在応答メッセージ イベント(ZV2)

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「6.1.4. RSP 患者基本属性及び所在応答メッセージ イベント(ZV2)」を参照のこと。

6.3.5 QBP 検査依頼情報照会メッセージ イベント(WOS)

本メッセージは、分析装置から LIS/LAS へ検査依頼情報を照会するメッセージである。

表6.3.5-1 QBP^WOS 検査依頼情報照会メッセージ

<u>QBP^WOS^QBP_Q11</u>	<u>Query By Parameter</u>	<u>Usage</u>
MSH	Message Header	R
[{SFT}]	Software Segment	O
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
RCP	Response Control Parameters	R
[DSC]	Continuation Pointer	O

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- MSH-9は「QBP^WOS^QBP_Q11」とする。
- QPD-1～9は下記の表を参照すること。

SEQ	LEN	TYPE	Usage	ELEMENT NAME	設定値
1	60	CE	R	Message Query Name	「WOS^Work Order Step^IHE_LABTF」とする。
2	32	ST	R	Query Tag	7.15 QPDフィールド定義参照。
3	80	EIP	C	User Parameter : SPM-2: SpecimenIdentifier	照会対象の検体の識別子を指定する。 (例) 1001
4	80	EI	C	User Parameter : SAC-3: Container Identifier	照会対象の採取管容器の識別子を指定する。 (例) 987654

SEQ	LEN	TYPE	Usage	ELEMENT NAME	設定値
5	80	EI	C	User Parameter : SAC-10:Carrier Identifier	照会対象の採取管保持キャリアの識別子を指定する。 (例) 12345
6	80	NA	C	User Parameter : SAC-11:Position in Carrier	照会対象の採取管保持キャリア内の位置を指定する。 (例) 3
7	80	EI	C	User Parameter : SAC-13:Tray Identifier	照会対象の採取管保持トレイの識別子を指定する。 (例) 8523
8	80	NA	C	User Parameter : SAC-14:Position in Tray	照会対象の採取管保持トレイ内の位置を指定する。 (例) 1^8
9	705	CE	C	User Parameter : SAC-15:Location	照会対象の採取管保持キャリア/トレイの追加位置情報 があれば指定する。(例) A-8

- RCP-1は"I" (=Immediate) 固定とする。値がない場合、デフォルト値は "I" とする。
- RCP-3は"R" (=Real Time) 固定とする。値がない場合、デフォルト値は "R" とする。
- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該システムの全ての関係システム・関係者の同意のもとに HL7 V2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（関連する HL7 V2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。）
以下、他のメッセージも同様である。

6.3.6 RSP 検査依頼情報応答メッセージ イベント(WOS)

検査依頼情報応答メッセージ(WOS)は、検査依頼情報照会メッセージ(WOS)に対して LIS/LAS から分析装置へ検査依頼情報を応答するメッセージである。

表6.3.6-1 RSP^WOS 検査依頼情報応答メッセージ

RSP^WOS^RSP_K11	Segment Pattern Response	Usage
MSH	Message Header	R
[{SFT}]	Software Segment	O
MSA	Message Acknowledgement	R
[ERR]	Error	O
QAK	Query Acknowledgement	R
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
{	--- SPECIMEN begin	C
SPM	Specimen	R
[{OBX}]	Observation related to specimen	O
[{SAC}]	Specimen Container	RE
[--- PATIENT begin	O
PID	Patient Identification	R
[{OBX}]	Observation related to the patient	O
]	--- PATIENT end	
{	--- ORDER begin	R
ORC	Common Order	R
[{TQ1}]	Timing/Quantity	RE
[--- OBSERVATION REQUEST begin	O
OBR	Observation Request	R
[TCD]	Test Code Details	O
[{	--- OBSERVATION begin	O

<u>RSP^WOS^RSP_K11</u>	<u>Segment Pattern Response</u>	<u>Usage</u>
OBX	Observation/Result	R
[TCD]	Test Code Detail	O
[[NTE]]	Notes and Comments (for Results)	O
]]	--- OBSERVATION end	
]	--- OBSERVATION REQUEST end	
[[--- PRIOR RESULT begin	O
PV1	Patient Visit - previous result	R
{	--- ORDER PRIOR begin	R
ORC	Common order - previous result	R
OBR	Order detail - previous result	R
{	--- OBSERVATION PRIOR begin	R
OBX	Observation/Result - previous result	R
[[NTE]]	Comment of the result	C
}	--- OBSERVATION PRIOR end	
}	--- ORDER PRIOR end	
]]	--- PRIOR RESULT end	
}	--- ORDER end	
}	--- SPECIMEN end	
[DSC]	Continuation Pointer	

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- メッセージ応答(MSA)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 応答時エラーが発生した場合はエラー(ERR)セグメントは必須である。
- 照会応答(QAK)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須であり、QBPメッセージで記載されたものをそのまま記載する。
- 前・後処理装置は、OBSERVATION segment group の検査コード詳細(TCD)セグメント、注釈コメント(NTE)セグメントが必要な場合がある。
- 応答するデータが無い場合は、SPECIMEN segment groupは存在しない。(例：barcode read error など)
- MSH-9は「RSP^WOS^RSP_K11」とする。
- QPD-1は「WOS^Work Order Step^IHE_LABTF」とする。
- QPD-3の詳細は「7.15 QPD - query parameter definition 照会パラメータ定義 /QPD-3 User parameters 使用者パラメータ/a)メッセージ問合せ名=WOS^Work Order Step^IHE_LABTF の場合」参照のこと。
- PRIOR RESULT segment group は同一患者の前回値をあらわす。患者識別(PID)セグメントが無いのは同一患者であるからである。検査部門はこの患者の前回測定時異なる患者識別かどうかを気にする必要は無い。しかし、電文上前回値と今回値の判断ができなくなるため、前回値を記載する場合「Patient Visit - previous result」を表す来院情報(PV1)セグメントは必須である。
- PV1-2 (患者区分) は、送信側がわからない場合は“U”(= patient class unknown)を用いる。
- PRIOR RESULT segment group のORC-1 (オーダ制御)は“PR”(Prior results)とする。
- 検体セグメント(SPM)は、LD側ではSPM-2 (検体ID) 以外は取り扱わない。
- 前・後処理装置における患者識別(PID)セグメントについては、必須項目(R)であっても前・後処理装置の取り扱い仕様に準じる。ただしIHE-Jのコネクタソンにおいては、識別のためPID-3 (患者ID (内部

ID))、PID-5 (患者氏名) を必須とする。PID-5 (患者氏名) については、漢字、カナ氏名いずれを取り扱うかはLDの取り扱い仕様に準じる。基本仕様はOML(O33)メッセージの患者識別(PID)セグメントの取り扱いに準じる。

- 共通オーダ(ORC)セグメントは、前・後処理装置側ではORC-1 (オーダ制御) のみ参照する。

6.3.7 QBP 検査依頼情報照会メッセージ イベント(Q11) (IHE PaLM LAW プロファイル仕様)

本メッセージは、分析装置から LIS/LAS へ検査依頼情報を照会するメッセージである。

分析装置が LIS/LAS へ検査依頼情報を照会した場合、LIS/LAS は 6.3.8 RSP メッセージにて検査依頼情報の有無を応答する。LIS/LAS が照会された検査依頼情報を保持している場合、6.1.5 OML(O33)メッセージにて分析装置へ検査依頼情報を送信する。

表6.3.7-1 QBP^Q11 検査依頼情報照会メッセージ

<u>QBP^Q11^QBP_Q11</u>	<u>Query By Parameter</u>	<u>Usage</u>
MSH	Message Header	R
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
RCP	Response Control Parameters	R

- MSH-9は「QBP^Q11^QBP_Q11」とする。
- MSH-18は「UNICODE UTF-8」を規定値とする。文字セットについては、関係者で確認することを推奨する。
- MSH-21は「LAB-27^IHE」とする。
- QPD-1~9は下記の表を参照すること。

a) 採取管容器識別子(SAS-3 Container Identifier)にて、検査依頼情報を照会する場合

SEQ	LEN	TYPE	Usage	ELEMENT NAME	設定値
1	60	CE	R	Message Query Name	「WOS^ Work Order Step^IHELAW」とする。
2	32	ST	R	Query Tag	7.15 QPDフィールド定義参照。
3	80	EI	R	User Parameter : SAC-3:Container Identifier	照会対象の採取管容器の識別子を指定する。 (例) 987654
4	80	EI	X	User Parameter : SAC-10:Carrier Identifier	使用しない。
5	80	NA	X	User Parameter : SAC-11:Position in Carrier	使用しない。
6	80	EI	X	User Parameter : SAC-13:Tray Identifier	使用しない。
7	80	NA	X	User Parameter : SAC-14:Position in Tray	使用しない。
8	250	CE	X	User Parameter : SAC-15:Location	使用しない。
9	80	EI	X	User Parameter : SAC-4: Primary (parent) Container Identifier	使用しない。

b) 全ての検査依頼情報を照会する場合

SEQ	LEN	TYPE	Usage	ELEMENT NAME	設定値
1	60	CE	R	Message Query Name	「WOS_ALL^ Work Order Step All^IHELAW」とする。
2	32	ST	R	Query Tag	7.15 QPDフィールド定義参照。

SEQ	LEN	TYPE	Usage	ELEMENT NAME	設定値
3	80	EI	X	User Parameter : SAC-3:Container Identifier	使用しない。
4	80	EI	X	User Parameter : SAC-10:Carrier Identifier	使用しない。
5	80	NA	X	User Parameter : SAC-11:Position in Carrier	使用しない。
6	80	EI	X	User Parameter : SAC-13:Tray Identifier	使用しない。
7	80	NA	X	User Parameter : SAC-14:Position in Tray	使用しない。
8	250	CE	X	User Parameter : SAC-15:Location	使用しない。
9	80	EI	X	User Parameter : SAC-4: Primary (parent) Container Identifier	使用しない。

c) キャリア内の採取管の位置で検査依頼情報を照会する場合

SEQ	LEN	TYPE	Usage	ELEMENT NAME	設定値
1	60	CE	R	Message Query Name	「WOS_BY_RACK^ Work Order Step by Rack^IHELAW」とする。
2	32	ST	R	Query Tag	7.15 QPDフィールド定義参照。
3	80	EI	X	User Parameter : SAC-3:Container Identifier	使用しない。
4	80	EI	R	User Parameter : SAC-10:Carrier Identifier	照会対象の採取管保持キャリアの識別子を指定する。 (例) 12345
5	80	NA	R	User Parameter : SAC-11:Position in Carrier	照会対象の採取管保持キャリア内の位置を指定する。 (例) 3
6	80	EI	X	User Parameter : SAC-13:Tray Identifier	使用しない。
7	80	NA	X	User Parameter : SAC-14:Position in Tray	使用しない。
8	250	CE	RE	User Parameter : SAC-15:Location	照会対象の採取管保持キャリアの追加位置情報があれば指定する。
9	80	EI	X	User Parameter : SAC-4: Primary (parent) Container Identifier	使用しない。

d) トレイ内の採取管の位置で検査依頼情報を照会する場合

SEQ	LEN	TYPE	Usage	ELEMENT NAME	設定値
1	60	CE	R	Message Query Name	「WOS_BY_TRAY^ Work Order Step by Tray^IHELAW」とする。
2	32	ST	R	Query Tag	7.15 QPDフィールド定義参照。
3	80	EI	X	User Parameter : SAC-3:Container Identifier	使用しない。
4	80	EI	X	User Parameter : SAC-10:Carrier Identifier	使用しない。
5	80	NA	X	User Parameter : SAC-11:Position in Carrier	使用しない。
6	80	EI	R	User Parameter : SAC-13:Tray Identifier	照会対象の採取管保持トレイの識別子を指定する。 (例) 8523
7	80	NA	R	User Parameter : SAC-14:Position in Tray	照会対象の採取管保持トレイ内の位置を指定する。 (例) 1^8
8	250	CE	RE	User Parameter : SAC-15:Location	照会対象の採取管保持トレイの追加位置情報があれば指定する。(例) A-8
9	80	EI	X	User Parameter : SAC-4: Primary (parent) Container Identifier	使用しない。

e) 分注された採取管容器識別子で検査依頼情報を照会する場合

SEQ	LEN	TYPE	Usage	ELEMENT NAME	設定値
1	60	CE	R	Message Query Name	「WOS_BY_ISOLATE^ Work Order Step by Isolate^IHELAW」とする。
2	32	ST	R	Query Tag	7.15 QPDフィールド定義参照。
3	80	EI	R	User Parameter : SAC-3:Container Identifier	照会対象の分注された採取管容器の識別子を指定する。 (例) ISO1
4	80	EI	X	User Parameter : SAC-10:Carrier Identifier	使用しない。
5	80	NA	X	User Parameter : SAC-11:Position in Carrier	使用しない。
6	80	EI	X	User Parameter : SAC-13:Tray Identifier	使用しない。
7	80	NA	X	User Parameter : SAC-14:Position in Tray	使用しない。
8	250	CE	X	User Parameter : SAC-15:Location	使用しない。
9	80	EI	R	User Parameter : SAC-4: Primary (parent) Container Identifier	照会対象の採取管の分注元容器の識別子を指定する。 (例) 987654

- RCP-1は「I」(=Immediate)とする。
- RCP-3は「R^Real Time^HL70394」固定とする。

6.3.8 RSP 検査依頼情報の有無の応答メッセージ イベント(Q11) (IHE PaLM LAW プロファイル仕様)

本メッセージは、1.3.7QBP(Q11)メッセージに対する LIS/LAS の応答メッセージである。

LIS/LAS は分析装置に照会条件に合致するオーダの有無を応答する。

検査依頼情報は、6.1.3 OML(O33)メッセージにて送信する。

表6.3.8-1 RSP^Q11 検査依頼情報応答メッセージ

RSP^WOS^RSP_K11	Segment Pattern Response	Usage
MSH	Message Header	R
MSA	Message Acknowledgement	R
[ERR]	Error	C (R/X)
QAK	Query Acknowledgement	R
QPD	Query Parameter Definition Segment	R

- MSH-9は「RSP^K11^RSP_K11」とする。
- MSH-21は「LAB-27^IHE」とする。
- 応答時エラーが発生した場合はエラー(ERR)セグメントは必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントは、応答元のQBPメッセージのQPDセグメントと同じにする。
- QAK-3は、応答元のQBPメッセージのQPD-1と同じにする。

6.3.9 QBP ラベル情報照会メッセージ イベント(SLI)

ラベル情報照会メッセージ(SLI)は、LB(Label Broker/ラベル発行者)から LIP(Label Information Provider/ラベル発行指示)へラベル情報を照会するメッセージである。

表6.3.9-1 QBP^SLI ラベル情報照会メッセージ

QBP^SLI^QBP_Q11	Query By Parameter	Usage
MSH	Message Header	R
[{SFT}]	Software Segment	O

<u>QBP^SLI^QBP_Q11</u>	<u>Query By Parameter</u>	<u>Usage</u>
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
RCP	Response Control Parameters	R
[DSC]	Continuation Pointer	O

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- MSH-9は「QBP^SLI^QBP_Q11」とする。
- QPD-1は「SLI^Specimen Labeling Instructions^IHE_LABTF」とする。
- QPD-3の詳細は「7.15 QPD - query parameter definition 照会パラメータ定義 /QPD-3 User parameters 使用者パラメータ/b) メッセージ問合せ名 =SLI^Specimen Labeling Instructions^IHE_LABTF の場合」参照のこと
- QPD-1~8は下記の表を参照すること。

SEQ	LEN	TYPE	Usage	ELEMENT NAME	設定値
1	60	CE	R	Message Query Name	「SLI^Specimen Labeling Instructions^IHE_LABTF」とする。
2	32	ST	R	Query Tag	7.15 QPDフィールド定義参照。
3	80	CK	C	User Parameter : PID-3: Patient ID	照会対象の患者の識別子を指定する。
4	80	CX	C	User Parameter : PV1-19: Patient Visit Number	照会対象の患者の来院番号を指定する。
5	80	EI	C	User Parameter : ORC-4: Placer Group Number	照会対象の依頼者グループ番号を指定する。
6	80	EI	C	User Parameter : ORC-2: Placer Order Number	照会対象の依頼者オーダ番号を指定する。
7	80	EI	C	User Parameter : ORC-3: Filler Order Number	照会対象の実施者オーダ番号を指定する。
8	53	DR	C	User Parameter : Search Period	照会期間を指定する。

- RCP-1は"I" (=Immediate) 固定とする。値がない場合、デフォルト値は "I" とする。
- RCP-3は"R" (=Real Time) 固定とする。値がない場合、デフォルト値は "R" とする。

6.3.10 RSP ラベル情報応答メッセージ イベント(SLI)

ラベル情報応答メッセージ(SLI)は、ラベル情報照会メッセージ(SLI)に対して LIP(Label Information Provider)から LB(Label Broker)へラベル情報を応答するメッセージである。

表6.3-6 RSP^WOS 検査依頼情報応答メッセージ

<u>RSP^SLI^RSP_K11</u>	<u>Segment Pattern Response</u>	<u>Usage</u>
MSH	Message Header	R
[{SFT}]	Software Segment	O
MSA	Message Acknowledgement	R
[ERR]	Error	O
QAK	Query Acknowledgement	R
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
[--- PATIENT begin	C
PID	Patient Identification	R
PV1	Patient Visit	O
[{OBX}]	Observation related to the patient	O
{	--- SPECIMEN begin	R
SPM	Specimen	R

RSP^SLI^RSP K11	Segment Pattern Response	Usage
[[OBX]]	Observation related to specimen	O
[[SAC]]	Specimen Container	O
{	--- ORDER begin	R
ORC	Common Order	R
[[TQ1]]	Timing/Quantity	RE
[--- OBSERVATION REQUEST begin	O
OBR	Observation Request	R
[TCD]	Test Code Details	O
[[OBX]]	Observation Result	O
]	--- OBSERVATION REQUEST end	
}	--- ORDER end	
}	--- SPECIMEN end	
]	--- PATIENT end	
[DSC]	Continuation Pointer	

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- メッセージ応答(MSA)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 応答時エラーが発生した場合はエラー(ERR)セグメントは必須である。
- 照会応答(QAK)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須であり、QBPメッセージで記載されたものをそのまま記載する。
- MSH-9は「RSP^SLI^RSP_K11」とする。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントは、QBPメッセージ中の照会パラメータ定義(QPD)セグメントと同様の取り扱いとする。
- RCP-1は"T"(=Immediate) 固定とする。値がない場合、デフォルト値は "T" とする。
- RCP-3は"R"(=Real Time) 固定とする。値がない場合、デフォルト値は "R" とする。
- IHE-Jのコネクタソンにおいては、識別のためPID-3 (患者ID (内部ID))、PID-5 (患者氏名) を必須とする。
- 来院情報(PV1)セグメントは、基本仕様はOML(O33)メッセージの来院情報(PV1)セグメントの取り扱いに準じる。
- 検体セグメント(SPM)は、基本仕様はOML(O33)メッセージの検体セグメント(SPM)の取り扱いに準じる。
- 共通オーダー(ORC)セグメントは、基本仕様はOML(O33)メッセージの共通オーダー(ORC)セグメントの取り扱いに準じる。
- タイミング/数量(TQ1)セグメントは、基本仕様はOML(O33)メッセージのタイミング/数量(TQ1)セグメントの取り扱いに準じる。
- 検査要求(OBR)セグメントは、基本仕様はOML(O33)メッセージの検査要求(OBR)セグメントの取り扱いに準じる。
- LIPはLBからのクエリパラメータを解析し、施設の取り決めによって定められた適当な情報を構成してただちにLBに送信すべきである。

6.4 患者情報通知(ADT/ACK)

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「6. メッセージ構文」を参照のこと。

7. 関連セグメント

セグメントの解説の最初にセグメント属性表を設けている。詳細は第 5 章 関連情報詳細の 5.2 フィールドならびにセグメント属性表を参照。以下にその要約を示す。

SEQ : セグメント ID に続くフィールド連番

LEN : フィールドの最大長

DT : フィールドのデータ型 (データ型の解説を参照)

OPT/JAHIS : フィールドにおける値の省略の可否 (JAHIS は本規約での取り扱い)

R - 必須

RE - 存在すれば必須 (送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する)

C - トリガーイベントおよびその他のフィールド条件による

O - オプション

X - 本規約では使用しない

B - HL7 の旧バージョンとの互換性のために残されているフィールド

N - 使用しない (関係者の合意のもとに関係システム内限定で使用可)

W - 取り消し

RP# : フィールド成分の反復の可否

N - 反復不可

Y - 反復可、反復回数の制限がある場合続く数値で指定 (整数) 反復数の上限

ITEM# : HL7 規約全体で一意に付けられたフィールド番号

ELEMENT NAME : フィールドの名称

* : JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「7. 関連セグメント詳細」と差異があることを示す

◇ : HL7 V2.5 と差異があることを示す

7.1 AL1 - Patient Allergy Information Segment 患者アレルギー情報 セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.2 ERR - Error Segment エラー情報セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.3 EVN - Event Type Segment 事象型セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.4 IN1 - Insurance Segment 保険セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.5 MSA - Message Acknowledgment Segment メッセージ応答セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.6 MSH - Message Header Segment メッセージ・ヘッダー・セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「7.関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.7 NTE - Notes and Comments Segment 注釈コメントセグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.8 OBR - Observation Request Segment 検査要求セグメント

概説 (ASTM E1238 から抜粋)

検査要求(OBR)セグメントは、診断、検査、身体所見あるいはアセスメントなどを要求するオーダに特有な情報を伝送する。

検査要求セグメントは、診断サービス (例えば検体検査、EKG) あるいは臨床観察 (例えばバイタルサイン、身体検査) に対する特定の要求の属性を定義する。依頼者があるまとまった検査を要求する場合、必ずオーダセグメントが含まれる。検体検査の場合、通常はオーダセグメント内の情報が1つの検体に適用される。しかし、オーダされる各々の検査と検体には1対1の関係があるわけではない。互いに異なる検査群が1つの検体に対し実行できるとしても、それぞれの検査は通常、自分専用のオーダセグメントを必要とする。この場合、その検体を扱うそれぞれのオーダセグメント内にその検体情報を複写しなければならない。その他の診断検査 (例えば胸部X線検査) では通常、個々の診断検査ごとに1つの独立したオーダセグメントが生成される。

単一のオーダセグメントにより複数の検査セットを依頼することができるが、検査実施者は、個別に処理できる検査セット (電解質、CBC、バイタルサインなど) ごとに、別のオーダセグメントを生成する。検査の報告に際し、検査実施サービスは、オリジナルのオーダセグメントから新規オーダセグメントそれぞれに適切なオーダ (検体) 情報を複写し、1つ1つの「オーダ」セグメントが各々の検査セットの「ヘッダ」として依頼者に返信される。

例えば血液検体に溶血が見られたために、依頼された検査群を実行できない場合、オーダセグメントは、X (検査が実行されなかったことを示す) という値の OBR-25 結果状態 とともに依頼者に返される。この場合、検査セグメントは伝送されない。(日本では「測定不能」等の結果を伝送することが多い。)

検査がうまく終了した場合、依頼者に返ってくるメッセージには、オーダセグメント (OBR) に引き続き、そのオーダにより生成された検査に対する検査セグメント (OBX) が含まれる (第7章を参照)。そのような検査セグメントの数は、検査の過程で実施されたそれぞれの測定の数によって異なる。

依頼者は、依頼とともに OBX セグメントを送信し、結果の解釈に必要な臨床データを実施サービスに提供することができる

HL7属性表 - OBR - Observation Request 検査要求

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL #	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	C			Set ID - Observation Request ID設定 - 検査要求
2	22	EI	C	C			Placer Order Number 依頼者オーダ番号
3	22	EI	C	O			Filler Order Number + 実施者オーダ番号
4	250	CE	R	R			Universal Service ID 検査項目ID
5	2	ID	B	B			Priority 優先度
6	26	TS	B	B			Requested Date/time 要求日時
7	26	TS	C	C			Observation Date/Time # 検査日時
8	26	TS	O	O			Observation End Date/Time # 検査終了日時
9	20	CQ	O	O			Collection Volume * 採取量
10	250	XCN	O	O	Y		Collector Identifier * 採取者識別子
11	1	ID	O	O		0065	Specimen Action Code * 検体処置コード
12	250	CE	O	O			Danger Code 危険(検体)コード
13	300	ST	O	O			Relevant Clinical Info. 関連臨床情報
14	26	TS	B	B			Specimen Received Date/Time * 検体受理日時
15	300	SPS	B	B			Specimen Source * 検査材料
16	250	XCN	O	O	Y		Ordering Provider 依頼者
17	250	XTN	O	O	Y/2		Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号
18	60	ST	O	O			Placer Field 1 依頼者フィールド1
19	60	ST	O	O			Placer Field 2 依頼者フィールド2
20	60	ST	O	O			Filler Field 1 + 実施者フィールド1
21	60	ST	O	O			Filler Field 2 + 実施者フィールド2
22	26	TS	C	O			Results Rpt/Status Chng - Date/Time+ 結果報告/状態変更-日時
23	40	MOC	O	O			Charge to Practice + 課金
24	10	ID	O	O		0074	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID
25	1	ID	C	C		0123	Result Status + 結果状態
26	400	PRL	O	O			Parent Result + 親結果

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL #	ELEMENT NAME
27	200	TQ	B	B	Y		Quantity/Timing 数量/タイミング
28	250	XCN	O	O	Y/5		Result Copies To 結果配布先
29	200	EIP	O	O			Parent Number * 親番号
30	20	ID	O	O		0124	Transportation Mode 患者搬送モード
31	250	CE	O	O	Y		Reason for Study 検査理由
32	200	NDL	O	O			Principal Result Interpreter + 結果判定責任者
33	200	NDL	O	O	Y		Assistant Result Interpreter + 結果判定アシスタント
34	200	NDL	O	O	Y		Technician + 医療技術者
35	200	NDL	O	N	Y		Transcriptionist + 口述記録者
36	26	TS	O	O			Scheduled Date/Time + 予定日時
37	4	NM	O	O			Number of Sample Containers * 検体容器数
38	250	CE	O	O	Y		Transport Logistics of Collected Sample * 採取検体の搬送
39	250	CE	O	O	Y		Collector's Comment * 採取者のコメント
40	250	CE	O	O			Transport Arrangement Responsibility 搬送計画責任者
41	30	ID	O	O		0224	Transport Arranged 搬送計画
42	1	ID	O	O		0225	Escort Required 介添の要否
43	250	CE	O	O	Y		Planned Patient Transport Comment患者搬送に関するコメント
44	250	CE	O	O		0088	Procedure Code プロシジャコード
45	250	CE	O	O	Y	0340	Procedure Code Modifier プロシジャコード修飾子
46	250	CE	O	O	Y		Placer Supplemental Service Information依頼者発行の追加サービス情報
47	250	CE	O	O	Y	0411	Filler Supplemental Service Information 実施発行の追加サービス情報
48	250	CWE	C	C		0476	Medically Necessary Duplicate Procedure Reason 医学的に必要な重複プロシジャの理由
49	2	IS	O	O		0507	Result Handling 結果ハンドリング

OBR フィールド定義

このセグメント中の短剣符(+)のついた項目は、依頼者ではなく、実施者により生成される。それらは、OBRセグメントが報告書の一部として返されるとき、必要に応じて実施者によって設定される。

星印(*)の付いたフィールドは検体検査のときのみ有意である。依頼者が検体を取得する場合は、依頼者がこれらのフィールドを完成させる。実施者が検体を取得する場合は、実施者がこれらのフィールドを完成させる。

OBR-7検査日時 および **OBR-8検査終了日時** (フラグを#に設定) は生体関連時間である。検体検査の場合、この2つの情報は検体採取の開始と終了を表す。患者を直接検査する (BPや胸部X線など) 場合は、検査の開始・終了時刻を表す。

これらの日時はSPMセグメント (SPM-17-検体採取日時) にも存在する。この様にHL7V2.5では、各検体についての情報を記載するSPMセグメントや、オーダ全体のタイミングについての情報を記載するTQ1セグメントが追加されたため、OBR上に存在していた検体やタイミングのフィールドについては、同一メッセージにSPMセグメントやTQ1セグメントなどが存在する場合そちらのフィールドを優先する。

OBR-1 Set ID - Observation Request セットID - OBR (SI) 00237

定義: 最初の送信オーダには通し番号1が割り当てられ、2番目のオーダには通し番号2が割り当てられるものとする。3番目以降同様。

OBR-2 Placer Order Number 依頼者オーダ番号 (EI) 00216

成分:<entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義: ORC-2-依頼者オーダ番号に同じ。依頼側検体番号など。

第1成分の文字列で個々のオーダを識別する。これは依頼者(依頼アプリケーション)によって割り当てられ、ある依頼アプリケーションから送信されるすべてのオーダの中から特定のオーダを一意に識別する。第2成分以降は依頼者アプリケーションIDを示す。

OBR-2-依頼者オーダ番号はORC-2と同一である。

OBR-3 Filler Order Number 実施者オーダ番号 (EI) 00217

成分:<entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：オーダおよびその関連する検査に対する永久的な識別子。LIS 側実施番号など。

第1成分は個々のオーダを識別する文字列である。これは実施(受信)アプリケーションによって割り当てられ、ある実施アプリケーション(例えば、臨床生理検査室)からのすべてのオーダの中から特定のオーダを一意に識別する。第2成分以降は実施者アプリケーションIDを示す。OBR-3-実施者オーダ番号はORC-3と同一である。

OBR-4 Universal Service ID 検査項目 ID (CE) 00238

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

定義：要求された検査/試験/セットの識別子コード。このコードは、ローカルコードまたは標準コードのいずれか、もしくはその両方を基準に設定できる。標準コードを使用することが望ましい。

OBR-5 Priority 優先度 (ID) 00239

定義：このフィールドは、HL7 V2.4以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。

OBR-6 Requested Date/Time 要求日時 (TS) 00240

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、HL7 V2.4以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。

OBR-7 Observation Date/Time 検査/採取日時 (TS) 00241

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：臨床検査関連日時。患者を直接検査した場合は、検査を実施した実際の日時である。検体関連検査の場合、このフィールドは検体を採取した日時を表すものとする。これは結果専用フィールドである。ただし、依頼者あるいは第三者が検体をすでに採取している場合はこの限りでない。又、メッセージ上にSPMセグメントが存在する場合、本情報はSPMセグメントにて記述するものとする。

IHE PaLM Technical Framework ではSPM-17の第一要素と同じものとしている。

OBR-8 Observation End Date/Time 検査/採取終了日時 (TS) 00242

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：検査あるいは経時検体採取の終了日時。検査が長時間にわたって実施される場合、検査期間の終了時期を表す。検査が瞬時に終わる場合は、このフィールドはnullになる。これは結果フィールドである。ただし、依頼者、あるいは実施者以外の第三者がすでに検体を採取してしまっている場合はこの限りでない。又、メッセージ上にSPMセグメントが存在する場合、本情報はSPMセグメントにて記述するものとする。

OBR-9 Collection Volume 採取量 (CQ) 00243

成分:<Quantity (NM)> ^ <Units (CE)>

副成分 for Units (CE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：検体検査の場合検体量。デフォルト単位はMLである。

これは結果専用フィールドである。ただし、依頼者あるいは第三者が検体をすでに採取している場合はこの限りでない。

検体検査の場合、検査項目の特性により採取量の明示が必須の場合がある。この場合、それぞれの検査項目に指定された採取量の明示を行うこと。例えば、24時間蓄尿であれば、採取の如何にかかわらず1日量を記載すること。

メッセージ上にSPMセグメントが存在する場合、本情報はSPMセグメントにて記述するものとする。

【臨床検査】単位は標準化された単位体系の使用が望まれる。

IHE PaLM Technical Framework では、UCUMの使用を推奨している。

OBR-10 Collector Identifier 採取者 ID (XCN) 00244

成分:<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN):<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE):<identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> & <alternate text (ST)> & <name of alternate coding system (ID)>

副成分 for Name Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：検体検査が要求された場合、このフィールドは、検体を採取した個人、部門あるいは施設を識別する。名前もしくはID コード(あるいはその両方)を指定できる。

OBR-11 Specimen Action Code 検体処置コード (ID) 00245

定義：このオーダに伴ってあるいは先行して実施される検体処置。検体に関する一般処置は、このフィールドに付随する ORC セグメント内のオーダ制御コードにより示されるが、このフィールドで一般処置をさらに詳細に規定する。例えば、新規オーダ(ORC – “NW”)が検査室へ送られた場合、検査室で検体を採取すべきかどうか(“L” あるいは “O”)がこのフィールドによって伝えられる。HL7 表 0065 – 検体処置コードを参照。

HL7表 0065 - Specimen action code 検体処置コード

Value	Description
A	Add ordered tests to the existing specimen 依頼検査を既存の検体に追加する
G	Generated order; reflex order 生成オーダ ; 反映オーダ
L	Lab to obtain specimen from patient 検査室が患者から検体を採取する
O	Specimen obtained by service other than Lab 検査室以外のサービスによる検体採取
P	Pending specimen; Order sent prior to delivery 検体配送待ち ; 採取以前に依頼されたオーダ
R	Revised order 改訂されたオーダ
S	Schedule the tests specified below 指定した検査をスケジュールする

OBR-12 Danger Code 危険(検体)コード (CE) 00535

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

定義：このフィールドは（例えば陽性結核患者、肝炎患者の血液など）危険であることが周知、あるいは疑われる患者、検体を示すコードかテキスト、あるいはその両方を含む。コードとテキストのどちらかあるいはいずれも指定しなくてもよいが、コードは必ず第1成分に指定し、任意のフリーテキストは第2成分に指定する。したがって、コードだけを省略する場合、成分デリミタをフリーテキストの前に指定しなければならない。

OBR-13 Relevant Clinical Information 関連臨床情報 (ST) 00247

定義：このフィールドには、患者あるいは検体に関する追加臨床情報が記述される。このフィールドは、検査診断が要求された場合、疑われる病状や臨床所見を報告するのに使用する。例えば、血中ガスの二酸化炭素量、パップ試験時の月経周期、および検査診断に影響を及ぼすその他の条件を報告する場合など。

ただし、オーダセグメントの直後に一連のOBXセグメントを追加することで、より構造化された形式でこの種の情報を送ることが可能である。したがって、身体情報(身長・体重やバイタルサインなど)、検査情報、投薬情報などはOBXセグメントを利用することを推奨する。

OBR-14 Specimen Received Date/Time 検体受領日時 (TS) 00248

定義：このフィールドは、HL7 V2.4以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。本情報はSPMセグメント(SPM-18 検体受領日時)にて記述される。

OBR-15 Specimen Source 検査材料 (SPS) 00249

定義：このフィールドは、HL7 V2.4以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。HL7 V2.5では、SPMセグメントを使用する。

OBR-16 Ordering Provider 依頼者 (XCN) 00226

成分:<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN):<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE):<identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> & <alternate text (ST)> & <name of alternate coding system (ID)>

副成分 for Name Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text

(ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>
 定義：検査依頼者のID。IDコードあるいは名前、またはその両方を指定できる。これはORC-12-依頼者と同じである。

OBR-17 Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番 (XTN) 00250

成分:<DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：このフィールドは状態あるいは結果を報告する際の電話番号を含む。標準フォーマットを使用し、可能であれば、内線またはポケットベル番号（あるいはその両方）も併せて指定する。

OBR-18 Placer Field #1 依頼者フィールド#1 (ST) 00251

定義：このフィールドはユーザフィールド#1である。依頼者によって送られたテキストが、結果とともに返される。

OBR-19 Placer Field #2 依頼者フィールド#2 (ST) 00252

定義：このフィールドは依頼者フィールド#1と同様である。

OBR-20 Filler Field #1 実施者フィールド#1 (ST) 00253

定義：このフィールドは実施者（診断サービス）により任意の使用目的に定義可能である。

OBR-21 Filler Field #2 実施者フィールド#2 (ST) 00254

定義：このフィールドは実施者フィールド#1と同様である。

OBR-22 Results Rpt/Status Cheng - Date/Time 結果報告／状態変更一日時 (TS) 00255

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：結果の報告日時、あるいは状態の変更日時。このフィールドでは、結果を報告書に書込み・発行した日時を示す。あるいはオーダ状態に定義にされたような状態が入力・変更された日時を示す。通常、依頼側は最後に結果を受信した日時(前回更新日)より後で報告された結果だけ入力すべきである。(電文発信日ではない)

OBR-23 Charge To Practice 課金 (MOC) 00256

成分:<Monetary Amount (MO)> ^ <Charge Code (CE)>

副成分 for Monetary Amount (MO):<Quantity (NM)> & <Denomination (ID)>

副成分 for Charge Code (CE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：適用可能な場合、実行された検査の為のオーダ全体の料金である。HISは検査項目から課金情報を生成する。

【日本語見直し版】

定義：このフィールドは適用可能な場合には、実施された検査についてオーダ本体に課せられる金額である。第1成分にはドル金額（実施者が知っている場合）を指定する。第2成分には課金コード（実施者が知っている場合）を指定する（結果専用）。

OBR-24 Diagnostic Serv Sect ID 診断サービス部門ID (ID) 00257

定義：診断を実施した診断サービス部門。検査が外部サービスによって実施された場合、そのサービスのIDがここに記録される。採りうる値はHL7表0074-診断サービス部門ID-を参照。

HL7表 0074 - Diagnostic service section ID 診断サービス部門ID

Value	Description	Value	Description
AU	Audiology	OUS	OB Ultrasound
BG	Blood gases	OT	Occupational Therapy
BLB	Blood bank	OTH	Other
CUS	Cardiac Ultrasound	OSL	Outside Lab
CTH	Cardiac catheterization	PHR	Pharmacy
CT	CAT scan	PT	Physical Therapy
CH	Chemistry	PHY	Physician (Hx. Dx, admission note, etc.)

Value	Description	Value	Description
CP	Cytopathology	PF	Pulmonary function
EC	Electrocardiac (e.g., EKG, EEC, Holter)	RAD	Radiology
EN	Electroneuro (EEG, EMG, EP, PSG)	RX	Radiograph
HM	Hematology	RUS	Radiology ultrasound
ICU	Bedside ICU Monitoring	RC	Respiratory Care (therapy)
IMM	Immunology	RT	Radiation therapy
LAB	Laboratory	SR	Serology
MB	Microbiology	SP	Surgical Pathology
MCB	Mycobacteriology	TX	Toxicology
MYC	Mycology	VUS	Vascular Ultrasound
NMS	Nuclear medicine scan	VR	Virology
NMR	Nuclear magnetic resonance	XRC	Cineradiograph
NRS	Nursing service measures		

OBR-25 Result Status 結果状態 (ID) 00258

定義：このフィールドはこのオーダの結果の状態を含む。この条件付きフィールドは、OBR が報告メッセージに含まれるときはいつでも必須となる。最初のオーダの一部としては必須ではない。各結果の状態が必要な場合、OBX-11—検査結果状態を使用することができる。取り得る値はHL7 表 0123—結果状態を参照。

HL7表 0123 - Result status 結果状態

Value	Description
O	Order received; specimen not yet received オーダ受信；検体未到着
I	No results available; specimen received, procedure incomplete 結果無し；検体受領済、手続き未完了
S	No results available; procedure scheduled, but not done 結果無効結果利用不可；手続き予定済だが未実施
A	Some, but not all, results available 一部（すべてではない）の結果利用可
P	Preliminary: A verified early result is available, final results not yet obtained 予備的；検証された初期結果利用可、最終結果未取得
C	Correction to results 結果の訂正
R	Results stored; not yet verified 結果保存済；未検証
F	Final results; results stored and verified. Can only be changed with a corrected result. 最終結果；結果保存済、検証済。訂正結果とのみ書き替え可能
X	No results available; Order canceled. 結果利用不可；オーダ取り消し
Y	No order on record for this test. (Used only on queries) この検査のオーダレコードなし（照会でのみ使用される）
Z	No record of this patient. (Used only on queries) この患者のレコードなし（照会でのみ使用される）

到着確認時 'I'、部分結果報告時 'A'、未承認結果報告時 'R'、最終結果報告時 'F' とする

OBR-26 Parent Result 親結果 (PRL) 00259

Component: <OBX-3-observation identifier of parent result (CE)> ^ <OBX-4-sub-ID of parent result(ST)> ^ <OBX-5-observation results from parent (*)>

副成分 for Parent Observation Identifier (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：他のタイプの関係（例えば毒物学）を利用可能にするために定義されたフィールドである。この情報は重要であり、OBR-29—親内の情報と組み合わせると、このオーダに関する親結果のOBX セグメントを一意的に識別する。親結果内のOBX セグメント値は、この検査セットが報告する生物種あるいは化学種を示す。例えば、現在の検査セットが抗菌剤の感受性検査である場合、OBX により特定される親結果には、感受性検査の対象となる微生物を特定する結果が含まれている。親結果内の生物名が最終的に決定される前にいくつかの変遷をたどることがあるので、この間接的な関係が好まれている。

第3成分は、親結果によって直接識別される微生物名を記録するのに使用することができる。この場合の生物は、親培養で識別されているとおりに識別すべきである。

我々は、このフィールドが親から結果フィールド全体を引き継ぐとは限らないことを強調する。それは、識別される生物種または化学種のテキスト名のみを表す。このフィールドは、明白な検査ID および副ID を生成することができないシステムのため、親結果にリンクする方法を単に提供するために含まれている。

このフィールドが存在するのは、親結果がOBR-29—親によって識別され、親が多くの結果のそれぞれに対して子オーダを発生させる場合に限る。（このリンクに関する詳細については第7章を参照のこと。）

標準的な検査結果セグメント (OBX) を使用してこの情報を伝達する方法もある。生物が複数存在する場合、OBX-4 検査サブID で複数の生物種から個々を識別する。この場合、サブ ID N を持つ最初の OBX は、N 番目の微生物を識別する値を持つ。また、サブ ID N を持つ後続の OBX はそれぞれ、この生物について指定された感受性検査の感受性結果を含む。

OBR-27 Quantity/Timing 数量/タイミング (TQ) 00221

定義：このフィールドは、HL7 V2.4 以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。TQ1 セグメントを参照のこと。

このフィールドは1回のサービスで施すサービスの数、そのサービスの繰り返し数に関する情報を含んでいる。これにより要求の継続時間が決まる。

OBR-28 Result Copies To 結果配布先 (XCN) 00260

成分:<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN):<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for Name Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、結果のコピーを受け取る予定である人々を識別する。現場の取り決めによって、ID 番号あるいは名前のいずれかを省略してもよい。

OBR-29 Parent Number 親番号 (EIP) 00261

成分:<Placer Assigned Identifier (EI)> ^ <Filler Assigned Identifier (EI)>

副成分 for Placer Assigned Identifier (EI):<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Filler Assigned Identifier (EI):<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは ORC-8 親と同一である。親子関係が存在する場合、このフィールドにより子供をその親に関連づける。例えば、前回の検査によって生成した検査（例えば血液培養で発生

した抗菌感受性) では、このフィールドに親 (血液培養) の実施者オーダ番号を記録する必要がある。オーダが子オーダの場合には、このフィールドは必須になる。

OBR-30 Transportation Mode 患者搬送モード (ID) 00262

定義: 適用可能な場合、患者を搬送するかどうか(あるいは移動方法)。取り得る値は HL7 表 0124—患者移動モードを参照。

HL7表 0124 - Transportation Mode 患者移動モード

Value	Description
CART	Cart - patient travels on cart or gurney 患者はカートまたは担架で移動する
PORT	The examining device goes to patient's location 検査装置が患者のもとへ移動する
WALK	Patient walks to diagnostic service 患者は歩行により移動する
WHLC	Wheelchair 車いすを使用する

OBR-31 Reason For Study 検査理由 (CE) 00263

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>
 定義: 適切な検査を実施するのに検査理由を記述する。

OBR-32 Principal Result Interpreter 結果判定責任者 (NDL) 00264

成分: <Name (CNN)> ^ <Start Date/time (TS)> ^ <End Date/time (TS)> ^ <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)>
 副成分 for Name (CNN): <ID Number (ST)> & <Family Name (ST)> & <Given Name (ST)> & <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> & <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> & <Prefix (e.g., DR) (ST)> & <Degree (e.g., MD (IS))> & <Source Table (IS)> & <Assigning Authority - Namespace ID (IS)> & <Assigning Authority - Universal ID (ST)> & <Assigning Authority Universal ID Type (ID)>
 副成分 for Start Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 副成分 for End Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 副成分 for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>
 定義: このフィールドは検査結果を判定し、報告書の内容に責任を負う内科医またはその他の臨床医を識別する。

OBR-33 Assistant Result Interpreter 結果判定アシスタント (NDL) 00265

成分: <Name (CNN)> ^ <Start Date/time (TS)> ^ <End Date/time (TS)> ^ <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)>
 副成分 for Name (CNN): <ID Number (ST)> & <Family Name (ST)> & <Given Name (ST)> & <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> & <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> & <Prefix (e.g., DR) (ST)> & <Degree (e.g., MD (IS))> & <Source Table (IS)> & <Assigning Authority - Namespace ID (IS)> & <Assigning Authority - Universal ID (ST)> & <Assigning Authority - Universal ID Type (ID)>
 副成分 for Start Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 副成分 for End Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 副成分 for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>
 定義: このフィールドはこの検査結果の判定を支援した臨床立会者を識別する。

OBR-34 Technician 医療技術者 (NDL) 00266

成分:<Name (CNN)> ^ <Start Date/time (TS)> ^ <End Date/time (TS)> ^ <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)>

副成分 for Name (CNN):<ID Number (ST)> & <Family Name (ST)> & <Given Name (ST)> & <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> & <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> & <Prefix (e.g., DR) (ST)> & <Degree (e.g., MD (IS))> & <Source Table (IS)> & <Assigning Authority - Namespace ID (IS)> & <Assigning Authority - Universal ID (ST)> & <Assigning Authority - Universal ID Type (ID)>

副成分 for Start Date/time (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for End Date/time (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは実施担当臨床技師を識別する。

OBR-35 Transcriptionist 口述記録者(NDL) 00267

成分:<Name (CNN)> ^ <Start Date/time (TS)> ^ <End Date/time (TS)> ^ <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)>

副成分 for Name (CNN):<ID Number (ST)> & <Family Name (ST)> & <Given Name (ST)> & <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> & <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> & <Prefix (e.g., DR) (ST)> & <Degree (e.g., MD (IS))> & <Source Table (IS)> & <Assigning Authority - Namespace ID (IS)> & <Assigning Authority - Universal ID (ST)> & <Assigning Authority - Universal ID Type (ID)>

副成分 for Start Date/time (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for End Date/time (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは報告書の転記者を識別する。

OBR-36 Scheduled - Date/Time スケジュール日時 (TS) 00268

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：実施者がスケジュールした検査日時。このフィールドは、ある特定の検査をスケジュールして欲しいという要求に対する結果を表しており、これによりスケジュールされた検査日時を依頼者に通知することができる(結果専用)。

OBR-37 Number Of Sample Containers 検体容器数 (NM) 01028

定義：受領検体容器の数。検体受領の検証のために使用、オーダの全検体数とは異なるかもしれない。同一検体・同一採取容器での採取量オーバーフロー時の採取容器本数を記述する。記述なしの場合を含め、通常は1と解釈する。本情報はSPMセグメントにて記述されるべきである。

OBR-38 Transport Logistics Of Collected Sample 採取検体搬送 (CE) 01029

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

定義：このフィールドは標本が診断サービスの提供者に達する手段を示している。この情報は、検査室が予定の立案または結果の解釈をするのを支援するためにある。可能な回答：定期便のトラック、公的な郵便サービスなど。もしコード化されるならば、使用者定義表が必要である。

OBR-39 Collector's Comment 採取者のコメント (CE) 01030

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

定義：このフィールドは、標本に関係した付加的なコメントを報告するためにある。もしコード化されていれば、使用者定義表が必要である。もしフリーテキストのみが報告されるならば、それは第2成分に置かれ、第1成分は null である。例えば、「斑状出血と静脈穿刺の後では、凝固は困難」。

OBR-40 Transport Arrangement Responsibility 搬送計画責任者 (CE) 01031

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

定義：このフィールドは、計画された診断サービスへの搬送の手配で誰が責任を負うかの標識である。例：依頼者、提供者、患者。もしコード化されるならば、使用者定義表が必要である。

OBR-41 Transport Arranged 搬送計画 (ID) 01032

定義：検体搬送手配の結果状態。

HL7表 0224 - Transport Arranged 搬送調整

Value	Description
A	Arranged 手配済み
N	Not Arranged 未手配
U	Unknown 不明

OBR-42 Escort Required 介添の要否 (ID) 01033

定義：このフィールドは、患者が診断サービス部門に来るのに介添が必要かどうかの標識である。

注記：介添要求の性質は OBR-43 患者搬送に関するコメントの中で述べられるべきである。有効な値については HL7 表 0225 - 介添の要否 を参照のこと。

HL7表 0225 - Escort Required 介添の要否

Value	Description
R	Required 要求された
N	Not Required 要求されなかった
U	Unknown 不明

OBR-43 Planned Patient Transport Comment 患者搬送に関するコメント (CE) 01034

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

定義：このフィールドは、診断サービス部門への患者の移送のための特別な要求についてのコードまたはフリーテキストのコメントである。もしコード化されれば、使用者定義表が必要である。

OBR-44 Procedure Code プロシジャコード (CE) 00393

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

定義：このフィールドは、プロシジャに割り当てられた一意な識別子を含んでおり、もしあれば、課金と関連がある。推奨値については、使用者定義表 0088 - プロシジャコード を参照のこと。このフィールドは臨床及び関連システムとの互換性のために CE データ型である。

使用者定義表 0088 - Procedure Code 手続きコード

Value	Description	Comment
	no suggested values 推奨値なし	

OBR-45 Procedure Code Modifier プロシジャコード修飾子 (CE) 01316

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

定義：このフィールドは OBR-44 において報告されたプロシジャコードに適用できればプロシジャコード修飾子を含む。プロシジャコード修飾子は、HCFA や AMA のような監督官庁によって定義される。多重修飾子が報告される場合もある。推奨値は使用者定義表 0340 - Procedure code modifier 手続きコード修飾子を参照。

使用者定義表 0340 - Procedure Code Modifier 手続きコード修飾子

Value	Description	Comment
	no suggested values 推奨値なし	

OBR-46 Placer Supplemental Service Information 依頼者発行の追加サービス情報 (CE) 01474

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

定義：このフィールドは、OBR-4 汎用サービス ID で示される汎用的な処理コードのための依頼者から実施者に送付される補助サービス情報を含んでいる。このフィールドは、OBR セグメントの他の個別のフィールドでは得られないオーダ詳細情報を提供するのに使われるであろう。複数の補助サービス情報の要素を報告することができる。使用者定義表 0411 - 補助サービス情報値を参照のこと。

このフィールドは、検査が右部にされるべきか左部にされるべきか、例えば検査部位が腕のどこかになされるがオーダマスタファイルでは右腕か左腕か区別されない場合とか、(オーダマスタファイルがそのような区別を行わない時に)検査を実施する際に造影すべきか否かかというような詳細情報を記述するのに使われる。

OBR-47 Filler Supplemental Service Information 実施者発行の追加サービス情報 (CE) 01475

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

定義：このフィールドは、OBR-4 汎用サービス ID で報告されている処理コードのための実施者から依頼者に送付される補助サービス情報を含んでいる。このフィールドは、OBR セグメントの他の個別のフィールドでは得られないオーダ詳細情報を報告するのに使われるであろう。実施者システムがこのフィールドを使って実際に実施した内容を報告するケースでオーダが修正されない限りにおいては、典型的には、それは OBR-46 - 依頼者発行の追加サービス情報で実施者システムへ送られた情報と同じ情報を反映するであろう。複数の補助サービス情報の要素を報告することができる。使用者定義表 0411 - 追加サービス保障値を参照のこと。

このフィールドは、検査が右部にされるべきか左部にされるべきか、例えば検査部位が腕のどこかになされるがオーダマスタファイルでは右腕か左腕か区別されない場合とか、(オーダマスタファイルがそのような区別を行わない時に)検査を実施する際に造影すべきか否かかというような詳細情報を記述するのに使われる。

使用者定義表0411 - Supplemental service information values 補助サービス情報値

Value	Description
	no suggested values 推奨値なし

OBR-48 Medically Necessary Duplicate Procedure Reason 医学的に必要な重複プロシジャの理由 (CWE) 01646

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、OBR-44 - プロシジャコード 内のプロシジャが、同じ患者に対して同じサービス日に既にオーダあるいは課金されたものと重複しており、医学的に必要と判断された理由を文書化する目的で使用される。理由は、コード化してもよいしフリーテキスト形式で入力してもよい。

このフィールドは、重複したプロシジャを誰に請求するかの会計システム情報を提供することを意図している。

推奨値に関しては、使用者定義表 0476—医学的に必要な重複プロシジャ理由 を参照のこと。

使用者定義表 0476 - Medically Necessary Duplicate Procedure Reason 医学的に必要な重複手続きの理由

Value	Description	Comment
	no suggested values 推奨値なし	

OBR-49 Result Handling 結果ハンドリング (IS) 01647

定義：結果のハンドリングに関する情報を伝達する。例えば、あるオーダでは、結果（例えばX線フィルム）を要求者に返すために患者に渡すよう指定するかもしれない。推奨値に関しては、使用者定義表 0507 観察結果ハンドリング を参照のこと。仮にこのフィールドが値を持たない場合、通常のハンドリングを暗黙的に意味する。

使用者定義表 0507 - Observation Result Handling 観察結果ハンドリング

Value	Description	Comment
F	患者へのフィルム提供	
N	準備が出来次第通知	

7.9 OBX - Observation /Result Segment 検査結果セグメント

OBXセグメントは検査結果を転送するのに使用される。OBXセグメントはCDAドキュメントやDICOMイメージのようなカプセル化されたデータも含むことができる。

その主な機能は報告メッセージで検査関連情報を伝達することである。しかし、OBXを検査オーダに含めることもできる。この場合、OBXは実施者が作成する検査の解釈のために実施者が必要とする臨床情報を伝送する。例えば、AST、ALT、HBs抗体といった項目だけでなく、身長、体重といった属性情報を報告する場合にOBXが必要である。検査結果コメントをセットしたい場合、検査結果コメントの扱いを参照すること。例えば、血中酸素濃度を血液ガス検査室へオーダする場合に呼吸酸素を報告するのにOBXは必要であり、あるいはパニコロウ塗末試験を細胞診検査室へオーダする場合に含まれているべき月経周期情報を報告するためにもOBXは必要である。またOBRで多項目検査の内容が不明確な場合、OBXで個々の検査項目を指示することも可能である。例えばOBRで肝炎セット、OBXでAST、ALT、HBs抗体や、OBRで100g糖負荷試験、OBXで血糖前値、血糖30分値など。また、検査結果コメントをセットしたい場合、検査結果コメントの扱いを参照すること。

HL7属性表—OBX—Observation/Result Segment 検査結果セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	O			Set ID - OBX セットID
2	3	ID	C	C		0125	Value Type 値型
3	250	CWE	R	R			Observation Identifier 検査項目
4	20	ST	C	C			Observation Sub-ID 検査サブID
5	65536	*	C	C	Y		Observation Value 検査結果値
6	250	CE	O	O			Units 単位
7	60	ST	O	O			References Range 標準値
8	5	IS	O	O	Y	0078	Abnormal Flags 異常フラグ
9	5	NM	O	O			Probability 確率
10	2	ID	O	O	Y	0080	Nature of Abnormal Test 異常検査の特性
11	1	ID	R	R		0085	Observ Result Status 検査結果状態
12	26	TS	O	O			Effective Date of Reference Range 標準値有効日付
13	20	ST	O	O			User Defined Access Checks ユーザ定義アクセス点検
14	26	TS	O	O			Date/Time of the Observation 検査日時
15	250	CE	O	O			Producer's ID 実施者ID
16	250	XCN	O	O	Y		Responsible Observer 検査責任者
17	250	CE	O	O	Y		Observation Method 検査方法
18	22	EI	O	O	Y		Equipment Instance Identifier 機器インスタンス識別子
19	26	TS	O	O			Date/Time of the Analysis 分析日時

OBX フィールド定義

OBX-1 Set ID – OBX セットID-OBX (SI) 00569

定義：OBXセグメントに対し1から付番される通し番号。ASTMとの互換性を維持するためのもの。

OBX-2 Value Type 値型 (ID) 00570

定義：このフィールドは、OBX内の検査結果値のフォーマットを含んでいる。「OBX-11 検査結果状態」が「X」でない場合、それは値を持たねばならない。値がCEである場合、結果はコード化入力値でなければならない。値型がTXまたはFTである場合、結果はテキスト群である。検査の値型で有効な値は、「HL7表0125 値型」に列記される。

【臨床検査】現在は、「HL7表0440 データ型」が使われていると思われるが、内容は同一。

検査値は、JAHISデータ交換規約共通編 Ver.1.3の2.5節「データ型」で定義されたデータ型のフォーマットに応じて表記されなければならない。例えば、PNは成分デリミタにより分離した6つの成分から成る。

NMは有効な型であるが、通常数字として報告される検査では、結果の一部として非数値文字が報告されることが多いので（結果が測定器で計りきれないことを示すために>300を使う場合など）、文字列(ST)データ型を持つことがある。例えば、” >300” では、” >” は記号であり、桁” 300” は数値と考えられる。しかしながら、STタイプのこの使用は推奨されない。なぜならSN（構造化した数値）データ型は今そのような報告を受け入れ、さらに、SNデータ型によって受信システムが大きさを解釈できるからである。

HL7データ型はすべて有効であり、表 0125 に含まれている。ただし、CM、CQ、SIおよびIDは除く。CM定義が意味を持つためには、CMに関する詳細がフィールド定義に含まれていなければならない。「OBX-5 検査結果値」はデータ型OBX-3によって影響を及ぼされる一般的なフィールド定義である。したがって、CMはこの文脈中で定義されない。

CQは無効である。なぜなら「OBX-5 検査結果値」のためのユニットが、「OBX-6 単位」を備えたOBXセグメント中で明示的に常に指定されるからである。

SIは無効である。なぜなら、それは単にHL7メッセージセグメントに適用されるに過ぎないからである。

IDは無効である。なぜなら、それは一定のフィールド定義を必要とするからである。

実際の検査値がOBXでは送られていないが、他のどこかに存在する場合、RP値（参照ポインタ）を使用しなければならない。例えば、検査が画像（ドキュメント関連画像あるいは医学関連画像）から成る場合、画像そのものはOBXで送ることができない。その場合、送信システムは、参照ポインタを送信するよう選択することができる。受信システム側は、DICOMなどの他の標準インターフェースにより、あるいは適切なデータ・ベース・サーバーにより実際の画像へアクセスする必要がある場合は、いつでもこの参照ポインタを使用することができる。

HL7表 0125 - Value type 値型

Value	Description
AD	Address 住所
CE	Coded Entry コード化された値
CF	Coded Element With Formatted Values 値整形済コード化要素
CK	Composite ID With Check Digit 点検数字付き複合ID
CN	Composite ID And Name 複合IDと名前
CNE	Coded with No Exceptions 例外なしコード化値
CP	Composite Price 複合価格
CWE	Coded with Exceptions 例外を含むコード化値
CX	Extended Composite ID With Check Digit チェックデジット付き拡張複合ID
DT	Date 日付
ED	Encapsulated Data カプセル化されたデータ
FT	Formatted Text (Display) 整形済みテキストデータ
MO	Money 金額
NM	Numeric 数値
PN	Person Name 人名
RP	Reference Pointer 参照ポインタ
SN	Structured Numeric 構造化数値
ST	String Data. 文字列データ
TM	Time 時間
TN	Telephone Number 電話番号
TS	Time Stamp (Date & Time) タイムスタンプ
TX	Text Data (Display) テキストデータ
XAD	Extended Address 拡張住所
XCN	Extended Composite Name And Number For Persons 拡張複合ID番号および人の名前
XON	Extended Composite Name And Number For Organizations 拡張複合組織名称および識別子番号
XPN	Extended Person Number 拡張人名
XTN	Extended Telecommunications Number 拡張遠距離通信番号

【共通編】CNE、CWEを追加。

これらのデータ型の完全な定義は、2.5節「データ型」の中で与えられる。構造化した数値(SN)データ型は、HL7 V2.3で初めて扱われ、それが提供するものは、報告範囲（例えば、3-5あるいは10-20）、力価（例えば、1:10）および範囲外の指示（例えば、>50）であって、構造化され、コンピュータが解釈できる方法で提供される。

我々は、OBX セグメント中の FT データ型を許可する。しかし、その使用は推奨しない。フォーマットされたテキストは、意味のある構造を通常意味する。例えば、異なるライン上で報告された独立している3つの診断のリストを意味する。しかし、理想的には、独立している診断の3つの文中の構造は、3つの個別の OBX セグメントとして報告される。

大量のテキストを送るとき以外、TX は使用してはならない。TX データ型では、反復デリミタは段落の区切りを識別するためだけに使用できる。短い、そして、恐らくコード化できるテキスト文字列を送るため ST を使用すること。

CDA ドキュメントは、ドキュメント (MDM または ORU のような) を置き換えることができる任意のメッセージ中で、OBX セグメントにて置き換えられる。OBX セグメント内では、MIME パッケージは、カプセル化された(ED)データ型としてコード化される。

OBX-3 Observation Identifier 検査項目 (CWE) 00571

成分 : <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)> ^ ^ ^ <Coding System OID (ST)> ^ <Value Set OID (ST)>

定義 : このフィールドは、検査を表す一意な識別子を含んでいる。形式は「コード化要素」(CE)の形式と同じ。

例 : 8625-6^P-R interval^LN

ほとんどのシステム構成では、識別子によって示されるのは、受信システムが受信した検査を処理するのに使用できる他の検査属性を列記したマスタ検査表だろう。そのようなマスタ検査表を送信するためのメッセージセグメントのセットについては HV7 V2.5 8 章に記述される。検査 ID とマスタ検査表との関係は、請求コード (請求レコード内の) と料金表の関係に類似している。

このフィールドの第1識別子にローカルコードを使用する場合、汎用的な識別子も同様に送信することを強く推奨する。それにより、様々な提供者が同じサービスについて、それぞれ結果を送信してきた場合 (例えば、病院臨床検査室と民間臨床検査室が、老人ホームに血清カリウムの検査結果を供給してきた場合)、受信側でそれらの結果を同様に扱う事ができる。

LOINC は HL7 で承認された検査のためのコーディングシステムである。臨床検査、身体所見、放射線学研究、医療費請求のための添付ファイルなどの項目を網羅しており、

www.regenstrief.org/loinc.htm から手に入れることができる。

利用可能な汎用的な識別子の1つは、検査室および臨床測定のための LOINC コードである (「HL7 利用者定義表 0396」および HL7 www.loinc.org リスト・サーバーを参照のこと)。また、神経生理学検査に関しては ASTM E1467 の附属書 X2 を参照すること。

読影所見に関する識別子の討議は HL7 V2.5 7.2.3 節と 7.2.4 節を参照のこと。

【臨床検査】IHE PaLM Technical Framework では、LOINC の使用を推奨している。OBX-3 のコードとして日本臨床検査医学会検査項目分類コードを用いた場合、そのコード体系による検査依頼項目コードには検査材料も含まれているが、その検査材料と異なる検査材料で検査を実施する場合もある。実際に提出する検査材料は SPM セグメントで明示する。

また、微生物学的検査における菌コード、薬剤コードについては本規約では JANIS のコードを推奨するが、OBX-3(3)コード体系名称の参照先である HL7 表 0396 に JANIS の記載がないためローカルコードとして、菌コード : "99JIA"、薬剤コード : "99JAD" を本規約では取り決める。(OBX-5 に結果値として菌コードを記載する場合も同様)

一方 JANIS のコードには OID が振られており、バージョンの特定も可能であることから、本規約ではデータ型を CWE 型とし、それぞれの OID を OBX-3(14) Coding System OID に併記することを推奨する。なお OBX-3(14) Coding System OID の記載は、HL7 V2.7 以降にて実装されているので注意されたい。

OBX-4 Observation Sub-ID 検査サブ ID (ST) 00572

定義 : このフィールドは、1つの OBR の下で編成された複数の OBX セグメントが同じ観察 ID を持つ場合、それぞれの OBX セグメントを識別するのに使う。例えば、胸部 X 線レポートには独立した3つの診断が含まれることがある。標準では、3つの OBX セグメント (1つの診断所見に1つの OBX セグメント) が必要である。これらの OBX セグメントの1番目のサブ ID に1、2番目のサブ

IDに2、および3番目のサブIDに3を入れることにより、HL7は、編集あるいは交換に際し、各OBXセグメントを一意に識別することができる。

サブ識別子は、外科病理学などのレポートで関連成分をグループ化するのにも使われる。外科病理学レポートでは、1回の手術により得られた組織をすべて1つのレポートにまとめるということは、昔からよくある。胆嚢および虫垂の検査を記述した単一の外科病理学レポートを考えてみる。このレポートは概ね図7.8.1に示すように転送されるだろう。

```
OBR|1||1234^LAB|88304&SURG PATH REPORT|...<cr>
OBX|1|CE|88304&ANT|1|T57000^GALLBLADDER^SNM|...<cr>
OBX|2|TX|88304&GDT|1|THIS IS A NORMAL GALLBLADDER|...<cr>
OBX|3|TX|88304&MDT|1|MICROSCOPIC EXAM SHOWS HISTOLOGICALLY
    NORMAL GALLBLADDER TISSUE|...<cr>
OBX|4|CE|88304&IMP|1|M-00100^NML^SNM|...<cr>
OBX|5|CE|88304&ANT|2|T66000^APPENDIX^SNM|...<cr>
OBX|6|TX|88304&GDT|2|THIS IS A RED, INFLAMED, SWOLLEN, BOGGY APPENDIX|...<cr>
OBX|7|TX|88304&MDT|2|INFILTRATION WITH MANY PMN's - INDICATING INFLAMMATORY CHANGE|...<cr>
OBX|8|CE|88304&IMP|2|M-40000^INFLAMMATION NOS^SNM|...<cr>
```

図 7.8.1 サブ識別子使用の例

図7.8.1の例では、レポートの各成分に対して2つのセグメントがある（2つある組織のそれぞれに対して1つのセグメント）。このように、88304&ANTセグメントが2個存在する；88304&GDTセグメントが2個存在する。88304&MDTセグメントが2個存在する。胆嚢に適用されるセグメントはすべてサブ識別子として「1」を持つ。虫垂に適用されるセグメントはすべてサブ識別子「2」を持つ。

検査サブIDはその他の目的でグループ化する場合にも使用できる。それはいくつかの種類（血液採取および排泄のレポートを編成するのに使用することができる。例えば、複数の静脈ラインにより採血を実施した場合、それぞれの静脈ラインでは、多くの個別の検査（OBXセグメント）、採取量、採取の型（血液、D5W、血漿など）、静脈ラインの部位などが必要になる。つまりそれぞれの静脈ラインが個別のOBXセグメントを必要とする。複数の静脈ラインが走っている場合、HL7では、第1の静脈ラインに関係するOBXセグメントすべてに検査サブID「1」を割り当てることにより、それらのOBXセグメントを論理上リンクすることができる。同様に、サブID「2」を割り当てることにより、第2の静脈ラインに関してすべてのOBXをリンクすることができる。複数の外科的ドレーンが存在する場合に、その出力に対しても同様のことができる。

同じ検査IDの反復OBXを識別するサブIDの使用は、実はサブIDをグループ化のため使用する特別の場合である。それは図7.8.1のOBXセグメントを表にすればわかる。この表では、列は検査の特定の種類に対応し、セルはそれぞれ対応するOBXに関連するサブID番号に対応する。

別個の検査	88304&ANT	88304&GDT	80304&MDT	80304&IMP
subID、 第1のグループ	1	1	1	1
subID、 第2のグループ	2	2	2	2

結果をグループ化するサブIDの使用は、テーブルを定義することと等価である。そして、反復を識別するためのサブIDの使用は、このテーブルの1つの列で表される特別な場合である。

しかしながら、我々がグループ内の1連の反復検査を行っていれば、この方法は曖昧になる。例えば、図7.8.2に示すような所見が追加された検査は、第8と第9のOBXの中に2つの所見を含んでいる。これは実は、上に与えられた表の単一のセル内に、入れ子にされた行が存在することを表わす。

```
OBX|1|CE|880304&ANT|1|T57000^GALLBLADDER^SNM...
OBX|2|TX|880304&GDT|1|THIS IS A NORMAL GALL BLADDER...
OBX|3|TX|880304&MDT|1|MICROSCOPIC EXAMINATION SHOWS HISTOLOGICALLY
    NORMAL GALLBLADDER TISSUE...
OBX|4|CE|880304&IMP|1|M-00100^NML^SNM...
OBX|5|CE|880304&ANT|2|T57000^APPENDIX^SNM...
```

```
OBX|6|TX|880304&GDT|2|THIS IS A RED, INFLAMED APPENDIX...
OBX|7|TX|880304&MDT|2|INFLAMMATION WITH MANY PUS CELLS-ACUTE INFLAMMATION...
OBX|8|CE|880304&IMP|2|M-40000^INFLAMMATION NOS^SNM...
OBX|9|CE|880304&IMP|2|M-30280^FECALITH^SNM...
```

図 7.8.2 サブ識別子使用の例

「OBX-5 検査結果値」の下のテキストは、同じ検査 ID および検査サブ ID を備えた 2 つの OBX を扱うことに関するガイダンスを提供する。それらは 1 ユニットとして送られ交換される。しかしながら、一部のシステムは、OBX のセットが受信システム中の 1 つの合成された検査へ組み合わせられるという意味に解釈する。ユーザが編集および修正の目的のために 1 つのタイプ内の各々の反復を区別し、または 1 つのセル内の結果を区別したい場合、ユーザはドットおよび文字列（十進分類法に似ている）を使用するよう我々は推奨する。このシステムを使用すると、図 7.8.2 は図 7.8.3 になる。そのような入れ子がさらに深いレベルに生じる場合があるならば、この方法は拡張することができる。

```
OBX|1|CE|880304&ANT|1|T57000^GALLBLADDER^SNM...
OBX|2|TX|880304&GDT|1|THIS IS A NORMAL GALL BLADDER...
OBX|3|TX|880304&MDT|1|MICROSCOPIC EXAMINATION SHOWS HISTOLOGICALLY
NORMAL GALLBLADDER TISSUE...
OBX|4|CE|880304&IMP|1|M-00100^NML^SNM...
OBX|5|CE|880304&ANT|2|T57000^APPENDIX^SNM...
OBX|6|TX|880304&GDT|2|THIS IS A RED, INFLAMED APPENDIX...
OBX|7|TX|880304&MDT|2|INFLAMMATION WITH MANY PUS CELLS-ACUTE INFLAMMATION...
OBX|8|CE|880304&IMP|2.1|M-40000^INFLAMMATION NOS^SNM...
OBX|9|CE|880304&IMP|2.2|M-30280^FECALITH^SNM...
```

図 7.8.3 サブ ID の使用の例

倍数の必要がない場合、null または 1 を使用すること。

検査が検査 ID OBX-3 に対する同じ等価物を備えた多くの OBX を含んでいる場合、サブ ID に対し、異なる値を使用しなければならない。これは実際、図 7.8.3 に示す反復の場合である。しかし、OBX のセットをグループ化する必要はない。そのような 3 つの OBX は、サブ ID の 1、2、などを使用して識別することがある；あるいは図 7.8.3 に示されるように、サブ ID の 1.1、1.2、1.3 を使用することがある。図 7.8.4 に示すのは、心電図、胸部 X 線写真の報告書の例で 3 つの診断所見を持ち、サブ ID フィールドの 1、2、3 を使用して、これらの 3 つの結果を識別している。

```
OBX|1|CE|8601-7^EKG IMPRESSION ^LN|1|^atrial fibrillation|. . .
OBX|2|CE|8601-7^EKG IMPRESSION ^LN|2|^OLD SEPTAL MYOCARDIAL INFARCT|. . .
OBX|3|CE|8601-7^EKG IMPRESSION ^LN|3|^poor R wave progression|. . .
```

図 7.8.4 同じ検査 ID を備えた 3 つの独立の結果を識別するため使用されたサブ ID の例

【臨床検査】 同定菌名、菌量の関係を識別するために使用されたサブ ID の例。

```
OBR|1|000000233000008|108070001536200|6B010000000174200^培養同定(一般細菌)^JC10|||. . .<cr>
OBX|1|CE|6B010000000174214^培養同定(一般細菌)^JC10|1|1201^Enterococcus faecalis^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1|. . .<cr>
OBX|2|ST|6B010000000174201^定量^JC10|1|10E5|1|1|F||R|20100929<cr>
OBX|3|CE|6B010000000174214^培養同定(一般細菌)^JC10|2|2152^Enterobacter aerogenes^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1|. . .<cr>
OBX|4|ST|6B010000000174201^定量^JC10|2|>=10E7|1|1|F||R|20100929<cr>
OBX|5|CE|6B010000000174214^培養同定(一般細菌)^JC10|3|7001^Candida albicans^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1|. . .<cr>
OBX|6|ST|6B010000000174201^定量^JC10|3|<=10E3|1|1|F||R|20100929<cr>
```

OBX-5 Observation Value 検査結果値 (varies) 00573

定義：このフィールドは、検査実施者により検査された値を含んでいる。検査結果値はこのフィールドのデータ型に応じてフォーマットされるが、そのデータ型は「OBX-2 値型」に含まれる。それ

は必須ではない。なぜなら一部のシステムは、特に市販後調査を報告する際に、正常／異常(OBX-8)だけを報告するからである。

検査結果項目の長さは「OBX-2 値型」により可変である。このフィールドは、適切なデータ型、例えば、CE、TX、およびFT データ型を有するマルチパートを構成する単一の結果を繰り返すことができる。

表記

このフィールドには、同じセグメントの「OBX-3 検査項目」の値が含まれる。検査に依存するが、データ型は数値（例えば、呼吸数）、具体的なコード（SNOMED で記述された病理所見など）あるいは日時（1 単位の血液が病棟に送られる日時）のどれかである。検査結果値は、同じセグメントの「OBX-2 値型」で指定されたデータ型として表記される。数値なのか、あるいは短いテキストなのかどうかにかかわらず、結果は ASCII テキストで記録されるものとする。

論理上独立している検査の報告

放射線検査や「病歴・身体計測」などの書き取りレポートの主要箇所は、個別の OBX セグメントとして報告される。また、論理上独立している個々の検査は、個別の OBX セグメントで報告すべきである。つまり、1 個の OBX セグメントには、論理上独立している複数検査の“結果”を含んではならない。この要求事項により、「OBX-6 単位」および「OBX-8 異常フラグ」、および「OBX-9 確率」の内容が明白に解釈できるようになる。例えば、電解質およびバイタルサイン・セットは、4 つの個別の OBX セグメントとして報告されるだろう。2 つの診断（うっ血性心不全と肺炎など）は、それが退院時サマリーの一部として報告されたのかあるいは胸部 X 線レポートの一部として報告されたのかにかかわらず、さらに 2 つの個別の OBX セグメントとして報告されるだろう。同様に、単一の細菌培養内で分離された 2 つの細菌性生物は、2 つの個別の OBX セグメントとして報告されるだろう。

1 つの OBX セグメントで、独立した 2 つの診断“記述文”を報告することはできないが、2 つの診断“記述文”がそれぞれ一部（修飾子）として一緒になって 1 つの診断記述文を構築するのであれば、定性値として複数回答することができる（通常、反復デリミタにより分離された CE データ型として）。例えば、右上葉（1 つのコードとして記録される）と肺炎（別のコードとして記録される）の両方を 1 つの OBX セグメントで報告できるだろう。そのような複数の“値”は反復デリミタにより分離されるだろう。

共通の検査 ID とサブ ID を持つ複数の OBX セグメント

いくつかのシステムでは、単一の検査に複数データ型の“一部”が含まれることがある。よくある例は、数値結果の後にコード化注記(CE)が続くことである。この場合、検査結果情報は、複数の OBX セグメントで送ることができる。例えば、あるセグメントは、数値結果を表すための数値データ型あるいは文字列データ型であるが、もう 1 つのセグメントはコード化注記を表す CE データ型である場合などがある。実施者が複数のコード化注記を報告しているとする、その複数のコード化注記は、すべて単一の論理検査情報を修正してしまうので、反復デリミタで分離された 1 つの OBX セグメントで送信されるだろう。同じ検査 ID とサブ ID を持つ複数の OBX セグメントは、最も重要な OBX セグメント（正常なフラグ／単位、および／あるいは、基準値および状態フラグを持つ OBX セグメント）を最初に指定して、常に連続して送信すべきである。OBX6~12 の値は、同じ「OBX-3 検査項目」と「OBX-4 検査サブ ID」を持つ後続の OBX セグメントでは、null とすべきである。置換または削除をする場合、同じ検査 ID とサブ ID を持つ複数の OBX セグメントは、1 単位として扱われる。どれか 1 つが置換、または削除されると、すべてが置換される。

コード価値

OBX セグメントに CE データ型の値が含まれる場合、検査はコードおよび（または）テキストの組み合わせとして保管される。HL7 V2.5 7.8.3 節の「CSS-臨床試験スケジュールセグメント」に CE データ型として表した結果の例を示す（「OBR-1」の 1 番目と 2 番目の OBX セグメント、「OBR-2」の 1 番目と 2 番目の OBX セグメントに記述されている結果）。検査は、（推奨検査を表す）検査 ID、（診断を表す）診断コードか所見、または病理学レポートで使う部位、あるいは他の任意の種類のコード化結果などである。

コード化検査に保管された情報は、必ずしもコード化する必要はない。例えば、胸部 X 線診断が CE データ型であったとしても、純粋テキストとして転送することができるだろう。この場合は、例えば、以下のように記述して、“結果コード”の第 2 成分として検査を記録しなければならない。

```
OBX|1|CE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE. |...<cr>
```

しかし、個別の診断、指導などは、純粋テキストとして記録するとしても、個別の結果セグメントに記録すべきである。すなわち、うっ血性心不全と肺炎は、

```
OBX|1|CE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE AND PNEUMONIA|...<cr>
```

のように送信するのではなく、以下のように送信すること。

```
OBX|1|CE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE| ...<cr>
OBX|2|CE|71020&IMP|2|^PNEUMONIA|...<cr>
```

さらに望ましいのは、テキスト記述（構成要素 2）の代わりに、あるいはそれに加えて、コンピュータで理解可能なコード（構成要素 1）を含む完全なコード化された結果であろう。1 つの CE 値に複数の値を含めることができ、これらはコードとテキストの混合であってもよいが、1 つの診断、所感、または概念を構築するために必要な場合に限られる。テキストが独立している値としてコードの後に来る場合、それはコードの修飾子あるいは追加として解釈される。例えば、

```
OBX|1|CE|710120&IMP^CXR|1|428.0^CONGESTIVE HEART FAILURE^I9C~^MASSIVE HEART...<cr>
```

成分 2 のテキストは、成分 1 のコードの正確な記述とするべきである。同様に、もし使用されれば、成分 5 のテキストは成分 4 のコードの正確な記述とするべきである。

OBX への CDA の挿入

CDA ドキュメントは、OBX セグメントで交換される。「OBX-2 値型」の値は ED である。OBX-5 検査結果値にカプセル化されたデータ型としてエンコードされた MIME パッケージを含む。その成分は以下に通りである。

「OBX-5.2 データ型値」を 'multipart' に設定

「OBX-5.3 データサブタイプ値」を 'x-hl7-cda-level-one' に設定

「OBX-5.4 エンコード値」を 'A' に設定（注意：MIME パッケージそれ自身は Base64 でエンコードされているわけではない。MIME パッケージの実体が Base64 でエンコードされる。MIME パッケージ自身は ASCII テキストで送信される。したがって、正しい値の内容は 'A' であり 'Base64' ではない。）

「OBX-5.5 データ値」は、MIME パッケージと等しいものが配置される。MIME パッケージ内のすべての実体は、Base64 でエンコードされている必要がある。2 章にあるように、データ要素は HL7 のデリミタで分離されなければならない（および改行のような非印字 ASCII 文字が非 ASCII 文字）、そして 2.4 節でエスケープ文字を定義しているように受信アプリケーションは、そのデータをディエスケープする必要がある。その結果、MIME パッケージで必要とされる CR/LF シーケンス送信前にエスケープされる（すなわち、 $\backslashX0D0A$ に変換される）。最初の MIME コンテンツタイプは 'application/x-hl7-cda-level-one+xml' に設定されており、CDA ドキュメント自体を含める必要がある。送信される CDA ドキュメントから参照されるマルチメディアオブジェクトは、MIME パッケージの連続する実体に配置される。

OBX-6 Units 単位 (CE) 00574

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

定義：単位のデータ型は CWE データ型である。標準化された単位体系の使用が望まれる。

IHE PaLM Technical Framework では、UCUM の使用を推奨している。

OBX-7 References Range 基準値範囲 (ST) 00575

成分:数値型データの場合の書式は次のようである:

- a) 下限値-上限値 (下限値と上限値の両方が定義された場合。例えば、3.5 - 4.5の様に記載する)
- b) >下限値(上限値が存在しない場合。例えば、>10)
- c) <上限値(下限値が存在しない場合。例えば、<15)

文字型データの場合：正常値をこのフィールドに記載する。

定義：OBX-3 で示された検査項目の、基準値範囲を記載する。

OBX-8 Abnormal Flags 異常フラグ (IS) 00576

定義：このフィールドは、結果の正常状態を示す。適用できる場合は、この値を送ることを強く推奨する。検査が抗菌物質感受性の場合、解釈コードは次の通りである：S=敏感；R=耐性；I=中間；MS=少し敏感；VS=過敏（詳細については、ASTM 1238-調査-を参照のこと）。採りうる値については、「使用者定義表 0078 異常フラグ」を参照のこと。

検査室で、胸部 X 線あるいは微生物培養などのテキスト・レポートの正常状態を識別できる場合、正常な場合はN、異常な場合はAとして報告すべきである。複数のコード（例えば、異常と悪化）を報告する場合は、反復デリミタ（例えば、A~W）により分離されるだろう。

使用者定義表0078 - Abnormal flags 異常フラグ

値	内容
L	Below low normal 基準値下限以下
H	Above high normal 基準値上限以上
LL	Below lower panic limits パニック下限以下
HH	Above upper panic limits パニック上限以上
<	Below absolute low-off instrument scale 測定限界下限未満
>	Above absolute high-off instrument scale 測定限界上限超
N	Normal (Applies to numeric or non-numeric results) 正常 (数値あるいは非数値結果に適用)
A	Abnormal (applies to non-numeric results) 異常 (非数値結果に適用)
AA	Very abnormal (applies to non-numeric units, analagous to panic limits for numeric units) 非常に異常 (数値単位のパニック値に対応するが、これは非数値単位に適用される)
null	No range defined, or normal ranges don't apply 範囲未定義、もしくは正常値範囲が適用されない
U	Significant change up 大幅な上昇変化
D	Significant change down 大幅な下降変化
B	Better--use when direction not relevant 改善--方向が適用されない場合使用
W	Worse--use when direction not relevant 悪化--方向が適用されない場合使用
For microbiology sensitivities only 微生物感受性の場合のみ	
S	Sensitive 敏感
R	Resistant 耐性
I	Intermediate 中間
MS	Moderately sensitive 少し敏感
VS	Very sensitive 過敏

結果は、結果の正確な数値を指定せずに正常状態を報告することによってメモ書きによって報告されることがある。そのようなメモは、臨床医のノートではありふれたことで、その場合医師は「グルコース結果は正常であった」と書くだけである。そのようなメモ報告は薬品の症例報告にも見られる。そのような場合、結果は、「OBX-5 検査結果値」の中でなにかの値を指定せずに、「OBX-8 異常フラグ」中に正常コードを報告することによって、OBX の中で報告できる。

【臨床検査】HL7 Ver.2.82 Chapter2C の表 0078 で値 “N” に対して

Normal The result or observation value is within the reference range or expected norm (as defined for the respective test procedure). Note: Applies to numeric or non-numeric results

という記述になった。これにより数値結果に対しても”N”が適用可能になった。

OBX-9 Probability 確率 (NM) 00577

定義：このフィールドは、定性値を持つ結果の場合、結果が真である確率（結果が特定のコードとなる確率）を含んでいる。主として離散的コード化結果に適用される。0~1（0 と 1 を含む）の ASCII 文字列で表した 10 進数である。

【臨床検査】文字列 ”0.4” は 40% を表す。

OBX-10 Nature of Abnormal Test 異常検査の特質 (ID) 00578

定義：判定の元になった集団を指示する。採りうるコードについては、HL7表0080－異常検査の特質－を参照。複数のコードを適用できる。コードは反復区切記号で分離され、例えば、年齢、性別および人種に基づいた正常値は、A～S～Rとなる。

HL7表 0080 Nature Of Abnormal Testing 異常検査の特質

Value	Description
A	An age-based population 年齢別分布
N	None - generic normal range 無し — 一般正常範囲
R	A race-based population 人種別分布
S	A sex-based population 性別分布
SP	Species 種
B	Breed 品種
ST	Strain 血統

OBX-11 Observation Result Status 検査結果状態 (ID) 00579

定義：採りうるコードについては、HL7表0085－検査結果状態を参照。このフィールドは、1つの検査項目についての、現在の結果状態を反映する。

検査依頼時に動的に検査要求を指定しなければならない場合、例えば、糖負荷試験におけるサンプリング時間（前、30、60、120分など）、OBXセグメントの結果状態を"O"とすることでOMG、OMLメッセージにおける検査項目の定義として使用できる。その場合検査項目は必須であるがOBX-2、OBX-5はNullである。到着確認メッセージの場合はこのフィールドの値は"I"とする。コードFは結果が正しくかつ最終であると検証されたことを示す。コードWは結果が誤っている（正しくない）と検証されたことを示す；置換（修正）された結果が後で送信されるであろう。コードCはOBX-5検査値フィールドに含まれたデータで、同じ検査IDやサブIDを持つ以前に送信された検証済み最終結果データを、置換したことを示す。コードDは以前に送信された同じ検査IDおよびサブIDの結果セグメントを削除することを示す。結果を変更・削除する場合、同じ検査IDおよびサブIDの複数のOBXセグメントは、1単位として置換・削除される。中間（例えば、「グラム陽性球菌」）から最終（例えば、「ぶどう状球菌アウレウス」）といった結果の正常な進行の場合、C（修正）として送信すべきでない；それらは最終になるまでPあるいはS（特定の場合に依存）として送信すべきである。

HL7表 0085 - Observation Result Status Codes Interpretation 検査結果状態コード解釈

Value	Description
C	Record coming over is a correction and thus replaces a final result 到着レコードは修正であり結果を書き換え
D	Deletes the OBX record OBXレコードを削除する
F	Final results; Can only be changed with a corrected result. 最終結果： 修正結果でのみ変更可能
I	Specimen in lab; results pending 臨床検査室に検体が到着した（結果保留）
N	Not asked; used to affirmatively document that the observation identified in the OBX was not sought when the universal service ID in OBR-4 implies that it would be sought. 未確認、OBX-4で探せないOBX検査IDを確定するために使用する
O	Order detail description only (no result) 依頼詳細記述（結果なし）
P	Preliminary results 事前結果
R	Results entered -- not verified 結果を入力 -- 未検証
S	Partial results 部分結果
X	Results cannot be obtained for this observation この検査では、結果は得られない
U	Results status change to Final. without retransmitting results already sent as 'preliminary. 結果状態を最終へ変更。結果は変化しなかった(テストを転送しない) 例えば、放射線科により状態が事前から最終へ変更される
W	Post original as wrong, e.g., transmitted for wrong patient オリジナルを間違っているものとしてポストする。例えば、間違っている患者のために送信された。

OBX-12 Effective Date of Reference Range 基準値範囲有効日付 (TS) 00580

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：測定方法の変更により、旧方式で得られた値が新規方式で得られた値と比較できなくなる場合、そのような測定方法の変更日付などを表す。

OBX-13 User Defined Access Checks ユーザー定義アクセス点検 (ST) 00581

定義：このフィールドは、これにより実施者は、受信システムで検査を分類するのに使用する結果依存コードを記録できるようになる。

ほとんどの分類は固定の検査 ID 属性であり、関連検査マスタファイルで定義することができるので、このフィールドはほとんど必要とされない (HL7 第 8 章の説明を参照のこと)。
 しかし、受信システムが計算のやり直しを望まない場合がまれにあり、この場合そのような制御の仕方でも検査結果値により変わることがある。例えば、抗酸菌感受性結果の場合である。生物、検体採取部位、あるいは患者アレルギー状態に応じて、安価な抗菌物質の感受性結果だけを表示したいと望むシステムもあるだろう。送信部門側では、特権ユーザ (例えば、感染症の専門医) はすべての結果を閲覧できるように、すべての感受性を送信したいが、非特権ユーザは生物が反応した (敏感だった) “所望している” 抗菌物質だけを閲覧するだろう。HL7 では、その他のケースも生じると想定されている。

【臨床検査】 IHE PaLM Technical Framework では実施者が 'P' を入力する事によって、結果の中には特権ユーザしかアクセスできないものがあることを知らせることができるとしている。

OBX-14 Date-Time Of the Observation 検査日時 (TS) 00582

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: 検体に対して行われる測定の場合は、該当日時は検体採取日時である。患者に対して直接行われる測定(例えば、X線画像、病歴、身体測定)の場合には、検査日時は測定が行われた日時である。

OBX-15 Producer's ID 実施者 ID (CE) 00583

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

定義: 検査実施責任者の一意な識別子。例えば、検査結果が外部検査室により提供される場合、実施者 ID を明示的に報告すべきである。このフィールドが null の場合、受信システム側は、送信施設が検査を実施したと仮定する。

OBX-16 Responsible Observer 検査責任者 (XCN) 00584

成分:<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN):<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE):<identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> & <alternate text (ST)> & <name of alternate coding system (ID)>

副成分 for Name Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：要求された場合、このフィールドは、検査に直接責任を負う個人（つまり検査を実行、もしくは検証した人）の識別子を含んでいる。看護部門では、検査責任者は通常、検査（例えば、血圧測定）を実行した専門家である。検査室では、検査責任者は解析を実行・検証した医療技術者である。検査責任者を表すコードは、CE データ型として記録される。ローカルコードとしてコードを送る場合、「OBX-15 実施者 ID」と組み合わせたときに、一意にして明白でなければならない。

OBX-17 Observation Method 検査方法 (CE) 00936

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

定義：検査項目案内などで公表している検査方法と異なる検査方法を実施した場合などはここに明示する。

【臨床検査】OBX-3 のコードとして日本臨床検査医学会検査項目分類コード (JLAC10,JLAC11) を用いた場合、そのコード体系に検査方法も含まれる。その検査方法と異なる検査方法によって検査結果を得た場合は、本フィールドに実施した検査方法を明示する。

OBX-18 Equipment Instance Identifier 装置インスタンス識別子 (EI) 01479

成分:<entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは、検査結果の作成を担当する機器インスタンス（例えば、アナライザ、アナライザモジュール、アナライザのグループなど）を識別する。これは、組織が名前空間 ID、または空白の場合は「実施者 ID」(OBX-15)で指定される施設の設備のマスタリストによる識別子である。このマスタリストから機器タイプ、シリアル番号などを取得することは可能であるが、すべての OBX でこの情報を転送することは計画されていない。このフィールドを繰り返すことにより、機器の階層表現（最下位レベルが最初）、例えば、機器のモジュール、モジュールからなる機器、複数の機器のクラスタなどが可能になる。

OBX-19 Date/time of the Analysis 分析日時 (TS) 01480

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、機器インスタンス識別子（上記参照のこと）で指定された機器による分析結果の生成に関連するタイムスタンプを転送するために使用される。

7.10ORC - Common Order Segment 共通オーダセグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.11 PID - Patient Identification Segment 患者識別セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.12 PV1 - Patient Visit Segment 来院情報セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.13 PV2 - Patient Visit - Additional Information Segment 来院補足情報セグメント

PV2 セグメントは PV1 セグメントにおける情報の補足である。

患者情報通知(ADT/ACK)構文内で使用する場合は、JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「6.2 患者情報通知(ADT/ACK)」を参照のこと。

HL7 属性表 - PV2 - Patient Visit - Additional Information 来院補足情報セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	80	PL	C	C			Prior Pending Location 事前保留所在場所
2	250	CE	O	O			Accommodation Code 設備コード
3	250	CE	O	O			Admit Reason 入院の理由
4	250	CE	O	O			Transfer Reason 転科転棟の理由
5	25	ST	O	O	Y		Patient Valuables 患者貴重品情報
6	25	ST	O	O			Patient Valuables Location 患者貴重品の保管場所
7	2	IS	O	O	Y	0130	Visit User Code 来院種別コード
8	26	TS	O	O			Expected Admit Date/Time 予定入院日時
9	26	TS	O	O			Expected Discharge Date/Time 予定退院日時
10	3	NM	O	O			Estimated Length of Inpatient Stay 予定入院期間
11	3	NM	O	O			Actual Length of Inpatient Stay 入院期間
12	50	ST	O	O			Visit Description 来院時記述情報
13	250	XCN	O	O	Y		Referral Source Code 紹介元情報
14	8	DT	O	O			Previous Service Date 前回来院日
15	1	ID	O	O			Employment Illness Related Indicator 職業由来疾病情報
16	1	IS	O	O		0213	Purge Status Code 削除状態標識
17	8	DT	O	O			Purge Status Date 削除予定日
18	2	IS	O	O		0214	Special Program Code 特別プログラムコード
19	1	ID	O	O			Retention Indicator 保持標識
20	1	NM	O	O			Expected Number of Insurance Plans 適応可能保険の数
21	1	IS	O	O		0215	Visit Publicity Code 来院情報周知範囲
22	1	ID	O	O			Visit Protection Indicator 来院情報保護標識
23	250	XON	O	O	Y		Clinic Organization Name 診療部門名
24	2	IS	O	O		0216	Patient Status Code 患者状態
25	1	IS	O	O		0217	Visit Priority Code 受診優先指標
26	8	DT	O	O			Previous Treatment Date 最終治療日
27	2	IS	O	O			Expected Discharge Disposition 希望退院種別
28	8	DT	O	O			Signature on File Date 署名日
29	8	DT	O	O			First Similar Illness Date 発症日
30	250	CE	O	O			Patient Charge Adjustment Code 患者費用補正コード
31	2	IS	O	O			Recurring Service Code 通院治療標識
32	1	ID	O	O			Billing Media Code 請求媒体コード
33	26	TS	O	O			Expected Surgery Date and Time 予定手術日時
34	1	ID	O	O			Military Partnership Code 軍隊との契約の有無
35	1	ID	O	O			Military Non-Availability Code 非軍隊施設の利用許可の有無
36	1	ID	O	O			Newborn Baby Indicator 新生児標識
37	1	ID	O	O			Baby Detained Indicator 新生児残留標識
38	250	CE	O	O		0430	Mode of Arrival Code 患者到着手段
39	250	CE	O	O	Y	0431	Recreational Drug Use Code 嗜好情報
40	250	CE	O	O		0432	Admission Level of Care Code 入院時患者重症度
41	250	CE	O	O	Y	0433	Precaution Code 要注意コード
42	250	CE	O	O		0434	Patient Condition Code 患者容態標識
43	2	IS	O	O		0315	Living Will Code 延命希望標識
44	2	IS	O	O		0316	Organ Donor Code 臓器提供希望標識
45	250	CE	O	O	Y	0435	Advance Directive Code その他の患者要望
46	8	DT	O	O			Patient Status Effective Date 患者状態(PV2-25)の発症日
47	26	TS	C	O			Expected LOA Return Date/Time 予定帰院日時
48	26	TS	O	O			Expected Pre-admission Testing Date/Time 入院前検査予定日時
49	20	IS	O	O	Y	0534	Notify Clergy Code 聖職者通知標識

PV2 フィールド定義

PV2-1 Prior Pending Location 事前保留所在場所 (PL) 00181

成分:<Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分for Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Comprehensive Location Identifier (EI):<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Authority for Location (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義: このフィールドは転科転棟待ちの取消 (A26) メッセージに必須となる。他の事象ではオプションである。

PV2-2 Accommodation Code 設備コード (CE) 00182

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドでは来院時に患者に必要な設備を示す。

PV2-3 Admit Reason 入院の理由 (CE) 00183

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは患者の入院理由の概要説明を示す。

PV2-4 Transfer Reason 転科転棟の理由 (CE) 00184

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドでは患者の転科転棟理由の概要説明を示す。

PV2-5 Patient Valuables 患者貴重品情報 (ST) 00185

定義: このフィールドでは入院期間に確認された患者の貴重品に関する記述情報を示す。

PV2-6 Patient Valuables Location 患者貴重品の保管場所 (ST) 00186

定義: このフィールドでは患者の貴重品の保管場所を示す。

PV2-7 Visit User Code 来院種別コード (IS) 00187

定義: このフィールドでは個々の医療機関における必要に応じて患者の来院を分類するために、医療機関に応じた目的で用いられる。推奨値は使用者定義表 0130-来院種別コードを参照のこと。

使用者定義表 0130 – Visit User Code 来院種別コード

Value	Description	Comment
TE	Teaching 教育	
HO	Home 自宅	
MO	Mobile Unit 移動単位	
PH	Phone 電話	

PV2-8 Expected Admit Date/Time 予定入院日時 (TS) 00188

成分:<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドでは患者が入院する予定の日時を示す。このフィールドは非入院患者/救急患者が登録される日時を反映する。

PV2-9 Expected Discharge Date/Time 予定退院日時 (TS) 00189

成分:<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは患者の予定退院日時を示す。これは作業負荷計画をより正確に判断するために補助的に使用される事象に関連しない日付である。このフィールドは、非入院患者/救急患者または入院患者の予測される退院日時を反映させるために使用する。

PV2-10 Estimated Length of Inpatient Stay 予定入院期間 (NM) 00711

定義：このフィールドは入院患者の予想入院期間を示す。

PV2-11 Actual Length of Inpatient Stay 入院期間 (NM) 00712

定義：このフィールドは入院患者が実際に入院していた日数を示す。実際に入院していた期間は入退院日から計算されない。というのも、患者が外泊する可能性があるからである。

PV2-12 Visit Description 来院時記述情報 (ST) 00713

定義：このフィールドは来院における使用者定義の簡単な記述情報である。

PV2-13 Referral Source Code 紹介元情報 (XCN) 00714

成分:<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分for Family Name (FN):<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分for Assigning Authority (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Name Context (CE):<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

副成分for Name Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分for Range Start Date/Time (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分for Range End Date/Time (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分for Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分for Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分for Assigning Jurisdiction (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分for Assigning Agency or Department (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは患者の紹介を行った個人または組織の名前と識別番号を示す。この個人/組織は紹介医師とは異なる。例えば、Joe Smith は私をそのクリニック（またはそのクリニックの Dr.Jones）に紹介した。

PV2-14 Previous Service Date 前回来院日 (DT) 00715

定義：このフィールドは通院患者における前回来院日を示す。この情報は第三者に対して特定の疾患（例：事故に関連した）請求をする際に求められているフィールドである。

PV2-15 Employment Illness Related Indicator 職業由来疾病標識 (ID) 00716

定義：このフィールドは患者が職業に由来した疾患にかかっているか否かを示す。有効値は以下の Y/N 識別を参照。

Y 患者の疾患は職業に由来している。

N 患者の疾患は職業に由来していない。

PV2-16 Purge Status Code 削除状態標識 (IS) 00717

定義：このフィールドは会計情報に関する削除状態を示す。アプリケーションプログラムにより削除プロセスを実行するかどうかの判断に使用される。推奨値については使用者定義表 0123 削除状態標識を参照のこと。

使用者定義表 0213 – Purge Status Code 削除状態標識

Value	Description	Comment
P	Marked for purge. User is no longer able to update the visit. 削除マーク有り。使用者は来院情報を更新できない。	
D	The visit is marked for deletion and the user cannot enter new data against it. 来院情報は削除マークがあり、使用者は新しいデータを入力不可。	
I	The visit is marked inactive and the user cannot enter new data against it. 来院情報には不活性マークがあり、使用者は新しいデータを入力不可。	

PV2-17 Purge Status Date 削除予定日 (DT) 00718

定義：このフィールドはデータがシステムから削除される予定日を示す。

PV2-18 Special Program Code 特別プログラムコード (IS) 00719

定義：このフィールドは来院時の医療費の支払いに必要な特別な健康保険プログラムを示す。推奨値については使用者定義表 0214 特別プログラムコードを参照のこと。

使用者定義表 0214 – Special Program Code 特別プログラムコード

Value	Description	Comment
CH	Child Health Assistance 小児健康補助	
ES	Elective Surgery Program 随意手術プログラム	
FP	Family Planning 家族計画	
O	Other その他	
U	Unknown 不明	

PV2-19 Retention Indicator 保持標識 (ID) 00720

定義：このフィールドは来院時の財務、患者基本情報の削除をコントロールするために使用する。特別な、優先度の高い来院に関する患者基本情報、財務データを維持するために使用される。有効値は以下の Y/N 標識を参照。

Y データは維持されている

N 通常の削除処理中

PV2-20 Expected Number of Insurance Plans 適応可能保険の数 (NM) 00721

定義：このフィールドは来院時の支払いに使用可能な保険の数を示す。

PV2-21 Visit Publicity Code 来院情報周知範囲 (IS) 00722

定義：このフィールドは使用者定義コードで、特定の来院についてどの程度の公開が許されるかを示す（例えば、非公開、家族のみ）。推奨値については使用者定義表 0125 周知標識を参照のこと。患者レベルの周知標識は PD1-11 周知標識を参照のこと。

使用者定義表 0125 – Publicity Code 周知標識

Value	Description	Comment
F	Family only 家族のみ	
N	No Publicity 公開禁止	
O	Other その他	
U	Unknown 不明	

PV2-22 Visit Protection Indicator 来院情報保護標識 (ID) 00723

定義：このフィールドは特定の来院情報について十分な権限を持たない使用者に対して情報を保護すべきかどうかを判断する患者の保護標識を示す。有効値は以下の Y/N 標識を参照。

Y 患者情報へのアクセスを阻止する

N 通常のアクセス制限

患者レベルの保護標識は PDI-12 保護標識を参照のこと。

PV2-23 Clinic Organization Name 診療部門名 (XON) 00724

成分:<Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning

Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^
 <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>
 副成分for Assigning Authority (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> &
 <Universal ID Type (ID)>
 副成分for Assigning Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> &
 <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは医療機関の名称、またはその部門や患者の（来院に関する）治療上の出来事に関係した識別情報を示す。例えば、医療機関内のアレルギーまたは腫瘍クリニックといった名前前である。

PV2-24 Patient Status Code 患者状態 (IS) 00725

定義：このフィールドは治療上の出来事：例えば、現役の入院患者、退院した入院患者といった状態を示す。推奨値は使用者定義表-0216 患者状態を参照のこと。

使用者定義表 0216 – Patient Status Code 患者状態

Value	Description	Comment
AI	Active Inpatient 入院中の患者	
DI	Discharged Inpatient 退院した患者	

PV2-25 Visit Priority Code 受診優先標識 (IS) 00726

定義：このフィールドは来院の優先度を示す。推奨値は使用者定義表 0217 受診優先標識を参照のこと。

使用者定義表 0217 – Visit Priority Code 受診優先標識

Value	Description	Comment
1	Emergency 救急	
2	Urgent 緊急	
3	Elective 選択	

PV2-26 Previous Treatment Date 最終治療日 (DT) 00727

定義：このフィールドは今回の来院以前に、どんな状態でも患者が前回の治療を受けた日を示す。前回の病院訪問時は前回の退院日であることが多い。

PV2-27 Expected Discharge Disposition 希望退院種別 (IS) 00728

定義：このフィールドは退院時に患者が望む退院区分を示す。推奨値は使用者定義表 0112 退院区分を参照のこと。

PV2-28 Signature on File Date 署名日 (DT) 00729

定義：このフィールドは保険の支払い目的で、サインを得た日付を示す。

PV2-29 First Similar Illness Date 発症日 (DT) 00730

定義：このフィールドは患者が潜伏期間があったかどうかを判断することに利用する。

PV2-30 Patient Charge Adjustment Code 患者費用補正コード (CE) 00731

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>
 定義：このフィールドは使用者定義コードで、この患者の支払いに対してどの補正がなされるべきかを示す。推奨値については、使用者定義表 0218 費用補正を参照のこと。このフィールドはGTI-26 保証人支払い補正コードと同じである。

PV2-31 Recurring Service Code 通院治療標識 (IS) 00732

定義：このフィールドは治療が継続しているか否かを示す。

PV2-32 Billing Media Code 請求媒体コード (ID) 00733

定義：このフィールドはテープ媒体による請求が拒否されるかどうかを示す。有効値は以下の Y/N 標識を参照。

Y テープ媒体による請求が拒否される
 N 通常処理

PV2-33 Expected Surgery Date and Time 予定手術日時 (TS) 00734

成分:<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは手術を予定している日時を示す。

PV2-34 Military Partnership Code 軍隊との契約の有無 (ID) 00735

定義：このフィールドは軍隊の医療機関が非軍事医療施設のサービスを受ける契約をしているか否かを示す。有効値は以下の Y/N 標識を参照。

- Y 契約が存在する
- N 契約は存在しない

PV2-35 Military Non-Availability Code 非軍隊施設の利用許可の有無 (ID) 00736

定義：このフィールドは患者が非軍事医療施設で治療を受ける許可を持っているか否かを示す。有効値は以下の Y/N 標識を参照。

- Y 患者は非軍事医療施設で治療を受ける許可を持っている
- N 患者は非軍事医療施設で治療を受ける許可を持っていない

PV2-36 Newborn Baby Indicator 新生児標識 (ID) 00737

定義：このフィールドは患者が新生児か否かを示す。有効値は以下の Y/N 標識を参照。

- Y 患者は新生児である
- N 患者は新生児ではない

PV2-37 Baby Detained Indicator 新生児残留標識 (ID) 00738

定義：このフィールドは母親が退院した後も新生児が病院に留まることを示す。有効値は以下の Y/N 標識を参照。

- Y 新生児は残留
- N 母親と新生児は通常退院

PV2-38 Mode of Arrival Code 患者到着手段 (CE) 01543

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>
定義：どのように患者が医療機関に運ばれたかを示す。推奨値については使用者定義表 0430-到着手段コードを参照。

使用者定義表 0430 – Mode of Arrival Code 到着手段コード

Value	Description	Comment
A	Ambulance 救急車	
C	Car 自動車	
F	On foot 徒歩	
H	Helicopter ヘリコプタ	
P	Public Transport 公共輸送機関	
O	Other その他	
U	Unknown 不明	

PV2-39 Recreational Drug Use Code 嗜好薬情報 (CE) 01544

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>
定義：このフィールドは患者がどのような嗜好薬を用いているかを示す。これは部屋割りのために用いられる。推奨値は使用者定義表 0431-嗜好薬コードを参照。

使用者定義表 0431 – Recreational Drug Use Code 嗜好薬コード

Value	Description	Comment
A	Alcohol アルコール	
K	Kava カバ	
M	Marijuana マリファナ	
T	Tobacco - smoked タバコ	
C	Tobacco - chewed 噛みタバコ	
O	Other その他	
U	Unknown 不明	

PV2-40 Admission Level of Care Code 入院時患者重症度 (CE) 01545

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは入院時の患者重症度を示す。推奨値は使用者定義表 0432-入院時重症度を参照。

使用者定義表 0432 – Admission Level of Care Code 入院時重症度

Value	Description	Comment
AC	Acute 急性	
CH	Chronic 慢性	
CO	Comatose 昏睡状態	
CR	Critical 重篤	
IM	Improved 改善	
MO	Moribund 瀕死	

PV2-41 Precaution Code 要注意コード (CE) 01546

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>
 定義：このフィールドは患者を扱う上で医療以外の注意事項を示す。推奨値は使用者定義表 0433-要注意コードを参照。

使用者定義表 0433 - Precaution Code 要注意コード

Value	Description	Comment
A	Aggressive 攻撃的	
B	Blind 視覚障害者	
C	Confused 困惑	
D	Deaf 聴覚障害者	
I	On IV 点滴中	
N	"No-code" (i.e. Do not resuscitate) 蘇生不要等	
P	Paraplegic 対麻酔患者	
O	Other その他	
U	Unknown 不明	

PV2-42 Patient Condition Code 患者容態標識 (CE) 01547

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>
 定義：このフィールドは医療関係者以外の、例えば、家族、雇用主、牧師、取材に対して患者の現在の容態説明を示す。推奨値については使用者定義表 0434-患者容態コードを参照。

使用者定義表 0434 – Patient Condition Code 患者容態コード

Value	Description	Comment
A	Satisfactory 改善	
C	Critical 危機	
P	Poor 不安定	
S	Stable 安定	
O	Other その他	
U	Unknown 不明	

PV2-43 Living Will Code 生前意志標識 (IS) 00759

定義：このフィールドは患者が延命を希望しているか否か、もしそうであれば延命希望を示す書類を医療機関が持っているかを示す。もし尊厳死を希望している場合は、この値は尊厳死希望の書類の保管場所を示す。推奨値は使用者定義表 0315-生前意志標識を参照。また、PD1-7 延命希望標識もあわせて参照。

使用者定義表 0315 – Living Will Code 生前意志標識

Value	Description	Comment
Y	Yes, patient has a living will 患者は生前意志表示を行っている	
F	Yes, patient has a living will but it is not on file 患者は生前意志表示があるが、文書ファイルにはなっていない	
N	No, patient does not have a living will and no information was provided 患者の生前意志表示が無く、情報も提供されていない	
I	No, patient does not have a living will but information was provided 患者の生前意志表示が無いが、情報は提供されている	
U	Unknown 不明	

PV2-44 Organ Donor Code 臓器提供希望標識 (IS) 00760

定義：このフィールドは患者が臓器提供を望むか否か、その医療機関においてドナーカードまたは類似の書類を保管しているか否かを示す。推奨値については使用者定義表 0316-臓器提供コードを参照。

使用者定義表 0316 – Organ Donor Code 臓器提供コード

Value	Description	Comment
Y	Yes, patient is a documented donor and documentation is on file 患者は臓器提供を希望しており、ドナーカードを有している	
F	Yes, patient is a documented donor, but documentation is not on file 患者は臓器提供を希望しているが、ドナーカードは無い	
N	No, patient has not agreed to be a donor 患者は臓器提供に合意していない	
I	No, patient is not a documented donor, but information was provided 患者は臓器提供を希望していないが、情報は提供されている	
R	Patient leaves organ donation decision to relatives 患者は親戚の判断で臓器提供する	
P	Patient leaves organ donation decision to a specific person 患者は特定の人の判断で臓器提供する	
U	Unknown 不明	

PV2-45 Advance Directive Code その他の患者要望 (CE) 01548

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>
定義：このフィールドは医療機関に対する患者の指示を示す。推奨値は使用者定義表 0435-その他の患者要望を参照。また PD1-15-その他の患者要望もあわせて参照。

使用者定義表 0435 – Advance Directive Code その他の患者要望

Value	Description	Comment
DNR	Do not resuscitate 蘇生措置不要	

PV2-46 Patient Status Effective Date 患者状態 (PV2-25) の発効日 (DT) 01549

定義：このフィールドはPV2-24患者状態が有効となった日付を示す。

PV2-47 Expected LOA Return Date/Time 予定帰院日時 (TS) 01550

成分:<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>
定義：このフィールドはA21 患者の外出・外泊開始において必要となる。同様に、A22 患者の帰院、A52 患者の外出・外泊の取消、A53 患者の帰院の取消も同様である。このフィールドは患者が帰院する予定の日時を示す。

PV2-48 Expected Preadmission Testing Date/Time 入院前検査予定日時 (TS) 01841

成分:<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>
定義：このフィールドは患者の入院前検査を予定している日時を示す。

PV2-49 Notify Clergy Code 聖職者通知標識 (IS) 01842

定義：このフィールドは聖職者に通知されるべきかを通知するために使用される。推奨値は使用者定義表 0534-聖職者通知標識を参照。

使用者定義表0534 - Notify Clergy Code 聖職者通知標識

Value	Description	Comment
Y	Yes 必要あり	
N	No 必要なし	
L	Last Rites only 埋葬業者のみ	
O	Other その他	
U	Unknown 不明	

7.14 QAK - Query Acknowledgment Segment 照会認知セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.15 QPD - query parameter definition 照会パラメータ定義

QPD セグメントは照会のパラメータを定義する。

HL7属性表 - QPD - Query Parameter Definition 照会パラメータ定義

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	250	CE	R	R		0471	Message Query Name 照会メッセージ名
2	32	ST	C	C			Query Tag 照会タグ
3-n	256	varies		C			User Parameters (in successive fields) 使用者パラメータ

QPD フィールド定義

QPD-1 Message Query Name 照会メッセージ名 (CE) 01375

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>
 定義: このフィールドは照会名を含む。これらの名前は、この仕様の機能に特定した章に指定されている。照会名に関しては、コンフォーマンス・ステートメントと一対一であり、実は、そのコンフォーマンス・ステートメントのための識別子である。サイトで定義した照会名は、文字「Z」から始まる。提案された値については、使用者定義表 0471 - 照会名参照。

使用者定義表 0471 - Query name 照会名

Value	Description	Comment
	no suggested values 推奨値なし	

例)

患者基本属性照会メッセージ イベント(Q22): IHE PDQ Query (JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 を参照のこと)

患者基本属性及び所在照会メッセージ イベント(ZV1): IHE PDVQ Query (JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 を参照のこと)

検査依頼情報照会メッセージ イベント(WOS):

WOS^Work Order Step^IHE_LABTF
 WOS^ Work Order Step^IHALAW
 WOS_ALL ^ Work Order Step All ^IHALAW
 WOS_BY_RACK ^ Work Order Step by Rack ^IHALAW
 WOS_BY_TRAY ^ Work Order Step by Tray ^IHALAW
 WOS_BY_ISOLATE ^ Work Order Step by Isolate ^IHALAW

ラベル情報照会メッセージ イベント(SLI): SLI^Specimen Labeling Instructions^IHE_LABTF
 IHE の記載がある照会名は IHE PaLM Technical Framework を参照のこと。

QPD-2 Query Tag 照会タグ (ST) 00696

定義: 問合せを識別するために、問合せ側システムがこのフィールドに値を設定する。このフィールドは問合せメッセージと応答メッセージの組み合わせ照会に用いられる。もしこの値が存在するならば、応答システムは問合せ応答セグメント(QAK)の最初のフィールドとしてこの値を返す必要がある。このフィールドは MSA-2-message control ID とは異なる。その値はある問合せに関係した各メッセージ(すなわち、すべての継続するメッセージ)に対して一定である。一方、MSA-2-message control ID は継続するメッセージで変化するかもしれない。なぜなら、それは問合せ全体としてではなく独立したメッセージに関係するためである。

[実装時の考慮: ソケットの返答メッセージだけが、今送られた照会に対して唯一の応答になる場合には、実装でこのフィールドに値を入れる必要がない。逆に、多くの照会、応答、および他のメッセージが、同じソケットを越えて双方向に伝えられる「非同期」の場合には、サーバがどちらの照会に答えているかをクライアントが知れるように、このフィールドに値が入ることが必須である。]

QPD-3 User Parameters 使用者パラメータ (Varies) 01435

定義: QPD-3~n- には QPD-1 照会メッセージに応じた照会条件を設定する。

7.16 RCP - response control parameter segment 応答制御パラメータセグメント

RCPセグメントは、照会に対する応答で返送されるべきデータの、量を制限するために使われる。

HL7属性表 - RCP - Response Control Parameter 応答制御パラメータ

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	1	ID	O	O		0091	Query Priority 問合せ優先度
2	10	CQ	O	O		0126	Quantity Limited Request 量限定要求
3	250	CE	O	O		0394	Response Modality 応答モダリティ
4	26	TS	C	N			Execution and Delivery Time 実行伝達時間
5	1	ID	O	N		0395	Modify Indicator 修正フラグ
6	512	SRT	O	N	Y		Sort-by Field フィールドごとのソート制御
7	256	ID	O	O	Y	0391	Segment Group Inclusion セグメントグループ包含

RCP フィールド定義

RCP-1 Query Priority 照会優先度 (ID) 00027

定義：このフィールドは応答が期待されるタイムフレームが含まれる。

提案される値については、HL7表 0091—照会優先度を参照。表値とその後のフィールドは、応答のためのタイムフレームを指定する。

HL7表 0091 - Query priority 照会優先度

Value	Description	Comment
D	Deferred	
I	Immediate	

本規約では、I (Immediate)の使用を推奨する。

RCP-2 Quantity Limited Request 数量限定要求 (CQ) 00031

成分:<Quantity (NM)> ^ <Units (CE)>

副成分 for Units (CE):<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

定義：このフィールドは、要求しているシステムにより受け入れられる応答の最大長が含まれる。有効な入力、第2のコンポーネントで指定されたユニットで与えられる数値(最初のコンポーネントに)である。デフォルトはLI (ライン)。

第2のコンポーネントの有効なエントリは、HL7表 0126 —数量制限要求を参照。セグメントパターン応答では、ラインは1つのセグメントとして定義される。

HL7表 0126 - Quantity limited request 数量制限要求

Value	Description	Message Usage	Comment
CH	Characters	RSP/RTB/RDY	Used where size of input buffer has limitations
LI	Lines	RTB/RDY	
PG	Pages	RDY	In RSP record = hit
RD	Records	RSP/RTB/RDY	
ZO	Locally defined		

例) 1^RD

RCP-3 Response Modality 応答様式 (CE) 01440

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

定義：このフィールドは、応答メッセージのタイミングとグルーピングを指定する。有効な値については、HL7表 0394—応答様式を参照。

HL7表 0394 - Response modality 応答様式

Value	Description
R	Real Time
T	Bolus (a series of responses sent at the same time without use of batch formatting)
B	Batch

本規約では、R (Real Time)の使用を推奨する。

RCP-4 Execution and Delivery Time 実行及び配送時間 (TS) 01441

成分 : <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

返送される応答の時間を指定する。このフィールドは、RCP-1 照会優先度が D (遅延) の値の時に限り、評価される (値が入れられる)。

RCP-5 Modify Indicator 変更表示子 (ID) 01443

定義 : このフィールドは、申し込みが新しいものか、あるいは変更がされつつあるのかを指定する。有効な値については、HL7 表 0395 – 変更指示子を参照。

HL7 表 0395 – Modify indicator 変更指示子

Value	Description	Comment
N	New Subscription	
M	Modified Subscription	

RCP-6 Sort-by Field ソートするフィールド (SRT) 01624

成分 : <Sort-by Field (ST)> ^ <Sequencing (ID)>

定義 : 表になっている返答を求める照会のために、このフィールドは、どちらのフィールドによって、応答がソートされるかということ、そして、区分けをする順序を指定する。QSC 別形が用いられていないときに、このフィールドの最初のコンポーネントのために指定された値は、アウトプット仕様および注釈の ColName フィールドから引き出される。セクション 5.3.3.1 を参照。QSC 別形が使われるときには、これらの値はインプット/アウトプット仕様および注釈の ColName フィールドから引き出される。例についてはセクション 5.9.4.1 を参照。

このフィールドのそれぞれの繰り返しは、1 つのソート・フィールドを指定する。このように、このフィールドの最初の繰り返しは、第一次的なソート・フィールドを指定する; 第 2 の繰り返しは、第二次的なソート・フィールドを指定する。

RCP-7 Segment Group Inclusion セグメントグループ包含 (ID) 01594

定義 : 応答に含まれるオプション・セグメント・グループを指定する。セグメントグループの値については、HL7 表 0391 – セグメントグループを参照。これは、複数のセグメントグループを含めるための繰り返しフィールドである。このフィールドのデフォルト (表されていない) は、すべての関連するグループが含まれることを意味する。

注 : セグメントグループのためのコードは、HL7 表 0391 から取り出されるが、セグメントグループ (e.g. PIDG) の正確なセグメント-レベルの定義は、そのセグメントグループが現れる、その照会のコンフォーマンス・ステートメントの中だけから与えられる。

例 :

HL7表 0391 – Segment group セグメントグループ

Value	Description	Comment
PIDG	PID group	
OBRG	OBR group	
ORCG	ORC group	
RXAG	RXA group	
RXDG	RXD group	
RXEG	RXE group	
RXOG	RXO group	
Etc		

注 : HL7 表 0391 – セグメントグループは、現在、HL7 によって定義されたいかなる値も含まない。値は HL7 技術委員会によって投票により同意されたものがコンフォーマンス・ステートメント中にあるので、それらがこの表に含まれるだろう。

7.17 ROL - Role Segment 役割セグメント

役割セグメントは個人に関連したレコードの追加、更新、修正、削除はもちろん、それらの伝達されるアクティビティについての機能的関連性にも、必要なデータからなる。

HL7属性表 - ROL - Role 役割

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	60	EI	C	C			Role Instance ID 役割実体ID
2	2	ID	R	R			Action Code アクションコード
3	250	CE	R	R		0443	Role-ROL 役割
4	250	XCN	R	R	Y		Role Person 役割者
5	26	TS	O	O			Role Begin Date/Time 役割開始日時
6	26	TS	O	O			Role End Date/Time 役割終了日時
7	250	CE	O	O			Role Duration 役割継続時間
8	250	CE	O	O			Role Action Reason 役割行為理由
9	250	CE	O	O	Y		Provider Type 提供者タイプ
10	250	CE	O	O		0406	Organization Unit Type 組織単位タイプ
11	250	XAD	O	O	Y		Office/Home Address/Birthplace 職場/自宅住所/出生地
12	250	XTN	O	O	Y		Phone 電話

ROL フィールド定義

ROL-1 Role Instance ID 役割実体ID (EI) 01206

成分: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義: このフィールドは特定の役割レコードの一意な識別子からなる。

条件適応規則: 患者ケアと人事管理メッセージで使用される時このフィールドは必要である。

ADT と財務メッセージで使用される時このフィールドはオプションである。

ROL-2 Action Code アクションコード (ID) 00816

定義: このフィールドはメッセージの意図を明確にする。取りうる値はHL7表0287-プロブレム/ゴールアクションコードを参照。

HL7表0287-Problem/goal action code プロブレム/ゴールアクションコード

Value	Description	Comment
AD	ADD	
CO	CORRECT	
DE	DELETE	
LI	LINK	
UC	UNCHANGED *	
UN	UNLINK	
UP	UPDATE	

*UNCHANGED アクションコードが使用されるのは、適用プログラムに対して、この特定セグメントは修正されるべき情報を含まないことを示すためである。それは後続の正しいレコードへの修正と区別するために提供されている。

ROL-3 Role-ROL 役割 (CE) 01197

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate

Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このセグメントは伝達されるアクティビティについての機能的関連性を識別する (例えば、ケースマネージャー、評価者、記録者、看護従事者、助産婦、副医師、など)。取りうる値はユーザー定義表0443-提供者の役割を参照。ROLセグメントがPV1セグメントにおける主治医、紹介医師、入院許可医師に関して使用される時、HL7特定の表を使用すべきである。付加的サイトでは相互に打ち合わせた値が可能である。

注: 表0443は表0286と同様の使用や同様の値を持つと思われるが、より一般的な概念を支援するものである。

使用者定義表0443 - Provider role 提供者の役割

Value	Description	Used with
AD	Admitting 入院許可	PV1-17 Admitting doctor入院許可医師
AT	Attending 治療・看護担当	PV1-7 Attending doctor主治医
CP	Consulting Provider コンサルティング提供者	
FHCP	Family Health Care Professional 家庭医専門者	
PP	Primary Care Provider プライマリケア提供者	
RP	Referring Provider 紹介提供者	PV1-8 Referring doctor紹介医師
RT	Referred to Provider 紹介受託者	

*ADT と財務メッセージにおける ROL セグメントの位置づけは関連性を識別することである。セグメントが IN3 に続いて使用されるとき、そして役割-ROL の値が PP あるいは FHCP であるとき、PP あるいは FHCP は医療計画に関係している。セグメントが PID に続いて使用されるとき、そして役割-ROL の値が PP あるいは FHCP であるとき、PP あるいは FHCP は個人に関係している。セグメントが PV2 に続いて使用されるとき、そして役割-ROL の値が PCP (訳注: PP の誤記) あるいは FHCP であるとき、PP あるいは FHCP は来院に関係している。
本規約に推奨される値は定義されていない。

ROL-4 Role Person 役割者 (XCN) 01198

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE): <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは伝達されている役割を担当している人の識別からなる。

ROL-5 Role Begin Date/Time 役割開始日時 (TS) 01199

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
定義: このフィールドは役割が開始された日時からなる。

ROL-6 Role End Date/Time 役割終了日時 (TS) 01200

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
定義: このフィールドは役割を終えた日時からなる。

ROL-7 Role Duration 役割継続期間 (CE) 01201

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>
定義: このフィールドは役割の履行についての質的時間長からなる (例えば、次のアセスメントまで、4日間、退院まで、など)。

ROL-8 Role Action Reason 役割の行動理由 (CE) 01205

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>
定義: このフィールドはなぜ個人がこの役割を担当 (あるいは変更) しているかの理由を識別する (例えば、シフト変更、新規主看護婦、など)。

ROL-9 Provider Type 提供者タイプ (CE) 01510

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>
定義: このフィールドは提供者のタイプを識別するコードからなる。この属性は続くマスタファイル属性: STF-4 職員タイプと相互に関連する。相互に関連するマスタファイル表からのコード値が使用される; 使用者定義マスタファイル表はこの属性のためにコーディング体系として使用される。

ROL-10 Organization Unit Type 組織単位タイプ (CE) 01461

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>
定義: このフィールドはROL-3 で特定された役割を提供者が実施する環境を識別する。使用者定義表 0406 - 組織単位タイプを参照。

使用者定義表0406 - Organization unit type 組織単位タイプ

Value	Description
H	Home 家庭
O	Office 職場
1	Hospital 病院
2	Physician Clinic 医院
3	Long Term Care 長期療養
4	Acute Care 急性期療養
5	Other その他

ROL-11 Office/Home Address/Birthplace 職場/自宅住所/出生地 (XAD) 00679

成分:<Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 for Street Address (SAD):<Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは提供者の職場の住所と自宅の住所からなる。

ROL-12 Phone 電話 (XTN) 00678

成分:<DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^
<Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country
Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension
(NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^
<Unformatted Telephone number (ST)>

定義：このフィールドは提供者の電話番号からなる。

7.18 SPM - Specimen Segment 検体セグメント

このセグメントの意図は検体の特性について記述することである。それは、OBR がオーダに特有の情報を示す点でOBRの意図と異なる。それはSACが検体採取容器属性に取り組む点でSACセグメントと異なる。個別の検体セグメントによって与えられた利点は、それがオーダ、結果、検体および検体採取容器間の複数の関係を一般化するという点である。

検体とは「グループに関する結論を引き出す目的で観察または分析の対象となる個人、グループ、アイテムあるいは、より大きなグループ、クラスあるいは全体を表す部分である物理的な実体」として定義される。宇宙のどんな物理的な実体も検体になる可能性を持っていることに注意されたい。

検体は、供給源から収集または取得されたものであり、供給源を代表するものでも、供給源内の偏差を表すものでもよい。検体は、観察中に全体的にまたは部分的に消費されることがあり、標本の残りの部分は永続的であり、保存することができる。

このセグメントは、限られた場合に「仮想」標本を記述するためにも使用できる。特に、特定の観察またはテストの状況で検体に必要な特性を特定することが必要な場合に。

要約すると SPM セグメントは検体に固有かつ固有の属性を表す。

HL7 属性表 - SPM - Specimen 検体

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	RE			Set ID - SPM セットID - SPM
2	80	EIP	O	RE			Specimen ID 検体ID
3	80	EIP	O	O	Y		Specimen Parent IDs 親検体ID
4	250	CWE	R	R		0487	Specimen Type 検体タイプ
5	250	CWE	O	O	Y	0541	Specimen Type Modifier 検体タイプ修飾子
6	250	CWE	O	O	Y	0371	Specimen Additives 検体添加物
7	250	CWE	O	O		0488	Specimen Collection Method 検体採取法
8	250	CWE	O	RE		0070	Specimen Source Site 検査材料・検査部位
9	250	CWE	O	O	Y	0542	Specimen Source Site Modifier 検査材料修飾子
10	250	CWE	O	O		0543	Specimen Collection Site 検体採取部位
11	250	CWE	O	O	Y	0369	Specimen Role 検体役割
12	20	CQ	O	O			Specimen Collection Amount 検体採取量
13	6	NM	C	C			Grouped Specimen Count 検体総数
14	250	ST	O	O	Y		Specimen Description 検体記述
15	250	CWE	O	O	Y	0376	Specimen Handling Code 検体取り扱いコード
16	250	CWE	O	O	Y	0489	Specimen Risk Code 検体リスクコード
17	26	DR	O	RE			Specimen Collection Date/Time 検体採取日時
18	26	TS	O	O			Specimen Received Date/Time 検体受領日時
19	26	TS	O	O			Specimen Expiration Date/Time 検体有効期限
20	1	ID	O	O		0136	Specimen Availability 検体有効性
21	250	CWE	O	C	Y	0490	Specimen Reject Reason 検体拒否理由
22	250	CWE	O	O		0491	Specimen Quality 検体品質
23	250	CWE	O	O		0492	Specimen Appropriateness 検体適合性
24	250	CWE	O	O	Y	0493	Specimen Condition 検体条件
25	20	CQ	O	O			Specimen Current Quantity 検体量
26	4	NM	O	O			Number of Specimen Containers 検体容器数
27	250	CWE	O	O			Container Type 容器タイプ
28	250	CWE	O	O		0544	Container Condition 容器状態
29	250	CWE	O	O		0494	Specimen Child Role 子検体役割

SPM フィールド定義

SPM-1 Set ID – SPM セット ID – SPM (SI) 01754

定義：このフィールドはシーケンス番号を含む。このフィールドは、SPM セグメントが繰り返されるメッセージ構造内の SPM セグメントインスタンスを識別するために使用される。

SPM-2 Specimen ID 検体 ID (EIP) 01755

成分:<Placer Assigned Identifier (EI)> ^ <Filler Assigned Identifier (EI)>

副成分 for Placer Assigned Identifier (EI):<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Filler Assigned Identifier (EI):<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドには、依頼者アプリケーション、実施者アプリケーション、またはその両方によって参照される、検体の一意の識別子が含まれる。

一意の検体識別子が存在しない可能性があるユースケースがあるため、このフィールドは必須ではない。第1のシナリオでは、依頼者アプリケーションは、検体を一意に識別することなく、既存の検体に対して検査要求を開始することができる。さらに、自動機器テストコード設定メッセージで使用される TCU_U10 メッセージの場合、SPM セグメントは検体の要求される特性を定義するために使用される。そのため、TCU_U10 は SPM を使用して仮想標本を定義し、特定の検体 ID は存在しない。

実施者アプリケーションは検体 ID を割り当て、それに応じてこのフィールドに入力することが期待される。

SPM-3 Specimen Parent IDs 親検体 ID (EIP) 01756

成分:<Placer Assigned Identifier (EI)> ^ <Filler Assigned Identifier (EI)>

副成分 for Placer Assigned Identifier (EI):<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Filler Assigned Identifier (EI):<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは、セグメントインスタンスによって記述される検体に寄与した検体(複数可)の識別子を含んでいる

このフィールドが繰り返す場合、SPM-11-検体役割 は「L」(プール検体)と評価される。その後、このフィールドの反復は、プールに寄与する親検体の検体 ID を示す。

SPM-4 Specimen Type 検体タイプ (CWE) 01900

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、検査の材料として採取された実体の正確な性質について記述する。

それに関して検査を行うどんな物理的な実体も、検体となり得る。それが複雑な有機体(例えばダチ ヨウ)あるいは特定の細胞塊(例えば特定の筋肉バイオブシー)でも、特定の实体についてできるだけ正確に記述する。

この属性は OBR.15-検体採取元の第1の成分、あるいは SAC.6-検体材料の第1成分に相当する。そして SPS データ型はこのセグメントの開発時に廃止された。

一般に認知されたコーディングシステムが、このフィールドのために使用されることになっている。このフィールドのための有効なコーディングシステムは次のとおり:

HL7 表 0487-検体タイプ (HL7 table 0070-検体採取元 を置き換える)

SNOMED, その他.

獣医学では、業界の決定に従ってこの分野の構成要素に対応するテーブルを選ぶかもしれない。

【臨床検査】日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード 材料コード表 (第5章 5.6節参照)

HL7 表0487 - Specimen Type 検体タイプ

Value	Description	Comment
ABS	Abscess 膿瘍	
PELVA	Abscess Pelvic 骨盤	Condition
PERIA	Abscess, Perianal 肛門周辺	Condition, Abcess & Body Part
RECTA	Abscess, Rectal 直腸	Condition
SCROA	Abscess, Scrotal 陰囊	Condition
SUBMA	Abscess, Submandibular 顎下腺	Condition
SUBMX	Abscess, Submaxillary 下腺部	Condition
TSTES	Abscess, Testicular 辜丸	Condition
AIRS	Air Sample 空気	Environment
ALL	Allograft 移植片	Tissue 組織
AMP	Amputation 切片	Tissue 組織
GASAN	Antrum 洞腔, Gastric 胃	Tissue 組織
ASP	Aspirate 吸引物	
ETA	Aspirate, Endotrach 気管	Aspirate
GASA	Aspirate, Gastric 胃	Aspirate
NGASP	Aspirate, Nasogastric 鼻腔	Aspirate
TASP	Aspirate, Tracheal 導管	Aspirate
TTRA	Aspirate, Transtracheal 導管経由	Aspirate
AUTP	Autopsy 剖検	Tissue
BX	Biopsy 生検	Tissue
GSPEC	Biopsy, Gastric 胃	Tissue
SKBP	Biopsy, Skin 皮膚	Tissue
CONE	Biospy, Cone 下腿	Tissue
BITE	Bite 噛む	Conditions
CBITE	Bite, Cat 猫	Conditions
DBITE	Bite, Dog 犬	Conditions
HBITE	Bite, Human 人	Conditions
IBITE	Bite, Insect 昆虫	Conditions
RBITE	Bite, Reptile 爬虫類	Conditions
BLEB	Bleb 気泡	Condition, Fluid/Tissue
BLIST	Blister 水ぶくれ	Condition, Fluid/Tissue
BBL	Blood bag 血液バッグ	Blood
BPU	Blood product unit 血液製剤	Blood
HBLUD	Blood, Autopsy 剖検血液	Blood
CSVR	Blood, Cell Saver 血液細胞	Transfusion
FBLOOD	Blood, Fetal 胎児血	Blood
MBLD	Blood, Menstrual 生理血	Blood
WB	Blood, Whole 血液	Blood
BOIL	Boil おでき	Condition
BON	Bone 骨	
BOWL	Bowel contents 内臓物	Condition
BRTH	Breath (use EXHLD) 呼吸	
BRSH	Brush 擦過	Product; Brush or brushing (these may be 2 separate entries as in a physical brush or a portion thereof vs the substance obtained after a surface has been brushed)
EBRUSH	Brush, Esophageal 食道	Product
BRUS	Brushing ブラッシング	Product
GASBR	Brushing, Gastric 胃	Product
BUB	Bubo 横根	Condition
BULLA	Bulla/Bullae 水泡	Condition

Value	Description	Comment
BRN	Burn やけど	
CALC	Calculus (=Stone) 結石	
CARBU	Carbuncle 吹き出物	Condition
CAT	Catheter 導尿管	Device
CSITE	Catheter Insertion Site 導尿部位	Device
CTP	Catheter tip 導尿チップ	Device
ANGI	Catheter Tip, Angio 血管	Device
ARTC	Catheter Tip, Arterial 動脈	Device
CVPT	Catheter Tip, CVP 中心静脈圧	Device
ETTP	Catheter Tip, Endotracheal 気管内	Device
FOLEY	Catheter Tip, Foley 薄板	Device
HEMAQ	Catheter Tip, Hemaquit 赤血球	Device
HEMO	Catheter Tip, Hemovac インフルエンザワクチン	Device
IDC	Catheter Tip, Indwelling 留置物	Device
INTRD	Catheter Tip, Introducer 導入物	Device
IVCAT	Catheter Tip, IV 点滴	Device
MAHUR	Catheter Tip, Makurkour マクア	Device
SCLV	Catheter Tip, Subclavian 鎖骨下動脈	Device
SPRP	Catheter Tip, Suprapubic 陰部	Device
SWGZ	Catheter Tip, Swan Gantz スワンガン	Device
VASTIP	Catheter Tip, Vas 血管	Device
VENT	Catheter Tip, Ventricular 腹腔	Device
GROSH	Catheter, Groshong グロソン	Device
HIC	Catheter, Hickman ヒックマン	Device
PORTA	Catheter, Porta ポルタ	Device
SPRPB	Catheter Tip, Suprapubic 陰部	Device
TLC	Catheter Tip, Triple Lumen トリプルルーメン	Device
CLIPP	Clippings 切り落とし	Condition
COL	Colostrum 初乳	
CNJT	Conjunctiva 結膜	
LENS1	Contact Lens コンタクトレンズ	Device
LENS2	Contact Lens Case コンタクトレンズケース	Device
CYST	Cyst 嚢胞	
BCYST	Cyst, Baker's ベーカー	Condition
ICYST	Cyst, Inclusion 異物	Condition
PILOC	Cyst, Pilonidal 毛嚢胞	Condition
RENALC	Cyst, Renal 胃臓	Condition
DIA	Dialysate 血液透析液	Condition
DISCHG	Discharge 退院	Condition
DIV	Diverticulum 憩室	Condition
DRN	Drain ドレーン	
DRN	Drain ドレーン	Device
HEV	Drain, Hemovac インフルエンザワクチン	Device
GTUBE	Drainage Tube, Drainage (Gastrostomy) チューブ	Condition
GASD	Drainage, Gastric 胃	Condition
ILEO	Drainage, Ileostomy 回腸	Condition
JP	Drainage, Jackson Pratt	Condition
JEJU	Drainage, Jejunal	Condition
NASDR	Drainage, Nasal 径鼻	Condition
NGAST	Drainage, Nasogastric 胃径鼻	Condition
PND	Drainage, Penile ペニス	Condition

Value	Description	Comment
DRNGP	Drainage, Penrose ペンローズ	Condition
RECT	Drainage, Rectal 直腸	Condition
SUMP	Drainage, Sump 排水だめ	Condition
DRNG	Drainage, Tube 管	Device
EARW	Ear wax (cerumen) 耳垢	
EFFUS	Effusion 流出	Condition
ELT	Electrode 溶血	
AUTO	Environment, Attest 証明	Environment
ATTE	Environmental, Autoclave Ampule オートクレーブ容器	Environment
AUTO	Environmental, Autoclave Capsule カプセル	Environment
EFF	Environmental, Effluent 廃液	Environment
EEYE	Environmental, Eye Wash 洗眼	Environment
EFOD	Environmental, Food 食物	Environment
EISO	Environmental, Isolette 保育器	Environment
EOTH	Environmental, Other Substance 薬物	Environment; (Substance is Known but not in code Table)
ESOI	Environmental, Soil 汚水	Environment
ESOS	Environmental, Solution (Sterile) 無精子	Environment
SPS	Environmental, Spore Strip 孢子	Environment
STER	Environmental, Sterrad ステラッド	Environment
ENVIR	Environmental, Unidentified Substance 不明物	Environment
WWA	Environmental, Water 水	Environment
DEION	Environmental, Water (Deionized) 脱イオン化	Environment
WWT	Environmental, Water (Tap) たまり	Environment
FAW	Environmental, Water (Well) 泉	Environment
WWO	Environmental, Water (Ocean) 海	
EWHI	Environmental, Whirlpool 渦巻き	Environment
EXUDTE	Exudate 滲出液	Condition
FLT	Filter 濾過	
FIST	Fistula 瘻孔	
FLUID	Fluid 流体	Fluid
FGA	Fluid, Abdomen 腹部	Fluid
CSMY	Fluid, Cystostomy Tube 膀胱管	Fluid
ACNFLD	Fluid, Acne 挫傷	Fluid
FLU	Fluid, Body unsp 不明	
CST	Fluid, Cyst 嚢胞	Fluid
HYDC	Fluid, Hydrocele 辜丸溜	Fluid
IVFLD	Fluid, IV 点滴	Fluid
JNTFLD	Fluid, Joint 関節	Fluid
KIDFLD	Fluid, Kidney 腎臓	Fluid
LSAC	Fluid, Lumbar Sac 腰部	Fluid
FLD	Fluid, Other その他	Fluid
PCFL	Fluid, Pericardial 心嚢	
RENC	Fluid, Renal Cyst 肝臓細胞	Fluid
FRS	Fluid, Respiratory 呼吸器	Fluid
SHUNF	Fluid, Shunt シェント	Fluid
SNV	Fluid, synovial (Joint fluid) 骨髄	
GAST	Fluid/contents, Gastric 胃内容物	
FUR	Furuncle せつ腫	Condition
GAS	Gas ガス	
EXG	Gas, exhaled (=breath) 排気	
IHG	Gas, Inhaled 感染	

Value	Description	Comment
GENV	Genital vaginal 膾	
GRAFT	Graft 移植片	Condition
GRAFT	Graft Site 移植部	Condition
POPGS	Graft Site, Popliteal 膝	Condition
POPLG	Graft, Popliteal 膝	Condition
GRANU	Granuloma 肉芽	Condition
IMP	Implant 移植組織	Device
INFIL	Infiltrate 浸潤物	Condition
INS	Insect 昆虫	Object
IUD	Intrauterine Device 子宮内器具	Device (Common Usage)
IT	Intubation tube 挿管	
KELOI	Lavage 洗淨	Product
LAVG	Lavage, Bronhial 気管洗淨	Product
LAVGG	Lavage, Gastric 胃洗淨	Product
LAVGP	Lavage, Peritoneal 腹腔洗淨	Product
LAVPG	Lavage, Pre-Bronch 前気管洗淨	Product
LESN	Lesion 損傷	Condition
ORL	Lesion, Oral 口腔	Condition (Common Usage)
PENIL	Lesion, Penile ペニス	Condition (Common Usage)
LIQO	Liquid, Other その他	
LIQ	Liquid, Unspecified 未定義	
MASS	Mass 多数	Condition
SMM	Mass, Sub-Mandibular 下顎	Condition
MUCOS	Mucosa 粘膜	Condition
MUCUS	Mucus 粘液	Condition
NEDL	Needle 穿刺	Device
NODUL	Nodule(s) 瘤	Condition
CYN	Nodule, Cystic 瘤のう胞	Condition
ORH	Other	
PACEM	Pacemaker ペースメーカー	Device
PLAN	Plant Material プラント材	Object
PLAS	Plasma 血漿	Blood
PLB	Plasma bag 血漿バック	Blood
PPP	Plasma, Platelet poor 血小板不足	Blood
PRP	Plasma, Platelet rich 血小板過多	Blood
POL	Polyps ポリープ	Condition
PROST	Prosthetic Device 人口装具	Device
PSC	Pseudocyst 偽装嚢胞	Condition
PUS	Pus 膿	
PUST	Pus 膿	Condition
PUSFR	Pustule 小膿	Condition
QC3	Quality Control 品質管理	Environment
RES	Respiratory 呼吸器	Condition (Ambiguous)
SAL	Saliva 唾液	
FSCLP	Scalp, Fetal 胎児	Condition
CSCR	Scratch, Cat 猫	Condition
SECRE	Secretion(s) 分泌物	Fluid/Secretion
NSECR	Secretion, Nasal 鼻汁	Condition
SER	Serum 血清	
ASERU	Serum, Acute 急性期	Blood
CSERU	Serum, Convalescent 回復期	Blood

Value	Description	Comment
PLEVS	Serum, Peak Level ピーク期	Blood
TSERU	Serum, Trough 谷期	Blood
SHUNT	Shunt シヤント	Condition
EXS	Shunt, External 外部シヤント	Condition
SITE	Site 部位	Site
CVPS	Site, CVP 中心静脈圧	Site
INCI	Site, Incision/Surgical 外科的切開	Site
NGS	Site, Naso/Gastric 胃径鼻	Site
NEPH	Site, Nephrostomy 腎造成	Site
PIS	Site, Pacemaker Insetion ペースメーカー挿入	Site
PDSIT	Site, Peritoneal Dialysis 腹膜還流	Site
PDTS	Site, Peritoneal Dialysis Tunnel 腹膜還流管	Site
PINS	Site, Pin	Site
POPLV	Site, Popliteal Vein 膝	Site
SHU	Site, Shunt シヤント	Site
TRAC	Site, Tracheostomy 気管開設	Site
SKN	Skin 皮膚	
TZANC	Smear, Tzanck 塗抹	
GSOL	Solution, Gastrostomy 胃造成	Product
ILLEG	Source of Specimen Is Illegible 判断できず	
OTH	Source, Other その他	
UDENT	Source, Unidentified 未定義	
USPEC	Source, Unspecified 未定義	
SPRM	Spermatozoa 精虫	
SPT	Sputum 喀痰	
SPTC	Sputum - coughed 咳	
SPTT	Sputum - tracheal aspirate 気音	
DCS	Sputum, Deep Cough 深咳	Condition
SPUTIN	Sputum, Inducted 挿入	Condition
SPUT1	Sputum, Simulated 擬態	Condition
SPUTSP	Sputum, Spontaneous 自然	Condition
STONE	Stone, Kidney 腎臓結石	Condition
STL	Stool = Fecal 便秘	
SUP	Suprapubic Tap	Product
SUTUR	Suture 縫合	Object
TISS	Tissue 組織	
TISU	Tissue ulcer 潰瘍	
ACNE	Tissue, Acne 挫創	Tissue
HERNI	Tissue, Herniated 脱痙	Tissue
SCAR	Tissue, Keloid (Scar) 傷跡	Tissue
TRANS	Transudate 濾出液	Condition
ETTUB	Tube, Endotracheal 気管	Device
GT	Tube, Gastric 胃	Device
TUBES	Tubes 管	Device
IVTIP	Tubing Tip, IV 中心静脈圧	Device
TUMOR	Tumor 腫瘍	Condition
DEC	Ulcer, Decubitus 褥瘡	Condition
UR	Urine 尿	
URT	Urine catheter 導尿管	
URC	Urine clean catch 清潔採取	
URINB	Urine, Bladder Washings 膀胱洗浄	Condition

Value	Description	Comment
URINC	Urine, Catheterized カテーテル挿入	Condition
USCOP	Urine, Cystoscop 膀胱鏡検査	Condition
URINM	Urine, Midstream 中間尿	Condition
URINN	Urine, Nephrostomy 腎瘻造	Condition
URINP	Urine, Pedibag 足袋	Device
RANDU	Urine, Random ランダム	Condition
VITF	Vitreous Fluid 流体	
VOM	Vomitus 吐物	
WRT	Wart 瘤	Tissue
WASH	Wash 洗浄	Product
WASI	Washing, e.g. bronchial washing 気管洗浄	Product
WAT	Water 水	
WEN	Wen 瘤 (大)	Tissue
WICK	Wick 芯	
WORM	Worm 女性	Object
WND	Wound 外傷	
WNSA	Wound abscess 膿瘍	
WNDD	Wound drainage 排水	
WNDE	Wound exudates 滲出液	
PUNCT	Wound, Puncture 穿刺	Condition

SPM-5 Specimen Type Modifier 検体タイプ修飾子 (CWE) 01757

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは検体タイプの修正または修飾する事が含まれている。

この属性の使用は、SPM-4—検体タイプによって記述された実体を修正、限定、またはさらに特定する事である。SPM-4—検体タイプの中で使用されるコードセットが完全に記述できない場合、これは特に有用である。例えば、もし検体が「毛細血管静脈血」と正確に記述されていても、使用されているコードセットが単に「静脈血」しか提供していない場合、この属性を使用して「毛細血管」という修飾子を追加できる。推奨値は「使用者定義表 0541 検体タイプ修飾子」を参照。

使用者定義表 0541 - Specimen Type Modifier 検体タイプ修飾子

Value	Description	Comment
	no suggested values 推奨値なし	

SPM-6 Specimen Additives 検体添加物 (CWE) 01758

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、採取前あるいは採取時に検体に添加された添加物を識別する。これらの添加物は検体の特定の性質または成分を保存、維持または増強するために導入される。推奨値は「HL7 Table 0371 – 添加物」を参照。

HL7表 0371 – Additive 添加物

Value	Description	Comment
F10	10% Formalin	Tissue preservative
C32	3.2% Citrate クエン酸	Blue top tube
C38	3.8% Citrate クエン酸	Blue top tube
HCL6	6N HCL 塩酸	24 HR Urine Additive
ACDA	ACD Solution A	Yellow top tube
ACDB	ACD Solution B	Yellow top tube
ACET	Acetic Acid	Urine preservative

Value	Description	Comment
AMIES	Amies transport medium	Protozoa
HEPA	Ammonium heparin	Green top tube
BACTM	Bacterial Transport medium	Microbiological culture
BOR	Borate Boric Acid	24HR Urine Additive
BOUIN	Bouin's solution	Tissue
BF10	Buffered 10% formalin	Tissue
WEST	Buffered Citrate (Westergren Sedimentation Rate)	Black top tube
BSKM	Buffered skim milk	Viral isolation
CARS	Carson's Modified 10% formalin	Tissue
CARY	Cary Blair Medium	Stool Cultures
CHLTM	Chlamydia transport medium	Chlamydia culture
CTAD	CTAD (this should be spelled out if not universally understood)	Blue top tube
ENT	Enteric bacteria transport medium	Bacterial culture
ENT+	Enteric plus	Stool Cultures
JKM	Jones Kendrick Medium	Bordetella pertussis
KARN	Karnovsky's fixative	Tissue
LIA	Lithium iodoacetate	Gray top tube
HEPL	Lithium/Li Heparin へパリン	Green top tube
M4	M4	Microbiological culture
M4RT	M4-RT	Microbiological culture
M5	M5	Microbiological culture
MICHTM	Michel's transport medium	IF tests
MMDTM	MMD transport medium	Immunofluorescence
HNO3	Nitric Acid	Urine
NONE	None	Red or Pink top tube
PAGE	Pages's Saline	Acanthoemba
PHENOL	Phenol	24 Hr Urine Additive
KOX	Potassium Oxalate	Gray top tube
EDTK	Potassium/K EDTA	Deprecated. Replaced by EDTK15 and EDTK75
EDTK15	Potassium/K EDTA 15%	Purple top tube
EDTK75	Potassium/K EDTA 7.5%	Purple top tube
PVA	PVA (polyvinylalcohol)	O&P
RLM	Reagan Lowe Medium	Bordetella pertussis cultures
SST	Serum Separator Tube (Polymer Gel)	'Tiger' Top tube
SILICA	Siliceous earth, 12 mg	Gray top tube
NAF	Sodium Fluoride	Gray top tube
FL100	Sodium Fluoride, 100mg	Urine
FL10	Sodium Fluoride, 10mg	Urine
NAPS	Sodium polyanethol sulfonate 0.35% in 0.85% sodium chloride	Yellow (Blood Culture)
HEPN	Sodium/Na Heparin へパリン	Green top tube
EDTN	Sodium/Na EDTA	Dark Blue top tube
SPS	SPS(this should be spelled out if not universally understood)	Anticoagulant w/o bacteriocidal properties
STUTM	Stuart transport medium	Bacterial culture
THROM	Thrombin	Orange or Grey/Yellow (STAT Chem)
FDP	Thrombin NIH; soybean trypsin inhibitor (Fibrin Degradation Products)	Dark Blue top tube
THYMOL	Thymol	24 Hr Urine Additive
THYO	Thyoglycollate broth	Bacterial Isolation
TOLU	Toluene	24 Hr Urine Additive
URETM	Ureaplasma transport medium	Ureaplasma culture
VIRTM	Viral Transport medium	Virus cultures

SPM-7 Specimen Collection Method 検体採取法 (CWE) 01759

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検体の採取過程、方法について記述する

このフィールドには、SNOMED を含む国家的に認識されたコード体系を使用する。代替として HL7 表 0488- Specimen Collection Method 検体採取法、HL7 V2.5 第7章 7.18.6 節、が使用される。獣医学では、その分野で決定したこのフィールドの要素をサポートする表を選択してもよい。

HL7表 0488 – Specimen Collection Method 検体採取法

Value	Description	Comment
FNA	Aspiration, Fine Needle	
PNA	Aterial puncture	
BIO	Biopsy	
BCAE	Blood Culture, Aerobic Bottle	
BCAN	Blood Culture, Anaerobic Bottle	
BCPD	Blood Culture, Pediatric Bottle	
CAP	Capillary Specimen	
CATH	Catheterized	
EPLA	Environmental, Plate	
ESWA	Environmental, Swab	
LNA	Line, Arterial	
CVP	Line, CVP	
LNV	Line, Venous	
MARTL	Martin-Lewis Agar	
ML11	Mod. Martin-Lewis Agar	
PACE	Pace, Gen-Probe	
PIN	Pinworm Prep	
KOFFP	Plate, Cough	
MLP	Plate, Martin-Lewis	
NYP	Plate, New York City	
TMP	Plate, Thayer-Martin	
ANP	Plates, Anaerobic	
BAP	Plates, Blood Agar	
PRIME	Pump Prime	
PUMP	Pump Specimen	
QC5	Quality Control For Micro	
SCLP	Scalp, Fetal Vein	
SCRAPS	Scrapings	
SHA	Shaving	
SWA	Swab	
SWD	Swab, Dacron tipped	
WOOD	Swab, Wooden Shaft	
TMOT	Transport Media,	
TMAN	Transport Media, Anaerobic	
TMCH	Transport Media, Chlamydia	
TMM4	Transport Media, M4	
TMMY	Transport Media, Mycoplasma	
TMPV	Transport Media, PVA	
TMSC	Transport Media, Stool Culture	
TMUP	Transport Media, Ureaplasma	
TMVI	Transport Media, Viral	
VENIP	Venipuncture	

SPM-8 Specimen Source Site 検査材料・検査部位 (CWE) 01901

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検体が得られた出所を指定する。例えば、肝臓バイオプシーが経皮的な針によって得られる時に、出所は肝臓となる。

一般的に認知された SNOMED を含む任意のコーディングシステムを使用できる。あるいは HL7 定義テーブル 0070 を使用してもよい。獣医学では、業界の決定に従ってこの分野の構成要素に対応するテーブルを選ぶかもしれない。

HL7 表 0070 - Specimen Source Codes 検体検査材料・採取部位コード

Value	Description	Comment
ABS	Abscess 腫物	
AMN	Amniotic fluid 羊水	
ASP	Aspirate 吸入	
BPH	Basophils 好塩基球	
BIFL	Bile fluid 胆汁	
BLDA	Blood arterial 動脈血	
BBL	Blood bag 血液バッグ	
BLDC	Blood capillary 毛細血	
BPU	Blood product unit	
BLDV	Blood venous 静脈血	
BON	Bone 骨	
BRTH	Breath (use EXHLD) 呼吸(EXHLD を使用)	
BRO	Bronchial 気管支	
BRN	Burn 火傷	
CALC	Calculus (=Stone) 結石 (=石)	
CDM	Cardiac muscle 心筋	
CNL	Cannula カニューレ	
CTP	Catheter tip カテーテル・チップ	
CSF	Cerebral spinal fluid 髄液	
CVM	Cervical mucus 子宮頸管粘液	
CVX	Cervix 頸部	
COL	Colostrum 初乳	
BLDCO	Cord blood	
CNJT	Conjunctiva 結膜	
CUR	Curettage 搔爬	
CYST	Cyst 嚢胞	
DIAF	Dialysis fluid 透析液	
DOSE	Dose med or substance 投与薬剤または物質	
DRN	Drain 排液	
DUFL	Duodenal fluid 十二指腸液	
EAR	Ear 耳	
EARW	Ear wax (cerumen) 耳垢	
ELT	Electrode 電極	
ENDC	Endocardium 心内膜	
ENDM	Endometrium 子宮内膜	
EOS	Eosinophils 好酸球	
RBC	Erythrocytes 赤血球	
EYE	Eye 目	
EXG	Exhaled gas (=breath)	
FIB	Fibroblasts 繊維芽細胞	
FLT	Filter フィルター	
FIST	Fistula 瘻孔	
FLU	Body fluid, unsp 体液、unsp	
GAS	Gas ガス	
GAST	Gastric fluid/contents 胃液/内容物	
GEN	Genital 生殖器	
GENC	Genital cervix 生殖器頸部	
GENL	Genital lochia 生殖器悪露	
GENV	Genital vaginal 生殖器陰部	
HAR	Hair 毛髪	
IHG	Inhaled Gas 吸入ガス	
IT	Intubation tube 挿管チューブ	
ISLT	Isolate 分離株	
LAM	Lamella 薄膜	
WBC	Leukocytes 白血球	

Value	Description	Comment
LN	Line ライン	
LNA	Line arterial ライン、動脈	
LNV	Line venous ライン、静脈	
LIQ	Liquid NOS 鼻汁	
LYM	Lymphocytes リンパ球	
MAC	Macrophages マクロファージ	
MAR	Marrow 骨髄	
MEC	Meconium 胎便	
MBLD	Menstrual blood 月経血	
MLK	Milk 乳	
MILK	Breast milk 母乳	
NAIL	Nail 爪	
NOS	Nose (nasal passage) 鼻 (鼻腔)	
ORH	Other その他のもの	
PAFL	Pancreatic fluid 膵液	
PAT	Patient 患者	
PRT	Peritoneal fluid /ascites 腹膜液/腹水	
PLC	Placenta 胎盤	
PLAS	Plasma 血漿	
PLB	Plasma bag 血漿バッグ	
PLR	Pleural fluid (thoracentesis fld) 胸水	
PMN	Polymorphonuclear neutrophils 多形核好中球	
PPP	Platelet poor plasma 血小板乏血漿	
PRP	Platelet rich plasma 血小板多血漿	
PUS	Pus	
RT	Route of medicine 投薬経路	
SAL	Saliva 唾液	
SMN	Seminal fluid	
SER	Serum 血清	
SKN	Skin 皮膚	
SKM	Skeletal muscle 骨格筋	
SPRM	Spermatozoa 精子	
SPT	Sputum 痰	
SPTC	Sputum - coughed 痰-咳をした	
SPTT	Sputum - tracheal aspirate 痰-気管吸入	
STON	Stone (use CALC) 石 (CALCを使用すること)	
STL	Stool = Fecal 便 = 排泄物	
SWT	Sweat 汗	
SNV	Synovial fluid (Joint fluid) 関節滑液 (関節液)	
TEAR	Tears 涙	
THRT	Throat 喉	
THRB	Thrombocyte (platelet) 紡錘細胞 (血小板)	
TISS	Tissue 組織	
TISG	Tissue gall bladder 組織胆嚢	
TLGI	Tissue large intestine 組織大腸	
TLNG	Tissue lung 組織肺	
TISPL	Tissue placenta 組織胎盤	
TSMI	Tissue small intestine 組織小腸	
TISU	Tissue ulcer 組織潰瘍	
TUB	Tube NOS 鼻管	
ULC	Ulcer 潰瘍	
UMB	Umbilical blood 臍血	
UMED	Unknown medicine 未知の薬剤	
URTH	Urethra 尿道	
UR	Urine 尿	
URC	Urine clean catch 尿、クリーンキャッチ	
URT	Urine catheter 尿カテーテル	
URNS	Urine sediment 尿沈渣	
USUB	Unknown substance 未知の物質	
VITF	Vitreous Fluid	

Value	Description	Comment
VOM	Vomitus 吐物	
BLD	Whole blood 全血	
BDY	Whole body 全身	
WAT	Water 水	
WICK	Wick ガーゼ	
WND	Wound 傷	
WNSA	Wound abscess 傷腫物	
WNDE	Wound exudate 傷浸出物	
WNDD	Wound drainage 傷排液	
XXX	To be specified in another part of the message メッセージの別の部分で指定されること	

SPM-9 Specimen Source Site Modifier 検査材料修飾子 (CWE) 01760

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドには検体部位に関する記述の修正または修飾が含まれている。

この属性の使用は、SPM-8—検体部位 によって記述された実体を修正、限定、またはさらに特定する事である。SPM-8—検体部位 で使用されるコードセットが完全に記述できない場合、これは特に有用である。例えば、もし検体が「左橈骨静脈」と正確に記述されていても、使用されているコードセットが単に「橈骨静脈」しか提供していない場合、この属性を使用して「左」という修飾子を追加できる。

獣医学では、業界の決定に従ってこの分野の構成要素に対応するテーブルを選ぶかもしれない。推奨値は「使用者定義表 0542—検体部位タイプ修飾子」を参照。

使用者定義表 0542 – Specimen Source Type Modifier 検査材料タイプ修飾子

Value	Description	Comment
	no suggested values 推奨値なし	

SPM-10 Specimen Collection Site 検体採取部位 (CWE) 01761

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、特定のサイト（解剖学的位置など）を介して検体部位にアクセスする必要がある場合にSPM-8 検体部位とは異なる。例えば、肝臓バイオプシーが経皮的針を介して得られる場合、採取部位は針の進入点であろう。左橈骨静脈から収集された静脈血については、採取部位は「前肘孔」であり得る。

獣医学では、業界の決定に従ってこの分野の構成要素に対応するテーブルを選ぶかもしれない。推奨値は「使用者定義表 0543—検体採取部位」を参照。

使用者定義表 0543 – Specimen Collection Site 検体採取部位

Value	Description	Comment
	no suggested values 推奨値なし	

SPM-11 Specimen Role 検体役割 (CWE) 01762

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

このフィールドは検体の役割を示す。推奨値については、使用者定義表 0369— 検体役割を参照。これらの各値は通常、システムとその成分によって識別可能であり、検体に関連する処理とデータ管理に影響を与える可能性がある。

このフィールドに値が入力されていない場合、説明されている検体には、検査の焦点として機能する以外に特別な、または具体的な役割はない。このような検体として、検査用の患者検体、環境的なあるいはその他のサンプルが含まれる。

グループ化された検体は、個々の識別子を持たず、それに対して同じサービスが実行される複数の個人からの同一の標本タイプで構成される。検体役割の値が「G」の場合、グループ標本数（SPM-13）はそのグループに含まれる標本の総数で評価されなければならない。

標本の役割が「L」の場合、親標本 ID（SPM-3）の反復は、プールされた標本に寄与する個々の親検体を表す。推奨値は「使用者定義表 0369 – 検体役割」を参照。

使用者定義表 0369 – Specimen Role 検体役割

Value	Description	Comment
B	Blind Sample 精度管理用ブラインド検体	
C	Calibrator キャリブレーション用、used for initial setting of calibration	
E	Electronic QC 予測 QC 値、used with manufactured reference providing signals that simulate QC results	
F	Specimen used for testing proficiency of the organization performing the testing (Filler) 検査室検体	
G	Group (where a specimen consists of multiple individual elements that are not individually identified) 個別 ID なし	
L	Pool (aliquots of individual specimens combined to form a single specimen representing all of the components.) プール検体	
O	Specimen used for testing Operator Proficiency 検査者検体	
P	Patient specimen 患者検体	
Q	Control specimen 精度管理検体	
R	Replicate 複製	
V	Verifying Calibrator キャリブレーション検証、used for periodic calibration checks	

【臨床検査】IHE PaLM Technical Framework LAWプロファイルでは、不明な検体を表現する場合“U”を使用する。その際は、Name of Coding Systemが「IHELAW」として使用する。

SPM-12 Specimen Collection Amount 検体採取量 (CQ) 01902

成分:<Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 for Units (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは採取された検体の体積または質量を示す。検体検査の場合それは検体の容量である。単位はISOにより決められたものを使用する (ISO-2955, 1977)。これは依頼者あるいは他の部門が既に検体を採取した場合を除き、結果専用フィールドである。(第7章の「単位」を参照のこと)。

【臨床検査】単位は標準化された単位体系の使用が望まれる。

IHE PaLM Technical Framework では、UCUM の使用を推奨している。

SPM-13 Grouped Specimen Count 総検体数 (NM) 01763

定義：このフィールドは、検体によって表わされる特定のタイプの検体の数を表す。このフィールドの使用は、検体に関連する属性がすべて同一の検体に制限される。検体役割属性が値「G」または「L」を持っている場合のみ、このフィールドは値を持つ。

SPM-14 Specimen Description 検体記述 (ST) 01764

定義：これは、検体に関する追加情報をメッセージで送信するためのテキストフィールドである。

SPM-15 Specimen Handling Code 検体取り扱いコード (CWE) 01908

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：これは検体採取/収集から検査開始までの間に採取容器/検体をどのように扱うかを記載する。このフィールドは必須ではないので、値が入力されていない場合の意味は想定されない。推奨値は「使用者定義表 0376 – 検体取り扱いコード」を参照。

使用者定義表 0376 – Special Handling Code 検体取り扱いコード

Code	Description	Comment/Usage Note/Definition
C37	Body temperature 体温	Critical to keep at body temperature: 36 - 38° C.
AMB	Ambient temperature 環境温度	Keep at ambient (room) temperature, approximately 22 ± 2 degrees C. Accidental refrigeration or freezing is of little consequence

Code	Description	Comment/Usage Note/Definition
CAMB	Critical ambient temperature 重要な環境温度	Critical ambient – must not be refrigerated or frozen.
REF	Refrigerated temperature 冷蔵温度	Keep at refrigerated temperature: 4-8° C. Accidental warming or freezing is of little consequence
CREF	Critical refrigerated temperature 重要な冷蔵温度	Critical refrigerated – must not be allowed to freeze or warm until immediately prior to testing
FRZ	Frozen temperature 冷凍温度	Keep at frozen temperature: -4° C. Accidental thawing is of little consequence
CFRZ	Critical frozen temperature 重要な冷凍温度	Critical frozen – must not be allowed to thaw until immediately prior to testing
DFRZ	Deep frozen 凍結	Deep frozen: -16 to -20° C.
UFRZ	Ultra frozen 氷結	Ultra cold frozen: ~ -75 to -85° C. (ultra cold freezer is typically at temperature of dry ice).
NTR	Liquid nitrogen 液体窒素	Keep in liquid nitrogen.
PRTL	Protect from light 暗視保存	Protect from light (e.g., wrap in aluminum foil).
CATM	Protect from air 真空保存	Critical. Do not expose to atmosphere. Do not uncap.
DRY	Dry 乾燥保存	Keep in a dry environment.
PSO	No shock 禁ショック	Protect from shock.
PSA	Do not shake 禁シェーク	Do not shake.
UPR	Upright 垂直保存	Keep upright. Do not turn upside down.
MTLF	Metal Free 金属可	Container is free of heavy metals including lead.

SPM-16 Specimen Risk Code 検体リスクコード (CWE) 01903

成分 : <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義 : このフィールドは、既知のまたは疑わしい検体の危険性、例えば、非常に感染性の高い病原体または肝炎患者からの血液を含む。コードまたはテキスト、あるいはその両方が存在しない可能性がある。ただし、コードは常に最初の成分に配置され、任意のフリーテキストは2番目の成分に配置される。したがって、成分デリミタはコードなしでフリーテキストの前になければならない。推奨値は「使用者定義表 0489 – リスクコード」を参照。

使用者定義表 0489 – Risk Codes リスクコード

Code	Description	Comment/Usage Note/Definition
BIO	Biological 生物製剤	The dangers associated with normal biological materials. I.e. potential risk of unknown infections. Routine biological materials from living subjects.
COR	Corrosive 腐食物	Material is corrosive and may cause severe injury to skin, mucous membranes and eyes. Avoid any unprotected contact.
ESC	Escape Risk 回避リスク	The entity is at risk for escaping from containment or control.
AGG	Aggressive 悪性	A danger that can be associated with certain living subjects, including humans.
IFL	Material Danger Inflammable 引火性物質	Material is highly inflammable and in certain mixtures (with air) may lead to explosions. Keep away from fire, sparks and excessive heat.
EXP	Explosive 爆発物	Material is an explosive mixture. Keep away from fire, sparks, and heat.
INF	Material Danger Infectious 感染性危険物質	Material known to be infectious with human pathogenic microorganisms. Those who handle this material must take precautions for their protection.
BHZ	Biohazard バイオハザード	Material contains microorganisms that is an environmental hazard. Must be handled with special care.
INJ	Injury Hazard 疾病障害	Material is solid and sharp (e.g., cannulas.) Dispose in hard container.
POI	Poison 毒薬	Material is poisonous to humans and/or animals. Special care must be taken to avoid incorporation, even of small amounts.
RAD	Radioactive 放射性物質	Material is a source for ionizing radiation and must be handled with special care to avoid injury of those who handle it and to avoid environmental hazards.

SPM-17 Specimen Collection Date/Time 検体採取日時 (DR) 01765

成分 : <Range Start Date/Time (TS)> ^ <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS) : <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS) : <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：検体が取得された日時。日付範囲データ型を使用すると、一定期間にわたって採取された検体の説明、たとえば24時間尿採取が可能になる。ある時点で採取された検体については、最初の構成要素（開始日/時刻）だけが入力される。

SPM-18 Specimen Received Date/Time 検体受領日時 (TS) 00248

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：検体受領日時は、検体が診断サービス部門で受領された時刻である。実際に記録される時間は、検体受領の管理方法に基づいており、検体が認識された時間に対応する場合がある。これは、SPM-17-検体採取日時とは基本的に異なる。

SPM-19 Specimen Expiration Date/Time 検体有効期限 (TS) 01904

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは指示された検査目的のためには検体がもはや使用することができない日時である。例えば、血液銀行業務環境では、検体がもはや血液交差試験には使えないなど。

SPM セグメントは SPM-21-検体拒否理由の“EX”（期限切れ、この日付を過ぎている場合）を含む。

SPM-20 Specimen Availability 検体有効性 (ID) 01766

定義：これは検体が検査に利用できるかどうかを記載する。推奨値は「HL7 表 0136 Yes/No 標識」を参照。

SPM-21 Specimen Reject Reason 検体拒否理由 (CWE) 01767

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：これは、依頼された検査/結果/分析のために検体が拒絶される1つ以上の理由について記述する。推奨値は「HL7 表 0490 – 検体拒否理由」を参照。

HL7表 0490 – Specimen Reject Reason 検体拒否理由

Value	Description	Comment
EX	Expired 期限切れ	
QS	Quantity not sufficient 量不足	
RB	Broken container 破損容器	
RC	Clotting 凝固	
RD	Missing collection date 採取日漏れ	
RA	Missing patient ID number 親検体 ID 漏れ	
RE	Missing patient name 患者名漏れ	
RH	Hemolysis 溶血	
RI	Identification problem ID 不具合	
RM	Labeling ラベル異常	
RN	Contamination 混濁	
RP	Missing phlebotomist ID (採血者、血液学者) ID 漏れ	
RR	Improper storage 不適切保管	
RS	Name misspelling 氏名間違い	

SPM-22 Specimen Quality 検体品質 (CWE) 01768

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：受領検体の状態の程度。実施側がこの属性を設定する。推奨値は「使用者定義表 0491 – 検体品質」を参照。

使用者定義表 0491 – Specimen Quality 検体品質

Value	Description	Comment
E	Excellent 優秀	
G	Good 良好	
F	Fair 適正	
P	Poor 不適	

SPM-23 Specimen Appropriateness 検体適合性 (CWE) 01769

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：実施者によって決定される特別な計画用途に対する検体の適応性。推奨値は「使用者定義表 0492 – 検体適合性」を参照。

使用者定義表 0492 – Specimen Appropriateness 検体適合性

Value	Description	Comment
P	Preferred 良好	
A	Appropriate 適切	
I	Inappropriate 不適切	
??	Inappropriate due to 期限切れ...	

SPM-24 Specimen Condition 検体状態 (CWE) 01770

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検体のモードもしくは状態を記述する。推奨値は「使用者定義表 0493 – 検体状態」を参照。

使用者定義表 0493 – Specimen Condition 検体状態

Value	Description	Comment
AUT	Autolyzed 自己溶解 (溶血)	
CLOT	Clotted 凝固	
CON	Contaminated 混濁	
COOL	Cool 冷却	
FROZ	Frozen 凍結	
HEM	Hemolyzed 溶血	
LIVE	Live 生	
ROOM	Room temperature 室温	
SNR	Sample not received 検体未受領	

SPM-25 Specimen Current Quantity 検体量 (CQ) 01771

成分:<Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 for Units (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：この属性は、現在存在している、またはさらなる検査で使用するために利用可能な検体の量を表す。

SPM-26 Number of Specimen Containers 検体容器数 (NM) 01772

定義：このフィールドは、与えられた採取容器の数を示す。検体受付時の確認のために用いる。オーダーに伴う検体の総数とは異なる場合がある。

SPM-27 Container Type 容器タイプ (CWE) 01773

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検体を移送するための採取容器のタイプを表す。

SPM-28 Container Condition 容器状態 (CWE) 01774

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検体が検査室から検査室に移される場合、検体を出荷する際の採取容器の状態を各受付けで記録する必要がある。採取容器が何らかの方法(封印漏れ、採取容器破損、検体漏れなど)で侵害された場合、法的な理由でこれを記録する必要がある。推奨値は「使用者定義表 0544-採取容器状態」を参照。

使用者定義表 0544 – Container Condition 容器状態

Value	Description	Comment
	no suggested values 推奨値なし	

SPM-29 Specimen Child Role 子検体役割 (CWE) 01775

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：子検体と親検体の関係を示す。このフィールドに値が入力されている場合は SPM-3-親検体 ID も必要である。このフィールドは、このフィールドは SPM-15-検体役割とは異なり検査オーダー上の検体の役割ではなく、親検体に関するこの検体の役割を表す。推奨値は「HL7 表 0494 – 子検体役割」を参照。

HL7表 0494 – Specimen Child Role 子検体役割

Value	Description	Comment
A	Aliquot 分注検体	
C	Component 成分	
M	Modified from original specimen 加工 (希釈など)	

7.19 TQ1 - Timing/Quantity Segment タイミング／数量セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

8. 臨床検査自動化用メッセージ構文

メッセージ構文での表記規則：

- Usage (JAHIS仕様での取り扱い)
 - R - 必須。
 - O - オプション。
 - C トリガーイベントまたはメッセージの使用条件による。
 - X - 本規約では使用しない。
 - N - 使用しない (関係者の合意のもとに関係システム内限定で使用可。
- 注： [] は省略可能、{} は繰り返し可能を示す。

8.1 自動化装置ステータス(ESU/ESR)

装置または装置ステータスに関する情報の要求には自動化装置ステータス要求(ESR)を用い、その場合の応答には自動化装置ステータス更新(ESU)を使用する。

なお、自動化装置ステータス更新(ESU)は自発的に装置または装置ステータスに関する情報の更新を行うために送信できる。

8.1.1 ESU/ACK 自動化装置ステータス更新 イベント (U01)

このメッセージは、1つのアプリケーションから別のアプリケーションにデバイスまたは装置のステータスに関する情報を送信するために使用される(例: 検体検査自動化システム(検体搬送) → 検査情報システム(LIS)、自動分析装置 → 検体検査自動化システム(検体ラックの受取可否))。

ステータス更新は、非要求(unsolicited)、または「自動化装置ステータス要求」トリガーへの応答として送信できる。

ESU/ACK 自動化装置ステータス更新メッセージ

表8.1.1-1 ESU^U01 Equipment Status Message

<u>ESU^U01^ESU U01</u>	<u>Equipment Status Message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ [ISD] }	Interaction Status Detail	O	13
[ROL]	Role Detail	O	12

表8.1.1-2 ACK^U01 General Acknowledgment

<u>ACK^U01^ACK</u>	<u>General Acknowledgement</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error ¹	C	2

- MSHはメッセージに1つ必須である。
- MSAはメッセージに1つ必須である。
- EQUはメッセージに1つ必須である。
- SFTセグメントは省略ができる。
- ISDセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

¹ このエラーセグメントは否認トランザクションの起因となったフィールドを示す。

8.1.2 ESR/ACK 自動化装置ステータス要求 イベント(U02)

このメッセージは、1つのアプリケーションから別のアプリケーションにデバイスのまたは装置のステータスに関する情報を要求するために使用される（例：検査情報システム(LIS)→検体検査自動化システム(検体搬送)）。

EQUセグメントで指定された装置は、「自動化装置ステータス更新」を使ってステータスを返す必要がある。

ESR/ACK 自動化装置ステータス要求メッセージ

表8.1.2-1 ESR^U02 Equipment Status Message

<u>ESR^U02^ESR U02</u>	<u>Equipment Status Message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

表8.1.2-2 ACK^U02 General Acknowledgment

<u>ACK^U02^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- f) MSHはメッセージに1つ必須である。
- g) MSAはメッセージに1つ必須である。
- h) EQUはメッセージに1つ必須である。
- i) SFTセグメントは省略ができる。
- j) ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.2 検体ステータス(SSU/SSR)

8.2.1 SSU/ACK 検体ステータス更新 イベント(U03)

このメッセージは、検体の位置とステータスに関する情報を1つのアプリケーションから他のアプリケーションに送信するために使用される。(例：検体検査自動化システム(検体搬送)→検査情報システム(LIS))

SAC セグメントの後の OBX セグメントは SAC セグメントに含まれない情報を転送するために使われる。

SPM セグメントの後の OBX セグメントは SPM セグメントに関連する情報を転送するために使われる。

注) このメッセージは IHE PaLM Technical Framework LDA プロファイルの LAB-26 トランザクションに使用される。

SSU/ACK 検体ステータス更新メッセージ

表8.2.1-1 SSU^U03 Specimen Status Message

SSU^U03^SSU_U03	Specimen Status Message	Usage	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	R	13
{ [OBX] }	Additional specimen characteristics	O	7
[{	--- SPECIMEN begin		
SPM	Specimen	O	7
{ [OBX] }	Specimen related observation	O	7
]]	--- SPECIMEN end		
}	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
[ROL]	Role Detail	N	12

表8.2.1-2 ACK^U03 General Acknowledgment

ACK^U03^ACK	General Acknowledgment	Usage	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- MSAセグメントは、ACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- SACセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- SFTセグメントは省略ができる。
- OBXセグメントは省略ができる。
- SPMセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

8.2.2 SSR/ACK 検体ステータス要求 イベント(U04)

このメッセージは、検体の位置とステータスに関する情報を1つのアプリケーションから他のアプリケーションに要求するために使用される（例：検査情報システム(LIS)→検体検査自動化システム(検体搬送)）。

この要求は SAC セグメントの内容の組み合わせ—容器、キャリア、トレイ、検体位置によって実現される。

EQU セグメントで指定された装置は「検体ステータス更新」を使って応答する必要がある。

SSR/ACK 検体ステータス要求メッセージ

表8.2.2-1 SSR^U04 Specimen Status Message

SSR^U04^SSR_U04	Specimen Status Message	Usage	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	R	13
{ [SPM] }	Specimen	O	7
}	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
[ROL]	Role Detail	O	12

表8.2.2-2 ACK^U04 General Acknowledgment

ACK^U04^ACK	General Acknowledgment	Usage	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- MSAセグメントは、ACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- SACセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- SFTセグメントは省略ができる。
- SPMセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.3 自動化装置在庫 (INU/INR)

8.3.1 INU/ACK 自動化装置在庫更新 イベント(U05)

このメッセージは、在庫項目に関する情報を 1つのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される(例: 検体検査自動化システム(検体搬送)→検査情報システム(LIS)、自動分析装置→検査情報システム(LIS))。

INU/ACK 自動化装置在庫更新メッセージ

表8.3.1-1 INU^U05 Inventory Update Message

<u>INU^U05^INU U05</u>	<u>Inventory Update Message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ INV }	Inventory Detail	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

表8.3.1-2 ACK^U05 General Acknowledgment

<u>ACK^U05^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHはメッセージに1つ必須である。
- MSAはACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、EQU-1 (装置ID) とEQU-2 (イベントの日付/時刻) のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- INVは一連の在庫情報の通知に1個以上必須である。 複数の在庫情報がまとめて伝送される場合、INVが在庫項目毎の区切りとなる。
- INVセグメントに含まれる主題フィルター(INV-1、物資ID)は、照会システム(LIS/LAS)と自動化装置の間のローカルな取り決めによって定義される。
- SFTセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

8.3.2 INR/ACK 自動化装置在庫情報要求 イベント(U06)

このメッセージは、在庫項目に関する情報を 1つのアプリケーションから別のアプリケーションに要求するために使用される (例：検査情報システム(LIS)→検体検査自動化システム(検体搬送)、検査情報システム(LIS)→自動分析装置)。

EQU セグメントで指定された装置は、「自動化装置在庫更新」を使って INV セグメントに指定された在庫品 (またはすべての品物)に関する情報を返す必要がある。

INR/ACK 自動化装置在庫要求メッセージ

表8.3.2-1 INR^U06 Inventory Request Message

<u>INR^U06^INR U06</u>	<u>Inventory Request Message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ INV }	Inventory Detail	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

表8.3.2-2 ACK^U06 General Acknowledgment

<u>ACK^U06^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHはメッセージに1つ必須である。
- MSAはACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、EQU-1 (装置ID) とEQU-2 (イベントの日付/時刻) のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- 複数の在庫情報がまとめて要求する場合、INVが要求項目毎の区切りとなる。INVは一連の在庫情報の要求に最低1個必須である。(すべての在庫情報を要求する時は、INV-1の物資IDにALLに相当するコード、文字列などをCE型で指定する。)
- INVセグメントに含まれる主題フィルター(INV-1、物資ID)は、照会システム(LIS/LAS)と自動化装置の間のローカルな取り決めによって定義される。
- INRに対する回答(INU)では、INVセグメントに含まれる問い合わせ内容(INV-1、など)をエコーバックする。
また、同じの数だけのINVセグメントを繰り返す。
- INUがあった時、先行するINRの回答である保証はしない。必要あれば、要求側(LIS/LAS)が再度要求する。
- SFTセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。

8.4 自動化装置コマンド(EAC/EAR)

自動化装置コマンド、自動化装置応答にはメッセージ(EAC/EAR)を用いる。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

EACメッセージは、自動化装置コマンド、自動化装置通知(クリア)の2種類のコマンドに使用される。自動化装置通知での使用方法については、次節に記載する。

8.4.1 EAC/ACK 自動化装置コマンド イベント(U07)

このメッセージは、装置コマンドを、ひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される。(例：検査情報システム(LIS)→検体検査自動化システム(検体搬送))

EAC/ACK 自動化装置コマンドメッセージ

表8.4.1-1 EAC^U07 Equipment Command Message

EAC^U07^EAC U07	Equipment Command Message	Usage	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- COMMAND begin		
ECD	Equipment Command Detail	R	13
[TQ1]	Timing/quantity	O	?
[--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	O	13
{ [SPM] }	Specimen	O	7
]	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
[CNS]	Clear Notification	O	13
}	--- COMMAND end		
[ROL]	Role Detail	O	12

表8.4.1-2 ACK^U07 General Acknowledgment

ACK^U07^ACK	General Acknowledgment	Usage	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- MSAセグメントは、ACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、1つのコマンド情報送信に対応して1セグメント必要である。
- 1つのECDセグメントに対して、SAC、CNSセグメントで情報を補足することができる。
- SACセグメントは省略ができる。
- CNSは、メッセージ構造上定義されているが、装置コマンドとしてのメッセージ交換では使用しない。(次節の通知メッセージで使用する)
- ECD-2リモート制御コマンドは、テーブル0368をベースに、個々の施設でテーブルを追加できる。

- HL7自体に明確な規定はないが、本仕様では、ECD-2リモート制御コマンドに、詳細な情報を付加する必要がある場合には、ECD-5パラメータに詳細を記述する。(ECD-2が“EX”に限らない)SFTセグメントは省略ができる。
- TQ1セグメントは省略ができる。
- SPMセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

8.4.2 EAR/ACK 自動化装置応答 イベント(U08)

このメッセージは、直前に発行されたコマンドに対する自動化装置応答を、ひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される。(例：検体検査自動化システム(検体搬送)→検査情報システム(LIS))

EAR/ACK 自動化装置応答メッセージ

表8.4.2-1 EAR^U08 Equipment Command Response

<u>EAR^U08^EAR_U08</u>	<u>Equipment Command Message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- COMMAND_RESPONSE begin		
ECD	Equipment Command Detail	R	13
[--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	O	13
{ [SPM] }	Specimen	O	7
]	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
ECR	Equipment Command Response	R	13
}	--- COMMAND_RESPONSE end		
[ROL]	Role Detail	O	12

表8.4.2-2 ACK^U08 General Acknowledgment

<u>ACK^U08^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- MSAセグメントは、ACKメッセージに1つ必須である。
- ECDセグメントは、1つのコマンド情報送信への応答として、1セグメント必要である。
- EARメッセージのECDセグメントは、EACメッセージのECDセグメントをエコーバックする。
- 1つのECDセグメントに、1つのECRセグメントを対で付加する。
- 1つのECDセグメントに対して、SACセグメントおよびSPMセグメントで情報を補足することができる。
- SFTセグメントは省略ができる。
- SACセグメントは省略ができる。
- SPMセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

8.5 自動化装置通知(EAN/ACK)

自動化装置通知及びクリアにはメッセージ(EAN/ EAC)を用いる。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

EAN メッセージは自動化装置からのメッセージをひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される。(例えば警報を検体検査自動化システム→検査情報システム)

8.5.1 EAN/ACK 自動化装置通知 イベント(U09)

このメッセージは、装置からの通知を、ひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される。(例：検体検査自動化システム(検体搬送)→検査情報システム(LIS))

EAN/ACK 自動化装置通知メッセージ

表8.5.1-1 EAN^U09 Equipment Status Message

<u>EAN^U09^EAN U09</u>	<u>Equipment Status Message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- NOTIFICATION begin		
NDS	Notification Detail	R	13
[NTE]	Notification Note	O	2
}	--- NOTIFICATION end		
[ROL]	Role Detail	O	12

表8.5.1-2 ACK^U09 General Acknowledgment

<u>ACK^U09^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- MSAセグメントは、ACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- NDSセグメントによる通知は、EANメッセージ内で複数の使用が可能である。
- NTEセグメントは省略ができる。
- NDS-4通知コードは、接続仕様ごとに、機種間でエラーコードなどの取り決めを行い使用する。
- HL7自体に明確な規定はないが、本仕様では、NDS-2は、送信日時ではなく、通知するイベントの発生日時とする。
- SFTセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

8.5.2 EAC/ACK 自動化装置コマンド(通知クリア) イベント(U07)

このメッセージは、ひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに行った通知を送信するために使用される。(例：検査情報システム(LIS)→検体検査自動化システム(検体搬送))

EAC メッセージは EAN メッセージで送信された通知をクリアするコマンドとしても用いる事ができる。

EAC/ACK 自動化装置コマンドメッセージ

表8.5.2-1 EAC^U07 Equipment Command Message

<u>EAC^U07^EAC U07</u>	<u>Equipment Command Message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- COMMAND begin		
ECD	Equipment Command Detail	R	13
[TQ1]	Timing/quantity		?
[--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	O	13
{ [SPM] }	Specimen	O	7
]	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
[CNS]	Clear Notification	O	13
}	--- COMMAND end		
[ROL]	Role Detail	O	12

表8.5.2-2 ACK^U07 General Acknowledgment

<u>ACK^U07^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- MSAセグメントは、ACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、1つのコマンド情報送信に対応して1セグメント必要である。
- ECD-2リモート制御コマンドは、HL7表0368をベースに、個々の施設でテーブルを追加できる。
- SACは、メッセージ構造上定義されているが、装置コマンド(通知クリア)としてのメッセージ交換では使用しない。
- EACメッセージは、EAN(自動化装置通知)メッセージで送信したメッセージのクリアコマンドとして使用する。
- SFTセグメントは省略ができる。
- TQ1セグメントは省略ができる。
- SPMセグメントは省略ができる。
- CNSセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。

- ERRセグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

8.6 自動化装置検査コード設定(TCU/TCR)

8.6.1 TCU/ACK 自動化検査コード設定 イベント(U10)

TCU メッセージは、検査コードとパラメータに関する情報を 1 つのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される（例：検体検査自動化システム(検体搬送)→検査情報システム(LIS)）。このメッセージは、送り側システムの現在の測定パラメータを送信する。送信されたパラメータセットは、このメッセージの受け取り側のそれまでのパラメータセットに置き換わるとみなされる。（「追加」および「削除」はできない）

TCU/ACK 自動化検査コード設定メッセージ

表8.6.1-1 TCU ^U10 Test Code Settings Update

<u>TCU^U10^TCU_U10</u>	<u>Test Code Settings Update</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- TEST_CONFIGURATION begin		
[SPM]	Specimen	C	7
{ TCC }	Test Code Configuration	R	13
}	--- TEST_CONFIGURATION end		
[ROL]	Role Detail	O	12

表8.6.1-2 ACK^U10 General Acknowledgment

<u>ACK^U10^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHはメッセージに1つ必須である。
- MSAはACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、EQU-1（装置ID）とEQU-2（イベントの日付／時刻）のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- TCCセグメントはメッセージに最低1つ必須である。
- SFTセグメントは省略ができる。
- SPMセグメントは省略ができる。使用される場合は検査材料の指定に使用されるべきである。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.6.2 TCR/ACK 自動化検査コード要求 イベント(U11)

TCR メッセージは、検査コードとパラメータに関する情報を1つのアプリケーションから別のアプリケーションに要求するために使用される（例：検査情報システム(LIS)→検体検査自動化システム(検体搬送)）。

EQU セグメントで指定された装置は、「自動化検査コード設定」を使って検査コードとパラメータを返す必要がある。

TCR/ACK 自動化検査コード要求メッセージ

表8.6.2-1 TCR ^U11 Test Code Settings Request

<u>TCR^U11^TCU U10</u>	<u>Test Code Settings Request</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[[SFT]]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- TEST_CONFIGURATION begin		
[SPM]	Specimen	C	7
{ TCC }	Test Code Configuration	R	13
}	--- TEST_CONFIGURATION end		
[ROL]	Role Detail	O	12

表8.6.2-2 ACK^U11 General Acknowledgment

<u>ACK^U11^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[[SFT]]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[[ERR]]	Error	C	2

- MSHはメッセージに1つ必須である。
- MSAはACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、EQU-1（装置ID）とEQU-2（イベントの日付/時刻）のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- TCCセグメントはメッセージに最低1つ必須である。
- SFTセグメントは省略ができる。
- SPMセグメントは省略ができる。使用される場合は検査材料の指定に使用されるべきである。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.7 自動化装置ログ／サービス (LSU/LSR)

8.7.1 LSU/ACK 自動化装置ログ／サービス更新 イベント(U12)

このメッセージは、ログ／サービスのイベントのどちらかまたは両方を1つのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される（例：検体検査自動化システム(検体搬送)→検査情報システム(LIS)）。

LSU/ACK 自動化装置ログ／サービス更新メッセージ

表8.7.1-1 LSU^U12 Equipment Log/Service Message

<u>LSU^U12^LSU U12</u>	<u>Equipment Log/Service Message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ EQP }	Equipment Log/Service	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

表8.7.1-2 ACK^U12 General Acknowledgment

<u>ACK^U12^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHはメッセージに1つ必須である。
- MSAはACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、EQU-1（装置ID）とEQU-2（イベントの日付／時刻）のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- EQPは一連のログ／サービス情報の通知に1個以上必須である。複数の情報がまとめて伝送される場合、EQPが在庫項目毎の区切りとなる。
- EQPセグメントに含まれる主題フィルター(EQP-1、EQP-2)（内容精査の必要有り）は、照会システム(LIS/LAS)と自動化装置の間のローカルな取り決めによって定義される。
- LSRに対する回答(LSU)では、EQPセグメントに含まれる問い合わせ内容(EQP-1、EQP-2)をエコーバックする。（内容精査の必要有り）
また、同じの数だけのEQPセグメントを繰り返す。
- LSUがあった時、先行するLSRの回答である保証はしない。必要あれば、要求側(LIS/LAS)が再度要求する。
- SFTセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.7.2 LSR/ACK 自動化装置ログ/サービス要求 イベント(U13)

このメッセージは、ログ/サービスのイベントのどちらかまたは両方を1つのアプリケーションから別のアプリケーションに要求するために使用される(例: 検査情報システム(LIS)→検体検査自動化システム(検体搬送))。

EQU セグメントで指定された装置は、「自動化装置ログ/サービス更新」を使って EQP セグメントに指定された内容を返す必要がある。(ひとつの LSR に複数の LSU を返すことができる。)

LSR/ACK 自動化装置ログ/サービス要求メッセージ

表8.7.2-1 LSR^U13 Equipment Log/Service Request Message

<u>LSR^U13^LSU U12</u>	<u>Equipment Log/Service Message</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ EQP }	Equipment Log/Service	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

表8.7.2-2 ACK^U13 General Acknowledgment

<u>ACK^U13^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHはメッセージに1つ必須である。
- MSAはACKメッセージに1つ必須である。
LSRの要求に対してLSUで回答することができない時は、MSAでリジェクトを応答する(例えば、要求されたデータ種がない、要求範囲が大きすぎる)。(内容精査の必要有り)
- EQUセグメントは、EQU-1 (装置ID) とEQU-2 (イベントの日付/時刻) のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- 複数のログ/サービス情報をまとめて要求する場合、EQPが要求項目毎の区切りとなる。EQPは最低1個必須である。
- EQPセグメントに含まれる主題フィルター(EQP-1、EQP-2、EQP-3、EQP-4)は、照会システム(LIS/LAS)と自動化装置の間のローカルな取り決めによって定義される。
- SFTセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

9. 臨床検査自動化用セグメント詳細

9.1 CNS - Clear Notification Segment 通知クリアセグメント

CNS セグメントは、受信側の装置が関連する通知をクリアするために必要なデータを示す。

HL7属性表 -CNS- Clear Notification 通知クリアセグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	20	NM	O	O			01402	Starting Notification Reference Number 最初の通知参照番号	
2	20	NM	O	O			01403	Ending Notification Reference Number 最後の通知参照番号	
3	26	TS	O	O			01404	Starting Notification Date 最初の通知日時	
4	26	TS	O	O			01405	Ending Notification Date 最後の通知日時	
5	250	CE	O	O			01406	Starting Notification Code 最初の通知コード	
6	250	CE	O	O			01407	Ending Notification Code 最後の通知コード	

CNS フィールド定義

HL7 自体に規定はないが、本仕様では各指定の組み合わせは可とする。CNS-1,2, CNS-3,4, CNS-5,6, の評価が異なる範囲となった場合、その AND の領域が指定された対象とする。

CNS-1 Starting Notification Reference Number 最初の通知参照番号 (NM) 01402

定義：このフィールドは、クリアされるべき最初の通知参照番号を示す。

CNS-2 Ending Notification Reference Number 最後の通知参照番号 (NM) 01403

定義：このフィールドは、クリアされるべき最後の通知参照番号を示す。もしこのフィールドが空であれば、最初の通知参照番号のみがクリアされる。

CNS-3 Starting Notification Date 最初の通知日時 (TS) 01404

定義：このフィールドは、クリアされるべき最初の通知の日時を示す。このフィールドが空で、最後の通知日時が埋められていれば、最後の通知日時より前の全ての通知がクリアされる。

CNS-4 Ending Notification Date 最後の通知日時 (TS) 01405

定義：このフィールドは、クリアされるべき最後の通知の日時を示す。このフィールドが空で、最初の通知日時が埋められていれば、最初の通知日時より後の全ての通知がクリアされる。

CNS-5 Starting Notification Code 最初の通知コード (CE) 01406

成分:<identifier識別子 (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding systemコーディングシステム名 (IS)> ^ <alternate identifier 代替識別子(ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディングシステム名 (IS)>

定義：このフィールドは、クリアされるべき最初の通知コードを示す。(NDS-4 の通知コードを参照)

CNS-6 Ending Notification Code 最後の通知コード (CE) 01407

成分:<identifier識別子 (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding systemコーディングシステム名 (IS)> ^ <alternate identifier 代替識別子(ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディングシステム名 (IS)>

定義：このフィールドは、クリアされるべき最後の通知コードを示す。(NDS-4 の通知コードを参照)。このフィールドが空で、最初の通知コードが埋められていれば、最初の通知コードの通知のみがクリアされる。

9.2 ECD - Equipment Command Segment 装置コマンドセグメント

ECD セグメントは、受信側の構成要素に、これから何が起こるかを通知するために必要な情報を定義する。

HL7属性表 -ECD- Equipment Command 装置コマンドセグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	20	NM	R	R			01390	Reference Command Number 参照コマンド番号	
2	250	CE	R	R		0368	01391	Remote Control Command リモート制御コマンド	
3	80	ID	O	R		0136	01392	Response Required 応答要求	
4	200	TQ	B	B			01393	Requested Completion Time 応答完了時間	
5	65536	TX	O	O	Y		01394	Parameters パラメータ	

ECD フィールド定義

ECD-1 Reference Command Number 参照コマンド番号 (NM) 01390

定義：様々な構成要素から、このコマンドに対して参照が行われたときに、このコマンドを識別するためのユニークな識別子である。MSH-10 フィールドのメッセージコントロール ID と似ているが、Equipment Command/Response では、この数字は、このコマンドの発行元によって生成される。

ECD-2 Remote Control Command リモート制御コマンド (CE) 01391

成分:<identifier識別子 (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding systemコーディングシステム名 (IS)> ^ <alternate identifier 代替識別子(ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディングシステム名 (IS)>

定義：このフィールドは、構成要素が開始すべきコマンドを示す。「使用者定義表 0368-リモート制御コマンド」を参照。詳細は、LECIS Standard を参照。

HL7 自体に規定はないが、本仕様では、"EX"以外のコードを使用した場合でも、ECD-5 のパラメータを使用できるものとする。

使用者定義表0368 リモート制御コマンド

Value	Description
SA	Sampling サンプリング
LO	Load ロード(搬入)
UN	Unload アンロード(搬出)
LK	Lock ロック
UC	Unlock アンロック
TT	Transport To 移送先
CN	Clear Notification 通知クリア
IN	Initialize/Initiate 初期化/開始
SU	Setup セットアップ
CL	Clear クリア
PA	Pause 休止(一時停止)
RE	Resume 再開
ES	Emergency-stop 緊急停止
LC	Local Control Request ローカル制御要求
RC	Remote Control Request リモート制御要求
AB	Abort 中断(停止)
EN	Enable Sending Events イベント送信イネーブル(有効化)
DI	Disable Sending Events イベント送信ディゼーブル(無効化)
EX	Execute (command specified in field Parameters (ST) 01394) 実行 (フィールド ECD-5 パラメーター(ST)01394 で指定されたコマンド)

ECD-3 Response Required 応答要求 (ID) 01392

定義：このフィールドは、コマンドの実行に関連して使用される同期のモードを示す。"Yes"は、実行の直後に応答が必要であることを示し、"No"は応答が全く必要ないことを示す。「HL7 表 0136-Yes/no 指示」(7.7 節) を参照。

注) HL7 自体に規定はないが、本規約では、ECD-3 は必須のフィールドとする。

ECD-4 Requested Completion Time 応答完了時間 (TQ) 01393

成分:<Quantity (CQ)> ^ <Interval (RI)> ^ <Duration (ST)> ^ <Start Date/Time (TS)> ^ <End Date/Time (TS)> ^ <Priority (ST)> ^ <Condition (ST)> ^ <Text (TX)> ^ <Conjunction (ID)> ^ <Order Sequencing (OSD)> ^ <Occurrence Duration (CE)> ^ <Total Occurrences (NM)>

副成分 for Quantity (CQ):<Quantity (NM)> & <Units (CE)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Interval (RI):<Repeat Pattern (IS)> & <Explicit Time Interval (ST)>

副成分 for Start Date/Time (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Order Sequencing (OSD):<Sequence/Results Flag (ID)> & <Placer Order Number: Entity Identifier (ST)> & <Placer Order Number: Namespace ID (IS)> & <Filler Order Number: Entity Identifier (ST)> & <Filler Order Number: Namespace ID (IS)> & <Sequence Condition Value (ST)> & <Maximum Number of Repeats (NM)> & <Placer Order Number: Universal ID (ST)> & <Placer Order Number: Universal ID Type (ID)> & <Filler Order Number: Universal ID (ST)> & <Filler Order Number: Universal ID Type (ID)>

副成分 for Occurrence Duration (CE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは、リモート制御動作が終了すべき時間を示す。LAS 内で管理される装置の間で時間を同期する必要がある (HL7 のオリジナルのメッセージ NMQ、NMD とシステムクロックセグメント NCL を使用)。相対時間量を使用する場合は、EQU セグメントで送信される時間を規格時間とする。

HL7 V2.5 においてはこの項目は下位互換性のためにある。ECD セグメントで使われている関連時間は TQ1 セグメントの TQ1-4 に明示的時間、TQ1-5 に相対的時間が定義されている。

ECD-5 Parameters パラメータ (ST) 01394

定義: このフィールドは、コマンドのパラメータを示す。(別のセグメントにパラメータが含まれていない場合)

NOTE: 遠心分離機、分別機、ソーター、開栓機、閉栓機、自動倉庫などの目的が明確な装置のために、セグメントの要素(あるいはここで定義されない他の要素)が、要求されるかもしれない。

9.3 ECR - Equipment Command Response Segment 装置コマンド応答セグメント

ECR セグメントは、直前に受信したコマンドの、受信側構成要素の応答を定義する。

HL7属性表 -ECR- Equipment Command Response 装置コマンド応答セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAH IS	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CE	R	R		0387	01395	Command Response コマンド応答	
2	26	TS	R	R			01396	Date/Time Completed 終了日時	
3	65536	TX	O	O	Y		01397	Command Response Parameters コマンド応答パラメータ	

ECR フィールド定義

ECR-1 Command Response コマンド応答 (CE) 01395

成分:<identifier識別子 (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding systemコーディングシステム名 (IS)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディングシステム名 (IS)>

定義: このフィールドは、直前に発行されたコマンドの応答を示す。使用者定義表 0387 を参照。

使用者定義表0387 コマンド応答

Value	Description
OK	Command completed successfully 正常終了されたコマンド
TI	Command cannot be completed within requested completion time 要求された終了時間内に完了しなかったコマンド
ER	Command cannot be completed because of error condition (see response parameters) エラー状態のため完了しなかったコマンド(応答パラメータを参照)
ST	Command cannot be completed because of the status of the requested equipment (要求された装置のステータスのため完了しなかったコマンド)
UN	Command cannot be completed for unknown reasons (不明な理由のため完了しなかったコマンド)

ECR-2 Date/Time Completed 終了日時 (TS) 01396

定義: このフィールドは、受信側構成要素が、要求されたコマンドを完了した日時を示す。

ECR-3 Command Response Parameters コマンド応答パラメータ (ST) 01397

定義: このフィールドは、返される応答コマンドに関連するパラメータを示す。

9.4 EQP - Equipment Log/Service Segment 装置ログ/サービスセグメント

装置のログまたはサービスのセグメントは、特定の装置で発生したイベントの適切な監査記録を維持するために必要なデータである。

HL7属性表 -EQP- Equipment/log Service 装置ログ/サービスセグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAH IS	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CE	R	R		0450	01430	Event type イベントタイプ	
2	20	ST	O	O			01431	File name ファイル名	
3	26	TS	R	R			01202	Start date/time 開始日時	
4	26	TS	O	O			01432	End date/time 終了日時	
5	6553 6	FT	R	R			01433	Transaction data トランザクションデータ	

EQP フィールド定義

EQP-1 Event Type イベントタイプ (CE) 01430

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>
 定義: このフィールドは、メッセージが持つイベントのタイプを指定する。 次の表を参照。

HL7表 0450 - Event type イベントタイプ

Value	Description
LOG	ログイベント Log Event
SER	サービスイベント Service Event

EQP-2 File Name ファイル名 (ST) 01431

定義: このフィールドは、送信されるログイベントまたはサービスイベントに関する情報の保存に使用される物理ファイル名を示す。 または、個別のログ/サービスを示す代用名称。

EQP-3 Start Date/Time 開始日時 (TS) 01202

定義: このフィールドは、(EQP-5 で示す)イベントが開始した日付と時刻を示す。
 要求メッセージの場合は、要求範囲の始点を示す。

EQP-4 End Date/Time 終了日時 (TS) 01432

定義: このフィールドは、(EQP-5 で示す)イベントが終了した日付と時刻を示す。
 要求メッセージの場合は、要求範囲の終点を示す。

EQP-5 Transaction Data トランザクションデータ (FT) 01433

定義: このフィールドは、ログイベントまたはサービスイベントが関連し、記録されるデータである。

9.5 EQU - Equipment Detail Segment 装置詳細セグメント

EQU セグメントは、検体検査自動化システムで使われる装置の識別に必要なデータである。

HL7属性表 -EQU- Equipment Detail 装置詳細セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME
1	22	EI	R	R			01479	Equipment Instance Identifier 装置ID
2	26	TS	R	R			01322	Event Date/Time イベントの日付/時刻
3	250	CE	C	C		0365	01323	Equipment State 装置ステータス
4	250	CE	O	O		0366	01324	Local/Remote Control State ローカル/リモート制御のステータス
5	250	CE	O	O		0367	01325	Alert Level 警報レベル

EQU フィールド定義

EQU-1 Equipment Instance Identifier 装置 ID (EI) 01479

成分:<entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義: このフィールドは、装置を示す。この ID は、部署 (施設) 全体の装置のマスタリストから取得される。<namespace ID> は装置名称を示す識別子である。

EQU-2 Event Date/Time イベントの日付/時間 (TS) 01322

定義: このフィールドは、イベント発生時点の装置の日付と時刻を示す (イベント例: 状態の遷移、コマンド発行、コマンド実行終了)。

EQU-3 Equipment State 装置ステータス (CE) 01323

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義: このフィールドは、装置の通信時点でのステータスの識別コードを示す。

HL7表 0365 - Equipment state 装置ステータス

Value	Description
PU	Powered Up 電源 ON
IN	Initializing 初期化中
ID	Idle アイドル
CO	Configuring 設定中
OP	Normal Operation 通常オペレーション
CL	Clearing クリア中
PA	Pausing 休止中
PD	Paused 休止
ES	E-stopped 緊急停止
TS	Transport stopped
SS	Sampling stopped
SD	Shutting down
DI	Diagnose
MA	Maintenance
	(null) No state change ステータス変化なし

この表は LECIS に基づく

EQU-4 Local/Remote Control State ローカル/リモート制御のステータス (CE) 01324

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義: このフィールドは、装置のリモート制御のステータスを示す。

HL7表 0366 - Local/remote control state ローカル/リモート制御のステータス

Value	Description
L	Local ローカル
R	Remote リモート
	(null) No state change ステータス変化なし

この表は LECIS に基づく

EQU-5 Alert Level 警報レベル (CE) 01325

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、指示された装置に関連付けられている最高位の警報ステータス（最高位の警報重要性）を示す（例：処理イベント、在庫イベント、QC イベント）。

HL7表 0367 - Alert level 警報レベル

Value	Description	Note
N	Normal	No Corrective Action Needed 修正作業は不要
W	Warning	Corrective Action Anticipated 修正作業が期待される
S	Serious	Corrective Action Required 修正作業が必要
C	Critical	Shut Down, Fix Problem and Re-init シャットダウン、問題修正、再起動
	(null) No level change	変化なし

9.6 INV - Inventory Detail Segment 在庫詳細セグメント

在庫詳細セグメントは、装置の試薬等（試薬の他、チップ、廃液など）の在庫（量）の追跡記録もしくは管理のために必要なデータである。在庫量としては、消費(減少)するものと蓄積(増加)するものがある。

INV 使用注記

- 同様の内容を持つセグメントにSIDセグメントがある。SIDは、分析に必要な試薬等を確認する為にORC/OBRおよびTCDセグメントと共に使用される。つまり、使用する目的とタイミングが異なり、INVとSIDを混同してはならない。但し、同じ試薬等を指すのに両者の内容に矛盾があってはならない。
- 装置内で製造日、製造ロットが異なる複数の容器を単一の試薬等として扱う場合、試薬等ステータスは最悪の状態、すなわち、有効期限は現在に最も近い日時、使用開始日時は最悪の状態を表す容器/ロットのものを示すこととする。製造元ロット番号は区切り文字(^)で羅列する。
- 検体を扱う場合では、SACセグメントを使用する。
SACでは、SAC-3 採取容器ID (INV-4に相当)、SAC-10 キャリアID (INV-5に相当)、SAC-11 キャリア内の位置 (INV-6に相当)、SAC-22 利用可能容量 (INV-9に相当)、SAC-23 初期検体容量 (INV-7に相当)、SAC-24 容量単位 (INV-11に相当) を扱うことができる。

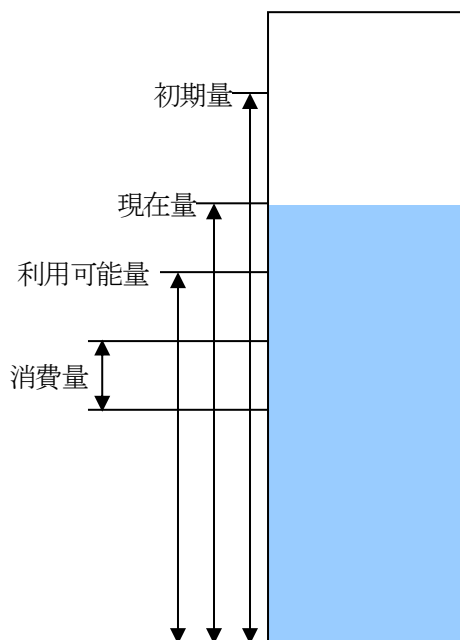


図 13-6. 容器上の測定タイプの情報

HL7属性表 -INV- Inventory Detail 在庫詳細セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CE	R	R		0451	01372	Substance identifier 試薬等ID	
2	250	CE	R	R	Y	0383	01373	Substance status 試薬等の在庫ステータス	
3	250	CE	O	O		0384	01374	Substance type 試薬等タイプ	
4	250	CE	O	O			01532	Inventory container identifier 在庫容器ID	
5	250	CE	O	O			01376	Container carrier identifier 在庫容器キャリアID	
6	250	CE	O	O			01377	Position on carrier キャリア上の位置	

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
7	20	NM	O	O			01378	Initial quantity 初期量	
8	20	NM	O	O			01379	Current quantity 現在量	
9	20	NM	O	O			01380	Available quantity 利用可能量	
10	20	NM	O	O			01381	Consumption quantity 消費量	
11	250	CE	O	O			01382	Quantity units 量の単位	
12	26	TS	O	O			01383	Expiration date/time 有効期限	
13	26	TS	O	O			01384	First used date/time 使用開始日時	
14	200	TQ	B	B			01385	On board stability duration 機上の安定期間	
15	250	CE	O	O	Y		01386	Test/fluid identifier(s) 検体/試薬ID	
16	200	ST	O	O			01387	Manufacturer lot number 製造元ロット番号	
17	250	CE	O	O		0385	00286	Manufacturer Identifier製造元ID	
18	250	CE	O	O		0386	01389	Supplier identifier 供給元ID	
19	20	CQ	O	O			01626	Manufacturer lot number 機上の安定時間	
20	20	CQ	O	O			01896	Target Value 目標値	

INV フィールド定義

INV-1 Substance identifier 試薬等 ID (CE) 01372

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>
 定義：在庫に関わる試薬等の一意のID。試薬等の製造元特有のID。

使用者定義表 0451 - Substance identifier 試薬等ID

Value	Description
ALL	すべての在庫項目を要求

INV-2 Substance status 試薬等のステータス (CE) 01373

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>
 定義：試薬等の在庫ステータス。ステータスはその試薬等の現在のステータスを示す。次の表を参照。
 (リアルタイムに知らせる)警報や警告が必要な場合は、INU メッセージ/INV セグメントではなく、EAN メッセージ/NDS セグメントを使用する。

HL7表 0383 - Substance status 試薬等の在庫ステータス

Value	Description
EW	Expired Warning 警告：期限切れ
EE	Expired Error エラー：期限切れエラー
CW	Calibration Warning 警告：校正
CE	Calibration Error エラー：校正
QW	QC Warning 警告：QC
QE	QC Error エラー：QC
NW	Not Available Warning 警告：利用不可能
NE	Not Available Error エラー：利用不可能
OW	Other Warning 警告：その他
OE	Other Error エラー：その他
OK	OK Status OK

INV-3 Substance type 試薬等タイプ (CE) 01374

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>
 定義：試薬等のタイプ。 次の表を参照。

HL7表 0384 - Substance type 試薬等タイプ

Value	Description
SR	Single Test Reagent 単一検査試薬
MR	Multiple Test Reagent 複数検査試薬 (消費量は単一検査のオーダー数とは一致しない)
DI	Diluent 希釈液
PT	Pretreatment 前処理
RC	Reagent Calibrator 試薬キャリブレーター
CO	Control コントロール (精度管理物質)
PW	Purified Water 純水
LW	Liquid Waste 廃液
SW	Solid Waste 廃棄物(固体)
SC	Countable Solid Item 計数可能な固形部材(例: 分注チップなど)
LI	Measurable Liquid Item 計量可能な液体
OT	Other その他

INV-4 Inventory container identifier 在庫容器 ID (CE) 01532

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>
 定義：在庫容器の ID で、試薬等を特定する容器のただ1つの ID。例えば、製造元が発行する特定の ID。

INV-5 Container carrier identifier 在庫容器キャリア ID (CE) 01376

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>
 定義：試薬等の容器を搬送するために使用されるキャリア (例: 試薬瓶付きの脱着式ローター)。

INV-6 Position on carrier キャリア上の位置 (CE) 01377

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>
 定義：キャリア上の位置 (例: インデックス)を示す。

INV-7 Initial quantity 初期量 (NM) 01378

定義：このフィールドは、在庫試薬等の初期の在庫量を示す。

INV-8 Current quantity 現在量 (NM) 01379

定義：このフィールドは現在の量、つまり初期量から実際に使用された量を引いたもの、または、増加した量を示す。

INV-9 Available quantity 利用可能量 (NM) 01380

定義：このフィールドは試薬等の利用可能量または廃棄可能量を示す。例えば、試薬の場合で、現在量から予定されている消費量 (例: 予定されている検査) を引いたものを示す。

INV-10 Consumption quantity 消費量 (NM) 01381

定義：このフィールドは、装置がこの試薬等を使用するたびに消費または廃棄される量を示す。

INV-11 Quantity units 量の単位 (CE) 01382

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>
 定義：このフィールドは、利用可能量(INV-9)に使用される単位を示す。ISO+ 単位の場合は、省略形で記録される。デフォルトの単位はミリリットル (mL) で、単位が示されていない場合は、この単位が仮定される。

INV-12 Expiration date/time 有効期限 (TS) 01383

定義：このフィールドは、試薬等の有効期限 (日付と時刻) を示す。

INV-13 First used date/time 使用開始日時 (TS) 01384

定義：このフィールドは、試薬等が最初に使用された日付と時刻を示す。この日付と時刻は、試薬等の安定性を判断するために必須にしても良い。

INV-14 On board stability duration 機上の安定期間 (TQ) 01385

定義：このフィールドは、試薬等が安定している期間を示す。
下位互換の為に残された。INV-19（機上の安定期間）が代わりに使われるべきである。

INV-15 Test/fluid identifier(s) 検体/試薬 ID (CE) 01386

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義：このフィールドは、この試薬等に適用される検査項目と検体(材料/部位)のリストである。反復フィールドである。空白のフィールドは、この試薬等が検査に特定でなく、すべての検査に適用されることを示す。

INV-16 Manufacturer lot number 製造元ロット番号 (ST) 01387

定義：このフィールドは、その試薬等の製造時に製造元が割り当てたロット番号を示す。

INV-17 Manufacturer Identifier 製造元 ID (CE) 00286

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義：このフィールドは、その試薬等の製造元を示す。次の表を参照。

使用者定義表0385 - Manufacturer identifier 製造元ID

Value	Description
	no suggested values 推奨値なし

INV-18 Supplier identifier 供給元 ID (CE) 01389

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義：このフィールドは、その試薬等の供給元を示す。次の表を参照。

使用者定義表 0386 - Supplier identifier 供給元ID

Value	Description
	no suggested values 推奨値なし

INV-19 On Board Stability Time 機上の安定時間 (CQ) 01626

成分:<Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 for Units (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：この項目は試薬の利用/キャリブレーションで安定している時間である。この時間は INV-13 開始時間に INV-19 安定時間をくわえ有効時間を計算するのに利用される。

第一要素は時間表現で第二要素は時間の単位を定義する。「使用者定義表 0255 – 期間属性」(10.6.8 節)を参照。推奨する形式は日時分 ("minutes", "hours" and "days") である。

INV-20 Target Value 目標値(CQ) 01896

成分:<Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 for Units (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：この項目は検査結果の目標値を示す。この QC（精度管理）のための目標値は検査管理者や関連する参考値として利用される。第一要素は値で第二要素はその単位である。

9.7 ISD - interaction status detail segment インタラクションステータスの詳細セグメント

ISD セグメントは、特定の装置に対する特定のインタラクション（処理など）のステータスに関するデータである。

HL7属性表 -ISD- Interaction Status Detail インタラクションステータスの詳細セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	20	NM	R	R			01326	Reference Interaction Number (unique identifier) 参照インタラクション番号(一意のID)	
2	250	CE	O	O		0368	01327	Interaction Type Identifier インタラクションタイプID	
3	250	CE	R	R		0387	01328	Interaction Active State インタラクションアクティブステータス	

ISD フィールド定義

ISD-1 Reference interaction number 参照インタラクション番号 (NM) 01326

定義：この番号は、インタラクションを一意に示す。インタラクションが直前のコマンドを実施した結果発生する場合は、参照コマンド番号（Reference Command Number）を使用する（CLSI AUTO3 の LECIS Comparison Section 5.2.1 を参照）。それ以外の場合は、ユーザまたは装置の専用のテーブルを定義すること。

ISD-2 Interaction type identifier インタラクションタイプID (CE) 01327

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、インタラクションのタイプを指定する。インタラクションがコマンドの効果として実行される場合は、ECD フィールド定義中の「使用者定義表 0368 リモート制御コマンド」（9.5 節）の ID を使用する。それ以外の場合は、ユーザまたは装置の専用のテーブルを定義すること。

ISD-3 Interaction active state インタラクションアクティブステータス (CE) 01328

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、インタラクションのステータスを伝える。インタラクションがコマンドにより実行される場合は、ステータスとしてコマンド応答を使用できる（「使用者定義表 0387 コマンド応答」（9.6 節）を参照）。これを使用しない場合、ステータスはインタラクションに特定されている LECIS ステータストランザクションを参照する。それ以外の場合は、ユーザまたは装置の専用のテーブルを定義すること。

9.8 NDS - Notification Detail Segment 通知詳細セグメント

NDS セグメントは、適当な監査記録とイベントの通知を維持するために必要なデータである。
(例：装置の特定の部位で発生したアラーム)

HL7属性表 -NDS- Notification Detail 通知詳細セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	20	NM	R	R			01398	Notification Reference Number 通知参照番号	
2	26	TS	R	R			01399	Notification Date/Time 通知日時	
3	250	CE	R	R		0367	01400	Notification Alert Severity 通知警報の重要度	
4	250	CE	R	R			01401	Notification Code 通知コード	

NDS フィールド定義

NDS-1 Reference Command Number 参照コマンド番号 (NM) 01398

定義：このフィールドは、このトランザクションを参照するために、様々な構成要素によって使用されるユニークで連続的な参照番号である。この番号は、この通知の発行者によって生成される。

NDS-2 Notification Date/Time 通知日時 (TS) 01399

定義：このフィールドは、通知の日時を示す。

HL7 自体に規定はないが、本仕様では、イベントの発生日時を示すものとする。

NDS-3 Notification Alert Severity 通知警報の重要度 (CE) 01400

成分:<identifier識別子 (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding systemコーディングシステム名 (IS)> ^ <alternate identifier 代替識別子(ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディングシステム名 (IS)>

定義：このフィールドは、特定の通知の重要度を示す。「HL7 表 0367—警報レベル」(9.1 節) を参照。

NDS-4 Notification Code 通知コード (CE) 01401

成分:<identifier識別子 (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding systemコーディングシステム名 (IS)> ^ <alternate identifier 代替識別子(ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディングシステム名 (IS)>

定義：このフィールドは、送信されている通知のタイプを示す。これらはメーカーや装置固有のエラー・状態コードである。(例：AQN-0123—分注エラー—詰まり検知)

9.9 SAC - Specimen And Container Detail Segment 検体と容器の詳細セグメント

検体と容器の詳細セグメントは検体検査自動化システムで使用される容器の取り扱いに必要なデータである。普通、検査室では検体は容器で輸送され、処理される。SPM セグメントと SAC セグメントが同一メッセージ上で使われる場合は、概念的に同一な値は SPM セグメントだけに記述されるべきである。SAC-6 (Specimen Source), SAC-27 (Additives), SAC-43 (Special Handling Considerations)が適用される。

(注: SPM-8(Specimen Source Site), SPM-6(Specimen Additives), SPM-15(Specimen Handling Code))

HL7属性表 -SAC- Specimen Container detail 検体と容器の詳細セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	80	EI	O	O			01329	External accession identifier 外部識別ID	
2	80	EI	O	O			01330	Accession identifier 識別ID	
3	80	EI	C	C			01331	Container identifier 容器ID	
4	80	EI	C	C			01332	Primary (parent) container identifier 親容器ID	
5	80	EI	O	O			01333	Equipment container identifier 装置容器ID	
6	300	SPS	W	W		0369	00249	Specimen source 検体採取部位	
7	26	TS	O	O			01334	Registration date/time 登録の日付/時間	
8	250	CE	O	O		0370	01335	Container status 容器ステータス	
9	250	CE	O	O		0378	01336	Carrier type キャリアタイプ	
10	80	EI	O	O			01337	Carrier identifier キャリアID	
11	80	NA	O	O			01338	Position in carrier キャリア内の位置	
12	250	CE	O	O		0379	01339	Tray type トレイタイプ	
13	80	EI	O	O			01340	Tray identifier トレイID	
14	80	NA	O	O			01341	Position in tray トレイ内の位置	
15	250	CE	O	O	Y		01342	Location ロケーション	
16	20	NM	O	O			01343	Container height 容器高さ	
17	20	NM	O	O			01344	Container diameter 容器直径	
18	20	NM	O	O			01345	Barrier delta バリアデルタ	
19	20	NM	O	O			01346	Bottom delta ボトムデルタ	
20	250	CE	O	O			01347	Container diameter/height/delta units 容器直径/高さ/デルタの単位	
21	20	NM	O	O			00644	Container volume 容器容量	
22	20	NM	O	O			01349	Available volume 利用可能量	
23	20	NM	O	O			01350	Initial specimen volume 初期検体量	
24	250	CE	O	O			01351	Volume units 量単位	
25	250	CE	O	O		0380	01352	Separator type 分離剤タイプ	
26	250	CE	O	O		0381	01353	Cap type キャップタイプ	
27	250	CWE	O	O	Y	0371	00647	Additive 添加剤	
28	250	CE	O	O			01355	Specimen component 検体成分	
29	20	SN	O	O			01356	Dilution factor 希釈率	
30	250	CE	O	O		0373	01357	Treatment 処理	
31	20	SN	O	O			01358	Temperature 温度	
32	20	NM	O	O			01359	Hemolysis index 溶血指数	
33	250	CE	O	O			01360	Hemolysis index units 溶血指数の単位	
34	20	NM	O	O			01361	Lipemia index 乳び指数	
35	250	CE	O	O			01362	Lipemia index units 乳び指数の単位	
36	20	NM	O	O			01363	Icterus index 黄疸指数	
37	250	CE	O	O			01364	Icterus index units 黄疸指数の単位	
38	20	NM	O	O			01365	Fibrin index フィブリン指数	
39	250	CE	O	O			01366	Fibrin index units フィブリン指数の単位	
40	250	CE	O	O	Y	0374	01367	System induced contaminants システム由来の汚染物質	
41	250	CE	O	O	Y	0382	01368	Drug interference 薬剤干渉	
42	250	CE	O	O		0375	01369	Artificial blood 人工血液	
43	250	CWE	O	O	Y	0376	01370	Special handling considerations 特別の取り扱い注意	
44	250	CE	O	O	Y	0377	01371	Other environmental factors その他の環境因子	

SAC フィールド定義

SAC-1 External accession identifier 外部識別 ID(EI) 01329

成分:<entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは、臨床検査の ID を示す。この ID は外部臨床検査情報システムによって割り当てられる。

例：ラボ A からラボ B へ検体が移送されたとき、ラボ B ではこのフィールドの内容をラボ A とする。

SAC-2 Accession identifier 識別 ID(EI) 01330

成分:<entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは臨床検査の ID を示す。この ID は検査を実施している臨床検査の情報システムにより割り当てられる。

識別 ID は 1 本以上の容器を参照させる事が可能である。容器 ID (後述) は容器毎にユニークな識別子である。

SAC-3 Container identifier 容器 ID(EI) 01331

成分:<entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは容器を示す。このフィールドは容器の一意な ID で、対応する装置により割り当てられる。1 つの容器には、親材料または、材料の分注検体が入る。親検体の場合はこのフィールド親容器 ID が入り、バーコード付きでない分注検体 (例：micro-titter プレート) の場合は空白となる。

CLSI 規格では臨床検査情報システムに導入される容器にはそれぞれ一意の ID が要求される。親容器 ID、容器 ID、キャリア ID/位置、トレイ ID/位置のフィールドの組み合わせにより、LAS 内の容器が一意に識別される必要がある。自然で最良の方法は、機械で読みとれる一意の ID (当然、この ID はフィールドの組み合わせの一意性を保証する) を容器に貼付することである。この ID を記号化するバーコードは、CLSI AUTO2(Laboratory Automation: Bar Codes for Specimen Container Identification)

の規格案に適合すること。

SAC-4 Primary (parent) container identifier 親容器 ID (EI) 01332

成分:<entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドに内容がある場合は、その検体の元の容器を示す。親検体の場合は、このフィールドは空白となる。分注検体の場合は、このフィールドには親容器の ID が入る。

SAC-5 Equipment container identifier 装置容器 ID(EI) 01333

成分:<entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは、特定の装置内の容器 ID を示す。

例：分析装置内のカラーセルまたはラック内の特定の検体、または分析装置に特定のバーコードの割り当てなど。

各種サンプルタイプの容器IDフィールドの使用例

SAC field	Primary container 親容器	Aliquot container with Bar-code バーコード付き分注容器	Aliquot container without Bar-code, e.g. microtiter well バーコード無し分注容器
“Container ID” 容器 ID(SAC-3)	Primary container ID 一次(親)容器 ID	Aliquot container ID 分注(子)容器 ID	
“Primary (parent) Container ID” 親容器 ID(SAC-4)		Primary container ID 親容器 ID	Primary container ID 親容器 ID

SAC-6 Specimen source 検体採取部位 (SPS) 00249

成分:<Specimen Source Name or Code (CWE)> ^ <Additives (CWE)> ^ <Specimen Collection Method (TX)> ^ <Body Site (CWE)> ^ <Site Modifier (CWE)> ^ <Collection Method Modifier Code (CWE)> ^ <Specimen Role (CWE)>

副成分 for Specimen Source Name or Code (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Additives (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Body Site (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Site Modifier (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Collection Method Modifier Code (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Specimen Role (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: このフィールドはHL7 V2.4以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。SPM セグメントと SAC セグメントが同時に使用される場合はSPM セグメントを優先する。SPM セグメントについては7章を参照。

SAC-7 Registration date/time 登録日付と時刻 (TS) 01334

定義: このフィールドは、その容器が最後に自動システムに登録された日付と時刻を示す。例: 容器バーコードが装置によって読まれた。

SAC-8 Container status 容器ステータス(CE) 01335

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義: このフィールドは、そのトランザクションが開始された時点で検体が属していた一意の容器のステータスを示す。値については「HL7 表 0370 - Container status」を参照。必要なら、装置に特定の容器ステータスを <alternate identifier> として送信する。

HL7表 0370 - Container status 容器ステータス

Value	Description
I	Identified 識別されている/受け取った
P	In Position 装置の中にある
O	In Process 処理中
R	Process Completed 処理終了
L	Left Equipment 機器から解放された
M	Missing ミッシング
X	Container Unavailable 容器利用不能
U	Unknown 不明

容器ステータスは (LAS 内の) 装置間の情報交換に関係する。全てではないが、LIS-LAS 間のデータ転送にも関連する。

以下の記述は LAS または機器と他の LAS または機器とのインターフェースに関するものである。

Identified はシステムが他のシステムに対して容器を受け取った事を通知する。

LAS と LIS 間での情報交換では Identified は検体を受け取った「このラボ」のステータスをレポートする事が可能である。

最初のサンプルの認識と同一にはならないケースもある。

In Position はシステムから他のシステムに対して検体搬送中の容器の位置を通知する。(例：容器がラックから取り出された。ピペッティング中、等)

In Process はシステムから他のシステムに対して特定の容器が機器によって処理されていることを通知する。これは特定の処理ステップが適切で無いとき、容器ステータスについてのクエリーを応答するのに有用である。

Process Completed はシステムから他のシステムに対して処理が終了したが、容器は未だシステムから解放されていない状態を示す。

Left Equipment はシステムから他のシステムに対して容器が解放されたことを示す。

Missing はシステムから他のシステムに対して容器が予想された位置に無い事を示す。

Cancelled はシステムから他のシステムへこのシステムの範疇で容器がもはや利用不可能であることを示す。(例：容器破損、破棄)

Unknown はシステムから他のシステムに対して容器を受け取っていないことを示す。

SAC-9 Carrier type キャリアタイプ(CE) 01336

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドはキャリアのタイプを示す。使用者定義表 0378 に提案する値を示す。

それぞれの形状が異なるので、可能ならキャリアタイプかキャリア内のポジションの数を示すようにする。

この定義は階層的に表現できると想定している。「容器はキャリアの中にあり、キャリアはトレイの中にある。」のように表現するには、SAC-10~15 のフィールドと組み合わせて定義する。

使用者定義表 0378 – Carrier type キャリアタイプ

Value	Description
	No suggested values defined 推奨値は定義されない

値の例： R01 (one position carrier), R05 (five position carrier)

SAC-10 Carrier identifier キャリア ID (EI) 01337

成分:<entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドはキャリアを示す。この ID (例：番号、バーコード) は、容器 (例：採取容器) が置かれているキャリアを示す。

例：キャリアが、1、または複数の検体容器用のラックである場合、キャリアは通常、自動検体搬送に使用される。複数のキャリアをトレイにストックして、そのトレイを手動または自動で搬送してもよい。

SAC-11 Position in carrier キャリア内の位置(NA) 01338

定義：このフィールドはキャリア内の容器の位置を示す。(例：1,2,3・・・) 必要なら、複数の座標軸情報 (例：2次元なら x^y) を送るためにサブ要素を使用できる。

SAC-12 Tray type トレイタイプ(CE) 01339

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドはトレイのタイプを示す。使用者定義表 0379 に提案する値を示す。

それぞれの形状が異なるので、可能ならトレイ内のポジションの数を示すようにする。

この定義は階層的にネストされていると想定している。「容器はキャリアの中にあり、キャリアはトレイの中にある。」のように。

使用者定義表 0379 – Tray type トレイタイプ

Value	Description
	No suggested values defined 推奨値は定義されない

SAC-13 Tray identifier トレイ ID(EI) 01340

成分:<entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義: このフィールドは容器キャリアがあるトレイの ID (例: トレイの番号またはトレイ上のバーコード) を示す。

SAC-14 Position in tray トレイ内の位置(NA) 01341

定義: このフィールドはトレイ内のキャリアの位置を示す。必要なら、複数の座標軸情報 (例: 2次元なら x^y) を送るためにサブ要素を使用できる。

SAC-15 Location ロケーション(CE) 01342

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義: このフィールドは、トランザクションが開始した時点での物理的な場所を示す。ロケーションの記述は LAS により異なる。例えば、ストレージ内の XYZ 座標で表したり、容器キャリアのトレイがある冷蔵庫の番号や引き出しの番号で表したり、現在容器を所有している部署と臨床検査の名前で表す場合がある。このフィールドを繰り返すことにより、ロケーションを階層的に表現できる。(最下位レベルから順に示す) 例えば、棚番号、冷蔵庫 ID、ラボ名、施設名など。

SAC-16 Container height 容器高さ(NM) 01343

定義: このフィールドは容器の高さを示す。

SAC-17 Container diameter 容器直径(NM) 01344

定義: このフィールドは容器の直径を示す。

SAC-18 Barrier delta バリアデルタ(NM) 01345

定義: このフィールドは規格点 (Point of Reference) から分離剤までの距離を示す。この距離は、おそらく LAS によって与えられ、機器あるいは検体操作を行う装置が分離剤への接触なしにサンプリングプローブを検体に挿入するのに有用である。

Point of Reference の定義については CLSI 規格の AUTO5 (Laboratory Automation: Electromechanical Interfaces)を参照。

SAC-19 Bottom delta ボトムデルタ(NM) 01346

定義: このフィールドは規格点 (Point of Reference) から容器の底 (外壁) までの距離を示す。Point of Reference の定義については CLSI 規格の AUTO5 (Laboratory Automation: Electromechanical Interfaces)を参照。

SAC-20 Container diameter/height/delta units 容器直径/高さデルタの単位 (CWE) 01347

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義: このフィールドは、容器の直径、高さ、デルタを記述されるために使用される単位を示す。ISO+単位の場合は、省略形で記録される。ANS+または L(ローカル) の場合は単位とソースコードの表を記録する必要がある。それ以外の場合は、要素の区切り文字はサブ要素の区切り文字に置き換えられなければならない。デフォルトの単位はミリメートル(mm)で単位が示されていない場合はこの単位が仮定される。

SAC-21 Container volume 容器容量(NM) 00644

定義: このフィールドは容器の容量を示す。

SAC-22 Available volume 利用可能量(NM) 01349

定義: このフィールドは、この容器で現在利用できる量を示す。

SAC-23 Initial specimen volume 初期検体量 (NM) 01350

定義: このフィールドは容器の吸引体積を示す。

SAC-24 Volume units 量単位 (CE) 01351

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、容器の容量を示すために使用される単位を示す。ISO+単位の場合は、省略形で記録される。デフォルトの単位はミリリットル (mL) で、単位が示されていない場合はこの単位が仮定される。

SAC-25 Separator type 分離剤タイプ (CE) 01352

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、採取容器で使用する分離剤のタイプを示す。(例えば、ゲル状の分離剤のことであって、通信上のセパレータと混同しないこと) 使用者定義表 0380 に提案する値を示す。テーブルの最初のエントリが"NO"なら「分離剤なし」を示す。

使用者定義表 0380 – Separator type セパレータタイプ

Value	Description
	No suggested values defined 推奨値は定義されない

Examples of values 値の例: NO (no separator 分離剤なし), GEL (gel separator ゲル状の分離剤), M01 (manufacturer specific メーカー独自のもの)

SAC-26 Cap type キャップタイプ (CE) 01353

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、容器の開栓、ピアシングなどの機構に使用されるキャップのタイプを示す。使用者定義表 0381 に提案する値を示す。

使用者定義表 0381 – Cap type キャップタイプ

Value	Description
	No suggested values defined 推奨値は定義されない

値の例: SCR (screw cap スクリュー栓), PSH (push cap プッシュ栓), FOIL (foil シール栓)

SAC-27 Additive 添加剤(CWE) 00647

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、検体の採取前または採取の時点で検体に添加された添加剤を示す。繰り返し可能。HL7 表 0371 に提案する値を示す。

この表の値は CLSIAUTO4 による。ユーザによる拡張が可能である。

注) このフィールドは HL7 V2.4 以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。SPM セグメントと SAC セグメントが同時に使用される場合は SPM セグメントを優先する。SPM セグメントについては第 7 章を参照。

SAC-28 Specimen component 検体成分(CE) 01355

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体成分（上清、沈殿など）を示す。使用者定義表 0372 に提案する値を示す。

この表の値は CLSIAUTO4 による。ユーザによる拡張が可能である。

使用者定義表 0372 - Specimen component 検体成分

Value	Description
SUP	Supernatant 上清
SED	Sediment 沈殿
BLD	Whole blood, homogeneous 全血
BSEP	Whole blood, separated 分離された全血
PRP	Platelet rich plasma 多血小板血漿
PPP	Platelet poor plasma 乏血小板血漿
SER	Serum, NOS (not otherwise specified)血清 (他に指定のない限り)
PLAS	Plasma, NOS (not otherwise specified) 血漿 (他に指定のない限り)

SAC-29 Dilution factor 希釈率(SN) 01356

成分:<comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>
 定義: このフィールドは、既に検体に実施されている希釈の希釈率を示す。希釈率を変更する装置はこの情報を他の装置に送信する必要がある。内因性の希釈剤内容物が濃度計算に必要な場合は、マスタファイルまたは他の方法で特定の値がシステム間で交換される必要がある。

例:

|1^5| - means dilution 1 to 5, i.e., 1 part sample, 4 parts diluent
 5倍希釈 例えば、1が検体、4が希釈液

|1^+| - sample is diluted, but the factor is unknown
 サンプルが希釈されたが、希釈率は不明

|1^1| - not diluted sample
 希釈されなかった

|| - dilution not changed
 希釈率は不変

SAC-30 Treatment 処理(CE) 01357

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>
 定義: このフィールドは、検体時の処理を示す。使用者定義表 0373 に提案する値を示す。この表の値は CLSIAUTO4 による。ユーザによる拡張が可能である。

使用者定義表 0373 – Treatment 処置

Value	Description
LDLP	LDL Precipitation LDL 沈殿
RECA	Recalcification カルシウム再添加
DEFB	Defibrination フィブリン除去
ACID	Acidification 酸化
NEUT	Neutralization 中和
ALK	Alkalization アルカリ化
FILT	Filtration 濾過
UFIL	Ultrafiltration 限外濾過

SAC-31 Temperature 温度(SN) 01358

成分:<comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>
 定義: このフィールドは、EQU セグメントにトランザクションが指定されたときの検体の摂氏 (Celsius) 温度 (°C) を示す。

SAC-32 Hemolysis index 溶血指数 (NM) 01359

定義: このフィールドは、検体の溶血指数を表すために使用される。

SAC-33 Hemolysis index units 溶血指数の単位 (CE) 01360

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>
 定義: このフィールドは、検体の溶血指数の単位を表すために使用される。推奨される単位は g/L である。(OBX のオリジナルの使用法に換わり、この指数値の送信が追加された。理由は検体の詳細情報の送信頻度の点から、より効率的な機構の使用が望ましいためである。このフィールドが空の場合は推奨値と見なされる。

SAC-34 Lipemia index 乳び指数 (NM) 01361

定義: このフィールドは、検体の乳び指数を表すために使用される。600nm で測定した光学的濁度 (単位は absorbance) が推奨される。

SAC-35 Lipemia index units 乳び指数の単位(CE) 01362

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体の乳び指数の単位を表すために使用される。
このフィールドが空の場合は推奨値と見なされる。

SAC-36 Icterus index 黄疸指数 (NM) 01363

定義：このフィールドは、検体の黄疸指数を表すために使用される。

SAC-37 Icterus index units 黄疸指数の単位 (CE) 01364

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体の黄疸指数の単位を表すために使用される。
ビリルビンの mMOL/L が推奨される。

このフィールドが空の場合は推奨値と見なされる。

SAC-38 Fibrin index フィブリン指数 (NM) 01365

定義：このフィールドは、検体のフィブリン指数を表すために使用される。フィブリンの有り／無しの違いしか無い場合に関り、それぞれ1または0を用い、単位は空とする。

SAC-39 Fibrin index units フィブリン指数の単位 (CE) 01366

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体のフィブリン指数の単位を表すために使用される。

SAC-40 System induced contaminants システム由来の汚染物質 (CE) 01367

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体に関連する汚染物質を示す。使用者定義表 0374 に提案する値を示す。この表の値は CLSIAUTO4 による。ユーザによる拡張が可能である。

使用者定義表 0374 - System induced contaminants 汚染物質

Value	Description
CNTM	Present, type of contamination unspecified 検体汚染有り、詳細不明

SAC-41 Drug interference 薬剤干渉(CE) 01368

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体に関連する妨害物質を示す。使用者定義表 0382 に提案する値を示す。

使用者定義表 0382 – Drug interference 薬剤干渉

Value	Description
	No suggested values defined 推奨値は定義されない

SAC-42 Artificial blood 人工血液 (CE) 01369

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体に関連する人工血液を示す。使用者定義表 0375 に提案する値を示す。この表の値は CLSIAUTO4 による。ユーザによる拡張が可能である。

使用者定義表 0375 - Artificial blood 人工血液

Value	Description
SFHB	Stromal free hemoglobin preparations 基質遊離ヘモグロビン製剤
FLUR	Fluorocarbons フルオロカーボン

SAC-43 Special handling considerations 特別の取り扱い (CWE) 01370

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、検体に関連する特別の取り扱いを示す。注) このフィールドは HL7 V2.4 以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。SPM セグメントと SAC セグメントが同時に使用される場合は SPM セグメントを優先する。SPM セグメントについては第 7 章を参照。

SAC-44 Other environmental factors その他の環境因子 (CE) 01371

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体に関連するその他の環境因子を示す(例：大気への露出))。使用者定義表 0377 に提案する値を示す。この表の値は CLSIAUTO4 による。ユーザによる拡張が可能である。

使用者定義表 0377 - Other environmental factors その他の環境因子

Value	Description
ATM	Opened container, atmosphere/duration unspecified 開栓された容器、大気への露出時間は記載なし
A60	Opened container, indoor atmosphere, 60 minutes duration 開栓された容器の露出時間は室内で大気開放 60 分間

9.10 SID - Substance Identifier Segment 試薬等識別セグメント

試薬等識別セグメントは分析の過程で使用される部材（例えば、試薬）を確認するのに必要なデータを含んでいる。これらのフィールドの結合は試薬等をユニークに識別しなければならない。すなわちメーカーに依存することも必要である。分析が複数の試薬等を必要とする場合は、このセグメントは各試薬等の毎に繰り返される。このセグメントはTCDセグメントと組み合わせて使われる。

もう1つのこのセグメントの目的は、製造業者、ロットなどの情報を通知することである。この場合 SIDセグメントはコントロール検体で容器を記述している SACセグメントに置かれるべきである。

HL7属性表 -SID- Substance Identifier 試薬等識別セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAH IS	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CE	C	C			01426	Application / method identifier アプリケーション/測定法ID	
2	20	ST	C	C			01129	Substance lot number 試薬等ロット番号	
3	200	ST	C	C			01428	Substance container identifier 試薬等容器ID	
4	250	CE	C	C			01429	Substance manufacturer identifier 試薬等製造元ID	

SID フィールド定義

SID-1 Application / method identifier アプリケーション/手法 ID (CE) 01426

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは分析に使用されるアプリケーション/手法を示す。

例：グルコースは様々な測定法が存在する検査である。様々なアプリケーション/手法（メーカーのIDを持っている）を使用してグルコースを分析することができる。

SID-2 Substance lot number 試薬等ロット番号 (ST) 01129

定義：このフィールドは試薬等の製造時にメーカーが割り当てた番号を指定する。

SID-3 Substance container identifier 試薬等容器 ID (ST) 01428

定義：このフィールドは試薬等の製造時にメーカーが割り当てた容器を指定する。このIDは特定のアプリケーション/方法の特定のロットの中でユニークでなければならない。

SID-4 Substance manufacturer identifier 試薬等製造元 ID (CE) 01429

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドはこの試薬等の製造元を示す。これはユーザで定義された表である。

「使用者定義表 0451 – 試薬等 ID」(9.4 節) を参照。

9.11 TCC - Test Code Configuration 検査コード設定セグメント

検査（例：分析）コード設定セグメントは、自動システム全体で使用される検査コードに関する情報を維持および送信するために必要なデータである。

HL7属性表 -TCC- Test Code Configuration 検査コード設定セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAH IS	RP/#	TBL #	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CE	R	R			00238	Universal service Identifier 汎用サービスID	
2	80	EI	R	R			01408	Equipment test application identifier 装置試験APID	
3	300	SPS	B	B			00249	Specimen source 検体取得部位	
4	20	SN	O	O			01410	Auto-dilution factor default 自動希釈率のデフォルト	
5	20	SN	O	O			01411	Rerun dilution factor default 再検希釈率のデフォルト	
6	20	SN	O	O			01412	Pre-dilution factor default 前希釈率のデフォルト	
7	20	SN	O	O			01413	Endogenous content of pre-dilution diluent 前希釈の希釈液の共存物質	
8	10	NM	O	O			01414	Inventory limits warning level 残量警告レベル	
9	1	ID	O	O			01415	Automatic rerun allowed 自動再検(条件変更あり)許可	
10	1	ID	O	O			01416	Automatic repeat allowed 自動再検(条件変更なし)許可	
11	1	ID	O	O			01417	Automatic reflex allowed 自動追加検査許可	
12	20	SN	O	O			01418	Equipment dynamic range 装置のダイナミックレンジ	
13	250	CE	O	O			00574	Units 単位	
14	250	CE	O	O			01419	Processing type 処理タイプ	

TCC フィールド定義

TCC-1 Universal service Identifier 汎用サービス ID (CE) 00238

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>
 定義：このフィールドは、情報が送信される検査コードを示す。代替要素は、装置や試薬メーカーによりこの検査コードに割り当てられた検査コードを示す。

TCC-2 Equipment test application identifier 装置試験 APID (EI) 01408

成分:<entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>
 定義：このフィールドは、装置や試薬のメーカーによって割り当てられ、テスト項目によって指定される特定のテストを行なう時に関連付けられるテストアプリケーションコードを示す。

TCC-3 Specimen source 検体取得部位 (SPS) 00249

V2.5 においてはこの項目は HL7 V2.4 以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。SPM セグメントと TCC セグメントが同時に使用される場合は SPM セグメントを優先する。SPM セグメントについては第 7 章を参照。

TCC-4 Auto-dilution factor default 自動希釈率のデフォルト (SN) 01410

成分:<comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>
 定義：このフィールドは、この検査コードについて装置が自動的に行う希釈のデフォルト希釈率として使用される値である。（「材料と採取容器の詳細セグメント」の「SAC-29 希釈率」を参照）

TCC-5 Rerun dilution factor default 再検希釈率のデフォルト (SN) 01411

成分:<comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、この検査コードについて装置が再検する場合のデフォルト希釈率として使用される値である。

TCC-6 Pre-dilution factor default 前希釈率のデフォルト (SN) 01412

成分:<comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、この検査コードの予備希釈のために検体検査自動化システムに配送される検体のフォルト希釈率として使用される値である。

TCC-7 Endogenous content of pre-dilution diluent 前希釈の共存物質 (SN) 01413

定義：このフィールドは、希釈液に含まれる測定項目の共存物質のバックグラウンド値を示す。このバックグラウンド値は、測定結果の演算過程で考慮される。

TCC-8 Inventory limits warning level 残量警告レベル (NM) 01414

定義：このフィールドは、試薬等在庫の残量警告を出す閾値として使用される。

TCC-9 Automatic rerun allowed 自動再検(条件変更あり)許可 (ID) 01415

定義：このフィールドは、この検査コード項目を、自動的に再検を行なうかどうかを指定する。「HL7表 0136 -Yes/no 指示」(7.7 節)を参照。

TCC-10 Automatic repeat allowed 自動再検(条件変更なし)許可 (ID) 01416

定義：このフィールドは、この検査コード項目を、自動的に反復検査(条件変更なしの再検査)を行なうかどうかを指定する。「HL7表 0136 -Yes/no 指示」(7.7 節)を参照。

TCC-11 Automatic reflex allowed 自動追加検査許可 (ID) 01417

定義：このフィールドは、この検査コード項目を、自動的にまたは手動で追加項目の検査を行なうかどうかを指定する。「HL7表 0136 -Yes/no 指示」(7.7 節)を参照。

TCC-12 Equipment dynamic range 装置のダイナミックレンジ (SN) 01418

成分:<comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：装置のダイナミックレンジを示す。

TCC-13 Units 単位 (CE) 00574

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドはデータタイプ CE を持つ単位である。

標準化された単位体系の使用が望まれる。

IHE PaLM Technical Framework では、UCUM の使用を推奨している。

TCC-14 Processing type 処理タイプ (CE) 01419

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、この検査コードに適用される処理タイプを示す。この属性が省略されている場合は、通常処理がデフォルトとなる。

HL7表0388 - Processing typ 処理タイプ

Value	Description
P	通常処理 Regular Production
E	評価 Evaluation

9.12 TCD - Test Code Detail Segment 検査コード詳細セグメント

検査コード詳細セグメントは、検体検査自動化システムによるオペレーション、計算、意思決定を行なうために必要なデータである。

HL7属性表 -TCD- Test Code Detail 検査コード詳細セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAH IS	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CE	R	R			00238	Universal service Identifier 汎用サービス ID	
2	20	SN	O	O			01420	Auto-dilution factor 自動希釈率	
3	20	SN	O	O			01421	Rerun dilution factor 再検希釈率	
4	20	SN	O	O			01422	Pre-dilution factor 前希釈率	
5	20	SN	O	O			01413	Endogenous content of pre-dilution diluent 前希釈の希釈液の共存物質	
6	1	ID	O	O			01423	Automatic repeat allowed 自動再検(希釈条件変更なし)許可	
7	1	ID	O	O			01424	Reflex allowed 追加検査許可	
8	250	CE	O	O			01425	Analyte repeat status 測定対象の再検ステータス	

TCD フィールド定義

TCD-1 Universal service Identifier 汎用サービス ID (CE) 00238

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>
 定義: このフィールドは、情報が送信される検査コードを示す。

TCD-2 Auto-dilution factor 自動希釈率 (SN) 01420

成分:<comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>
 定義: このフィールドは、この検査コードについて装置が自動的に行う希釈の希釈率として使用される値である。

TCD-3 Rerun dilution factor 再検希釈率 (SN) 01421

成分:<comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>
 定義: このフィールドは、この検査コードの再検時自動希釈の希釈率として使用される値である。

TCD-4 Pre-dilution factor 前希釈率 (SN) 01422

成分:<comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>
 定義: このフィールドは、この検査コードの予備希釈のために検体検査自動化システムに配送される検体の希釈率として使用される値である。

TCD-5 Endogenous content of pre-dilution diluent 前希釈の希釈液の共存物質 (SN) 01413

成分:<comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義: このフィールドは、希釈剤の当該測定項目の既知の含有濃度を示す。この値は、この検査コードのために予備希釈された検体の濃度を計算するために使用される。

TCD-6 Automatic repeat allowed 自動再検 (条件変更なし) 許可 (ID) 01423

定義: このフィールドは、この検査コード項目を、自動的に再測定を行なうかどうかを指定する。「HL7-Yes/no 指示」(7.7 節)を参照。

TCD-7 Reflex allowed 追加検査許可 (ID) 01424

定義: このフィールドは、この検査コード項目を、自動的にまたは手動で追加項目の検査を行なうかどうかを指定する。「HL7 表 0136-Yes/no 指示」(7.7 節)を参照。

TCD-8 Analyte repeat status 測定対象の再検ステータス (CE) 01425

定義: このフィールドは結果の反復ステータスを識別する。(例えば: 初期値、再測定、反復、追加)。「HL7 表 0389- 結果反復ステータス」を参照。
 このフィールドの目的は次のように仮定する:

希釈剤なしの反復検査—正しい結果を確認することを行われる (例、“パニック” または機械的失敗としての結果の場合)。

希釈剤ありの反復検査—通常、測定限界 (技術上の限界) を超えたケースで行われる。

反射作用検査—他のテスト結果に基づいて、このテストは行われる。

HL7表 0389 – 結果反復ステータス Analyte repeat status

Value	Description
O	オリジナル/初期値 Original, first run
R	希釈なしの再検査 (e.g. フラグの設定による) Repeated without dilution
D	希釈ありの再検査 Repeated with dilution
F	追加検査. (e.g.条件による、または他の結果からの追加) Reflex test

10. マスタファイル Master Files

10.1 目的

臨床検査データ交換を運用するにあたり、相互に情報を認識するために同じ内容を持ったマスタファイルが不可欠である。本章では必要となる各種マスタファイル情報を設定更新する場合に使用する標準的メッセージを規定する。

マスタファイル通知メッセージはオンラインやバッチモードを問わずシステム間における種々のマスタファイルに対する設定更新情報の配布を支援する。これらの応答モードはオリジナル、拡張、遅延アプリケーションを提供する。これらのメッセージは基本的な事象コード（マスタファイル通知または応答）を受け渡すために MSH セグメントを使う。MFI（マスタファイル識別）セグメントは更新すべきマスタファイルのみならず初期化やいつ適用するかといった「ファイルレベル」事象（「ファイル置換」ような）のための要求日付を識別する。変更すべき各レコードのための MFE（マスタファイルエントリ）セグメントはレコードレベル事象コード（例えば、追加、更新など）、事象のための初期化や要求日付、そしてマスタファイルのエントリを識別するレコードレベルキーを持つ。MFA（マスタファイル応答）セグメントはレコードに特有の応答情報を返す。

注: MFE セグメントは、マスタファイルレコードでなく、その識別子、事象と事象日付を指定するだけである。そこで識別されたマスタファイルレコードは MFE セグメントに続く Z-セグメントや HL7 定義セグメントを含んでいる。このレコードは単一のセグメントよりなるフラットレコード、あるいはそのデータと（通常階層的）構造より導き出される多くの単一セグメントを必要とする複合レコードである。

一般に、受信側システムが変更通知メッセージを処理する方法は、受信側システム的设计とそのサイトの要件に依存し、特定のマスタファイルに対する変更を手動で行う場合もあるし、自動的に行う場合もある。

10.2 トリガーイベント

マスタファイル変更通知メッセージ MFN のメッセージ型は MFN であり、対象となる臨床検査マスタファイルや各種表を次のトリガーイベント(参照 HL7 表 0003-事象型)を用いて通知する。(メッセージ型およびトリガーイベントは MSH-9 に指定)

HL7表 0003 - Event type 事象型 (マスタファイル関連のみ)

Value	Description
M01	MFN/MFK - 他に特定されないマスタファイル(旧版互換のみ)
M02	MFN/MFK - 職員/従事者マスタファイル
M03	MFN/MFK - 検査項目マスタファイル(旧版互換のみ)
M04	MFN/MFK - 課金明細マスタファイル
M05	MFN/MFK - ロケーションマスタファイル
M06	MFN/MFK - 相とスケジュールを伴う治験マスタファイル
M07	MFN/MFK - 相を除くスケジュールを伴う治験マスタファイル
M08	MFN/MFK - 数値型検査項目マスタファイル
M09	MFN/MFK - カテゴリ型検査項目マスタファイル
M10	MFN/MFK - バッテリ (セット) 検査項目マスタファイル
M11	MFN/MFK - 計算型検査項目マスタファイル
M12	MFN/MFK - 付加的基本的観察サービス属性マスタファイル
M13	MFN/MFK - 一般マスタファイル
M14	MFN/MFK - サイト定義マスタファイル
M15	MFN/MFK - 在庫管理項目マスタファイル

MFN メッセージは MFI セグメントで指定される次のようなファイルレベル事象を含む。

REP: 置換 Replace current version of this master file with the version contained in this message.

UPD: 更新 Change file records as defined in the record-level event codes for each record that follows.

REP はすべての MFE セグメントがレコードレベルの削除通知なしに MAD (追加) され、UPD は次の MFE セグメントのレコードレベル事象コードで定義されることを意味する。

MFN メッセージは MFE セグメントで指定される次のようなレコードレベル事象を含む。

MAD: 追加 Add record to master file.

MDL: 削除 Delete record from master file.

MUP: 更新 Update record for master file.

MDC: 無効 Deactivate: discontinue using record in master file, but do not delete from database.

MAC: 復活 Reactivate deactivated record.

MFD: トランザクションは次のトリガーイベントで用いられる:

MFA: マスタファイル遅延アプリケーション応答。

10.3 メッセージ

マスタファイル更新のために MFN マスタファイル通知、MFK マスタファイルアプリケーション応答、MFD マスタファイル遅延アプリケーション応答、MFQ マスタファイル照会メッセージを定義する。
 応答や照会 (MFK、MFD、MFQ、QBP 等) はファイル交換では使用しない。

10.3.1 MFN/MFK - master files notification マスタファイル通知メッセージ

MFN メッセージは次のように定義される：詳細は各マスタファイルの節を参照。

表 10.3.1-1 MFN^Mnn マスタファイル通知メッセージ

MFN^Mnn^MFN_Mnn	マスタファイル 通知	Usage
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N
MFI	Master File Identification	R
{	--- MF begin	R
MFE	Master File Entry	R
[...]	MFE セグメントで識別されたデータを持つセグメント	C
}	--- MF end	

表 10.3.1-2 MFK^Mnn マスタファイル応答メッセージ

MFK^Mnn^MFK_M01	マスタファイル アプリケーション 応答	Usage
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N
MSA	Acknowledgment	R
[{ ERR }]	Error	C
MFI	Master File Identification	R
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C

注：MFKメッセージはオリジナルまたは拡張応答モード両方でアプリケーション応答に使用される。

10.3.2 MFQ/MFR - マスタファイル照会(事象 M01-M14)

MFQ 処理はシステムが特定のマスタファイルの主キーで定義される特定のレコード群を照会する。

注：照会は HL7 V2.5 第5章で定義されるコンフォーマンスに基づく照会を優先し、MFQ 処理のようなオリジナルモード照会の使用は避けるべきである。10.3.3 節のコンフォーマンスに基づくマスタファイル照会の例を参照。

MFQ マスタファイル照会は次のように定義される：

表 10.3.2-1 MFQ^Mnn マスタファイル照会メッセージ

MFQ^Mnn^MFQ_M01	マスタファイルレコード照会	Usage
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N
QRD	Query Definition	R
[QRF]	Query Filter	O
[DSC]	Continuation	N

表 10.3.2-2 MFR^Mnn マスタファイル応答メッセージ

MFR^Mnn^MFR_M01	マスタファイル応答	Usage
MSH	Message Header	R

MFR^Mnn^MFR M01	マスタファイル応答	Usage
[{ SFT }]	Software	N
MSA	Acknowledgment	R
[{ ERR }]	Error	C
[QAK]	Query Acknowledgment	C
QRD	Query Definition	R
[QRF]	Query Filter	O
MFI	Master File Name	R
{	--- MF_QUERY begin	R
MFE	Master File Entry	R
[...]	One or more HL7 and/or Z-segments carrying the data for the entry identified in the MFE segment.	C
}	--- MF_QUERY end	
[DSC]	Continuation	N

MFQ 注釈

QRD セグメントの QRD-9 - What Subject Filter の値「MFQ」はマスタファイル照会を意味し、QRD セグメントの QRD-10 - What Department Data Code は照会するマスタファイルの名前である。QRD セグメントの QRD-11 - What Data Code Value Qual. は応答として返されるマスタファイル MFE セグメント（および「...」によって示される随伴するマスタファイルレコード）の主キー（または複数のキーやキーの範囲）を定義する。QRF セグメントは、時間範囲、特に MFN レコードレベル事象符号を定義するために用いられる。特段の指定のないかぎり、その応答はアクティブな現在のレコードを返す。

10.3.3 コンフォーマンスに基づくマスタファイル照会の例

以下はサイト定義コンフォーマンスに基づくマスタファイル照会の例である。この例では、ユーザーはロケーションマスタファイルの特定のロケーションに関する情報を照会する。実際の照会コンフォーマンス文において、「Znn」は「Z」に続く照会の2桁の数字に置き換えられる。

ロケーションマスタファイル照会のためのコンフォーマンス文の例

照会文 ID (照会 ID=Znn):	Znn
型:	Query
照会名称:	Znn Find Location
照会トリガー (= MSH-9):	QBP^Znn^QBP_Q11
照会モード:	Real time
応答トリガー (= MSH-9):	RSP^Znn^RSP_Q11
照会特性:	
目的:	Find the characteristics for the specified location.
応答特性:	
基本セグメント形式:	

表 10.3.3-1 QBP^Znn コンフォーマンスに基づくマスタファイル照会メッセージ

QBP^Znn^QBP_Q11	照会文法：変数による照会	Usage
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
RCP	Response Control Parameters	R
[DSC]	Continuation Pointer	N

表 10.3.3-2 RSP^Znn コンフォーマンスに基づくマスタファイル応答メッセージ

RSP^Znn^RSP_Q11	応答文法：セグメント形式の応答	Usage
MSH	Message Header	R
[[SFT]]	Software	N
MSA	Message Acknowledgement	R
[[ERR]]	Error	C
QAK	Query Acknowledgement	R
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
[--- QUERY_RESULT_CLUSTER begin	R
MFE	Master File Entry	R
LOC	Patient Location Master	R
[[LCH]]	Location Characteristic	C
[[LRL]]	Location Relationship	C
{	--- MF_LOC_DEPT begin	C
LDP	Location Department	C
[[LCH]]	Location Characteristic	C
[[LCC]]	Location Charge Code	C
}	--- MF_LOC_DEPT end	
]	--- QUERY_RESULT_CLUSTER end	
[DSC]	Continuation Pointer	N

表10.3.3-3 QPD 入力変数仕様

フィールド順 (照会ID=Znn)	名称	キー／探索	ソート	長	型	オプション	繰り返し	一貫性オプション	表	セグメントフィールド名	サービス識別コード	要素名
1	メッセージ照会名称			705	CWE	R				QPD-1		Message Query Name
2	照会タグ			32	ST	R				QPD-2		Query Tag
3	マスタファイル識別子			705	CWE	R				MFI-1		Master File Identifier
4	マスタファイルアプリケーション識別子			227	HD	O				MFI-2		Master File Application Identifier
5	主キー			1230	PL	R				MFE-4		Primary Key Value - MFE

表10.3.3-4 QPD 入力変数フィールド説明と備考

入力変数 (Query ID=Znn)	成分名	データ型	説明
メッセージ照会名称		CWE	成分 : <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
	識別子	ST	値は Znn である
	テキスト	ST	値は Find Location である
照会タグ	コード体系名称	IS	値は HL70471 である
		ST	値はこの照会メッセージ実体ための一意な識別子である
		CWE	成分 : <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
マスタファイル識別子	識別子	ST	値は LOC である
	コード体系名称	IS	値は HL70175 である

入力変数 (Query ID=Znn)	成分名	データ型	説明
マスタファイルアプリケーション識別子		HD	成分 : <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>
主キー		PL	成分 : <point of care (IS)> ^ <room (IS)> ^ <bed (IS)> ^ <facility (HD)> ^ <location status (IS)> ^ <person location type (IS)> ^ <building (IS)> ^ <floor (IS)> ^ <location description (ST)>
			このフィールドはロケーションのための施設の識別コードからなる。少なくともこのフィールドの第1成分は必須である。第一成分は入院ロケーションのためのナースステーション、あるいは診療所、入院患者以外の患者ロケーションとしての部門や家庭の、識別コードでありえる。

表10.3.3-5 RCP 応答管理変数フィールド説明と備考

フィールド順(照会 ID=Znn)	名称	成分名	長	データ型	説明
1	照会優先度		1	ID	値は I (即時) である
3	応答規則		705	CWE	値は R (リアルタイム)である

ロケーションマスタファイル照会の使用例

以下はロケーションマスタファイル照会の使用例である。以下の照会はナースステーション 2N、101 号室のロケーションマスタファイル情報を要求：

```
MSH|^~\&|BEDMGMT|HSP1|HIS|HSP1|2001053111135||QBP^Znn^QBP_Q11|1|P|2.5
QPD|Znn^Find Location^HL70471|1022|LOC^Location Master^HL70175|HSP1|2N^101^^HSP1
RCP|I||R
```

以下は応答の例：

```
MSH|^~\&|HIS|HSP1|BEDMGMT|HSP1|2001053111136||RSP^Znn^RSP_Q11|1|P|2.5|
MSA|AA|8699|
QAK|1022|OK| Znn^Find Location^HL70471|1|1|0
QPD|Znn^Find Location^HL70471|1022|LOC^Location Master^HL70175|HSP1|2N^101^^HSP1
MFE|MAD|||2N^101^^HSP1|PL
LOC|2N^101^^HSP1|Station 2 North, room 101|R|| (407)804-5000||IVP|P
LCH|2N^101^^HSP1||PRL^Privacy level^HL70324|S^Semi-private room^HL70262
LCH|2N^101^^HSP1||SMK^Smoking^HL70324|Y^^HL70136
```

QAK セグメントで識別された単一の一致が返された。そのロケーション定義と特性は LOC と LCH セグメントで返される。

上記の例に出現する LOC と LCH セグメントに関しては、HL7 原本を参照のこと。

10.4 マスタファイル通知メッセージ共通セグメント

10.4.1 MFI - Master file identification segment マスタファイル識別セグメント

HL7属性表 MFI - Master File Identification マスタファイル識別

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	250	CWE	R		00658	Master File Identifier マスタファイル識別
2	180	HD	O		00659	Master File Application Identifier マスタファイルアプリケーション識別
3	3	ID	R		00660	File-Level Event Code ファイルレベル事象コード
4	26	TS	O		00661	Entered Date/Time 入力日時
5	26	TS	O		00662	Effective Date/Time 有効日時
6	2	ID	R		00663	Response Level Code 応答レベルコード

MFI フィールド定義

MFI-1 Master file identifier マスタファイル識別 (CWE) 00658

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: HL7 マスタファイルを識別するものであり、取りうる値はHL7表 0175 に示す。この表にはサイト特有の拡張が含まれる場合がある。

HL7表 0175 - Master file identifier code マスタファイル識別コード(日本仕様を含む)

Value	Description	Comment
CDM	課金明細マスタファイル	
CMA	フェーズとスケジュールされた治験マスタファイル	
CMB	フェーズを除くスケジュールされた治験マスタファイル	
LOC	ロケーションマスタファイル	
OMA	数値結果検査マスタファイル	
OMB	カテゴリ値結果検査マスタファイル	
OMC	検査群 (セット) マスタファイル	
OMD	計算値結果検査マスタファイル	
PRA	従事者マスタファイル	
STF	職員マスタファイル	
CLN	医院マスタファイル	
OME	他の基本的検査/サービス属性	
INV	在庫マスタファイル	

MFI-2 Master files application identifier マスタファイルアプリケーション識別 (HD) 00659

成分:<namespace ID (IS) ^ <universal ID (ST) ^ <universal ID type (ID)

定義: マスタファイルが適用されるアプリケーションを一意に識別する。

MFI-3 File-level event code ファイルレベル事象コード (ID) 00660

定義: ファイルレベルの事象コード

HL7表 0178 - File level event code ファイルレベル事象コード

Value	Description
REP	置換 Replace current version of this master file with the version contained in this message
UPD	更新 Change file records as defined in the record-level event codes for each record that follows

Note: ファイルレベル事象コードMFI-3 - File-Level Event Codeが“REP”(replace file)であるならば各MFEセグメントのレコードレベル事象コードMFE-1 - Record-Level Event Codeは“MAD” (add record to master file)である。

MFI-4 Entered date/time 入力日時 (TS) 00661

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: 原本側のファイルレベル事象日時

MFI-5 Effective date/time 有効日時 (TS) 00662

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：ファイルレベルの処理において、変更を有効とする日時、送り側ではこの日時には変更されていることを期待する。指定がない場合、メッセージを受け取った日時とする。

MFI-6 Response level code 応答レベルコード (ID) 00663

定義：アプリケーションレベルでの応答レベルを表 0179 の値で指定する。メッセージレベルでの応答レベルは MSH で指定する。(ファイル交換では NE 応答不要と設定する)

HL7表 0179 - Response level 応答レベル

Value	Description
NE	アプリケーションレベル応答不要
ER	エラーリジェクトの場合のみアプリケーションレベル応答を返す。
AL	常時アプリケーションレベル応答を返す。
SU	更新成功のみアプリケーションレベル応答を返す。

10.4.2 MFE - master file entry segment マスタファイルエントリセグメント

HL7属性表 MFE - Master File Entry マスタファイルエントリ

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	3	ID	R		00664	Record-Level Event Code レコードレベル事象コード
2	20	ST	C		00665	MFN Control ID MFN制御ID
3	26	TS	O		00662	Effective Date/Time 有効日時
4	200	Varies	R	Y	00667	Primary Key Value - MFE 主キー値
5	3	ID	R	Y	01319	Primary Key Value Type 主キー値型

MFE フィールド定義

MFE-1 Record-level event code レコードレベル事象コード (ID) 00664

定義：レコードレベル事象を指定

HL7表 0180 - Record-level event code レコードレベル事象コード

Value	Description
MAD	追加 Add record to master file
MDL	削除 Delete record from master file
MUP	更新 Update record for master file
MDC	無効 Deactivate: discontinue using record in master file, but do not delete from database
MAC	復活 Reactivate deactivated record

Note: ファイルレベル事象コードMFI-3 - File-Level Event Codeが“REP”(replace file)であるならば各MFEセグメントのレコードレベル事象コードMFE-1 - Record-Level Event Codeは“MAD”(add record to master file)である。

MFE-2 MFN control ID MFN 制御 ID (ST) 00665

定義：原本側システムの視点で受側システムのレコード更新が一意に識別できる数字や識別子。MFIの応答レベルコードがNE以外するとき、この応答はMFAセグメントで行われる。

MFE-3 Effective date/time 有効日時 (TS) 00662

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：レコードレベルの処理において、変更を有効とする日時、送り側ではこの日時には変更されていることを期待する。指定がない場合、メッセージを受け取った日時とする。

MFE-4 Primary key value 主キー値 (Varies) 00667

定義：MFIセグメントで指定されるマスタファイルのレコードレベル事象コードで定義される変更のレコードを一意に識別する。ロケーションマスタファイル更新ではPLデータタイプ、それ以外はCWEデータタイプである。CWEデータタイプの場合第1成分のアプリケーションIDがプライマリキー生成のためのアプリケーションを一意に示す。アプリケーションIDは複数のアプリケーションにおいてプライマリキーの一意性を保証するために用いられる。プライマリキーの反復によりレコードレベル事象コードの対象としての複合レコードの独立した成分の識別を可能としている。この仕様によりマスタファイルプロトコルが複合レコードの単一成分の修正に使用できるようになる。このフィールドが反復される場合、MFE-5 - Value type フィールドも反復（同じ反復回数で）すべきであり、MFE-4 - Primary key value の各反復のデータ型はMFE-5 - Value type の適切な反復より特定される。

MFE-5 Primary key value type 主キー値型 (ID) 01319

定義：MFE-4 プライマリキー値のデータ型を表0355の値で指定する。

HL7表 0355 - Primary key value type 主キー値型

Value	Description
PL	Person location 人物ロケーション
CWE	Coded element 符号化要素

10.4.3 MFA - マスタファイル応答セグメント

MFA セグメントは HL7 属性表 - MFA - マスタファイル応答で定義される以下のフィールドからなる。

HL7属性表 MFA - Master File Acknowledgment マスタファイル応答

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	3	ID	R		00664	Record-Level Event Code レコードレベル事象コード
2	20	ST	C		00665	MFN Control ID MFN制御ID
3	26	TS	O		00668	Event Completion Date/Time 事象完了日時
4	250	CWE	R		00669	MFN Record Level Error Return MFNレコードレベルエラー戻値
5	250	Varies	R	Y	01308	Primary Key Value - MFA 主キー値
6	3	ID	R	Y	01320	Primary Key Value Type - MFA 主キー値型

MFA フィールド定義

MFA-1 Record-level event code レコードレベル事象コード (ID) 00664

定義：このフィールドはMFIセグメントによって識別されるマスタファイルレコードとそのセグメントの主キーのためのレコードレベル事象を定義する。取りうる値は表 0180 -レコードレベル事象コードを参照。

注：もしMFI-3 - File-level event code が“REP”(置換)であるならば各MFAセグメントのMFA-1 - Record-level event code は“MAD”(マスタファイルにレコード追加)である。

MFA-2 MFN control ID MFN 制御 ID (ST) 00665

定義：このフィールドは原本側システムの視点でレコード更新が一意に識別できる番号や識別子からなる。このフィールドはこのMFAセグメントによって応答される特定のレコード(MFEセグメントで識別される)を一意に識別する。MFAセグメントを通して原本側システムに返されるとき、このフィールドは目標となるシステムのどのレコードが変更されたか通知されることにより正確に識別することを可能とする。それはMFI-6 - Response level code がレコードレベル (NE 以外の値) における応答を要求する場合のみ必要である。

MFA-3 Event Completion Date/Time 事象完了日時 (TS) 00668

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドの要否は与えられるマスタファイル、マスタファイルイベント、および受信側施設の仕様に依存する。

MFA-4 MFN Record Level Error Return MFN レコードレベルエラー戻値 (CWE) 00669

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは要求された更新の状況からなる。サイト定義表、このトランザクションを介して更新される個々のマスタファイルに特定される。取りうる値は使用者定義表 0181 - MFN レコードレベルエラー戻値を参照。

使用者定義表 0181 - MFN record-level error return レコードレベルエラー戻値

Value	Description
S	MFE セグメントで定義されたレコードの成功記録
U	MFE セグメントで定義されたレコードの非成功記録

MFA-5 Primary Key Value - MFA 主キー値 (Varies) 01308

定義：MFN-4 - Record level error return フィールドで定義される応答すべき変更状況のMFIセグメントで識別されるマスタファイルレコードを一意に識別する。フィールドのデータ型はMFA-6 - Value type - MFA の値で定義され、取りうる値は表 0355 - プライマリキー値型において定義される。プライマリキーの反復によりレコードレベル事象コードの対象としての複合レコードの独立した成分の識別を可能としている。この仕様によりマスタファイルプロトコルが複合レコードの単一成分の修正に使用できるようになる。このフィールドが反復される場合、MFA-6 - Primary key value type - MFA フィールドも反復 (同じ反復回数で) すべきであり、MFA-5 - Primary key value - MFA の各反復のデータ型はMFA-6 - Value type - MFA の適切な反復より特定される。

MFA-6 Primary Key Value Type – MFA 主キー値型 (ID) 01320

定義：MFA-5 - Primary key value - MFA のデータ型を表 0355 の値で指定する。

10.5 一般マスタファイル

標準 HL7 表やコードと名称といった単階層のコード表の更新に用いる。

10.5.1 MFN 一般マスタファイル通知メッセージ

MFN/MFK - マスタファイル通知 - 一般 (事象 M13)

サイト定義「Z」セグメントでない場合。このメッセージ型は要求されたマスタファイル情報すべてを扱うために標準の HL7 セグメントが適用できるときに使用する (テキスト値であるひとつのキーのみからなる単純なマスタファイルの場合)。

一般マスタファイル通知は次のように定義される。(事象 M13)

表 10.5.1-1 MFN^M13 マスタファイル通知一般メッセージ

MFN^M13^MFN M13	マスタファイル通知一般	Usage
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N
MFI	Master File Identification	R
{ MFE }	Master File Entry	R

表 10.5.1-2 MFK^M13 マスタファイルアプリケーション応答メッセージ

MFK^M13^MFK_M01	マスタファイルアプリケーション応答	Usage
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N
MSA	Acknowledgment	R
[{ ERR }]	Error	C
MFI	Master File Identification	R
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C

MFN/MFK - マスタファイル通知 - サイト定義 (事象 M14)

サイト定義「Z」使用の場合。このメッセージ型は要求されたマスタファイル情報すべてを扱うために標準の HL7 セグメントが適用できないときに使用する。このメッセージ型は標準の HL7 セグメントが適用できるが、処理型が現状 HL7 で定義されていない場合にも使用される。

サイト定義マスタファイル通知は次のように定義される。(事象 M14)

表 10.5.1-3 MFN^M14 マスタファイル通知-サイト定義メッセージ

MFN^M14^MFN ZGN	マスタファイル通知-サイト定義	Usage
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N
MFI	Master File Identification	R
{	--- MF_SITE_DEFINED begin	R
MFE	Master File Entry	R
[ZGN]	MFE セグメントで識別された HL7 あるいは ZGN セグメント	C
}	--- MF_SITE_DEFINED end	

表 10.5.1-4 MFK^M14 マスタファイルアプリケーション応答メッセージ

MFK^M14^MFK M01	マスタファイルアプリケーション応答	Usage
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N

MFK^M14^MFK M01	マスタファイルアプリケーション応答	Usage
MSA	Acknowledgment	R
[{ ERR }]	Error	C
MFI	Master File Identification	R
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C

10.5.2 対象とするコード表

HL7 表のほか以下のコード表を対象とする。

コード表一覧

対象	コード制定組織	組織コード	マスタファイル識別コード
HL7 表	HL7	HL7	nnnn HL7 表番号
MEDIS-DC 暫定版の結果コメントコード表	MEDIS-DC	MEDIS	RCM
分析物 Analyte	日本臨床検査医学会	JC10 (第10改訂)	ANA
識別 Discrimination	日本臨床検査医学会	JC10 (第10改訂)	DISC
材料 Specimen	日本臨床検査医学会	JC10 (第10改訂)	SP
検査方法 Method	日本臨床検査医学会	JC10 (第10改訂)	MET
結果識別 (共通) Test result type (common)	日本臨床検査医学会	JC10 (第10改訂)	RTC
結果識別 (固有) Test result type (dependent)	日本臨床検査医学会	JC10 (第10改訂)	RTD
採取方法	(未定)	(未定)	(未定)

10.5.3 ZGN - 一般マスタファイルセグメント (事象 M14)

HL7属性表 ZGN 一般マスタファイル

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	250	CWE	R			Table entry for table xxxx xxxx表エントリ
2	5	NM	O			Display-sort-key 表示ソートキー

ZGN フィールド定義

ZGN-1 Table entry for table xxxx 表エントリ (CWE)

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:更新すべきマスタファイル表の値(行要素)を識別子とテキストをCWEデータタイプで記述する。MFE-4で指示されたレコードへのデータ。

ZGN-2 Display-sort-key 表示ソートキー (NM)

定義:HL7表の表示や印刷の際、コード順でない場合の表示順を指示する。

10.5.4 一般マスタファイル更新のMFNメッセージ例

メッセージ例 MFNメッセージオリジナル応答モード

この例では、メッセージはサイト定義「Z」セグメントを含む。以下のメッセージが応答システムへ送信される:

```
MSH|^~\&|HL7REG|UH|HL7LAB|CH|200106290544||MFN^M14^MFN_ZGN|MSGID001|P|2.5
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD|||AL
MFE|MAD|6772331|200106290500|BUD^Buddhist^HL70006|CWE
ZGN|BUD^Buddhist^HL70006|3
MFE|MAD|6772332|200106290500|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE
ZGN|BOT^Buddhist: Other^HL70006|4
```

応答側はメッセージを受信しそしてメッセージについて必要な検証を行う。この例では、受信したメッセージは処理可能と判断し、MFN^M14メッセージを開始側システムへ送信する:

```
MSH|^~\&|HL7LAB|CH|HL7REG|UH|200106290545||MFK^M14^MFK_M01|MSGID99001|P|2.5
MSA|AA|MSGID001
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD|||AL
MFA|MAD|6772331|200106290545|S|BUD^Buddhist^HL70006|CWE
MFA|MAD|6772332|200106290545|S|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE
```

MSA-1 - Acknowledgment Code はメッセージが受信され成功裏に処理されたことを示す「AA」を含んでいることに注意。この値はメッセージが受信されたが成功裏に処理しなかったことを示す「AE」または「AR」であることもある。MSA-2 - Message Control ID は開始側メッセージへの応答と連携する開始側MFN^M14メッセージ(MSGID001)のMSH-10 - Message Control IDからの値を含む。

日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード材料コード表の更新例(応答不要例、ファイル交換向き)、この例では既存の材料コード表を更新する(「蓄尿」を「24時間蓄尿」と変更)。

```
MSH|^~\&|JSCPREG|JSCP|LAB|OAL|20000313143000||MFN^M14^MFN_ZGN|MSGID1|P|2.5|||NE|NE
MFI|SP^材料コード^JC10||UPD|||NE
MFE|MUP||200003150000|004^蓄尿&pooled urine^JC10|CWE
ZGN|004^24時間蓄尿&24h pooled urine^JC10
```

メッセージ例 MFNメッセージ拡張モードアプリケーションレベル応答

この例では、メッセージはサイト定義「Z」セグメントを含まない。以下のメッセージが応答側システムへ送信される:

© JAHIS 2024


```
MSH|^~\&|HL7REG|UH|HL7LAB|CH|200106290544||MFN^M13^MFN_M01|MSGID004|P|2.5|||AL|AL
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD|||AL
MFE|MAD|6772333|200106290500|BUD^Buddhist^HL70006|CWE
MFE|MAD|6772334|200106290500|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE
```

応答側はメッセージを受信しそしてメッセージについて必要な検証を行う。この例では、受信したメッセージは処理可能と判断する。開始側メッセージの MSH-15 - Accept Acknowledgment は受信応答が必要（「AL」）と識別しているため、以下の ACK メッセージが応答側によって組み立てられ MFN^M13 メッセージの応答と識別して開始側システムへ送信する：

```
MSH|^~\&|HL7LAB|CH|HL7REG|UH|200106290545||ACK^M13^ACK|MSGID99004|P|2.5
MSA|CA|MSGID004
```

MSA-1 - Acknowledgment Code はメッセージが受信されそして安全に保管することを約束した識別である「CA」を含んでいることに注意。この値はメッセージが受信されたが成功裏に処理しなかったことを示す「CE」または「CR」であることもある。MSA-2 - Message Control ID は開始側メッセージへの応答と連携する開始側 MFN^M13 メッセージ(MSGID004)の MSH-10 - Message Control ID からの値を含む。

開始側システムはこの例ではアプリケーションレベル応答（「AL」）を要求していることを MSH-16 - Application Acknowledgment Type によって識別している。応答側は、開始側システムに上記 ACK メッセージの送信することに続きある時点で、MFN^M13 メッセージの処理を行うであろう。メッセージ処理が完了すれば、アプリケーション応答はメッセージが処理された識別で応答側から開始側システムへ送信される。応答側は MFK^M13 応答メッセージを組み立て、そしてそれを開始側システムへ送信する：

```
MSH|^~\&|HL7LAB|CH|HL7REG|UH|200106290550||MFK^M13^MFK_M01|MSGID99501|P|2.5|||AL|
MSA|AA|MSGID004
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD|||AL
MFA|MAD|6772333|200106290550|S|BUD^Buddhist^HL70006|CWE
MFA|MAD|6772334|200106290550|S|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE
```

MSA-1 - Acknowledgment Code はメッセージが受信され成功裏に処理されたことを示す「AA」を含んでいることに注意。この値はメッセージが受信されたが成功裏に処理しなかったことを示す「AE」または「AR」であることもある。この値は後続のすべての MFA セグメントに適用する。MSA-2 - Message Control ID は開始側メッセージへのアプリケーション応答と連携する開始側 MFN^M13 メッセージ(MSGID004)の MSH-10 - Message Control ID からの値を含む。

開始側システムは応答側からのアプリケーション応答メッセージを受信し、そしてその応答である ACK メッセージを形成する。以下のメッセージが応答側システムへ送信される：

```
MSH|^~\&|HL7REG|UH|HL7LAB|CH|200106290551||ACK^M13^ACK|MSGID445|P|2.5
MSA|CA|MSGID99501
```

MSA-2 - Message Control ID は、開始側からの MFN^M13 でなく、ちょうど受信した MFK^M13 メッセージ(MSGID99501)の MSH-10 - Message Control ID からの値を含んでいることに注意。

日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード材料コード表の更新例（応答不要例、ファイル交換向き）、この例では既存の材料コード表を更新する（「蓄尿」を「24 時間蓄尿」と変更）。

```
MSH|^~\&|JSCPREG|JSCP|LAB|OAL|20000313143000||MFN^M13^MFN_M01|MSG01|P|2.5|||NE|NE
MFI|SP^材料コード^JC10||UPD|||NE
MFE|MUP||200003150000|004^24 時間蓄尿&24h pooled urine^JC10|CWE
```

10.6 検査項目マスタファイル

10.6.1 検査項目マスタファイル全般

臨床や診断サービスの実施やクライアントへの送付のための臨床検査項目に関する情報フォーマットを定める。このフォーマットはすべての検査項目あるいは一部の限られた検査項目の手法や技術や解釈の変更などを送ることができる。

OM1 検査項目共通事項 contains the attributes that apply to all observations

OM2 数値結果検査項目用 applies to numerically-valued observations

OM3 判定値結果検査項目用 applies to text or code-valued observations

OM4 検体を必要とする検査項目用 applies to observations or batteries that require specimens

OM5 セット検査用 contains the attributes of batteries, or sets of observations or other batteries

OM6 計算値結果検査項目用 contains the quantities (observations in a most general sense) that are calculated from one or more other observations

OM7 付加的基本的属性に関する事項 contains additional basic attributes that apply to the definition of most observations/services

すなわち、数値結果の検体検査項目の全定義は OM1, OM2, OM4 を必要とする。

OMx セグメントの各インスタンスはひとつの検査項目やバッテリーの情報を含んでいる。これらの OMx セグメントは包括的にいかなる種類の検査属性をも適用できるようデザインされている。全てのセグメントやフィールドを使用する必要はなく、検査実施者やクライアントの要件により使用するフィールドの組み合わせを選択する。

これらセグメントの TX データ型フィールドの多くは診断サービスのユーザーマニュアルなどに反映すべきデータの解釈などの情報であり、コンピュータ処理のためのものではない。

処置の多くは検査結果と見なし、これらのセグメントで検査結果として表現することに留意すること。いくつかの例をあげる。血液ガスの場合、オーダ側は酸素治療の吸入量を OBX セグメントでオーダとともに通知する。血中薬物濃度を求める場合、薬剤の最終投与の量と時刻を OBX セグメントで通知する。薬剤システムは通常外来患者の調剤ごとに平均一日投与量を診療記録システムへ送る。これらのケースでは、処置量は受信側システムにとっては検査結果であり OBX セグメントで送信される。受信時それらは他の検査結果同様に扱われる。それから診療記録システムは検査結果のフローチャートや関連の処置を加味した検査結果を生成する。

10.6.2 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査／観察 (事象 M03)

マスタファイル通知 MFN メッセージとマスタファイル照会 MFR メッセージにおける OM_x セグメントは、10.4.1「MFN/MFK - マスタファイル通知」と10.4.4「MFQ/MFR - マスタファイル照会」の記述の MFI および MFE セグメントに続く [...] 部分に相当する。以下のメッセージ構成図の [other segment(s) 他のセグメント] は OM1 セグメントに関連する OM_x セグメントである。

注: MFN^M03 は旧版互換性のためのみに残す。新規導入に適用する場合(MFN^M08, MFN^M09, MFN^M10, MFN^M11, および MFN^M12)のような特定のマスタファイルメッセージを使用することを推奨する。

表 10.6.2-1 MFN^M03 マスタファイル通知-検査/観察メッセージ

<u>MFN^M03^MFN M03</u>	<u>マスタファイル通知 - 検査/観察</u>	<u>Usage</u>
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N
MFI	Master File Identification	R
{	--- MF_TEST begin	R
MFE	Master File Entry	R
OM1	General Segment (Fields That Apply to Most Observations)	R
[...]	[other segment(s)]	O
}	--- MF_TEST end	

表 10.6.2-2 MFK^M03 マスタファイルアプリケーション応答メッセージ

<u>MFK^M03^MFK M01</u>	<u>マスタファイルアプリケーション応答</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C	8

10.6.3 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査／観察（数値）（事象 M08）

MFI-1 – マスタファイル識別コード = OMA、数値型検査項目用

検査結果値が数値および／またはカテゴリ値両者である場合、OM2（数値）および OM3（カテゴリ値）セグメントの両方をこのメッセージで扱う場合もある。

表 10.6.3-1 MFN^M08 マスタファイル通知-検査/観察(数値)メッセージ

<u>MFN^M08^MFN M08</u>	<u>マスタファイル通知 - 検査/観察 (数値)</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[[SFT]]	Software	N	2
MFI	Master File Identification	R	8
{	--- MF_TEST_NUMERIC begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
OM1	General Segment (Fields That Apply to Most Observations)	R	8
[OM2]	Numeric Observation Segment	C	8
[OM3]	Categorical Service/Test/Observation Segment	O	8
[[OM4]]	Observations that Require Specimens	O	8
}	--- MF_TEST_NUMERIC end		

表 10.6.3-2 MFK^M08 マスタファイルアプリケーション応答メッセージ

<u>MFK^M08^MFK M01</u>	<u>マスタファイルアプリケーション応答</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[[SFT]]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[[ERR]]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[[MFA]]	Master File ACK segment	C	8

10.6.4 MFN/MFK マスタファイル通知—検査／観察（カテゴリ値）（事象 M09）

MFI-1 – マスタファイル識別コード = OMB、カテゴリ値型検査項目用

表 10.6.4-1 MFN^M09 マスタファイル通知-検査/観察(カテゴリ値)メッセージ

<u>MFN^M09^MFN M09</u>	<u>マスタファイル通知 - 検査/観察 (カテゴリ値)</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MFI	Master File Identification	R	8
{	--- MF_TEST_CATEGORICAL begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
OM1	General Segment (Fields That Apply to Most Observations)	R	8
[--- MF_TEST_CAT_DETAIL begin	C	
OM3	Categorical Service/Test/Observation Segment	C	8
[{ OM4 }]	Observations that Require Specimens	O	8
]	--- MF_TEST_CAT_DETAIL end		
}	--- MF_TEST_CATEGORICAL end		

表 10.6.4-2 MFK^M09 マスタファイルアプリケーション応答メッセージ

<u>MFK^M09^MFK M01</u>	<u>マスタファイルアプリケーション応答</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C	8

10.6.5 MFN/MFK マスタファイル通知—検査／観察バッテリー (事象 M10)

MFI-1 – マスタファイル識別コード = OMC、セット検査項目用

表 10.6.5-1 MFN^M10 マスタファイル通知-検査/観察バッテリーメッセージ

<u>MFN^M10^MFN M10</u>	<u>マスタファイル通知 - 検査/観察バッテリー</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[[SFT]]	Software	N	2
MFI	Master File Identification	R	8
{	--- MF_TEST_BATTERIES begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
OM1	General Segment (Fields That Apply to Most Observations)	R	8
[--- MF_TEST_BATT_DETAIL begin	C	
OM5	Observation Batteries	C	8
[[OM4]]	Observations that Require Specimens	O	8
]	--- MF_TEST_BATT_DETAIL end		
}	--- MF_TEST_BATTERIES end		

表 10.6.5-2 MFK^M10 マスタファイルアプリケーション応答メッセージ

<u>MFK^M10^MFK M01</u>	<u>マスタファイルアプリケーション応答</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[[SFT]]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[[ERR]]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[[MFA]]	Master File ACK segment	C	8

10.6.6 MFN/MFK マスタファイル通知—計算型検査／観察 (事象 M11)

MFI-1 - マスタファイル識別コード = OMD、計算値型検査項目用

表 10.6.6-1 MFN^M11 マスタファイル通知-計算型検査/観察メッセージ

<u>MFN^M11^MFN M11</u>	<u>マスタファイル通知 - 計算型検査/観察</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MFI	Master File Identification	R	8
{	--- MF_TEST_CALCULATED begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
OM1	General Segment (Fields That Apply to Most Observations)	R	8
[--- MF_TEST_CALC_DETAIL begin	C	
OM6	Observations Calculated from Other Observations	C	8
OM2	Numeric Observation Segment	C	8
]	--- MF_TEST_CALC_DETAIL end		
}	--- MF_TEST_CALCULATED end		

表 10.6.6-2 MFK^M11 マスタファイルアプリケーション応答メッセージ

<u>MFK^M11^MFK M01</u>	<u>マスタファイルアプリケーション応答</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C	8

10.6.7 MFN/MFK マスタファイル通知—付加的的基本的観察／サービス属性 (事象 M12)

MFI-1 – マスタファイル識別コード = OME、付加的的基本検査／サービス属性用

表 10.6.7-1 MFN^M11 マスタファイル通知-付加的的基本的/観察/サービス属性メッセージ

<u>MFN^M12^MFN M12</u>	<u>マスタファイル通知 - 付加的的基本的/観察/サービス属性</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MFI	Master File Identification	R	8
{	--- MF_OBS_ATTRIBUTES begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
OM1	General Segment (Fields That Apply to Most Observations)	R	8
[OM7]	Other Basic Observation/Service Attributes	C	8
}	--- MF_OBS_ATTRIBUTES end		

表 10.6.7-2 MFK^M12 マスタファイルアプリケーション応答メッセージ

<u>MFK^M12^MFK M01</u>	<u>マスタファイルアプリケーション応答</u>	<u>Usage</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C	8

10.6.8 OM1 general segment 検査項目一般セグメント

OM1 セグメントはほとんどの検査項目定義に関する属性からなる。またこのセグメントはこの検査項目定義のための追加セグメントがあるかを明示するフィールド属性も含んでいる。

HL7属性表 - OM1 - General Segment 一般セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	R		00586	Sequence Number 連番
2	250	CWE	R		00587	Producer's Test/Observation ID 実施者検査項目ID
3	12	ID	O	Y	00588	Permitted Data Types 許容データ型
4	1	ID	R		00589	Specimen Required 検体要否
5	250	CWE	R		00590	Producer ID 実施者ID
6	200	TX	O		00591	Observation Description 検査詳細
7	250	CWE	O		00592	Other Test/Observation IDs for the Observation 他の検査項目ID
8	200	ST	R	Y	00593	Other Names 別名
9	30	ST	O		00594	Preferred Report Name for the Observation 報告名称
10	8	ST	O		00595	Preferred Short Name or Mnemonic for Observation 略称
11	200	ST	O		00596	Preferred Long Name for the Observation 正式名称
12	1	ID	O		00597	Orderability オーダ可否
13	250	CWE	O	Y	00598	Identity of Instrument Used to Perform this Study 検査機器ID
14	250	CWE	O	Y	00599	Coded Representation of Method 検査法コード
15	1	ID	O		00600	Portable 可搬性
16	250	CWE	O	Y	00601	Observation Producing Department/Section 検査部門
17	250	XTN	O		00602	Telephone Number of Section 部門の電話番号
18	1	IS	R		00603	Nature of Test/Observation 検査特性
19	250	CWE	O		00604	Report Subheader 報告サブヘッダ
20	20	ST	O		00605	Report Display Order 報告表示順
21	26	TS	O		00606	Date/time stamp for any change in Def. for Obs. 検査項目変更日時
22	26	TS	O		00607	Effective Date/Time of Change 変更適用日時
23	20	NM	O		00608	Typical Turn-Around Time 典型的所要時間
24	20	NM	O		00609	Processing Time 処理時間
25	40	ID	O	Y	00610	Processing Priority 処理優先度
26	5	ID	O		00611	Reporting Priority 報告優先度
27	250	CWE	O	Y	00612	Outside Site(s) Where Observation may be Performed 外部検査施設
28	250	XAD	O		00613	Address of Outside Site(s) 外部施設住所
29	250	XTN	O		00614	Phone Number of Outside Site 外部施設電話番号
30	250	CWE	O		00615	Confidentiality Code 秘匿コード
31	250	CWE	O		00616	Observations Required to Interpret the Obs 必要な所見
32	65536	TX	O		00617	Interpretation of Observations 判断情報
33	250	CWE	O	Y	00618	Contraindications to Observations 禁忌
34	250	CWE	O	Y	00619	Reflex Tests/Observations 追加する検査
35	80	TX	O		00620	Rules that Trigger Reflex Testing 追加検査起動規則
36	250	CWE	O		00621	Fixed Canned Message 定型文
37	200	TX	O		00622	Patient Preparation 患者の準備
38	250	CWE	O		00623	Procedure Medication 薬剤処置
39	200	TX	O		00624	Factors that may Effect the Observation 検査に影響する要因
40	60	ST	O	Y	00625	Test/Observation Performance Schedule検査実施スケジュール
41	65536	TX	O		00626	Description of Test Methods 検査方法解説
42	250	CWE	O		00937	Kind of Quantity Observed 検査値の種類
43	250	CWE	O		00938	Point Versus Interval 測定間隔
44	200	TX	O		00939	Challenge Information 負荷試験情報
45	250	CWE	O		00940	Relationship Modifier 関係修飾子
46	250	CWE	O		00941	Target Anatomic Site Of Test 検査対象解剖学的部位
47	250	CWE	O		00942	Modality Of Imaging Measurement 画像検査モダリティ

OM1 フィールド定義

OM1-1 Sequence number 連番-検査項目マスタファイル (NM) 00586

定義：メッセージの最初のOM1セグメントは1と表記、2番目は2というように表記する。

OM1-2 Producer's test/observation ID 実施者検査項目 ID (CWE) 00587

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検査実施者側の検査項目コード。3つの要素 <ID code> ^ <service text name / description> ^ <source list of code> は必須である。日本臨床病理学会臨床検査項目分類コード体系に則りコーディングされた検査項目コードを使用(結果識別も含む)。

OM1-3 Permitted data types 許容データ型 (ID) 00588

定義：この検査の結果データ型。これらのコード型はOBX（検査の状況により異なるデータ型を取る場合がある）のためにリストアップされたのと同じである。実際、限られた環境において検査は1つ以上の異なるデータ型の分画よりなることもある。複数のデータ型を持つ場合、例えば、コード値(CWE)や数値(NM)など許容されるデータ型を反復区切り文字で繰り返す。取りうる値はHL7表0125－結果値タイプを参照。

OM1-4 Specimen required 検体要否 (ID) 00589

定義：検査のために検体が必要か否かのフラグ。通常検体が必要な場合は検体毎にOM4 セグメントを伴う。

Y 1つ以上の検体が必要 one or more specimens are required to obtain this observation
N 検体は不要 a specimen is not required

OM1-5 Producer ID 実施者 ID (CWE) 00590

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このセグメントを記述する検査の実施者を一意に識別する実施者ID。CWE型で323-5678^Acme Special Lab^MCのようにコーディングする。米国では通常メディケア提供者番号(MC)やHIBCC場所コードが使用される。それぞれの国で適切なコード体系を設定することを望むかも知れない。処置の量や呼吸装置など機器のセッティングなども検査と見なすことに留意。このような場合、薬局や呼吸器看護部門を検査の実施者のように扱う。

OM1-6 Observation description 検査詳細 (TX) 00591

定義：検査の説明。

OM1-7 Other test/observation IDs for the observation 他の検査項目 ID (CWE) 00592

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：この検査の代替識別コード、複数ある場合はCWEデータ型を反復区切り文字で繰り返す。用語マッピングができるほどのコード(e.g., ICD9, ACR-NEMA, SNOMED, and READ)をあげることを推奨する。また、処置の量なども検査として扱うので処置の識別コード(e.g., NDC, ICCS)も対象である。各々のCWE型の要素の3つ (ID, テキスト, コード体系) は省略不可。

OM1-8 Other names (recognized by the producer for the observation) 別名 (ST) 00593

定義：この検査のコード体系と関係なく用いられる別名や同義語。

OM1-9 Preferred report name for the observation 報告名称 (ST) 00594

定義：検査報告書に使用する適切な名称を空白を含む30文字以内で表現。桁数の固定された報告書で用いる。

OM1-10 Preferred short name or mnemonic for the observation 略称 (ST) 00595

定義：検体ラベルなどのようにスペースが限られた報告書に人が読める利便性のために検査を特定する名称を8文字以内で表現。

OM1-11 Preferred long name for the observation 正式名称 (ST) 00596

定義：検査の正式な名称、可能な限り科学的であり、省略されない単語で200文字以内で表現。

OM1-12 Orderability オーダ可否 (ID) 00597

定義：オーダ可能な検査であるか否かのフラグ。例えば、血球分類算定でMCV(平均赤血球容積)は血算に含まれてオーダされ通常単独ではオーダされない。

Y オーダ可 the test/observation is an orderable code

N オーダ不適 the test/observation is not orderable

OM1-13 Identity of Instrument used to perform this study 検査機器 ID (CWE) 00598

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検査に使用する装置や機器の識別に使用。例えば、自動分析器、放射線画像装置とモデル番号、病棟の自動血圧装置など。

OM1-14 Coded representation of method 検査法コード (CWE) 00599

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検査方法をコンピュータで判別できる形(コード)で表現。以降のフィールドでの叙述記録と同じ方法とすべきである。臨床的に1つの方法では判別できない場合に限り複数の方法を反復区切文字により列記できる。

OM1-15 Portable 可搬性 (ID) 00600

定義：検査に用いる機器が携帯可能か否かのフラグ。

Y 携帯機器により患者の所在場所で検査可能

N 患者あるいは検体を機器のあるところに搬送

OM1-16 Observation producing department/section 検査部門 (CWE) 00601

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検査実施部門を識別するために使用。識別子を使用しない場合フリーテキストで第2要素に記録する。複数の部門がある場合反復区切文字によって分割する。

OM1-17 Telephone number of section 部門の電話番号 (XTN) 00602

成分:<DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：結果の問い合わせや示唆を求める場合の対応可能な部門の電話番号。

OM1-18 Nature of test/observation 検査特性 (IS) 00603

定義：検査の性格の定義。バッテリーなのか、総合的な処置や機能試験なのか、単一検査なのか、依頼可能なバッテリーや機能試験が複数の検査からなるのか、他の独立した検査から計算される単一検査なのか、など。取りうる値は表 0174- 検査特性を参照。

使用者定義表 0174 - Nature of test/observation検査特性

Value	Description
P	プロフィールやバッテリーは通常一装置で一検体で実施されるいくつかの独立した単一検査項目より成り立つ。(例えば、電解質)
F	いくつかの関連付けられた測定(例えば、糖負荷試験、クレアチンクリアランス)からなる機能試験、通常異なる時間や検体で実施される。
A	単一検査項目 Atomic service/test/observation (test code or treatment code)
S	スーパーセット - 構成要素が単一検査項目のみならず別々のバッテリーの場合。(例えば、ルーチン = 血球算定、尿酸、電解質) このセットは多数の検査やバッテリーを依頼するために記述されているコードが使われることを示す。例えば、外来患者プ

	ロフィールとしてルーチンで血球算定、血液像、サイロキシンをこれら3つのバッテリーをそれぞれの依頼コードの替りに1つの特定のコードで依頼する。
C	一定の規則や形式で他の独立した検査から計算して得られる検査項目。(e.g., A/G比)

コード P、F および S はセット(バッテリー)を示し、その要素は随伴する OM5 セグメントで定義される。その構成要素の定義はそれぞれに他の独立した OMx セグメントで送られなければならない。ASTM では、例えば、退院サマリなどの、多くのテキスト報告はセットと見なされ、報告書の各部分は、個別の検査と考えられる。

コード A は単一の直接の検査を示し、通常 OM2 や OM3 セグメントを伴う。

コード C は演算された量であることを示し、通常 OM6 セグメントを伴う。

これらすべてのコードは1つ以上の OM4(検体)セグメントを伴うことができる。

OM1-19 Report subheader 報告サブヘッダ (CWE) 00604

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：標準的に検査が列記される場合の適切な見出しとなるオプションの文字列で、代表名や総称などがある。例えば、検査が赤血球数の場合、この文字列は「全血球算定」である。それはCWEデータ型で表記され、バッテリー名称が見出しとなる。このサブヘッダに関連するコードがない場合、文字列の表記のみの場合がある。一連の検査が次のソート順によって表示される場合、これらの検査グループのサブヘッダは、サブヘッダが変わるごとに表示する。

OM1-20 Report display order 報告表示順 (ST) 00605

定義：標準的に検査が列記される場合のソート順序を定義するオプションの文字列。

OM1-21 Date/time stamp for any change in definition for the observation 検査項目変更日時 (TS) 00606

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：OM1 セグメントに対応するホストのレコードで最新の変更があった日時。

OM1-22 Effective date/time of change in test procedure that make results non-comparable 変更適用日時 (TS) 00607

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：以前の結果と新しい結果との互換性がなくなる検査方法の最新の変更日時。例えば、数値検査項目の基準値や単位が変更になった最新の日時

我々は、測定方法が変更され、新法での結果が旧法での結果と臨床的に異なる場合、検査実施者は同じ検査IDを使用しないよう強く推奨する。むしろ実施者は旧法との結果が臨床的に変わらないように新法の調整に努力すべきである。それができない場合、新法での検査のため新しい検査項目IDを作るべきである。

まれに、手順が変更されたが上記の2つのオプションいずれも不可能な場合、新法の有効となる日時を送信するのに使用する。受信システムは、この検査IDで送られるいかなる値もこの日時以降新法によるものとし、新旧の検査を識別する適切な手段を取ること。

この日時は、検査結果について疑問を持つ場合、検査実施サービスに問い合わせる手段を提供する目的もある。

OM1-23 Typical turn-around time from receipt of specimen/subject to result produced 典型的所要時間 (NM) 00608

定義：1つの検査実施の典型的な所要時間。診断サービスへの検体集配や患者搬送と待ち時間を含む試験の完了までの時間を分で表す。

OM1-24 Processing time 処理時間 (NM) 00609

定義：検査手順の開始から完了までの通常の時間を分で表す。

OM1-25 Processing priority (ID) 処理優先度 00610

定義：検査を実行するための利用可能な1つ以上の優先度。これはTQ1-9 - Priority (旧版OBR-28 - 数量/タイミング)で使用される。多重優先度が与えられることがあり、反復区切文字で分離される。例えば、S~A~R~P~Tは、検査が優先度S、A、R、PまたはTを使用して依頼されることを示

す。検体を得るための優先権は OM4-13-Specimen Priorities に含まれる。取りうる値は、HL7 表 0168—処理優先度を参照。

HL7表 0168 - Processing priority 処理優先度

Value	Description
S	Stat (do immediately) すぐ実施
A	As soon as possible (a priority lower than stat) できるだけ早く (Stat より低い優先度)
R	Routine 定期
P	Preoperative (to be done prior to surgery) 術前 (手術に先立って実施)
T	Timing critical (do as near as possible to requested time) 時間指定
C	Measure continuously (e.g., arterial line blood pressure) 連続測定 (例えば動脈血圧)
B	Do at bedside or portable (may be used with other codes) ベッドサイド又は可搬機器で実施 (おそらく他のコードと用いる)

OM1-26 Reporting priority 報告優先度 (ID) 00611

定義：ユーザが処理優先度と別に報告優先度を指定するよう依頼される場合、検査結果の利用可能な報告優先度。取りうる値は HL7 表 0169—報告優先度を参照。

HL7表 0169 - Reporting priority 報告優先度

Value	Description
C	Call back results 電話連絡
R	Rush reporting 至急報告

OM1-27 Outside site(s) where observation may be performed 外部検査施設 (CWE) 00612

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検査を実施する外部委託先の識別。この CWE 型フィールドは、実施者 ID(OM1-5-実施者 ID で定義)と成分区切文字で分離されたサービスの名称である。例えば、...|39221^ACME lab^MC|...である。複数のサービスが使用される場合反復区切文字により繰り返す。

OM1-28 Address of outside site(s) 外部施設住所 (XAD) 00613

成分:<Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 Street Address (SAD):<Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 DEPRECATED-Address Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：OM1-27 外部施設の住所。複数のサービスが使用される場合出現順に対応して反復区切文字により繰り返す。

OM1-29 Phone number of outside site 外部施設電話番号 (XTN) 00614

成分:<DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：外部施設の電話番号。

OM1-30 Confidentiality code 秘匿コード (CWE) 00615

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：この検査に適用される特別な機密保持の度合い。例えば、HIV 検査では血球算定よりもきつい管理がなされるかもしれない。取りうる値は表 0177 秘匿コードを参照。

使用者定義表 0177 - Confidentiality code 秘匿コード

Value	Description
V	Very restricted 非常に限定
R	Restricted 限定
U	Usual control 通常管理
EMP	Employee 従業員
UWM	Unwed mother 未婚の母
VIP	Very important person or celebrity 重要人物や名士
PSY	Psychiatric patient 精神医学患者
AID	AIDS patient AIDS 患者
HIV	HIV(+) patient HIV(+)患者
ETH	Alcohol/drug treatment patient アルコール/薬物中毒治療患者

OM1-31 Observations required to interpret this observation 必要な所見 (CWE) 00616

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：診断サービスが依頼された検査の結果を判断するために必要な所見のリスト。ここに指定された所見は、オーダ(OBR)セグメントとともに OBX セグメントで診断サービスに送られるべきである。

子宮頸部パピニコロスマリア試験（細胞診の一種）の例：

...|2000.32^date last menstrual period^AS4 ~ 2000.33^menstrual state^AS4|...

動脈血液ガスの例：

...|94700^inspired 02^AS4|...

OM1-32 Interpretation of observations 判断情報 (TX) 00617

定義：検査結果の判断するための臨床情報。例えば、虚偽の異常値を起こす条件(薬)や診断のための検査の感度と特異性についての情報である。

OM1-33 Contraindications to observations 禁忌 (CWE) 00618

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検査が禁忌かまたは危険である診断やプロブレム。(例えば、ペースメーカー、妊娠、糖尿病)。例えば、もしOM1 の検査項目が経静脈性腎盂造影法ならば、このフィールドには糖尿病における造影剤の使用についての注意が含まれるであろう。禁忌は反復区切文字によって繰り返す。

OM1-34 Reflex tests/observations 追加する検査 (CWE) 00619

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：依頼されたバッテリーの結果から診断サービスが自動的にオーダを発生させるであろう検査名を CWE 型(つまり<コード> ^ <テキスト名> ^ <コード体系名>)で記述。もしヘモグロビンが 12 未満であるなら、血球算定は網状赤血球算定をオーダするかもしれない。複数の反映される検査は反復区切文字によって繰り返す。

OM1-35 Rules that trigger reflex testing 追加検査起動規則 (TX) 00620

定義：上記の反映検査を起動する規則。複数の反映検査が反復区切文字で分離された OM1-34-反映検査中で列記される場合、対応する規則セットがこの節に含まれる。第1の規則は第1の検査に、第2の規則は第2の検査に適用され、以下同様である。

OM1-36 Fixed canned message 定型文 (CWE) 00621

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：略語に常に関係している符号、および固定テキストメッセージ。反復区切文字で分離された複数のメッセージを含む場合がある。

OM1-37 Patient preparation 患者の準備 (TX) 00622

定義：検査に要求される特別の準備、食事、薬物投与などの記載。胃腸の造影剤検査の場合、検査前食、例えば、胃の残留物が少ないような2日分の食事、検査前の絶食および適切な下剤となる。個々の薬物投与、食事また準備は反復区切文字によって区切られる。

例：S 字結腸切除：

... | 術前日は終日流動食とする~8oz のクエン酸マグネシウムを術前日午後6時に投与~2 ducat 錠(5m)を術前日午後4時に投与~真夜中を過ぎより絶食 |

OM1-38 Procedure medication 薬剤処置 (CWE) 00623

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検査手順の一環としての処置などを記載。

OM1-39 Factors that may effect the observation 検査に影響する要因 (TX) 00624

定義：検査に影響を及ぼす可能性のある食物、疾病、薬剤、他の状態などを記述。及ぼす影響の情報、検査に先立つ食事や状態や薬剤に関する勧告。

OM1-40 Test/observation performance schedule 検査実施スケジュール (ST) 00625

定義：労働日や週で実施される診断検査のスケジュールを記載。ここでは実施される検査の最大間隔を示す。(検査はより頻繁に実施されることがある)。数量・タイミングの節による繰返しパターンの書式を用いる。必要ならば反復区切文字で分離された複数のコードを記載。複数のコードが使用される場合、検査が複数の発生する間隔で実施されることを示す。例えば、Q6Hは検査が少なくとも6時間ごとに実施されることを示す。QJ1は検査が少なくとも毎週月曜日に実施されることを示す。QAM-QPMは検査が少なくとも毎朝と毎夕実施されることを示す。QJ1-QJ3-QJ5は検査が少なくとも毎週月曜日、水曜日および金曜日に実施されることを示す。Cは検査が週7日間いつでも実施されることを示す。

OM1-41 Description of test methods (may include bibliographic citations) 検査方法解説 (TX) 00626

定義：検査を実施や生成するにあたっての方法についての説明。引用文献も含む。

OM1-42 Kind of quantity observed 検査値(量)の種類 (CWE) 00937

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：この検査結果がもつ特性(検査結果のプロパティ)。この属性には、全量濃度、モル濃度、分圧などがある。取りうる値は、HL7表0254-量の種類に列記される。この表でいう特性は、主として次元解析に基づいている。表は、単純な計数に関するもの(数、数濃度など)、量に関するもの(量、重量濃度など)、酵素活性に関するもの(触媒物質、触媒濃度など)、およびモル数または当量数(構成物質、構成物質濃度)、など多くを含んでいる。

この分類によると、グルコースは重量濃度として分類される。ナトリウムは構成物質濃度(当量)として分類される。また、患者の体重のプロパティは含有量ではなく量そのものである。ナトリウムやグルコースに例示されるように、多くの化学的計測は濃度で提示される。しかしながら、24時間の尿タンパク質は重量濃度ではなく重量比率(単位時間当たりの量)である。通常、含有変量(例えば、重量濃度、構成物質濃度)は組織重量当たりの量を反映している。マスタファイル上のこの属性は、マスタファイルを送るサービスが測定原理によって検査を分類している場合に限り、値を持つものである。

HL7表 0254 - Kind of quantity 量の種類

Enzymatic Activity 酵素的活性		Other Properties	
CACT	*Catalytic Activity 触媒活性	ABS	Absorbance 吸光度
CNC	*Catalytic Concentration 触媒濃度	ACT	*Activity 活性
CCRTO	Catalytic Concentration Ratio 触媒濃度比	APER	Appearance 出現
CCNT	*Catalytic Content 触媒成分	ARB	*Arbitrary 任意
CFR	*Catalytic Fraction 触媒分画	AREA	Area 面積
CRAT	*Catalytic Rate 触媒率	ASPECT	Aspect 方向
CRTO	Catalytic Ratio 触媒比	CLAS	Class クラス
Entitic 実体		CNST	*Constant 定数
ENT	*Entitic 実体	COEF	*Coefficient 係数
ENTSUB	*Entitic Substance of Amount 量の实体物質	COLOR	Color 色調
ENTCAT	*Entitic Catalytic Activity 実体触媒活性	CONS	Consistency 硬度
ENTNUM	*Entitic Number 実体数	DEN	Density 密度
ENTVOL	*Entitic Volume 実体体積	DEV	Device 装置
Mass 質量		DIFF	*Difference 差
MASS	*Mass 質量	ELAS	Elasticity 弾性
MCNC	*Mass Concentration 質量濃度	ELPOT	Electrical Potential (Voltage) 電圧 (ボルト)
MCRTO	*Mass Concentration Ratio 質量濃度比	ELRAT	Electrical current (amperage) 電流 (アンペア)
MCNT	Mass Content 質量成分	ELRES	Electrical Resistance 電気抵抗
MFR	*Mass Fraction 質量分画	ENGR	Energy エネルギー
MINC	*Mass Increment 質量増分	EQL	Equilibrium 当量
MRAT	*Mass Rate 質量率	FORCE	Mechanical force 機械的力
MRT0	*Mass Ratio 質量比	FREQ	Frequency 頻度
Counts 計数		IMP	Impression/ interpretation of study 所見
NUM	*Number 数量	KINV	*Kinematic Viscosity 運動粘性率
NCNC	*Number Concentration 数量濃度	LEN	Length 長さ
NCNT	*Number Content 数量成分	LINC	*Length Increment 長さ増分
NFR	*Number Fraction 数量分画	LIQ	*Liquifaction 溶解
NRTO	*Number Ratio 数量比	MGFLUX	Magnetic flux 磁力線
Substance Amount (Moles/Millequivalents)物質量(モル/当量)		MORPH	Morphology 形態学
SUB	*Substance Amount 物質量	MOTIL	Motility 運動性
SCNC	*Substance Concentration 物質濃度	OD	Optical density 吸光度
SCRTO	*Substance Concentration Ratio 物質濃度比	OSMOL	*Osmolality 浸透圧 (重量モル濃度)
SCNT	*Substance Content 物質成分	PRID	Presence/Identity/Existence 存在
SCNTR	*Substance Content Rate 物質成分率	PRES	*Pressure (Partial) 圧力 (部分)
SFR	*Substance Fraction 物質分画	PWR	Power (wattage) 力 (ワット)
SCNCIN	*Substance Concentration Increment 物質濃度増分	RANGE	*Ranges 範囲
SRAT	*Substance Rate 物質率	RATIO	*Ratios 比
SRTO	*Substance Ratio 物質比	RDEN	*Relative Density 相対密度
Volumes 体積		REL	*Relative 相対
VOL	*Volume 体積	SATFR	*Saturation Fraction 飽和分画
VCNT	*Volume Content 体積成分	SHAPE	Shape 形状
VFR	*Volume Fraction 体積分画	SPELL	Smell 臭い
VRAT	*Volume Rate 体積率	SUSC	*Susceptibility 感受性
VRTO	*Volume Ratio 体積比	TASTE	Taste 味
Miscellaneous Unit Measures		TEMP	*Temperature 温度
ACNC	Concentration, Arbitrary Substance 濃度,任意物質	TEMPDF	*Temperature Difference 温度差
RLMCNC	*Relative Mass Concentration 相対質量濃度	TEMPIN	*Temperature Increment 温度増分
RLSCNC	*Relative Substance Concentration 相対物質濃度	TITR	*Dilution Factor (Titer) 希釈係数 (希釈率)
THRMCNC	*Threshold Mass Concentration 閾値質量濃度	TYPE	*Type 型
THRSCNC	*Threshold Substance Concentration 閾値物質濃度	VEL	*Velocity 速度
Time 時間		VELRT	*Velocity Ratio 速度比

TIME	*Time (e.g. seconds) 時間 (例えば 秒)	VISC	*Viscosity 粘稠度
T MDF	*Time Difference 時間差		
TMSTP	*Time Stamp-Date and Time タイムスタンプ-日時		
TRTO	*Time Ratio 時間比		
RCRLTM	*Reciprocal Relative Time 相互相対時間		
RLTM	*Relative Time 相対時間		

*印の項目がIUPACシルバークからの引用、無印の項目は拡張子である。

OM1-43 Point versus interval 測定間隔 (CWE) 00938

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：患者状態の測定の検査を、ある時点(例えば、随時(スポット)尿、無作為の尿、血清カリウム)とするか、ある時間の平均(例えば、24時間で収集した濃度、全量、クリアランス)とするか分類できる。時間による測定はしばしば尿や便の検体に適用される(例えば、24時間尿、3日間の便脂肪)。これらはまた、シフト合計や24時間合計として報告される尿排泄量のような臨床測定、および24時間ホルターモニタ上のPVC数のような生理学的モニタ上の事象カウント、にも適用される。

このフィールドがトランザクション中で値を持つのは、このマスタファイルメッセージを送信するサービスが時間間隔対ポイントによってその検査を分類している場合に限る。このフィールドは特定のサンプルのための時間収集間隔の記録には使用しない。それは、正常範囲が定義された検査の特徴を特定するためや、同じ種類の検査であるがいくつかの時点で行った検査を識別するために使用される。ある時点の尿中ナトリウムの場合このフィールドにPTを入れる。24時間の尿中ナトリウムや24時間のホルターモニタの場合ここに24Hを入れる。この属性が値を持つのは実施側がタイミングによって検査を分類している場合に限る。取りうる値は表0255-期間属性カテゴリを参照。

使用者定義表 0255 - Duration categories 期間属性カテゴリ

PT	To identify measures at a point in time. This is a synonym for "spot" or "random" as applied to urine measurements. 時点での測定を識別。これは尿測定に適用される「スポット」あるいは「ランダム」と同義である。		
*(star)	Life of the "unit." Used for blood products. (アスタリスク) 「unit」の寿命。血液製剤に使用。		
30M	30分	7H	7時間
1H	1時間	8H	8時間
2H	2時間	12H	12時間
2.5H	2½時間	24H	24時間
3H	3時間	2D	2日
4H	4時間	3D	3日
5H	5時間	4D	4日
6H	6時間	5D	5日
		6D	6日
		1W	1週
		2W	2週
		3W	3週
		4W	4週
		1L	1月(30日)
		2L	2月
		3L	3月

OM1-44 Challenge information 負荷試験情報 (TX) 00939

定義：負荷により検査が特定される場合負荷による分類のための情報。例えば、データベースに負荷成分を持っている検査を区別することである。これらは生理学的あるいは薬剤の測定に本質的な負荷に共通に扱われる。例えば、糖負荷試験を識別すること。

このテキスト文字列の構成は次のテンプレートを使用すること(注：このフィールドはフリーテキストフィールドで形式的に定義された成分から構成されるものではない。成分区切文字は使用されず、またいくつかの「成分」が使用されない場合でも空の区切文字を置く必要はない)。

遅延時間は次の文法：n<S|M|H|D|W>nは数(おそらく10進)；Sは秒、Mは分、Hは時、Dは日、Wは週。遅延時間は大小符号>をその前に付加できる。例えば、>4H。

取りうる値はHL7表0256-負荷後遅延時間に列記する。

例

```
PRE 100 GM GLUCOSE PO
PRE 100 GM GLUCOSE PO
30M POST 100 GM GLUCOSE PO
2H POST 100 GM GLUCOSE PO
TROUGH
```

薬物濃度の場合負荷物質と分析物が同じであるのでここに含まれなくてよい。
我々は、薬物投与経路のための略号によって負荷の経路も表現する(HL7 第4章 4.8.3.1 節投与経路、HL7 表 0162—投与経路を参照)。経口投与は「PO」で、経静脈投与は「IV」で表現される。
薬物投与の詳細、投与時間、投与経路などは、個別のOBXで扱われ、そして検査項目マスタに格納された対応する検査定義は薬物濃度に関するマスタファイルセグメントに格納された異なるレコードにマッピングされる。

HL7表 0256 - Time delay post challenge 負荷後遅延時間

BS	Baseline (time just before the challenge) 基準線 (負荷直前時)
PEAK	The time post drug dose at which the highest drug level is reached (differs by drug) 薬物投与後の最高薬物濃度に達した時間 (薬物により異なる)
TROUGH	The time post drug dose at which the lowest drug level is reached (varies with drug) 薬物投与後の最低薬物濃度に達した時間 (薬物によりまちまち)
RANDOM	Time from the challenge, or dose not specified. (random) 負荷後、または指定なし (ランダム)
n minutes/hours/days/weeks/months/etc. after challenge begun: 負荷開始後 n 分/時間/日/週/月/等	
1M	負荷後 1 分
2M	負荷後 2 分
3M	負荷後 3 分
4M	負荷後 4 分
5M	負荷後 5 分
6M	負荷後 6 分
7M	負荷後 7 分
8M	負荷後 8 分
9M	負荷後 9 分
10M	負荷後 1 0 分
15M	負荷後 1 5 分
20M	負荷後 2 0 分
25M	負荷後 2 5 分
30M	負荷後 3 0 分
1H	負荷後 1 時間
2H	負荷後 2 時間
2.5H	負荷後 2 1/2 時間
3H	負荷後 3 時間
4H	負荷後 4 時間
5H	負荷後 5 時間
6H	負荷後 6 時間
7H	負荷後 7 時間
8H	負荷後 8 時間
8H SHIFT	8 時間 看護シフトに設定
12H	負荷後 1 2 時間
24H	負荷後 2 4 時間
2D	2 日間
3D	3 日間
4D	4 日間
5D	5 日間
6D	6 日間
7D	7 日間
1W	1 週間
10D	1 0 日間
2W	2 週間
3W	3 週間
4W	4 週間
1L	負荷後 1 ヶ月 (30 日間)
2L	負荷後 2 ヶ月 (60 日間)
3L	負荷後 3 ヶ月 (90 日間)

生理学的(非薬物)負荷の性質は、HL7表0257—負荷の性質の用語を使用されることがある。

HL7表 0257 - Nature of challenge 負荷の性質

Value	Description
CFST	Fasting (no calorie intake) for the period specified in the time component of the term 用語の時間成分で特定の時期のための 絶食 (カロリー非摂取), 例, 1H POST CFST
EXCZ	Exercise undertaken as challenge (can be quantified) 負荷として行われる 運動 (定量可能)
FFST	No fluid intake for the period specified in the time component of the term 用語の時間成分で特定の時期のための 水分非摂取

OM1-45 Relation modifier 関係修飾子 (CWE) 00940

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：結果が「患者」データとして保存される患者との関連に関する情報。例えば、慣行として、対照群、ドナー、血液製剤も患者と同様にその値を報告され患者記録に格納される(これはこのような情報をモデル化する最善の方法ではないかもしれないが、このような方法で通常報告されている)。2つの結果が(例えば、1つは患者そして1つは血液製剤)、さもないと混同することがある場合、このフィールドの値を持つ。デフォルト値は“Patient”、特定されない場合も同様。人に関する副成分はHL7 表 0258-関係修飾子を参照。

HL7表 0258 - Relationship modifier 関係修飾子

Value	Description
-------	-------------

CONTROL	Control コントロール
PATIENT	Patient 患者
DONOR	Donor ドナー
BPU	Blood product unit 血液製剤単位

OM1-46 Target anatomic site of test 検査対象解剖学的部位 (CWE) 00941

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検査の部位を形式的に示す(システムがある身体部位に関するすべての検査を容易に見出すため)。それは試験の対象部位によって検査を分類するために使用できる。例えば、「心臓」は、心電図、心エコーおよびタリウム運動試験の対象として記録されるであろう。この属性は多くの画像検査および電気生理学試験に適用可能である。SNOMED T 軸は解剖部位のコード化方式の例である。ユーザテーブルも適用されることがある。

OM1-47 Modality of imaging measurement 画像検査モダリティ (CWE) 00942

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検査を分類するモダリティ、例えば、放射線写真、超音波、CT スキャン、NMR など。この属性は画像検査にとって特に重要である。取りうる値は、DICOM C.7.3.1.1.1 モダリティから引用の、表 0259—モダリティを参照。これが使用される場合第3成分のコーディング組織として DCM を指定すること。

使用者定義表 0259 – Modality モダリティ

Value	Description	Value	Description
AS	Angioscopy 血管内視鏡	FS	Fundoscopy 眼底検査
BS	Biomagnetic Imaging 生体磁気画像	LP	Laparoscopy 腹腔鏡検査
CD	Color Flow Doppler カラードップラー	LS	Laser Surface Scan
CP	Colposcopy 膾鏡検査	MA	Magnetic Resonance Angiography 磁気共鳴血管造影
CR	Computed Radiography コンピュータ X 線撮影	MS	Magnetic Resonance Spectroscopy 磁気共鳴スペクトル法
CS	Cystoscopy 膀胱鏡検査	NM	Nuclear Medicine (radioisotope study) 核医学 (放射性同位元素試験)
CT	Computed Tomography コンピュータ断層撮影	OT	Other その他
DD	Duplex Doppler	PT	Positron Emission Tomography (PET) 陽電子射出断層撮影(PET)
DG	Diapanography	RF	Radio Fluoroscopy 放射線透視撮影
DM	Digital Microscopy デジタル顕微鏡	ST	Single Photon Emission Computed Tomography (SPECT) 単一光子放射形コンピュータ断層撮影(SPECT)
EC	Echocardiography 心エコー検査法	TG	Thermography サーモグラフィー
ES	Endoscopy 内視鏡	US	Ultrasound 超音波
FA	Fluorescein Angiography 蛍光眼底血管撮影	XA	X-ray Angiography X 線血管造影

10.6.9 OM2 - numeric observation segment 数値結果検査項目セグメント

このセグメントは連続的値を持つ検査についての属性からなる(数値、日付やタイムスタンプなどのデータ型を含む)。このセグメントは OM1-18 nature of test/observation で指定されるタイプ A と C のバッテリーに適用される。

HL7属性表 - OM2 - Numeric Observation 数値結果検査項目

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	O		00586	Sequence Number 連番
2	250	CWE	O		00627	Units of Measure 測定単位
3	10	NM	O	Y	00628	Range of Decimal Precision 有効数字
4	250	CWE	O		00629	Corresponding SI Units of Measure SI単位
5	60	TX	O		00630	SI Conversion Factor SI変換係数
6	250	RFR	O	Y	00631	Reference (Normal) Range - Ordinal & Continuous Obs 基準(正常)範囲
7	250	RFR	O	Y	00632	Critical Range for Ordinal & Continuous Obs クリティカル範囲
8	250	RFR	O		00633	Absolute Range for Ordinal & Continuous Obs 測定限界範囲
9	250	DLT	O	Y	00634	Delta Check Criteria デルタチェック基準
10	20	NM	O		00635	Minimum Meaningful Increments 有意な変動値

OM2 フィールド定義

OM2-1 Sequence number 連番 (NM) 00586

定義：関連する OM1 セグメントの OM1-1 と同値であること。

OM2-2 Units of measure 測定単位 (CWE) 00627

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果を持つ単一検査項目の測定の習慣的な単位。

OM2-3 Range and decimal precision 有効数字 (NM) 00628

定義：OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果を持つ単一検査項目の、結果を表示するために必要な全文字数と小数点以下の桁数を指定。この書式は<全長>.<小数点以下の桁数>である。例えば、6.2 は全長 6 文字(小数点や符号を含む)で小数点以下 2 桁をあらわす。整数のために<decimal-digits>は省略可能(5.0 と 5 は同じ)。複数の指定が必要な場合反復区切文字で繰り返し定義する。

OM2-4 Corresponding SI units of measure SI 単位 (CWE) 00629

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：OM2-2 で指定した習慣的単位と SI 単位が異なる場合、ここに SI 単位を記述。

OM2-5 SI conversion factor SI 変換係数 (TX) 00630

定義：OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された連続的数値結果を持つ単一検査項目の習慣的単位から SI 単位への変換係数。検査の単位が SI 単位でない場合、報告された単位から SI 単位へ変換する方程式を含む形式を提示する。変換係数が単純な掛け算の場合は変換係数のみである。例えば、(結果 SI 単位)= c *(結果報告単位)のとき、この c のみこのフィールドに格納される。他のいかなる関係式の場合も全方程式をテストのために格納すべきである。

OM2-6 Reference (normal) range for ordinal and continuous observations 基準 (正常) 範囲 (RFR)

00631

成分:<Numeric Range (NR)> ^ <Administrative Sex (IS)> ^ <Age Range (NR)> ^
<Gestational Age Range (NR)> ^ <Species (ST)> ^ <Race/subspecies (ST)> ^
<Conditions (TX)>

副成分 Numeric Range (NR):<Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

副成分 Age Range (NR):<Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

副成分 Gestational Age Range (NR):<Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

定義: OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果の基準値(正常値)。年齢、性別、人種、その他の状況による異なった基準値(正常値)も識別可能。

例を以下に示す。

アルブミンのように無条件に適用される基準値は次のように伝達:

...|3.0&5.5|...

ヘモグロビンのように性別に依存する正常値は次の様に伝達:

...|13.5&18^M~12.0&16^F|...

年齢、性別、人種に依存する場合の例:

...|10&13^M^0&2^^^2028-9~11&13.5^M^2&20^^^2028-9~12&14.5^M^20&70^^^2028-9~13&16.0^M^70&^^^2028-9|...

値が特定されない場合はすべてのカテゴリに適用される。例えば、人種が指定されない場合範囲は人種に関係なく人間に適用される。年齢が指定されない場合正常値はすべての年齢に適用される。範囲の下限あるいは上限がない場合、それぞれ無限と考えられる。

異なる2つの方法で2つの異なる基準値で得られた結果は、異なる2つの検査としてOM x セグメントで定義されるべきである。

OM2-7 Critical range for ordinal and continuous observations クリティカル範囲 (RFR) 00632

成分:<Numeric Range (NR)> ^ <Administrative Sex (IS)> ^ <Age Range (NR)> ^
<Gestational Age Range (NR)> ^ <Species (ST)> ^ <Race/subspecies (ST)> ^
<Conditions (TX)>

副成分 Numeric Range (NR):<Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

副成分 Age Range (NR):<Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

副成分 Gestational Age Range (NR):<Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

定義: OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果を持つ単一検査項目のクリティカル値を OM2-6-reference (normal) range-ordinal and continuous obs と同様の書式で定義する。クリティカル値とは警戒値/緊急異常値と解される (いわゆる、パニック値)。

OM2-8 Absolute range for ordinal and continuous observations 測定限界範囲 (RFR) 00633

成分:<Numeric Range (NR)> ^ <Administrative Sex (IS)> ^ <Age Range (NR)> ^
<Gestational Age Range (NR)> ^ <Species (ST)> ^ <Race/subspecies (ST)> ^
<Conditions (TX)>

副成分 Numeric Range (NR):<Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

副成分 Age Range (NR):<Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

副成分 Gestational Age Range (NR):<Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

定義: OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果を持つ単一検査項目の測定限界を定義する。この範囲をはずれた結果はありえない。フィールドは基準範囲やクリティカル範囲と同様の書式で定義する。

OM2-9 Delta check criteria デルタチェック基準 (DLT) 00634

成分:<Normal Range (NR)> ^ <Numeric Threshold (NM)> ^ <Change Computation (ID)>
^ <Days Retained (NM)>

副成分 Normal Range (NR):<Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

定義: OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果を持つ検査項目のデルタチェック管理の情報を4つの要素で記述する。

1) 適用される範囲: <low & high>

OM2-2-units of measure による習慣的単位による両端の値で範囲を定義。

2) 検出される変動の閾値、例えば、10。

3) 変動の算出が百分率(相対的変動)あるいは絶対的な変動(具体的な数値)なのかの表現。取りうる値は次の2つ:

% パーセント Indicates a percent change

a 絶対値 Absolute change

4) デルタチェックが有効であるための期間を日数で表現。

複数のデルタチェック規則も適用できる。13から16の範囲のとき10%の変動がトリガーとなり、結果値が16.1から20の範囲のとき絶対値が2の変動がトリガーとなる。いずれも最新の結果を100日以上保持していると考えられる。この例では100日を越えてはデルタチェックの計算をしない。

OM2-10 Minimum meaningful increments 有意な変動値 (NM) 00635

定義： OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果を持つ検査項目に対し、報告された値の意味のある最小の差(測定装置の分解能や連続的データののための技術的影響、個々のデータ間の不連続最小間隔)。

10.6.10 OM3 - categorical test/observation segment カテゴリ値結果項目セグメント

このセグメントはフリーテキストやその他の非数値データ型に適用される。

HL7属性表 - OM3 - Categorical Service/Test/Observation カテゴリ値結果検査項目

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	O		00586	Sequence Number 連番
2	250	CWE	O		00636	Preferred Coding System コード体系
3	250	CWE	O		00637	Valid Coded "Answers" 有効なコード値リスト
4	250	CWE	O	Y	00638	Normal Text/Codes for Categorical Observations 正常値のテキスト/コード
5	250	CWE	O	Y	00639	Abnormal Text/Codes for Categorical Observations 異常値のテキスト/コード
6	250	CWE	O	Y	00640	Critical Text Codes for Categorical Observations クリティカル値のテキスト/コード
7	2	ID	O		00570	Value Type 値型

OM3 フィールド定義

OM3-1 Sequence number 連番 (NM) 00586

定義： 関連付けられた OM1 セグメントの連番と同値であること。

OM3-2 Preferred coding system コード体系 (CWE) 00636

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： 検査結果のカテゴリ値が特定のコード表から引用される場合、そのコーディングシステムを記述。(CWE型データ型で、例えば、ICD9やSNOMED III)。

OM3-3 Valid coded "answers" 有効なコード値リスト (CWE) 00637

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： 有効なコード結果リスト。可能な場合、OM3-2-preferred coding system で定義したコーディングシステムを使用した有効な結果コードをリストアップ。例えば、VDRLの場合、有効な結果は「陰性、86^疑陽性(判定保留)、と87^陽性であろう。

OM3-4 Normal text/codes for categorical observations 正常値のテキスト/コード (CWE) 00638

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された検査がテキストや文字の検査結果(reactive, nonreactive など)を持つ場合の正常値を記述リスト。

このフィールドの書式は次のようである：

最初の成分は標準コードソースリストからのコード。第2成分はそのコードと関連するテキスト。

第3成分はそのコードのコード化組織名。テキストの記述のみも可能で^<text>とする。

ケアにおいてこの検査の正常値だけを送るべきである。薬物スクリーニングでは「陰性」と「陽性」の結果がありうるが、正常値としては「陰性」のみである。

OM3-5 Abnormal text/codes for categorical observations 異常値のテキスト/コード (CWE) 00639

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：この検査のテキストや文字の異常値の記述リスト。書式等はOM3-4と同様。

OM3-6 Critical abnormal text/codes for categorical observations クリティカル値のテキスト／コード (CWE) 00640

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：この検査のテキストや文字のクリティカルな異常値の記述リスト。書式等はOM3-4と同様。

OM3-7 Value type 値型 (ID) 00570

定義：OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された単一カテゴリ値検査結果のデータ型。取りうる値はHL7表0125 値型を参照。

10.6.11 OM4 - observations that require specimens segment 要検体検査セグメント

このセグメントは検体を必要とする検査・バッテリーに適用される。検査・バッテリーが複数の検体を必要とする場合(例えば、クレアチニンクリアランスは24時間の尿検体および血清検体を必要とする)、検体タイプ毎に1つのセグメントで表記するものとする。

HL7属性表 - OM4 - Observations that Require Specimens 要検体検査項目

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	O			00586	Sequence Number
2	1	ID	O		0170	00642	Derived Specimen 検体親子識別
3	60	TX	O			00643	Container Description 容器説明
4	20	NM	O			00644	Container Volume 容器容量
5	250	CWE	O			00645	Container Units 容器単位
6	250	CWE	O			00646	Specimen 検査材料
7	250	CWE	O			00647	Additive 添加剤
8	1024	TX	O			00648	Preparation 処置
9	1024	TX	O			00649	Special Handling Requirements 特別取扱要件
10	20	CQ	O			00650	Normal Collection Volume 標準採取量
11	20	CQ	O			00651	Minimum Collection Volume 最低採取量
12	1024	TX	O			00652	Specimen Requirements 検体要件
13	1	ID	O	Y	0027	00653	Specimen Priorities 検体優先度
14	20	CQ	O			00654	Specimen Retention Time 検体保存期間

OM4 フィールド定義

OM4-1 Sequence number 連番 (NM) 00586

定義： 関連するOM1セグメントの連番と同値。

OM4-2 Derived specimen 派生検体識別 (ID) 00642

定義： 診断試験のための派生した親・子を識別するコード。—とりわけ細菌検査において—最初の検体は(血液など)処理され結果を得る(例えば、培養され細菌が同定される)。また処理は新しい検体を生成する(例えば、ぶどう球菌や大腸菌の純粋培養)、これらは第2のオーダの処理によって検査される(感受性試験)。このような場合、親(例えば、血液培養)および子(例えば、ペニシリンMIC)が識別される。取りうる値はHL7表0170を参照。

HL7表 0170 - Derived specimen 派生検体識別

Value	Description
P	Parent Observation 親検査
C	Child Observation 子検査
N	Not Applicable 非適用

OM4-3 Container description 容器説明 (TX) 00643

定義： 容器の蓋の色、形状、物質などを含む物理的外観を記述(例えば、赤色蓋のガラスチューブ)。ここで色は容器の使用や添加物を区別するに必要ではない。このことはとりわけ上から見ることのできる黒や青の蓋についていえる。色はユーザの利便性のために含まれている。

OM4-4 Container volume 容器容量 (NM) 00644

定義： 容器に収容できる容量

OM4-5 Container units 容器容量単位 (CWE) 00645

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： 容器の容量の単位。単位が ISO+単位である場合、単一ケース(大文字か小文字)の省略形で記録。単位が ANS+あるいは L(ローカル)である場合、単位およびソースコード表を記録しなければならない。この場合成分区切文字は副成分区切文字となる。例えば、1はリットルを示し、pt&&ANS+は pints (ANSI units)を示す。デフォルトの単位はミリリットル(ml)であり、単位の報告がない場合デフォルトと見なされる。

OM4-6 Specimen 検査材料 (CWE) 00646

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： 検査材料をコードであらわす。複数の検査材料について記述する場合、各々について OM4 セグメントを使用する。

OM4-7 Additive 添加剤 (CWE) 00647

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： 添加剤を示す。コードの例として CLSI の提供するもの一部を示す。

NAME	CLSI Code	Color	DESCRIPTION
(1) Lithium Heparin - anticoagulant	LIH	Green	Dry powder. 10 to 30 USP units per mL of blood
(2) Sodium Heparin - anticoagulant	NAH	Green	Dried solution. 10 to 30 U.S.P. units per mL of blood
(3) EDTA(K2)	K2E	Lavender	Dry powder. 1.5 to 2.2 mg per mL of blood
(4) EDTA (K3)	K3E	Lavender	Clear solution. 1.5 to 2.2 mg per mL of blood
(5) EDTA (Na2)	N2E	Lavender	

OM4-8 Preparation 処置 (TX) 00648

定義： この容器に応用される特別な処置、例えば、搬送前に酸化剤を添加するなど。

OM4-9 Special handling requirements 取扱要件 (TX) 00649

定義： 特別扱い要件、例えば、凍結検体、2時間以内の処理など。

OM4-10 Normal collection volume 標準採取量 (CQ) 00650

成分:<Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 Units (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： 検査室で必要とする標準的な検体量。これは標準的な方法で使用する容量であって少なくとも一回分の再測定に十分なものである。デフォルト単位はミリリットル(ml)である。

OM4-11 Minimum collection volume 最小採取量 (CQ) 00651

成分:<Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 Units (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： もっとも少量で可能な方法で必要とされる検体量(例えば、微量測定を行うなど)。この最小量は一回限りの測定ためである。デフォルト単位はミリリットル(ml)である。

OM4-12 Specimen requirements 検体要件 (TX) 00652

定義： 配送や特別扱いのためのその他の要件(例えば、1時間以内の配送、氷冷)。

OM4-13 Specimen priorities 検体優先度 (ID) 00653

定義： 検体採取の優先度。OM1-25-processing priority の処理優先度と異なる場合もあることに注意。検査が要求されたとき検体優先度は TQ1-9 Priority で示される。複数の優先度は反復区切文字で区切られる。取りうる値は HL7 表 0027 – 優先度を参照。

HL7表 0027 – Priority 優先度

Value	Description
S	Stat (do immediately) すぐ実施
A	As soon as possible (a priority lower than stat) できるだけ早く
R	Routine 定期
P	Preoperative (to be done prior to surgery) 術前
T	Timing critical (do as near as possible to requested time) 時間指定

OM4-14 Specimen retention time 検体保存期間 (CQ) 00654

成分:<Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 Units (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^
 <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding
 System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System
 Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： 検査が完了後、追加の検査のために保存しておく通常の期間を指定。最初の成分は期間で、
 第2成分はISO時間単位である。

10.6.12 OM5 observation batteries (sets) segment セット検査セグメント

このセグメントはバッテリー（セット検査）やスーパーセットについての情報を扱う。（OM1-18-nature of test/observation が F, P あるいは S の場合）

HL7属性表 - OM5 - Observation Batteries (Sets) セット検査項目

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	O		00586	Sequence Number 連番
2	250	CWE	O	Y	00655	Test/Observations Included w/an Ordered Test Battery バッテリーに含まれる検査項目
3	250	ST	O		00656	Observation ID Suffixes 検査ID接尾辞

OM5 フィールド定義

OM5-1 Sequence number 連番 (NM) 00586

定義： 関連する OM1 セグメントの連番と同値。

OM5-2 Tests/observations included within an ordered test battery バッテリーに含まれる検査項目 (CWE) 00655

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは OM1-18-nature of test/observation の nature code が P の単一バッテリー、nature code が F の単一機能試験、nature code が S のスーパーセットを含むすべての検査のコードと名称からなる。送信側はこれらのセグメントを送信する前にこれらのセグメントが参照するすべての要素を定義するセグメントを確実に送っておくべきである。このリストのエントリはそれ自身がバッテリーでありえる。

個々の検査 ID は CWE データ型、つまり検査項目 ID の標準形式、として記録されるべきである。血清電解質を定義した場合次のようであろう：

...|84132^potassium^AS4~84295^sodium^AS4~82435^chloride^AS4~82374^HCO3^^AS4|...

パラメータが S の場合、スーパーバッテリーの中にバッテリーを含む。例えば、ルーチンセットは次のように定義される：

...|402^Electrolytes~352^Urinalysis~432^CBC~520^SMA12|...

OM5-3 Observation ID suffixes 検査項目 ID 接尾辞 (ST) 00656

定義： 検査項目 ID に続いて検査項目接尾辞を持つ場合に記述。このフィールドは可能なオプションをリストする。使用可能な 3 文字の略号は、HL7 第 7 章結果コメントの扱いの表 7-1 観察項目接尾辞 Observation ID suffices 検査項目接尾辞にリストアップされている。これらは反復区切文字により分離される。

10.6.13 OM6 - Observations that are Calculated from Other Observations Segments 計算値結果項目セグメント

このセグメントは1つないし複数の定量値や直接的検査から数学的あるいは論理的に導かれる定量値についての情報を扱う。

HL7属性表 - OM6 - Observations that are Calculated from Other Observations 計算値結果項目

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	O		00586	Sequence Number 連番
2	1024 0	TX	O		00657	Derivation Rule 導出規則

OM6 フィールド定義

OM6-1 Sequence number 連番 (NM) 00586

定義： 関連する OMI セグメントの連番と同値。

OM6-2 Derivation rule 導出規則 (TX) 00657

定義： このフィールドは1つあるいは複数の患者の変数(例えば、A/G 比、クレアチニンクリアランス、理想体重、日最高体温、グルコース平均値、フラミンガムリスク)から導かれる患者の変数について使用され、この変数の値が導かれるルールを含んでいる。これらは人が理解できる式や説明で記述される。

10.6.14 OM7 - Additional Basic Attributes (Fields That Apply to Most Observations/Services) 付加的 basic 属性

OM7 セグメントはほとんどの検査/サービスの定義に適用する付加的 basic 属性からなる。

HL7 属性表 - OM7 - Additional Basic Attributes 付加的 basic 属性

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	R			00586	Sequence Number - Test/Observation Master File 連番
2	250	CWE	R			00238	Universal Service Identifier 汎用サービス識別子
3	250	CWE	O	Y	0412	01481	Category Identifier カテゴリ識別子
4	200	TX	O			01482	Category Description カテゴリ解説
5	200	ST	O	Y		01483	Category Synonym カテゴリ同義語
6	26	TS	O			01484	Effective Test/Service Start Date/Time 開始有効日時
7	26	TS	O			01485	Effective Test/Service End Date/Time 終了有効日時
8	5	NM	O			01486	Test/Service Default Duration Quantity デフォルト所要量
9	250	CWE	O		9999	01487	Test/Service Default Duration Units デフォルト所要単位
10	60	IS	O		0335	01488	Test/Service Default Frequency デフォルト頻度
11	1	ID	O		0136	01489	Consent Indicator 同意要否
12	250	CWE	O		0413	01490	Consent Identifier 同意識別子
13	26	TS	O			01491	Consent Effective Start Date/Time 同意有効開始日時
14	26	TS	O			01492	Consent Effective End Date/Time 同意有効終了日時
15	5	NM	O			01493	Consent Interval Quantity 同意間隔数量
16	250	CWE	C		0414	01494	Consent Interval Units 同意間隔単位
17	5	NM	O			01495	Consent Waiting Period Quantity 同意待ち期間数量
18	250	CWE	C		0414	01496	Consent Waiting Period Units 同意待ち期間単位
19	26	TS	O			00607	Effective Date/Time of Change 変更の有効日時
20	250	XCN	O			00224	Entered By 入力者
21	200	PL	O	Y		01497	Orderable-at Location オーダ可能ロケーション
22	1	IS	O		0473	01498	Formulary Status 公式処方状況
23	1	ID	O		0136	01499	Special Order Indicator 特別オーダ標識
24	250	CWE	O	Y	0132	01306	Primary Key Value - CDM 主キー値-CDM

OM7 フィールド定義

OM7-1 Sequence Number - Test/Observation Master File 連番-検査/観察マスタファイル (NM) 00586

定義： このフィールドは連番としての値を示す。

OM7-2 Universal Service Identifier 汎用サービス識別子 (CWE) 00238

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは実施者の通常また適切な検査またはサービスの識別からなる。検査/サービス ID は ASTM 表 3 と 5、あるいはローカルコードのいずれかに含まれる。

OM7-3 Category Identifier カテゴリ識別子 (CWE) 01481

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドはカテゴリ名称 (用語はサービス項目の分類のためのグループに付与) からなる。例：検査室、薬局、画像診断、など。

OM7-4 Category Description カテゴリ解説 (TX) 01482

定義： このフィールドは検査/サービス項目のカテゴリについての解説テキストからなる。

例：カテゴリ「病理」は疾患のすべての局面、基本的な自然原因と異常状態の発生の特化した参考、同様に疾患過程の結果として生じる構造的機能的な変化、に関係した専門業務と解説されるかもしれない。

OM7-5 Category Synonym カテゴリ同義語 (ST) 01483

定義： このフィールドは検査／サービスのカテゴリについての別名を示す。例：カテゴリ「放射線」はカテゴリ「画像診断」と同義の名称である。

OM7-6 Effective Test/Service Start Date/Time 検査／サービス開始有効日時 (TS) 01484

成分：<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義： このフィールドはサービス項目がオーダーや実施などが可能となる日時を示す。

OM7-7 Effective Test/Service End Date/Time 検査／サービス終了有効日時 (TS) 01485

成分：<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義： このフィールドはサービス項目がオーダーや実施などの権限付与がもう行われない日時を示す。

OM7-8 Test/Service Default Duration Quantity 検査／サービスデフォルト所要期間 (NM) 01486

定義： このフィールドはサービスのためのデフォルトの所要期間を示す。

OM7-9 Test/Service Default Duration Units 検査／サービスデフォルト所要単位 (CWE) 01487

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドはサービスのためのデフォルトの所要の単位を示す。

OM7-10 Test/Service Default Frequency 検査／サービスデフォルト頻度 (IS) 01488

定義： このフィールドはこのサービスがオーダーや遂行されるデフォルトの頻度（どの程度起こる）を示す。

OM7-11 Consent Indicator 同意要否 (ID) 01489

定義： このフィールドはサービス項目について同意が必要であれば標識する。

Y サービス項目をオーダー／実施するために同意が必要。

N サービス項目をオーダー／実施するための同意は不要。

OM7-12 Consent Identifier 同意識別子 (CWE) 01490

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは特定のサービス項目についての同意の識別子を示す。

OM7-13 Consent Effective Start Date/Time 同意有効開始日時 (TS) 01491

成分：<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義： このフィールドはサービス項目について有効な同意日時を示す。

OM7-14 Consent Effective End Date/Time 同意有効終了日時 (TS) 01492

成分：<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義： このフィールドは検査／サービスのための同意がもう有効でない日時を示す。

OM7-15 Consent Interval Quantity 同意間隔期間 (NM) 01493

定義： このフィールドは特定のサービス項目に有効な同意について一定の時間を指定する。

OM7-16 Consent Interval Units 同意間隔単位 (CWE) 01494

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは OM7-15 - Consent interval quantity に対する時間の単位を指定する。

注： 同意間隔数量が指定される場合、同意間隔単位が必要。

OM7-17 Consent Waiting Period Quantity 同意待ち期間(NM) 01495

定義： このフィールドは同意に署名した時間と処置が遂行できる間の期間を示す。

OM7-18 Consent Waiting Period Units 同意待ち期間単位 (CWE) 01496

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは OM7-17 - Consent waiting period quantity に対する時間の単位を指定する。

注： 同意待ち期間数量が指定される場合、同意待ち期間単位が必要。

OM7-19 Effective Date/Time of Change 変更の有効日時 (TS) 00607

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義： このフィールドは以前の結果が新しい結果と非互換となる検査手順の変更日時を示す。

OM7-20 Entered By 入力者 (XCN) 00224

成分:<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 Family Name (FN):<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 Assigning Authority (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 Assigning Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 Name Context (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

副成分 DEPRECATED-Name Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分は副副成分を含むことに注意

副成分 Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 Assigning Jurisdiction (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 Assigning Agency or Department (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義： このフィールドはアプリケーションにサービス項目を入力した実行者の識別を示す。これは不適切に入力された場合の監査証拠を提供する。

OM7-21 Orderable-at Location オーダ可能ロケーション (PL) 01497

成分:<Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^

<Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^
<Assigning Authority for Location (HD)>

副成分 Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 Comprehensive Location Identifier (EI):<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 Assigning Authority for Location (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義： このフィールドは検査/サービスをオーダーできるロケーションを示す。

OM7-22 Formulary Status 公式処方状況 (IS) 01498

定義： このフィールドはサービス（薬）が公式処方であるか否かを示す。取りうる値は使用者定義表 0473 - 公式処方状況を参照。

使用者定義表 0473 – Formulary Status 公式処方状況

Value	Description
G	公定の検査/サービスであり、ガイドラインがある
N	公定の検査/サービスでない
R	公定の検査/サービスであるが限定されている
Y	公定の検査/サービスである

OM7-23 Special Order Indicator 特別オーダー標識 (ID) 01499

定義： このフィールドはサービス（薬）が特別なオーダーか否かを示す。

Y これは特別オーダーである。

N これは特別オーダーでない。

OM7-24 Primary Key Value – CDM 主キー値 - CDM (CWE) 01306

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： サービス/検査/観察項目を CIM (charge item master 課金項目マスタ) と関連付ける。単一 SIM 項目に複数の課金項目を許すことは可能である。

付録—1. メッセージ例

注：以下の例文中に出現する“99zzz”は、次のような意味で用いている。

99S01	職員などスタッフを表すローカルコード
99U01	単位を表すローカルコード
99C01	容器を表すローカルコード
99T01	端末を表すローカルコード
99E01	設備を表すローカルコード
99I01	検査項目を表すローカルコード
99M01	検査材料を表すローカルコード
99K01	コメントを表すローカルコード
99R01	診療科を表すローカルコード
99P01	病棟を表すローカルコード
99D01	部門を表すローカルコード
99N01	ネームスペースを表すローカルコード
99V01	値を表すローカルコード
99F01	マスタファイル体系を表すローカルコード
99A01	添加物を表すローカルコード
99Y01	薬剤を表すローカルコード
99B01	病名を表すローカルコード
99L01	その他のローカルコード
99JIA	薬剤コード (JANIS：検査部門用)
99JAD	薬剤コード (JANIS：検査部門用)

1. 検体検査依頼送信メッセージの例

HL7 V2.5 仕様の日本語を含む検体検査依頼メッセージ mn123 を 2015/10/11 に訓練として送信。

患者氏名は山田太郎 (やまだ たろう)、男、1950年5月23日生、患者IDはPID001である。

患者さんは外来で第一内科 (診療科コード 01) にかかっており主治医は内科二郎先生 (職員ID 0001) である。

中程度の発疹を 1965.1.1 に起こしたことがありピリン系薬物アレルギーと認められる。

内科二郎先生は 2015/10/11 9:30 に、本日(10/11)通常の優先度で、HbA1c、生化学肝セットとして (AST,ALT,LDH アイソザイム) および 75g 糖負荷試験 (前,30分,60分,120分) を実施するよう依頼、オーダー番号はそれぞれ 0523001,0523002,0523003、そのオーダーグループ番号は 0523001 で、オーダー先は LAB である。

それら検査のための検体は 2015/10/11 に採取され、HbA1c は全血 (添加物入り) で検体番号 1001 で1検体、生化学は血清で検体番号 2001 で1検体、75g 糖負荷試験は前値,30分,60分,120分のヘパリン血漿で検体番号は 3001~3004 の4検体である。

(1) 検体検査依頼送信 OML_021 メッセージの例 (SPM セグメントを記載する場合)

```
MSH|^~\&|||20151011093056||OML^O21^OML_021|mn123|T|2.5|||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID||PID001||山田^太郎^^^^L^I~やまだ^たろう^^^^L^P||19500523|M<cr>
PV1||O|01^^^^C|||^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
AL1|1|DA|^ピリン系薬物|MO|発疹|19650101<cr>
ORC|NW|0523001||0523001|||20151011093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||||O<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523001||3D0450000019204^HbA1c^JC10|||20151011|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||LAB|O|||||||1<cr>
SPM|1|1001|019^全血 (添加物入り) ^JC10|||20151011|||1<cr>
ORC|NW|0523002||0523001|||20151011093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||||O<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|2|0523002-1||3B0350000023272^AST^JC10|||20151011|||023|0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||LAB|O|||||||1<cr>
SPM|1|2001|023^血清^JC10|||20151011|||1<cr>
```

```

ORC|NW|0523002||0523001|||||20151011093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|3|0523002-2||3B045000023272^ALT^JC10|||20151011|||||||023|0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||||||LAB|O|||||||||1<cr>
SPM|1|2001||023^血清^JC10|||||||||20151011|||||||1<cr>
ORC|NW|0523002||0523001|||||20151011093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|4|0523002-3||3B055000023233^LD アイソザイム^JC10|||20151011|||||||023|0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||||||LAB|O|||||||||1<cr>
SPM|1|2001||023^血清^JC10|||||||||20151011|||||||1<cr>
ORC|NW|0523003-1||0523001|||||20151011093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|5|0523003-1||3D0101000022272^血糖前値^JC10|||20151011|||||||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||||||LAB|O|||||||||1<cr>
SPM|1|3001||022^血漿^JC10||01^~^パリン^99A01|||||||||20151011|||||||1<cr>
ORC|NW|0523003-2||0523001|||||20151011093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|6|0523003-2||3D0101030022272^血糖 30M^JC10|||20151011|||||||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||||||LAB|O|||||||||1<cr>
SPM|1|3002||022^血漿^JC10||01^~^パリン^99A01|||||||||20151011|||||||1<cr>
ORC|NW|0523003-3||0523001|||||20151011093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|7|0523003-3||3D0101060022272^血糖 60M^JC10|||20151011|||||||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||||||LAB|O|||||||||1<cr>
SPM|1|3003||022^血漿^JC10||01^~^パリン^99A01|||||||||20151011|||||||1<cr>
ORC|NW|0523003-4||0523001|||||20151011093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|8|0523003-4||3D0101120022272^血糖 120M^JC10|||20151011|||||||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||||||LAB|O|||||||||1<cr>
SPM|1|3004||022^血漿^JC10||01^~^パリン^99A01|||||||||20151011|||||||1<cr>

```

(2) 検体検査依頼送信 OML_021 メッセージの例 (SPM セグメントを省略する場合-容器情報を部門側で管理する場合に適している)

```

MSH|^~¥&|||||20151011093056||OML^O21^OML_021|mn123|T|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-
1994<cr>
PID|||PID001||山田^太郎^^^^L^I~やまだ^たろう^^^^L^P||19500523|M<cr>
PV1||O|01^^^^^C|||||^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
AL1|1|DA|^ピリン系薬物|MO|発疹|19650101<cr>
ORC|NW|0523001||0523001|||||20151011093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|1|0523001||3D045000019204^HbA1c^JC10|||20151011|||||||019^全血 (添加物入り)^JC10|^内科
^二郎^^^^L^I|||||||||LAB|O|||||||||1<cr>

ORC|NW|0523002||0523001|||||20151011093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|2|0523002-1||3B035000023272^AST^JC10|||20151011|||||||023^血清^JC10|^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||||||LAB|O|||||||||1<cr>
ORC|NW|0523002||0523001|||||20151011093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|3|0523002-2||3B045000023272^ALT^JC10|||20151011|||||||023^血清^JC10|^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||||||LAB|O|||||||||1<cr>
ORC|NW|0523002||0523001|||||20151011093056|||0001^内科^二郎

```

```

^^^^^^L^^^^^I|||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|4|0523002-3||3B055000023233^LD アイソザイム^JC10||20151011|||||||023^血清^JC10|^内科^
  二郎^^^^^^L^^^^^I|||||||LAB|O|||||||1<cr>
ORC|NW|0523003||0523001|||||20151011093056||0001^内科^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I|||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|5|0523003-1||3D0101000022272^血糖前値^JC10||20151011|||||||022^血漿^JC10|^内科^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I|||||||LAB|O|||||||4<cr>
ORC|NW|0523003||0523001|||||20151011093056||0001^内科^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I|||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|6|0523003-2||3D0101030022272^血糖 30M^JC10||20151011|||||||022^血漿^JC10|^内科^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I|||||||LAB|O|||||||4<cr>
ORC|NW|0523003||0523001|||||20151011093056||0001^内科^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I|||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|5|0523003-3||3D0101060022272^血糖 60M^JC10||20151011|||||||022^血漿^JC10|^内科^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I|||||||LAB|O|||||||4<cr>
ORC|NW|0523003||0523001|||||20151011093056||0001^内科^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I|||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|7|0523003-4||3D0101120022272^血糖 120M^JC10||20151011|||||||022^血漿^JC10|^内科^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I|||||||LAB|O|||||||4<cr>

```

この例では、SPM-4 に記載される検体タイプを OBR-15 に記載してる。

(3) 検体検査依頼送信 OML_033 メッセージの例

```

MSH|^~¥&|||||20151011093056||OML^O33^OML_033|mn123|T|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-
  1994<cr>
PID|||PID001||山田^太郎^^^^^L^I~やまだ^たろう^^^^^L^P||19500523|M<cr>
PV1||O|01^^^^^C |||^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I||01<cr>
AL1|1|DA|^ピリン系薬物|MO|発疹|19650101<cr>
SPM|1|1001||019^全血(添加物入り)^JC10|||||||20151011|||||||1<cr>
ORC|NW|0523001||0523001|||||20151011093056||0001^内科^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I|||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|1|0523001||3D0450000019204^HbA1c^JC10||20151011|||||||0001^内科^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I|||||||LAB|O|||||||1<cr>

SPM|2|02001||023^血清^JC10|||||||20151011|||||||1<cr>
ORC|NW|0523002||0523001|||||20151011093056||0001^内科^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I|||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|1|0523002-1||3B0350000023272^AST^JC10||20151011|||||||0001^内科^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I|||||||LAB|O|||||||1<cr>
ORC|NW|0523002||0523001|||||20151011093056||0001^内科^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I|||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|2|0523002-2||3B0450000023272^ALT^JC10||20151011|||||||0001^内科^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I|||||||LAB|O|||||||1<cr>
ORC|NW|0523002||0523001|||||20151011093056||0001^内科^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I|||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|3|0523002-3||^3B0550000023233^LD アイソザイム^JC10||20151011|||||||0001^内科^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I|||||||LAB|O|||||||1<cr>
SPM|3|3001||022^血漿^JC10||01^~^パリン^99A01|||||||20151011|||||||1<cr>
ORC|NW|0523003-1||0523001|||||20151011093056||0001^内科^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I|||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-1||3D0101000022272^血糖前値^JC10||20151011|||||||0001^内科^二郎

```

```

^^^^^^L^^^^^I|||||LAB|O|||||1<cr>
SPM|4|3002|022^血漿^JC10|01^~^パリン^99A01|||||20151011|||||1<cr>
ORC|NW|0523003-2|0523001|||||20151011093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-2||3D0101030022272^血糖 30M^JC10|||20151011|||||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||LAB|O|||||1<cr>
SPM|5|3003|022^血漿^JC10|01^~^パリン^99A01|||||20151011|||||1<cr>
ORC|NW|0523003-3|0523001|||||20151011093056|||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-3||3D0101060022272^血糖 60M^JC10|||20151011|||||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||LAB|O|||||1<cr>
SPM|6|3004|022^血漿^JC10|01^~^パリン^99A01|||||20151011|||||1<cr>
ORC|NW|0523003-4|0523001|||||20151011093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-4||3D0101120022272^血糖 120M^JC10|||20151011|||||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||LAB|O|||||1<cr>

```

(4) 検体検査依頼送信 OML_033 メッセージ(IHE PaLM LAW プロファイル仕様)の例

11.8 項(21)の例を参照のこと。

(5) 検体検査依頼送信 OML_035 メッセージの例

```

MSH|^~¥&|||||20151011093056||OML^O35^OML_035|mn123|T|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-
1994<cr>
PID|||PID001||山田^太郎^^^^^L^I~やまだ^たろう^^^^^L^P||19500523|M<cr>
PV1||O|01^^^^^C|||^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
AL1|1|DA|^ピリン系薬物|MO|発疹|19650101<cr>
SPM|1|1001|019^全血(添加物入り)^JC10|||||20151011|||||1<cr>
SAC|||1001<cr>
ORC|NW|0523001|0523001|||||20151011093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|1|0523001||3D0450000019204^HbA1c^JC10|||20151011|||||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||LAB|O|||||1<cr>
SPM|2|2001|023^血清^JC10|||||20151011|||||1<cr>
SAC|||2001<cr>
ORC|NW|0523002|0523001|||||20151011093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|1|0523002-1||3B0350000023272^AST^JC10|||20151011|||||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||LAB|O|||||1<cr>
OBR|1|0523002-2||3B0450000023272^ALT^JC10|||20151011|||||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||LAB|O|||||1<cr>
OBR|1|0523002-3||3B0550000023233^LDアイソザイム^JC10|||20151011|||||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||LAB|O|||||1<cr>
SPM|3|3001|022^血漿^JC10|01^~^パリン^99A01|||||20151011|||||1<cr>
SAC|||3001<cr>
ORC|NW|0523003-1|0523001|||||20151011093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-1||3D0101000022272^血糖前値^JC10|||20151011|||||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||LAB|O|||||1<cr>
SPM|4|3002|022^血漿^JC10|01^~^パリン^99A01|||||20151011|||||1<cr>
SAC|||3002<cr>
ORC|NW|0523003-2|0523001|||||20151011093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-2||3D0101030022272^血糖 30M^JC10|||20151011|||||0001^内科^二郎

```

```

^^^^^^L^^^^^I|||||LAB|O|||||1<cr>
SPM|5|3003|022^血漿^JC10|01^^^パリン^99A01|||||20151011|||||1<cr>
SAC||3003<cr>
ORC|NW|0523003-3|0523001||||20151011093056||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||O<cr>
TQ1|1||||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-3||3D0101060022272^血糖 60M^JC10||20151011|||||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||LAB|O|||||1<cr>
SPM|6|3004|022^血漿^JC10|01^^^パリン^99A01|||||20151011|||||1<cr>
SAC||3004<cr>
ORC|NW|0523003-4|0523001||||20151011093056||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||O<cr>
TQ1|1||||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-4||3D0101120022272^血糖 120M^JC10||20151011|||||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||LAB|O|||||1<cr>

```

2. 到着確認 OUL メッセージの例

HL7 V2.5 仕様の日本語を含む検体到着確認メッセージ mn256 を 2015/10/12 に訓練として送信。

このメッセージは検体到着確認の例であることを実施者側が注釈。

患者氏名は山田太郎（やまだ たろう）、男、1950年5月23日生、患者IDはPID001である。

患者さんは外来で第一内科（診療科コード 01）にかかっており主治医は内科二郎先生（職員ID 0001）である。

中程度の発疹を 1965.1.1 に起こしたことがありピリン系薬物アレルギーと認められる。

内科二郎先生は 2015/10/11 9:30 に、本日(10/11)通常の優先度で、HbA1c、生化学肝セットとして (AST,ALT,LD アイソザイム) および 75g 糖負荷試験 (前,30分,60分,120分) を実施するよう依頼、オーダー番号はそれぞれ 0523001,0523002,0523003、そのオーダーグループ番号は 0523001 で、オーダー先は LAB である。

それら検査のための検体は 2015/10/11 に採取され、HbA1c は全血 (添加物入り) で検体番号 1001 で 1 検体、生化学は血清で検体番号 2001 で 1 検体、75g 糖負荷試験は前値,30分,60分,120分のへパリン血漿で検体番号は 3001~3004 の 4 検体である。

この検査依頼ならびに検体は 2015/10/12 8:30 に受理され、LAB の職員 ID LAB99 の篠原検査技師によってメッセージ入力された。

```

MSH|^~¥&||||20151012083056||OUL^R22^OUL_R22|mn256|T|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID||PID001||山田^太郎^^^^L^I~やまだ^たろう^^^^L^P||19500523|M<cr>
PV1||O|01^^^^C|||^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I||01<cr>
SPM|1|1001|019^全血 (添加物入り) ^JC10|||||20151011|201510120830|||||1<cr>
OBR|1|0523001|123456701^LAB|3D0450000019204^HbA1c^JC10||20151011|||||^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||LAB|I|||||1<cr>
ORC|SC|0523001|123456701^LAB|0523001|IP|||20151012083056|LAB99^篠原^聖子
^^^^^^L^^^^^I||0001^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||||O<cr>
TQ1|1||||20151011||R<cr>
SPM|2|2001|023^血清^JC10|||||20151011|201510120830|||||1<cr>
OBR|1|0523002|123456702^LAB|3B0350000023272^AST^JC10||20151011|||||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||LAB|I|||||1<cr>
ORC|SC|0523002|123456702^LAB|0523001|IP|||20151012083056|LAB99^篠原^聖子
^^^^^^L^^^^^I||0001^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||||O<cr>
TQ1|1||||20151011||R<cr>
OBX|1||3B035000002327201^AST^JC10|||||I<cr>
OBR|2|0523002|123456702^LAB|3B0450000023272^ALT^JC10||20151011|||||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||LAB|I|||||1<cr>
ORC|SC|0523002|123456702^LAB|0523001|IP|||20151012083056|LAB99^篠原^聖子
^^^^^^L^^^^^I||0001^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||||O<cr>
TQ1|1||||20151011||R<cr>
OBX|1||3B045000002327201^ALT^JC10|||||I<cr>

```

```

OBR|3|0523002|123456702^LAB|3B0550000023233^LD アイソザイム^JC10|||20151011|||0001^内
科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||LAB|I|||1<cr>
ORC|SC|0523002|123456702^LAB|0523001|IP|||20151012083056|LAB99^篠原^聖子
^^^^^^L^^^^^I||0001^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||O<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1||3B055000002323300^LD アイソザイム^JC10|||I<cr>
SPM|3|3001||022^血漿^JC10||01^^^パリソ^99A01|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523003-1|123456703^LAB|3D0101000022272^血糖前値^JC10|||20151011|||0001^内科^二
郎^^^^^^L^^^^^I|||LAB|I|||1<cr>
ORC|SC|0523003-1|123456703^LAB|0523001|IP|||20151012083056|LAB99^篠原^聖子
^^^^^^L^^^^^I||0001^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||O<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1||3D010100002227201^血糖前値^JC10|||I<cr>
SPM|4|3002||022^血漿^JC10||01^^^パリソ^99A01|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523003-2|123456704^LAB|3D0101030022272^血糖 30M^JC10|||20151011|||0001^内科^二
郎^^^^^^L^^^^^I|||LAB|I|||1<cr>
ORC|SC|0523003-2|123456704^LAB|0523001|IP|||20151012083056|LAB99^篠原^聖子
^^^^^^L^^^^^I||0001^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||O<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1||3D010103002227201^血糖 30M^JC10|||I<cr>
SPM|5|3003||022^血漿^JC10||01^^^パリソ^99A01|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523003-3|123456705^LAB|3D0101060022272^血糖 60M^JC10|||20151011|||0001^内科^二
郎^^^^^^L^^^^^I|||LAB|I|||1<cr>
ORC|SC|0523003-3|123456705^LAB|0523001|IP|||20151012083056|LAB99^篠原^聖子
^^^^^^L^^^^^I||0001^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||O<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1||3D010106002227201^血糖 60M^JC10|||I<cr>
SPM|6|3004||022^血漿^JC10||01^^^パリソ^99A01|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523003-4|123456706^LAB|3D010112002227201^血糖 120M^JC10|||20151011|||001^内科^
二郎^^^^^^L^^^^^I|||LAB|I|||1<cr>
ORC|SC|0523003-4|123456706^LAB|0523001|IP|||20151012083056|LAB99^篠原^聖子
^^^^^^L^^^^^I||0001^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||O<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1||3D010112002227201^血糖 120M^JC10|||I<cr>

```

3. 検体検査結果メッセージの例

HL7 V2.5 仕様の日本語を含む検体検査結果メッセージ mn768 を 2015/10/14 に訓練として送信。
 患者氏名は山田太郎（やまだ たろう）、男、1950年5月23日生、患者IDはPID001である。
 患者さんは外来で第一内科（診療科コード 01）にかかっており主治医は内科二郎先生（職員ID 0001）である。

中程度の発疹を 1965.1.1 に起こしたことがありピリン系薬物アレルギーと認められる。
 内科二郎先生は 2015/10/11 9:30 に、本日(10/11)通常の優先度で、HbA1c、生化学肝セットとして (AST,ALT,LD アイソザイム) および 75g 糖負荷試験(前,30分,60分,120分)を実施するよう依頼、オーダ番号はそれぞれ 0523001,0523002,0523003、そのオーダグループ番号は 0523001 で、オーダ先は LAB である。

それら検査のための検体は 2015/10/11 に採取され、HbA1c は全血（添加物入り）で検体番号 1001 で 1 検体、生化学は血清で検体番号 2001 で 1 検体、75g 糖負荷試験は前値、30分、60分、120分のへパリン血漿で検体番号は 3001~3004 の 4 検体である。

依頼ならびに検体は検査所 LAB で 2015/10/12 に受理され、2015/10/13 に結果を得た。HbA1c、生化学肝セットは技師太郎検査技師により検査され、HbA1c 5.0% 基準値 4.3~5.8%で基準値内、AST 50U 基準値 6-28 正常母集団からみて高値、ALT 5U 3-9 基準値内、LD アイソザイムは分画でそれぞれ 10,30,20,40%であった。75g 糖負荷試験血糖値は技師二郎検査技師により検査され、80,150,100,60mg/dl ですべて基準値内であった。検査料はそれぞれ 2000 円、1000 円、3000 円である。

(1) 検体検査結果 OUL_R22 メッセージの例

MSH|^~\&|||20151013093056||OUL^R22^OUL_R22|mn768|T|2.5|||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID||PID001||山田^太郎^^^^L^I~やまだ^たろう^^^^L^P||19500523|M<cr>
PV1||O|01^^^^C|||^内科^二郎^^^^L^^^^I|||01<cr>
SPM|1|1001||019^全血(添加物入り)^JC10|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523001|123456701^LAB|3D0450000019204^HbA1c^JC10||20151011|||0001^内科^二郎^^^^L^^^^I|||20151013|2000^YEN|LAB|F|||S01&技師&太郎|||1<cr>
ORC|SC|0523001|123456701^LAB|0523001|CM|||20151013093056|||0001^内科^二郎^^^^L^^^^I|||O<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3D0450000019204^HbA1c^JC10||5.5||%|4.6-6.2||N|F|||LAB<cr>
SPM|2|2001||023^血清^JC10|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523002-1|123456702^LAB|3B0350000023272^AST^JC10||20151011|||0001^内科^二郎^^^^L^^^^I|||20151013|1000^YEN|LAB|F|||S01&技師&太郎|||1<cr>
ORC|SC|0523002|123456702^LAB|0523001|CM|||20151013093056|||0001^内科^二郎^^^^L^^^^I|||O<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3B035000002327201^AST^JC10||50|U|6-28|H|N|F|||LAB<cr>
OBR|2|0523002-2|123456702^LAB|3B0450000023272^ALT^JC10||20151011|||0001^内科^二郎^^^^L^^^^I|||20151013|1000^YEN|LAB|F|||S01&技師&太郎|||1<cr>
ORC|SC|0523002|123456702^LAB|0523001|CM|||20151013093056|||0001^内科^二郎^^^^L^^^^I|||O<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3B045000002327201^ALT^JC10||5|U|3-9||N|F|||LAB<cr>
OBR|3|0523002-3|123456702^LAB|3B0550000023233^LD アイソザイム^JC10||20151011|||0001^内科^二郎^^^^L^^^^I|||20151013|1000^YEN|LAB|F|||S01&技師&太郎|||1<cr>
ORC|SC|0523002|123456702^LAB|0523001|CM|||20151013093056|||0001^内科^二郎^^^^L^^^^I|||O<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1|ST|3B055000002323300^LD アイソザイム^JC10|||F|||LAB<cr>
OBX|2|NM|3B055000002323351^LDH1^JC10||10||%||F|||LAB<cr>
OBX|3|NM|3B055000002323352^LDH2^JC10||30||%||F|||LAB<cr>
OBX|4|NM|3B055000002323353^LDH3^JC10||20||%||F|||LAB<cr>
OBX|5|NM|3B055000002323354^LDH4^JC10||40||%||F|||LAB<cr>
SPM|3|3001||022^血漿^JC10||01^^パリソ^99A01|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523003-1|123456703^LAB|3D010100002227201^血糖前値^JC10||20151011|||0001^内科^二郎^^^^L^^^^I|||20151013|3000^YEN|LAB|F|||S02&技師&二郎|||1<cr>
ORC|SC|0523003-1|123456703^LAB|0523001|CM|||20151013093056|||0001^内科^二郎^^^^L^^^^I|||O<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3D010100002227201^血糖前値^JC10||80|mg/dL|60-100||N|F|||LAB<cr>
SPM|4|3002||022^血漿^JC10||01^^パリソ^99A01|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523003-2|123456704^LAB|3D010103002227201^血糖 30M^JC10||20151011|||0001^内科^二郎^^^^L^^^^I|||20151013||LAB|F|||S02&技師&二郎|||1<cr>
ORC|SC|0523003-2|123456704^LAB|0523001|CM|||20151013093056|||0001^内科^二郎^^^^L^^^^I|||O<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3D010103002227201^血糖 30M^JC10||150|mg/dL|90-200||N|F|||LAB<cr>
SPM|6|3003||022^血漿^JC10||01^^パリソ^99A01|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523003-3|123456705^LAB|3D010106002227201^血糖 60M^JC10||20151011|||0001^内科^二郎^^^^L^^^^I|||20151013||LAB|F|||S02&技師&二郎|||1<cr>
ORC|SC|0523003-3|123456705^LAB|0523001|CM|||20151013093056|||0001^内科^二郎^^^^L^^^^I|||O<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3D010106002227201^血糖 60M^JC10||100|mg/dL|80-160||N|F|||LAB<cr>
SPM|7|3004||022^血漿^JC10||01^^パリソ^99A01|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523003-4|123456706^LAB|3D010112002227201^血糖 120M^JC10||20151011|||0001^内科^二郎^^^^L^^^^I|||20151013||LAB|F|||S02&技師&二郎|||1<cr>
ORC|SC|0523003-4|123456706^LAB|0523001|CM|||20151013093056|||0001^内科^二郎

^^^^^L^^^^I|||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3D010112002227201^血糖 120M^JC10||60|mg/dL|50-100||N|F||||LAB<cr>

(2) 検体検査結果 OUL_R22 メッセージ(IHE PaLM LAW プロファイル仕様)の例

11.8 項(22)の例を参照のこと。

(3) 検体検査結果 ORU_R01 メッセージの例

OUR_R01 では SPM セグメントの省略が可能となる。以下に省略した場合のメッセージ例を示す。

MSH|^~¥&|||||20151014115956||ORU^R01^ORU_R01|mn768|T|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID|||PID001||山田^太郎^^^^L^I~やまだ^たろう^^^^L^P||19500523|M<cr>
PV1||O|01^^^^C||||^内科^二郎^^^^L^^^^I||||01<cr>
ORC|SC|0523001|123456701^LAB|0523001|CM||||20151013093056|||0001^内科^二郎
^^^^L^^^^I|||||||||||||O<cr>
OBR|1|0523001|123456701^LAB|3D0450000019204^HbA1c^JC10||20151011|||||201510120830|019&
全血(添加物入り)&JC10|0001^内科^二郎
^^^^L^^^^I|||||20151013|2000^YEN|LAB|F||||||S01&技師&太郎|||1<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3D0450000019204^HbA1c^JC10||5.5|%|4.6-6.2||N|F||||LAB<cr>
ORC|SC|0523001|123456701^LAB|0523001|CM||||20151013093056|||0001^内科^二郎
^^^^L^^^^I|||||||||||||O<cr>
OBR|2|0523002-1|123456702^LAB|3B0350000023272^AST^JC10||20151011|||||201510120830|023&
血清&JC10|0001^内科^二郎^^^^L^^^^I|||||20151013|1000^YEN|LAB|F||||||S01&技師&太
郎|||1<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3B035000002327201^AST^JC10||5|U|6-28|H||N|F||||LAB<cr>
ORC|SC|0523001|123456701^LAB|0523001|CM||||20151013093056|||0001^内科^二郎
^^^^L^^^^I|||||||||||||O<cr>
OBR|3|0523002-2|123456702^LAB|3B0450000023272^ALT^JC10||20151011|||||201510120830|023&
血清&JC10|0001^内科^二郎^^^^L^^^^I|||||20151013|1000^YEN|LAB|F||||||S01&技師&太
郎|||1<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3B045000002327201^ALT^JC10||5|U|3-9||N|F||||LAB<cr>
ORC|SC|0523001|123456701^LAB|0523001|CM||||20151013093056|||0001^内科^二郎
^^^^L^^^^I|||||||||||||O<cr>
OBR|4|0523002-3|123456702^LAB|3B0550000023233^LD アイソザイム
^JC10||20151011|||||201510120830|023&血清&JC10|0001^内科^二郎
^^^^L^^^^I|||||20151013|1000^YEN|LAB|F||||||S01&技師&太郎|||1<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBX|1|ST|3B055000002323300^LD アイソザイム^JC10|||||F||||LAB<cr>
OBX|2|NM|3B055000002323351^LDH1^JC10||10|%||||F||||LAB<cr>
OBX|3|NM|3B055000002323352^LDH2^JC10||30|%||||F||||LAB<cr>
OBX|4|NM|3B055000002323353^LDH3^JC10||20|%||||F||||LAB<cr>
OBX|5|NM|3B055000002323354^LDH4^JC10||40|%||||F||||LAB<cr>
ORC|SC|0523001|123456701^LAB|0523001|CM||||20151013093056|||0001^内科^二郎
^^^^L^^^^I|||||||||||||O<cr>
OBR|5|0523003-1|123456703^LAB|3D0101000022272^血糖前値
^JC10||20151011|||||201510120830|022&血漿&JC10|0001^内科^二郎
^^^^L^^^^I|||||20151013|3000^YEN|LAB|F||||||S02&技師&二郎|||4<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3D010100002227201^血糖前値^JC10||80|mg/dL|60-100||N|F||||LAB<cr>
ORC|SC|0523001|123456701^LAB|0523001|CM||||20151013093056|||0001^内科^二郎
^^^^L^^^^I|||||||||||||O<cr>
OBR|6|0523003-1|123456703^LAB|3D0101030022272^血糖 30M^JC10||20151011|||||201510120830|
022&血漿&JC10|0001^内科^二郎^^^^L^^^^I|||||20151013|3000^YEN|LAB|F||||||S02&技
師&二郎|||4<cr>

```

TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3D010103002227201^血糖 30M^JC10||150|mg/dL|90-200|||N|F|||LAB<cr>
ORC|SC|0523001|123456701^LAB|0523001|CM|||20151013093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||O<cr>
OBR|7|0523003-1|123456703^LAB|3D0101060022272^血糖
60M^JC10|||20151011|||||201510120830|022&血漿&JC10|0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||20151013|3000^YEN|LAB|F|||||S02&技師&二郎|||4<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3D010106002227201^血糖 60M^JC10||100|mg/dL|80-160|||N|F|||LAB<cr>
ORC|SC|0523001|123456701^LAB|0523001|CM|||20151013093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||O<cr>
OBR|8|0523003-1|123456703^LAB|3D0101120022272^血糖
120M^JC10|||20151011|||||201510120830|022&血漿&JC10|0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||20151013|3000^YEN|LAB|F|||||S02&技師&二郎|||4<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3D010112002227201^血糖 120M^JC10||60|mg/dL|50-100|||N|F|||LAB<cr>

```

4. 患者特有の臨床情報を伴った検査報告メッセージの例

クレアチンクリアランスのための身長体重の報告含む。

```

MSH|^~\&|LIS|IHE-J^OF|HIS|IHE-
J^OP|20151101131032||OUL^R22^OUL_R22|20151101131032|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-
1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^L^I~ソウゴ^タロウ^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-
0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号|^PRN^PH^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001||023^血清^JC10|||||201511011200|20151101131032|||||001^茶・
生化学^99C01<cr>
SAC|||00076787001|||20151101131032<cr>
OBR|1|ord0001|20151101000001|8A02500009827129^24時間クレアチンクリアランス^JC10
|||201511011200|||||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ
^^^^^^L^^^^^P|||||20151101131032|||F<cr>
ORC|SC|ord0001||CM|||20151101132040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドク
タメイ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||||O<cr>
TQ1|1|||||20151101||R<cr>
OBX|1|NM|3C015000002327201^クレアチニン(血清)^JC10||1.00|mg/dl|0.61-
1.04||||F|||20151101123500<cr>
OBX|2|NM|8A025000009827129^24時間クレアチンクリアランス^JC10||107.2|1^L/day^99U01|93.0-
238.0||||F|||20151101123500<cr>
SPM|2|00076787002||004^蓄尿^JC10|||||201511011200|20151101131032|||||002^尿・
生化学^99C02<cr>
SAC|||00076787002|||20151101131032<cr>
OBR|1|ord0001|20151101000001|8A02500009827129^24時間クレアチンクリアランス^JC10
|||201511011200|||||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ
^^^^^^L^^^^^P|||||20151101131032|||F<cr>
ORC|SC|ord0001||CM|||20151101132040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドク
タメイ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||||O<cr>
TQ1|1|||||20151101||R<cr>
OBX|1|NM|3C015000000427101^クレアチニン(尿)^JC10||1.5|mg/dl|1.0-
1.5||||F|||20151101123500<cr>
OBX|2|NM|8A025000009827129^24時間クレアチンクリアランス^JC10||107.2|1^L/day^99U01|93.0-
238.0||||F|||20151101123500<cr>

```

4.4.1と同様に身長、体重、尿量は依頼メッセージのOBXで記述をするが、結果としては返送しないことを想定している。

5. 計算項目のオーダーメッセージと検査結果メッセージの例

オーダーメッセージに計算項目の依頼が存在する場合や、他の検査結果から計算される検査結果が発生する場合、検査の種類や結果、検査機関の運用によっては、オーダーメッセージの検査結果セグメント(OBX)にな

© JAHIS 2024

かった検査項目が、検査結果メッセージの検査結果セグメント(OBX)が加えられることがある。

すなわち、検査結果メッセージの検査結果セグメント(OBX)の出現件数は、検査依頼項目数と同一ではなく、検査の種類や結果、検査機関の運用により、可変となる。

例えば、総タンパク(TP)、アルブミン(ALB)から計算される A/G 比の場合、診療機関、検査機関の運用によっては、以下の数パターンが考えられる。

<<例 1>>

診療機関が A/G 比をオーダーした場合、検査機関は、総タンパク(TP)、アルブミン(ALB)を自動的に測定して、A/G 比を計算するが、報告される検査結果は、A/G 比のみとなる。

(1) 例 1 オーダメッセージ

*依頼項目数: 1

(a) 検査項目を OBR-4 に記載

```
MSH|^~\&|OP^HIS|IHE-J^OP|OF^LIS|IHE-
  J^OF|20151101103040||OML^O33^OML_O33|20151101103040|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-
  1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^L^I~ソウゴ^タロウ^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-
  0004^^H^東京都港区新橋 2 丁目 5 番 5 号|^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001||023^血清^JC10|||||||||201511011200|||||||||001^茶・生化学^99C01<cr>
ORC|NW|ord0001|||||20151101103040||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメ
  イ^^^^^^L^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151101||R<cr>
OBR|1|ord0001||3A0160000023271^A/G 比^JC10|||201511010939|||||||||0001^ドクタ姓^ドクタ名
  ^^^^^^^L^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^L^^^^P<cr>
```

(b) 検査項目を OBX-3 に記載

```
MSH|^~\&|OP^HIS|IHE-J^OP|OF^LIS|IHE-
  J^OF|20151101103040||OML^O33^OML_O33|20151101103040|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-
  1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^L^I~ソウゴ^タロウ^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-
  0004^^H^東京都港区新橋 2 丁目 5 番 5 号|^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001||023^血清^JC10|||||||||201511011200|||||||||001^茶・生化学^99C01<cr>
ORC|NW|ord0001|||||20151101103040||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメ
  イ^^^^^^L^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151101||R<cr>
OBR|1|ord0001||E002^生化学的検査^JHSIOB0003|||201511010939|||||||||0001^ドクタ姓^ドクタ名
  ^^^^^^^L^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^L^^^^P<cr>
OBX|1||3A0160000023271^A/G 比^JC10|||||||O||R<cr>
```

(2) 例 1 検査結果メッセージ

*結果項目数: 1

(a) 検査項目を OBR-4 に記載

```
MSH|^~\&|OF^LIS|IHE-J^OF|OP^HIS|IHE-
  J^OF|20151101131032||OUL^R22^OUL_R22|20151101131032|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-
  1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^L^I~ソウゴ^タロウ^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-
  0004^^H^東京都港区新橋 2 丁目 5 番 5 号|^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001||023^血清^JC10|||||||||201511011200|20151101131032|||||||||001^茶・
  生化学^99C01<cr>
SAC|||00076787001||||20151101131032<cr>
```

```
OBR|1|ord0001|20151101000001|3A016000002327102^A/G比^JC10|||201511011200|||0001^ドク
クタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ
^^^^^^L^^^^P|||20151101131032|||F<cr>
ORC|SC|ord0001|||CM|||20151101132040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^I~^ドクタセイ^ドク
タメイ^^^^^^L^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||O<cr>
TQ1|1|||20151101|||R<cr>
OBX|1|NM|3A016000002327102^A/G比^JC10||1.7||1.2-2.0|||F||R|20151101123500|01^技師
1^99S01|||20151101123500<cr>
```

(b) 検査項目を OBX-3 に記載

```
MSH|^~¥&|OF^LIS|IHE-J^OF|OP^HIS|IHE-
J^OF|20151101131032||OUL^R2^OUL_R22|20151101131032|P|2.5|||~ISO IR87||ISO 2022-
1994<cr>
PID||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^L^I~ソウゴ^タロウ^^^^L^P||19630926|M||105-
0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号|^PRN^PH^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001||023^血清^JC10|||201511011200|20151101131032|||001^茶・
生化学^99C01<cr>
SAC||00076787001|||20151101131032<cr>
OBR|1|ord0001|20151101000001|E002^生化学的検査^JHSIOB0003|||201511011200|||0001^ドク
タ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^L^^^^P|||20151101131032|||F<cr>
ORC|SC|ord0001|||CM|||20151101132040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^I~^ドクタセイ^ドク
タメイ^^^^^^L^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||O<cr>
TQ1|1|||20151101|||R<cr>
OBX|1|NM|3A016000002327102^A/G比^JC10||1.7||1.2-2.0|||F||R|20151101123500|01^技師
1^99S01|||20151101123500<cr>
```

<<例2>>

診療機関が A/G 比をオーダーした場合、検査機関は、総タンパク(TP)、アルブミン(ALB)を自動的に測定して、A/G 比を計算し、報告される検査結果も、A/G 比、総タンパク(TP)、アルブミン(ALB)となる。

(3) 例2 オーダメッセージ

*依頼項目数: 1

(a) 検査項目を OBR-4 に記載

```
MSH|^~¥&|OP^HIS|IHE-J^OF|OF^LIS|IHE-
J^OF|20151101103040||OML^O33^OML_O33|20151101103040|P|2.5|||~ISO IR87||ISO 2022-
1994<cr>
PID||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^L^I~ソウゴ^タロウ^^^^L^P||19630926|M||105-
0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号|^PRN^PH^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001||023^血清^JC10|||201511011200|||001^茶・生化学^99C01<cr>
ORC|NW|ord0001|||20151101103040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメ
イ^^^^^^L^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||O<cr>
TQ1|1|||20151101|||R<cr>
OBR|1|ord0001||3A0160000023271^A/G比^JC10|||201511010939|||0001^ドクタ姓^ドクタ名
^^^^^^L^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^L^^^^P<cr>
```

(b) 検査項目を OBX-3 に記載

```
MSH|^~¥&|OP^HIS|IHE-J^OF|OF^LIS|IHE-
J^OF|20151101103040||OML^O33^OML_O33|20151101103040|P|2.5|||~ISO IR87||ISO 2022-
1994<cr>
PID||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^L^I~ソウゴ^タロウ^^^^L^P||19630926|M||105-
0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号|^PRN^PH^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001||023^血清^JC10|||201511011200|||001^茶・生化学^99C01<cr>
ORC|NW|ord0001|||20151101103040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメ
```

```

イ^^^^^^L^^^^P|01^^^^C||||01^内科^99R01|||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151101||R<cr>
OBR|1|ord0001||3A0160000023271^A/G比^JC10|||201511010939|||||||0001^ドクタ姓^ドクタ名
^^^^^^L^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^L^^^^P<cr>
OBX|1||3A0160000023271^A/G比^JC10|||||||O||R<cr>

```

(4) 例2 検査結果メッセージ

*結果項目数: 3

(a) 検査項目を OBR-4 に記載

```

MSH|^~¥&|OF^LIS|IHE-J^OF|OP^HIS|IHE-
J^OP|20151101131032||OUL^R22^OUL_R22|20151101131032|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-
1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^L^I~ソウゴ^タロウ^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-
0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号|^PRN^PH^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001||023^血清^JC10|||||||201511011200|20151101131032|||||||001^茶・
生化学^99C01<cr>
SAC|||00076787001|||20151101131032<cr>
OBR|1|ord0001|20151101000001|3A016000002327102^A/G比^JC10|||201511011200|||||||0001^ド
クタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^L^^^^P|||||20151101131032|||F
<cr>
ORC|SC|ord0001||CM|||20151101132040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^I~^ドクタセイ^ドク
タメイ^^^^^^L^^^^P|01^^^^C||||01^内科^99R01|||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151101||R<cr>
OBX|1|NM|3A016000002327102^A/G比^JC10||1.7||1.2-2.0|||F||R|20151101123500|01^技師1
^99S01|||20151101123500<cr>
OBX|2|NM|3A010000002327101^総タンパク(TP)^JC10||7.2|1^g/dL^99U01|6.70-
8.3|||F||R|20151101123500|01^技師1^99S01|||20151101123500<cr>
OBX|3|NM|3A015000002327101^アルブミン(ALB)^JC10||4.9|1^g/dL^99U01|3.7-
5.5|||F||R|20151101123500|01^技師1^99S01|||20151101123500<cr>

```

(b) 検査項目を OBX-3 に記載

```

MSH|^~¥&|OF^LIS|IHE-J^OF|OP^HIS|IHE-
J^OP|20151101131032||OUL^R22^OUL_R22|20151101131032|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-
1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^L^I~ソウゴ^タロウ^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-
0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号|^PRN^PH^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001||023^血清^JC10|||||||201511011200|20151101131032|||||||001^茶・
生化学^99C01<cr>
SAC|||00076787001|||20151101131032<cr>
OBR|1|ord0001|20151101000001|3A016000002327102^A/G比^JC10|||201511011200|||||||0001^ド
クタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^L^^^^P|||||20151101131032|||F
<cr>
ORC|SC|ord0001||CM|||20151101132040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^I~^ドクタセイ^ドク
タメイ^^^^^^L^^^^P|01^^^^C||||01^内科^99R01|||||||O<cr>
TQ1|1|||||20151101||R<cr>
OBX|1|NM|3A016000002327102^A/G比^JC10||1.7||1.2-2.0|||F||R|20151101123500|01^技師1
^99S01|||20151101123500<cr>
OBX|2|NM|3A010000002327101^総タンパク(TP)^JC10||7.2|1^g/dL^99U01|6.70-
8.3|||F||R|20151101123500|01^技師1^99S01|||20151101123500<cr>
OBX|3|NM|3A015000002327101^アルブミン(ALB)^JC10||4.9|1^g/dL^99U01|3.7-
5.5|||F||R|20151101123500|01^技師1^99S01|||20151101123500<cr>

```

6. 細菌検査（一般細菌・抗酸菌）の例

微生物学的検査は、一般細菌検査と抗酸菌検査に分類し記載する。

一般細菌

Step	項目	コード OBR-4/OBX-3	Sub-ID OBR-4	結果（定性、菌数、MIC値）OBX-5 ／薬剤感受性（菌名）OBR-26	判定 OBR-8
(1)依頼（一般細菌）					
	検査材料				
	喀痰	061			
	依頼項目（OBR）				
	塗抹鏡検	6A010000001704			
	培養同定	6B010000001741			
	検査項目（OBX）				
1 菌目	培養同定（一般細菌）	6B010000006174114		1303 [^] Staphylococcus aureus (MRSA) [^] 99JIA ^{~~~~~} 1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1	
2 菌目	培養同定（一般細菌）	6B010000006174114		1111 [^] Streptococcus pyogenes [^] 99JIA ^{~~~~~} 1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1	
(2)塗抹結果					
	依頼項目（OBR）				
	塗抹鏡検（一般細菌）	6A010000006170400			
	検査項目（OBX）				
	白血球	6A010000006170449	1	1+	
	上皮細胞	6A010000006170449	2	少量	
	グラム陽性球菌	6A010000006170449	3	1+	
	グラム陽性桿菌	6A010000006170449	4	少量	
(3)培養・同定結果					
	依頼項目（OBR）				
	培養同定（一般細菌）	6B010000006174100			
	検査項目（OBX）				
1 菌目	培養同定（一般細菌）：目的菌	6B010000006174114	1	1303 [^] Staphylococcus aureus (MRSA) [^] 99JIA ^{~~~~~} 1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1	
	定性／定量	6B010000006174111	1	3+	
2 菌目 ※	培養同定（一般細菌）：目的菌	6B010000006174114	2	1111 [^] Streptococcus pyogenes [^] 99JIA ^{~~~~~} 1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1	
	定性／定量	6B010000006174111	2	-	

Step	項目	コード OBR-4/OBX-3	Sub-ID OBX-4	結果（定性、菌数、MIC値）OBX-5 ／薬剤感受性（菌名）OBR-26	判定 OBX-8
3 菌目	培養同定(一般細菌)	6B010000006174114	3	1134^Streptococcus pneumoniae (PSSP)^ 99JIA^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1	
	定性／定量	6B010000006174111	3	2+	
4 菌目	培養同定(一般細菌)	6B010000006174114	4	1114^Streptococcus agalactiae^ 99JIA^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1	
	定性／定量	6B010000006174111	4	2+	
5 菌目 ※	培養同定(一般細菌)	6B010000006174114	5	1101^α-Streptococcus^ 99JIA^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1	
	定性／定量	6B010000006174111	5	1+	
6 菌目 ※	培養同定(一般細菌)	6B010000006174114	6	6000^Corynebacterium sp.^ 99JIA^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1	
	定性／定量	6B010000006174111	6	少量	
(4)薬剤感受性					
	依頼項目 (OBR)				
1 菌目	薬剤感受性検査(一般細菌)	6C205000006176200		6B01000000174214&培養同定(一般細菌)&JC10^1^Enterobacter aerogenes	
	検査項目 (OBX)	薬剤名			
	ABPC	1216		>8	R
	PCG	1201		>8	R
	CEZ	1537		=8	R
	CTRX	1656		=4	R
	CAZ	1661			R
	依頼項目 (OBR)				
3 菌目	薬剤感受性検査(一般細菌)	6C205000006176200		6B01000000174214&培養同定(一般細菌)&JC10^2^Enterococcus faecalis	
	検査項目 (OBX)				
	ABPC	1216		=2	S
	PCG	1201		=1	S
	CEZ	1537			S
	CTRX	1656		<=0.2	S
	CAZ	1661			S
4 菌目					
	ABPC	1216			S
	PCG	1201			S
	CEZ	1537			S
	CTRX	1656			S
	CAZ	1661			S

※2 菌目は目的菌で、培養結果がマイナスであったため、薬剤感受性は行っていない。また、4、5 菌目は常在菌であるため、同じく薬剤感受性は行っていない。

(1) 依頼

尿の塗抹鏡検、培養同定を依頼。

査材料 (SPM)

痰	51
---	----

頼項目 (OBR)

抹鏡検 (一般細菌)	10100000001704
養同定 (一般細菌)	30100000001741

目的菌を黄色ブドウ球菌と化膿性レンサ球菌を明示する。

依頼項目 (OBX)

培養同定 (一般細菌)	6B010000006174114
-------------	-------------------

検査項目 (OBX)

菌数		同定菌 (OBX-5)	OBX-11
菌目	1	03^Staphylococcus aureus (MRSA)^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1	O
2 菌目	2	34^Streptococcus pneumoniae (PSSP)^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1	O

MSH|^~%&|HIS||LIS||20210815192733||OML^O33^OML_O33|LTWMBOP00000001|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994

PID||1234567890^^^^PI||ソウゴ^タロウ^^^^L^P~相互^太郎^^^^L^I||19700401|M||^105-
0004^^H^東京都港区新橋 2 丁目 5 番 5 号|^PRN^PH^^^^^^^03-3506-8010

PV1|1|O|01^^^^^C|||||01

SPM|1|0000080011991||061^喀痰^JC10|||||202108151500|||||991^喀痰採取容器^99C01

ORC|NW|202108159002001|||||20210815100000||00000001^医師テスト

^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C|||||01^内科^99R01|||||O

TQ1|1|||||202108151500||R

OBR|1|202108159002001||6A0100000001704^塗抹鏡検 (一般細菌)

^JC10|||||202108151500|||||00000001^医師テスト^^^^^^L^^^^^I

ORC|NW|202108159002001|||||20210815100000||00000001^医師テスト

^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C|||||01^内科^99R01|||||O

TQ1|1|||||202108151500||R

OBR|2|202108159002001||6B0100000001741^培養同定 (一般細菌)

^JC10|||||202108151500|||||00000001^医師テスト^^^^^^L^^^^^I

OBX|1|CWE|6B010000000174114^培養同定 (一般細菌)^JC10|1|1303^Staphylococcus aureus (MRSA)^
99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1|||||O||R

OBX|2|CWE|6B010000000174114^培養同定 (一般細菌)^JC10|2|1134^Streptococcus pneumoniae (PSSP)^
99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1|||||O||R

(2) 結果 (塗抹/一般細菌結果)

塗抹の結果は、グラム陰性桿菌 (GNR)"3+"、白血球"1+"、上皮細胞"少量"、グラム陰性球菌"1+"、グラム陽性桿菌"少量"。

依頼項目 (OBR)

塗抹鏡検 (一般細菌)	1010000006170400
-------------	------------------

検査項目 (OBX)

検査項目 (OBX)	項目コード (OBX-3)	OBX-4	検査結果 OBX-5
血球	6A010000006170414	1	白血球
	6A010000006170411	1	1+

上皮細胞	6A010000006170414	2	上皮細胞
	6A010000006170411	2	少量
グラム陽性球菌	6A010000006170414	3	グラム陽性球菌
	6A010000006170411	3	1+
グラム陽性桿菌	6A010000006170414	4	グラム陽性桿菌
	6A010000006170411	4	少量

OBR に塗抹鏡検（一般細菌）"6A010000006170400" の項目を記載。

OBX に菌名と定性結果を記載。

```
MSH|^~\&|LIS||HIS||20210815190810||OUL^R22^OUL_R22|LTWMBOF00000005|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994
PID|||1234567890^^^PI||ソウゴ^タロウ^^^L^P~相互^太郎^^^L^I||19700401|M|||^105-
0004^^H^東京都港区新橋 2 丁目 5 番 5 号|^PRN^PH^^^^^^03-3506-8010
PV1|1|O|01^^^C|||||01
SPM|1|01201001991||001^尿(含むその
他)^JC10|||||202108151500|20210815190807|||||991^一般細菌滅菌スピッツ^99C01
SAC||01201001991|||20100807000000
OBR|1|202108159002001|202108159912001|6A010000006170400^塗抹鏡検(一般細
菌)^JC10|||202108151500|||||00000001^医師テスト^^^^^^L^^^^I|||||F
ORC|SC|202108159002001|202108159912001||A|||20210815100000||00000001^医師テスト
^^^^^^L^^^^I|01^^^C|||||01^内科^99R01|||||O
TQ1|1|||||202108151500||R
OBX|1|ST|6A010000006170414^塗抹鏡検(一般細菌)^JC10|1|白血球|||||F||R
OBX|2|ST|6A010000006170411^塗抹鏡検(一般細菌)^JC10|1|1+|||||F||R
OBX|3|ST|6A010000006170414^塗抹鏡検(一般細菌)^JC10|2|上皮細胞|||||F||R
OBX|4|ST|6A010000006170411^塗抹鏡検(一般細菌)^JC10|2|少量|||||F||R
OBX|5|ST|6A010000006170414^塗抹鏡検(一般細菌)^JC10|3|グラム陽性球菌|||||F||R
OBX|6|ST|6A010000006170411^塗抹鏡検(一般細菌)^JC10|3|1+|||||F||R
OBX|7|ST|6A010000006170414^塗抹鏡検(一般細菌)^JC10|4|グラム陽性桿菌|||||F||R
OBX|8|ST|6A010000006170411^塗抹鏡検(一般細菌)^JC10|4|少量|||||F||R
```

(3) 結果（培養・同定）

培養・同定の菌ごとに菌量を記載。

依頼項目 (OBR)

培養同定(一般細菌)	3010000006174100
------------	------------------

検査項目 (OBX)

菌数		同定菌 (OBX-5)	菌量 (OBX-5)
1 菌目 (目的菌)	1	03^Staphylococcus aureus (MRSA)^99JIA^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1	3+
2 菌目 (目的菌)	2	11^Streptococcus pyogenes^99JIA^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1	-
3 菌目※	3	34^Streptococcus pneumoniae (PSSP)^99JIA^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1	2+
4 菌目	4	14^Streptococcus agalactiae^99JIA^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1	2+
5 菌目 (常在菌)	5	01^α-Streptococcus^99JIA^^^^1.2.392.100495.10.3.	1+

		100.5.27.6.1	
6 菌目 (常在菌)	6	000^Corynebacterium sp.^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1	少量

(2)の塗抹の結果に追記。

OBR に培養同定(一般細菌) "6B010000001741" の項目を記載。

同定菌 1 つに対し、菌種と菌量を、2 つの OBX (OBX-3 をそれぞれ、培養同定(一般細菌) "6B010000001741" の定量 "6B01000000174101" とする) の結果 (OBX-5) としてペアで記載する。同一項目コードが菌数分、列挙されるので、OBX-4 Observation Sub-ID 検査サブ ID にて識別する。

```
MSH|^~&&|LIS|HIS||20210815190811||OUL^R22^OUL_R22|LTWMBOF00000006|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994
PID||1234567890^^^PI||ソウゴ^タロウ^^^^L^P~相互^太郎^^^^L^I||19700401|M||^105-
0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号|^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010
PV1|1|O|01^^^^^C|||||01
SPM|1|01201001991||001^尿(含むその
他)^JC10|||||202108151500|20210815190807|||||991^一般細菌滅菌スピッツ^99C01
SAC||01201001991|||||20100807000000
OBR|1|202108159002001|202108159912001|6A010000006170400^塗抹鏡検(一般細
菌)^JC10|||||202108151500|||||00000001^医師テスト
^^^^^^L^^^^^I|||||20210815190811||F
ORC|SC|202108159002001|202108159912001|A|||||20210815100000||00000001^医師テスト
^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C|||||01^内科^99R01|||||O
TQ1|1|||||202108151500||R
OBX|1|ST|6A010000006170414^塗抹鏡検(一般細菌)^JC10|1|白血球|||||F||R
OBX|2|ST|6A010000006170411^塗抹鏡検(一般細菌)^JC10|1|1+|||||F||R
OBX|3|ST|6A010000006170414^塗抹鏡検(一般細菌)^JC10|2|上皮細胞|||||F||R
OBX|4|ST|6A010000006170411^塗抹鏡検(一般細菌)^JC10|2|少量|||||F||R
OBX|5|ST|6A010000006170414^塗抹鏡検(一般細菌)^JC10|3|グラム陽性球菌|||||F||R
OBX|6|ST|6A010000006170411^塗抹鏡検(一般細菌)^JC10|3|1+|||||F||R
OBX|7|ST|6A010000006170414^塗抹鏡検(一般細菌)^JC10|4|グラム陽性桿菌|||||F||R
OBX|8|ST|6A010000006170411^塗抹鏡検(一般細菌)^JC10|4|少量|||||F||R
OBR|2|202108159002001|202108159912001|6B010000006174100^培養同定(一般細菌
^JC10|||||202108151500|||||00000001^医師テスト
^^^^^^L^^^^^I|||||20210815190811||F
ORC|SC|202108159002001|202108159912001|A|||||20210815100000||00000001^医師テスト
^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C|||||01^内科^99R01|||||O
TQ1|1|||||202108151500||R
OBX|1|CWE|6B010000000174114^培養同定(一般細菌)^JC10|1|1303^Staphylococcus aureus
(MRSA)^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1|||||F||R
OBX|2|ST|6B010000000174101^定量^JC10|1|3+|||||F||R
OBX|3|CWE|6B010000000174114^培養同定(一般細菌)^JC10|2|1111^Streptococcus
pyogenes^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1|||||F||R
OBX|4|ST|6B010000000174101^定量^JC10|2|-|||||F||R
OBX|5|CWE|6B010000000174114^培養同定(一般細菌)^JC10|3|1134^Streptococcus pneumoniae
(PSSP)^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1|||||F||R
OBX|6|ST|6B010000000174101^定量^JC10|3|2+|||||F||R
OBX|7|CWE|6B010000000174114^培養同定(一般細菌)^JC10|4|1114^Streptococcus
agalactiae^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1|||||F||R
OBX|8|ST|6B010000000174101^定量^JC10|4|1+|||||F||R
OBX|9|CWE|6B010000000174114^培養同定(一般細菌)^JC10|5|1101^α-
Streptococcus^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1|||||F||R
OBX|10|ST|6B010000000174101^定量^JC10|5|1+|||||F||R
OBX|11|CWE|6B010000000174114^培養同定(一般細菌)^JC10|6|6000^Corynebacterium
sp.^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1|||||F||R
OBX|12|ST|6B010000000174101^定量^JC10|6|少量|||||F||R
```

(4) 結果 (薬剤感受性)

同定菌に対して、薬剤名 (化療記号) を項目として、MIC、判定を結果として記載する。
検査結果の表現の際、複数種の同定菌で使用した薬剤を一行に並べて表現されることが多い。

培養同定菌種

①	Staphylococcus aureus (MRSA)		
③	Streptococcus pneumoniae (PSSP)		
④	Streptococcus agalactiae		

薬剤感受性結果

薬剤名 (化療記号)	コード	①		②		MIC	判定
		MIC	判定	MIC	判定		
IPC	016	>8	R	=2	S		S
PCG	001	>8	R	=1	S		S
CEZ	037	=8	R		S		S
CTRX	056	=4	R	<=0.2	S		S
CAZ	061	>8	R	=2	S		S

(3)の培養同定の結果に追記。

OBR は培養同定菌種ごとに記載する (上記のケースでは2つ)。項目は薬剤感受性検査(一般細菌) "6C20500006176200" を記載。OBR-26 親結果に「(3)結果 (培養・同定)」の検査項目コード、検査サブID、同定菌名を記載。

OBX には、OBR に記載されている菌種に対する薬剤 (化療記号) ごとに、OBX-5 に MIC 値、OBX-8 Abnormal Flags 異常フラグに判定 (使用者定義表 0078 Abnormal Flags 異常フラグ) を記載。

```
MSH|^~*&|LIS||HIS||20210815190813||OUL^R22^OUL_R22|LTWMBOF00000007|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994
PID|||1234567890^^^^PI||ソウゴ^タロウ^^^^L^P~相互^太郎^^^^L^I||19700401|M|||^^^^105-
0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号|^PRN^PH^^^^^^^^03-3506-8010
PV1|1|O|01^^^^^C|||||01
SPM|1|01201001991||001^尿(含むその
他)^JC10|||||202108151500|20210815190807|||||991^一般細菌滅菌スピッツ^99C01
SAC||01201001991||||20100807000000
OBR|1|202108159002001|202108159912001|6A010000006170400^塗抹鏡検(一般細
菌)^JC10|||202108151500|||||00000001^医師テスト
^^^^^^^^L^^^^^I|||||20210815190813|||F
ORC|SC|202108159002001|202108159912001||CM|||20210815100000||00000001^医師テスト
^^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^99R01|||||0
TQ1|1|||||202108151500||R
OBX|1|ST|6A0100000001704Z1^グラム陰性桿菌 (GNR)^JC10||3+|||||F||R
OBX|2|ST|6A0100000001704Z5^白血球^JC10||2+|||||F||R
OBR|2|202108159002001|202108159912001|6B010000006174100^培養同定(一般細菌
^JC10|||202108151500|||||00000001^医師テスト
^^^^^^^^L^^^^^I|||||20210815190813|||F
ORC|SC|202108159002001|202108159912001||CM|||20210815100000||00000001^医師テスト
^^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^99R01|||||0
TQ1|1|||||202108151500||R
OBX|1|CWE|6B010000000174114^培養同定(一般細菌)^JC10|1|2152^Enterobacter
aerogenes^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1|||||F||R
OBX|2|ST|6B010000000174101^定量^JC10|1|>=10E7|||||F||R
```

OBX|3|CWE|6B01000000174114^培養同定(一般細菌)^JC10|2|1201^Enterococcus faecalis^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1|||||F|R

OBX|4|ST|6B01000000174101^定量^JC10|2|10E5|||||F|R

OBX|5|CWE|6B01000000174114^培養同定(一般細菌)^JC10|3|7001^Candida albicans^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1|||||F|R

OBX|6|ST|6B01000000174101^定量^JC10|3|<=10E3|||||F|R

OBR|3|202108159002001|202108159912001|6C205000006176200^薬剤感受性検査(一般細菌)^JC10|||202108151500|||||||00000001^医師テスト
 ^^^^^L^^^^I|||||20210815190813|||F|6B01000000174214&培養同定(一般細菌)&JC10^1^Staphylococcus aureus (MRSA)|||10X210000047600^101022104559390

ORC|SC|202108159002001|202108159912001|CM|||20210815100000|||00000001^医師テスト
 ^^^^^L^^^^I|01^^^^C|||01^内科^99R01

TQ1|||||202108151500|R

OBX|1|ST|1216^ABPC^99JAD^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1|>8||R||F|R

OBX|2|ST|1201^PCG^99JAD^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1|>8||R||F|R

OBX|3|ST|1537^CEZ^99JAD^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1|=8||S||F|R

OBX|4|ST|1656^CTRX^99JAD^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1|=4||S||F|R

OBX|5|ST|1661^CAZ^99JAD^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1||S||F|R

OBR|4|202108159002001|202108159912001|6C205000006176200^薬剤感受性検査(一般細菌)^JC10|||202108151500|||||||00000001^医師テスト
 ^^^^^L^^^^I|||||20210815190813|||F|6B01000000174214&培養同定(一般細菌)&JC10^3^Streptococcus pneumoniae (PSSP)|||10X210000047600^101022104559390

ORC|SC|202108159002001|202108159912001|CM|||20210815100000|||00000001^医師テスト
 ^^^^^L^^^^I|01^^^^C|||01^内科^99R01

TQ1|||||202108151500|R

OBX|1|ST|1216^ABPC^99JAD^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1|=2||S||F|R

OBX|2|ST|1201^PCG^99JAD^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1|=1||S||F|R

OBX|3|ST|1537^CEZ^99JAD^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1||S||F|R

OBX|4|ST|1656^CTRX^99JAD^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1|<=0.24||S||F|R

OBX|5|ST|1661^CAZ^99JAD^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1||S||F|R

OBR|5|202108159002001|202108159912001|6C205000006176200^薬剤感受性検査(一般細菌)^JC10|||202108151500|||||||00000001^医師テスト
 ^^^^^L^^^^I|||||20210815190813|||F|6B01000000174214&培養同定(一般細菌)&JC10^4^Streptococcus agalactiae|||10X210000047600^101022104559390

OBX|1|ST|1216^ABPC^99JAD^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1||S||F|R

OBX|2|ST|1201^PCG^99JAD^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1||S||F|R

OBX|3|ST|1537^CEZ^99JAD^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1||S||F|R

OBX|4|ST|1656^CTRX^99JAD^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1||S||F|R

OBX|5|ST|1661^CAZ^99JAD^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1||S||F|R

抗酸菌

Step	項目	コード OBR-4/ OBX-3	Sub- ID OBX- 4	結果（定性、半定量）OBX-5 ／薬剤感受性（菌名）OBR- 26	判定 OBX-8	
(1)依頼（抗酸菌）	検査材料					
	喀痰	061				
	検査項目（OBX）					
	塗抹鏡検（抗酸菌）	6A2050000061718				
(2)塗抹結果	検査依頼（OBR）					
		6A205000006171800				
	検査項目（OBX）					
	チール・ネルゼン染色	6A20500000617111		2+		
	蛍光染色	6A205000006171811		3+		
(3)培養結果	検査依頼（OBR）					
	抗酸菌培養(小川培地法)	6B305000006174600				
	検査項目（OBX）					
	1週	抗酸菌培養(小川培地法)	6B305000006174611	1W	(-)	
	2週	抗酸菌培養(小川培地法)	6B305000006174611	2W	(-)	
	3週	抗酸菌培養(小川培地法)	6B305000006174611	3W	(-)	
	12週	抗酸菌培養(小川培地法)	6B305000006174611	12W	(+)	
(4)同定結果（核 酸）	検査依頼（OBR）					
	抗酸菌同定(ナイアシンテスト)	6B320000006178100				
	検査項目（OBX）					
	1菌目	抗酸菌同定(ナイアシンテスト)	6B320000006178114	1	6501^Micobacterium tuberculosis^ 99JIA^1.2.392.100495.10 .3.100.5.27.6.1	
	定量	6B320000006178101	1	10E5		
2菌目	抗酸菌同定(ナイアシンテスト)	6B320000006178114	2	6504^Micobacterium intlasellurae^ 99JIA^1.2.392.100495.10 .3.100.5.27.6.1		
	定量	6B320000006178101	2	>=10E7		
(5)薬剤感受性	1菌目	検査依頼（OBR）				
		薬剤感受性検査(抗酸菌)	6C105000006178100		6B320000008078114&抗酸菌同 定(ナイアシンテス ト)&JC10^1^Micobacterium tuberculosis	
		検査項目（OBX）	6C105****06178100 「****」は薬剤コード			
	薬剤1	SM	1811	1	20	S
	薬剤2	KM	1801	1	10	S
	薬剤3	INH	2801	1	0.2	R
	薬剤3	INH	2801	2	1	S
	2菌目	検査依頼（OBR）				
		薬剤感受性検査(抗酸菌)	6C105000006178100		6B320000008078114&抗酸菌同 定(ナイアシンテス ト)&JC10^2^Micobacterium intlasellurae	
		検査項目（OBX）				
薬剤1	SM	1811	1	20	S	
薬剤2	KM	1801	1	10	R	

(1) 依頼

喀痰の抗酸菌検査をオーダー。

査材料

痰	51
---	----

査依頼 (OBR)

抹鏡検 (抗酸菌)	2050000061718
-----------	---------------

```
MSH|^~\&|HIS||LIS||20210815142812||OML^O33^OML_O33|LTWMBOP00000001|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994
PID||1234567890^^^PI||ソウゴ^タロウ^^^^L^P~相互^太郎^^^^L^I||19700401|M||105-
0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号|^PRN^PH^^^^^^^03-3506-8010
PV1|1|O|01^^^^C|||||01
SPM|1|0000080011992||061^喀痰^JC10|||||||202108151500|||||||992^滅菌済喀痰処理容器
^99C01
ORC|NW|202108159002002|||||20210815100000||00000001^医師テスト
^^^^^^L^^^^^I|01^^^^C|||||01^内科^99R01|||||||O
TQ1|1|||||202108151500|R
OBR|1|202108159002002||6A2050000061718^塗抹鏡検 (抗酸菌)
^JC10||202108151500|||||||00000001^医師テスト^^^^^^L^^^^^I
```

(2) 結果 (塗抹)

抗酸菌染色結果を記載する。

検査依頼 (OBR)

塗抹鏡検 (抗酸菌)	6A205000006171800
------------	-------------------

検査項目 (OBX)

チール・ネルゼン染色	6A205000006171711	2+
蛍光染色	6A205000006171811	3+

OBR に塗抹鏡検(抗酸菌)" 6A205000006171800" を記載。

OBX に塗抹染色した定性結果を記載。

```
MSH|^~\&|LIS||HIS||20210815192046||OUL^R22^OUL_R22|LTWMBOP00000005|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994
PID||1234567890^^^PI||ソウゴ^タロウ^^^^L^P~相互^太郎^^^^L^I||19700401|M||105-
0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号|^PRN^PH^^^^^^^03-3506-8010
PV1|1|O|01^^^^C|||||01
SPM|1|01201001992||061^喀痰^JC10|||||||202108151500|20100807|||||||992^滅菌済喀痰処
理容器^99C01
SAC||01201001992|||||20100807000000
OBR|1|202108159002002|202108159922002|6A205000006171800^塗抹鏡検 (抗酸
菌)^JC10||202108151500|||||||00000001^医師テスト^^^^^^L^^^^^I
ORC|SC|202108159002002|202108159922002||A|||||20210815100000||00000001^医師テスト
^^^^^^L^^^^^I|01^^^^C|||||01^内科^99R01|||||||O
TQ1|1|||||202108151500|R
OBX|1|ST|6A205000006171711^チール・ネルゼン染色^JC10||2+||R||F||R
OBX|2|ST|6A205000006171811^蛍光染色^JC10||3+||R||F||R
```

(3) 結果 (培養)

抗酸菌分離培養検査結果として、各週ごとの結果を記載する。

検査依頼 (OBR)

抗酸菌培養 (小川培地法)	6B305000006174600
---------------	-------------------

検査項目 (OBX)

検査項目 (OBX)	週数	菌量
抗酸菌培養 (小川培地法) 6B305000006174611	1 週	1W (-)
	2 週	2W (-)
	3 週	3W (-)
	12 週	12W (+)

(2)の塗抹結果に培養結果を追記する。

OBR に抗酸菌培養 (小川培地法) "6B305000006174600" を記載。

OBX に抗酸菌培養 (小川培地法) "6B305000006174611" の判定結果を記載。週毎の結果が必要となるため、OBX-4 に週数を記載して区別する。

```
MSH|^~&|LIS||HIS||20210815192049||OUL^R22^OUL_R22|LTWMBOF00000006|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994
PID||1234567890^^^PI||ソウゴ^タロウ^^^^L^P~相互^太郎^^^^L^I||19700401|M||105-
0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号|^PRN^PH^^^^^^^^03-3506-8010
PV1|1|O|01^^^^C|||||01
SPM|1|01201001992||061^喀痰^JC10|||||||202108151500|20100807||||||992^滅菌済喀痰処
理容器^99C01
SAC||01201001992|||20100807000000
OBR|1|202108159002002|202108159922002|6A205000006171800^塗抹鏡検(抗酸
菌)^JC10|||202108151500||||||00000001^医師テスト^^^^^^L^^^^I
ORC|SC|202108159002002|202108159922002||A|||20210815100000||00000001^医師テスト
^^^^^^L^^^^I|01^^^^C|||01^内科^99R01|||||||O
TQ1|1|||||202108151500||R
OBX|1|ST|6A205000006171711^チール・ネルゼン染色^JC10||2+||R||F||R
OBX|2|ST|6A205000006171811^蛍光染色^JC10||3+||R||F||R
OBR|2|202108159002002|202108159922002|6B305000006174600^抗酸菌培養(小川培地
法)^JC10|||202108151500||||||00000001^医師テスト^^^^^^L^^^^I|||||F
ORC|SC|202108159002002|202108159922002||A|||20210815100000||00000001^医師テスト
^^^^^^L^^^^I|01^^^^C|||01^内科^99R01|||||||O
TQ1|1|||||202108151500||R
OBX|1|ST|6B305000006174611^抗酸菌培養(小川培地法)^JC10|1W|(-)|||||F||R|20100813
OBX|2|ST|6B305000006174611^抗酸菌培養(小川培地法)^JC10|2W|(-)|||||F||R|20100820
OBX|3|ST|6B305000006174611^抗酸菌培養(小川培地法)^JC10|4W|(-)|||||F||R|20100827
OBX|4|ST|6B305000006174611^抗酸菌培養(小川培地法)^JC10|8W|(+)|||||F||R|20101029
```

(4) 結果 (同定)

抗酸菌同定検査した菌種の菌量を記載する。

検査依頼
(OBR)

抗酸菌同定(ナイアシンテスト)	6B32000006178100
-----------------	------------------

検査項目
(OBX)

菌数	同定菌 (OBX-5)	菌量 (OBX-5)
菌目	501^Micobacterium tuberculosis^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1	10E5
2 菌目	2 504^Micobacterium intlasellurae^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1	>=10E7

(3)の培養結果に同定結果を追記する。

OBRに抗酸菌同定(ナイアシンテスト)"6B32000006178100"

同定した菌名と定量値を、2つのOBX(抗酸菌同定(ナイアシンテスト)"6B32000006178114"と定量"6B32000006178101")をペアで記載する。同一項目コードが菌名分列挙されるので、OBX-4 Observation Sub-ID 検査サブIDにて識別する。

```
MSH|^~*%&|LIS||HIS||20210815192051||OUL^R22^OUL_R22|LTWMBOF00000007|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994
PID||1234567890^^^PI||ソゴ^タロウ^^^^L^P~相互^太郎^^^^L^I||19700401|M||105-
0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号|^PRN^PH^^^^^^03-3506-8010
PV1|1|O|01^^^^^C|||||01
SPM|1|01201001992||061^喀痰^JC10|||||202108151500|20100807|||||992^滅菌済喀痰処
理容器^99C01
SAC||01201001992|||20100807000000
OBR|1|202108159002002|202108159922002|6A205000006171800^塗抹鏡検(抗酸
菌)^JC10||202108151500|||||00000001^医師テスト^^^^^^L^^^^^I
ORC|SC|202108159002002|202108159922002||A|||20210815100000||00000001^医師テスト
^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||||O
TQ1|1|||||202108151500||R
OBX|1|ST|6A205000006171711^チール・ネルゼン染色^JC10||2+||R||F||R
OBX|2|ST|6A205000006171811^蛍光染色^JC10||3+||R||F||R
OBR|2|202108159002002|202108159922002|6B305000006174600^抗酸菌培養(小川培地
法)^JC10||202108151500|||||00000001^医師テスト^^^^^^L^^^^^I|||||F
ORC|SC|202108159002002|202108159922002||A|||20210815100000||00000001^医師テスト
^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C|||01^内科^JSHR|||||O
TQ1|1|||||202108151500||R
OBX|1|ST|6B305000006174611^抗酸菌培養(小川培地法)^JC10|1W|(-)|||F||R|20100813
OBX|2|ST|6B305000006174611^抗酸菌培養(小川培地法)^JC10|2W|(-)|||F||R|20100820
OBX|3|ST|6B305000006174611^抗酸菌培養(小川培地法)^JC10|3W|(-)|||F||R|20100827
OBX|4|ST|6B305000006174611^抗酸菌培養(小川培地法)^JC10|12W|(+)||||F||R|20101029
OBR|3|202108159002002|202108159922002|6B32000006178100^抗酸菌同定(ナイアシンテス
ト)^JC10||202108151500|||||00000001^医師テスト^^^^^^L^^^^^I|||||F
ORC|SC|202108159002002|202108159922002||A|||20210815100000||00000001^医師テスト
^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C|||01^内科^JSHR|||||O
TQ1|1|||||202108151500||R
OBX|1|CWE|6B32000006178114^抗酸菌同定(ナイアシンテスト)^JC10|1|6501^Micobacterium
tuberculosis^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1|||||F||R|20100903
OBX|2|ST|6B32000006178101^定量^JC10|1|10E5|||||F||R|20100903
OBX|3|CWE|6B32000006178114^抗酸菌同定(ナイアシンテスト)^JC10|2|6504^Micobacterium
intlasellurae^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1|||||F||R|20100903
```


(5) 結果 (薬剤感受性)

同定菌に対し、薬剤名を項目として、濃度、判定を結果として記載する。同一項目で異なる濃度の判定は、列を右側に追加して表現されることが多い。

1 菌目

			濃度 1		2 濃度	
	薬剤名	コード	濃度	判定	濃度	判定
剤 1		311	20	S		
薬剤 2	KM	301	10	S		
薬剤 3	INH	301	0.2	R	1	S

2 菌目

			1 濃度		2 濃度	
	薬剤名	コード	濃度	判定	濃度	判定
剤 1		311	20	S		
薬剤 2	KM	301	10	R		

(4)の同定結果に、薬剤感受性の結果を追記する。

OBR に薬剤感受性検査(抗酸菌)" 6C105000006178100"を記載。

OBR-26 親結果に「(3)結果 (同定)」の検査項目コード、検査サブ ID、同定菌名を記載し、以下の OBX に項目を薬剤とし、OBX-5 に値、OBX-8 Abnormal Flags 異常フラグに判定 (使用者定義表 0078 Abnormal Flags 異常フラグ) を記載。

```
MSH|^~\&|LIS||HIS||20210815192053||OUL^R22^OUL_R22|LTWMBOF00000008|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994
PID||1234567890^^^PI||ソウゴ^タロウ^L^P~相互^太郎^L^I||19700401|M||105-
0004^^H^東京都港区新橋 2 丁目 5 番 5 号|^PRN^PH^^^^^^03-3506-8010
PV1|1|O|01^^^C|||||01
SPM|1|01201001992||061^喀痰^JC10|||||||202108151500|20100807||||||992^滅菌済喀痰処
理容器^99C01
SAC||01201001992|||20100807000000
OBR|1|202108159002002|202108159922002|6A205000006171800^塗抹鏡検(抗酸
菌)^JC10||202108151500||||||00000001^医師テスト^^^^^^L^^^^^I
ORC|SC|202108159002002|202108159922002||CM|||20210815100000||00000001^医師テスト
^^^^^^L^^^^^I|01^^^C|||01^内科^99R01|||||||O
TQ1|1|||||202108151500||R
OBX|1|ST|6A205000006171711^チール・ネルゼン染色^JC10||2+||R||F||R
OBX|2|ST|6A205000006171811^蛍光染色^JC10||3+||R||F||R
OBR|2|202108159002002|202108159922002|6B305000006174600^抗酸菌培養(小川培地
法)^JC10||202108151500||||||00000001^医師テスト^^^^^^L^^^^^I||||||F
ORC|SC|202108159002002|202108159922002||CM|||20210815100000||00000001^医師テスト
^^^^^^L^^^^^I|01^^^C|||01^内科^99R01|||||||O
TQ1|1|||||202108151500||R
OBX|1|ST|6B305000006174611^抗酸菌培養(小川培地法)^JC10|1W|(-)|||||F||R|20100813
OBX|2|ST|6B305000006174611^抗酸菌培養(小川培地法)^JC10|2W|(-)|||||F||R|20100820
OBX|3|ST|6B305000006174611^抗酸菌培養(小川培地法)^JC10|3W|(-)|||||F||R|20100827
OBX|4|ST|6B305000006174611^抗酸菌培養(小川培地法)^JC10|12W|(+)|||||F||R|20101029
OBR|3|202108159002002|202108159922002|6B320000006178100^抗酸菌同定(ナイアシンテス
ト)^JC10||202108151500||||||00000001^医師テスト^^^^^^L^^^^^I||||||F
```

ORC|SC|202108159002002|202108159922002||CM||||20210815100000||00000001^医師テスト
 ^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^99R01|||||||O
 TQ1|1|||||202108151500||R
 OBX|1|CWE|6B320000006178114^抗酸菌同定(ナイアシンテスト)^JC10|1|6501^Micobacterium
 tuberculosis^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1|||||F||R|20100903
 OBX|2|ST|6B320000006178101^定量^JC10|1|10E5|||||F||R|20100903
 OBX|3|CWE|6B320000006178114^抗酸菌同定(ナイアシンテスト)^JC10|2|6504^Micobacterium
 intlasellurae^99JIA^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.27.6.1|||||F||R|20100903
 OBX|4|ST|6B320000006178101^定量^JC10|2|>=10E7|||||F||R|20100903
 OBR|4|202108159002002|202108159922002|6C105000006178100^薬剤感受性検査(抗酸
 菌)^JC10||||202108151500|||||||00000001^医師テスト
 ^^^^^^^L^^^^^I|||||||F|6B320000008078114&抗酸菌同定(ナイアシンテス
 ト)&JC10^1^Micobacterium tuberculosis
 ORC|SC|202108159002002|202108159922002||CM||||20210815100000||00000001^医師テスト
 ^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^99R01|||||||O
 TQ1|1|||||202108151500||R
 OBX|1|ST|1811^SM(ストレプトマイシン)^99JAD
 ^^^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1|20|^μg/ml||S||F||R
 OBX|2|ST|1801^KM(カナマイシン)^99JAD^^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1|10|^μ
 g/ml||S||F||R
 OBX|3|ST|2801^INH(イソニアジド)^99JAD
 ^^^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1|0.2|^μg/ml||R||F||R
 OBX|4|ST|2801^INH(イソニアジド)^99JAD
 ^^^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|2|1.0|^μg/ml||S||F||R
 OBR|5|202108159002002|202108159922002|6C105000006178100^薬剤感受性検査(抗酸
 菌)^JC10||||202108151500|||||||00000001^医師テスト
 ^^^^^^^L^^^^^I|||||||F|6B320000008078114&抗酸菌同定(ナイアシンテス
 ト)&JC10^2^Micobacterium intlasellurae
 ORC|SC|202108159002002|202108159922002||CM||||20210815100000||00000001^医師テスト
 ^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^99R01|||||||O
 TQ1|1|||||202108151500||R
 OBX|1|ST|1811^SM(ストレプトマイシン)^99JAD
 ^^^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1|20|^μg/ml||S||F||R
 OBX|2|ST|1801^KM(カナマイシン)^99JAD^^^^^^1.2.392.100495.10.3.100.5.11.5.2|1|10|^μ
 g/ml||R||F||R

7. 前回値のある検査依頼

前回値のある検査依頼

MSH|^~¥&|LIS|IHE-J^AM|ANA|IHE-
 J^LD|20150205140657||OML^O33^OML_O33|20150205140657|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-
 1994<cr>
 PID||0000000101^^^^PI||田中^一^郎^^^^L^I~タナカ^イ^チロウ^^^^L^P||19630926|M<cr>
 PV1|1|O|01^^^^^C<cr>
 SPM|1|02052001001||023^血清^JC10|||||||20150202000000|20150205140317|||||||001^生
 化学^99C01<cr>
 SAC||02052001001|||20150205140657<cr>
 ORC|NW|02052001001|||||20150205140657||0001^山田^三^郎^^^^L^^^^I~^ヤマダ^サ^ブ^ロウ
 ^^^^^L^^^^P|01^^^^^C||||01^内科^99R01|||||||O<cr>
 TQ1|1|||||20150205||R<cr>
 OBR|1|20150205000001||3A016000002327102^A/G比^JC10||201502022000|20150202000000|||||201
 50202000000||0001^山田^三^郎^^^^L^^^^I~^ヤマダ^サ^ブ^ロウ^^^^L^^^^P|||||2015020514
 0657<cr>
 OBX|1||3A016000002327102^A/G比^JC10|||||||O<cr>
 OBX|2||3A0100000023271^総タンパク(TP)^JC10|||||||O<cr>
 OBX|3||3A0150000023271^アルブミン(ALB)^JC10|||||||O<cr>
 PV1|2|O|01^^^^^C<cr>
 ORC|PR|02012001001||CM||||20150201123541||0001^山田^三^郎^^^^L^^^^I~^ヤマダ^サ^ブ^ロウ

```

^^^^^^L^^^^P|01^^^^C||||01^内科|||||||O<cr>
OBR|2|20150201000001||3A016000002327102^A/G比^JC10||201502011000|20150201000000|||||201
50201000000||0001^山田^三郎^^^^^^L^^^^I~^ヤマダ^サブロウ^^^^^^L^^^^P|||||2015020111
0547|||F<cr>
OBX|1|NM|3A016000002327102^A/G比^JC10||1.7||1.2-2.0||||F||R|20151101123500|01^技師1^99S01
||||20151101123500<cr>
OBX|2|NM|3A010000002327101^総タンパク(TP)^JC10||7.2|1^g/dL^99U01|6.70-8.3||||F||R|20150201
121500|01^技師1^99S01||||20150201121500<cr>
OBX|3|NM|3A015000002327101^アルブミン(ALB)^JC10||4.9|1^g/dL^99U01|3.7-5.5||||F||R|20150201
121500|01^技師1^99S01||||20150201121500<cr>

```

注) オーダと前回値のグループを分離するために、オーダグループの後ろにPV1セグメントを挿入する。

8. LIS/LAS と自動分析装置の検査依頼情報照会メッセージ～検査結果メッセージの例

(1) 自動分析装置から LIS/LAS へ検査依頼情報を照会する。

(a) 採血管ID、キャリアID・キャリア内位置を検索条件に指定する場合

採血管 ID(SAC-3)が 123456789、キャリア ID(SAC-10)が 100、キャリア内位置(SAC-11)が 98 を検索条件に設定して問い合わせる。

```

MSH|^~%&|LD|IHE-J^LD|LIS|IHE-
J^AM|20151012170824||QBP^WOS^QBP_Q11|20151012170824|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-
1994<cr>
QPD|WOS^Work Order Step^IHE_LABTF|20151012170824|123456789||100|98<cr>
RCP|I|1^RD|R<cr>

```

IHE PaLM LAW プロファイル仕様では、検査依頼情報の照会はオプションである。

「採血管 ID」、及び「キャリア ID・キャリア内位置」は、いずれかを検索条件に設定して問い合わせる。尚、LAW プロファイルは国際的な相互運用性を鑑みて、MSH-18は「UNICODE UTF-8」を規定値にしている。文字セットの範囲等については関係者で確認する事を推奨する。

(b) 採血管IDを検索条件に指定する場合

```

MSH|^~%&|Analyzer|Laboratory|LIS|Laboratory|20231027144510||QBP^Q11^QBP_Q11|mn768|P|2.
5||||NE|AL||UNICODE UTF-8||LAB-27^IHE<cr>
QPD|WOS^Work Order Step^IHELAW|20231027144510|123456789<cr>
RCP|I||R^Real Time^HL70394<cr>

```

(c) キャリアID・キャリア内位置を検索条件に指定する場合

```

MSH|^~%&|Analyzer|Laboratory|LIS|Laboratory|20231027144510||QBP^Q11^QBP_Q11|mn768|P|2.
5||||NE|AL||UNICODE UTF-8||LAB-27^IHE<cr>
QPD|WOS_BY_RACK^Work Order Step by Rack^IHELAW|20231027144510||100|98<cr>
RCP|I||R^Real Time^HL70394<cr>

```

(2) LIS/LAS から自動分析装置へ検査依頼情報の有無を応答する。

IHE PaLM LAW プロファイル仕様でのみ、検査依頼情報の有無を応答可能である。

(a) (1)-(b)のQBP^Q11メッセージの照会に対して、検査依頼情報有りと応答する場合

```

MSH|^~%&|Analyzer|Laboratory|LIS|Laboratory|20231027144511||RSP^K11^RSP_K11|mn769|P|2.
5||||NE|AL||UNICODE UTF-8||LAB-27^IHE<cr>
MSA|AA|mn768<cr>
QAK|20231027144510|OK|WOS^Work Order Step^IHELAW<cr>
QPD|WOS^Work Order Step^IHELAW|20231027144510|123456789<cr>

```

(b) (1)-(b)のQBP^Q11メッセージの照会に対して、検査依頼情報無しと応答する場合

```
MSH|^~\&|Analyzer|Laboratory|LIS|Laboratory|20231027144511||RSP^K11^RSP_K11|mn769|P|2.5||NE|AL||UNICODE UTF-8||LAB-27^IHE<cr>
MSA|AA|mn768<cr>
QAK|20231027144510|OK|WOS^Work Order Step^IHELAW<cr>
QPD|WOS^Work Order Step^IHELAW|20231027144510|123456789<cr>
```

(3) LIS/LAS から自動分析装置へ検査依頼情報を回答する。

(a) (1)-(a)のQBP^WOSメッセージの照会に対して回答する場合

QBP^WOS メッセージの応答として、RSP^WOS 形式のメッセージにより回答を行う。

```
MSH|^~\&|LIS|IHE-J^AM|LD|IHE-J^LD|20151012170950||RSP^WOS^RSP_K11|20151012170950|P|2.5||
||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
MSA|AA|20151012170824<cr>
QAK|Q001|OK|WOS^Work Order Step^IHE_LABTF|1<cr>
QPD|WOS^Work Order Step^IHE_LABTF|20151012170824|^&&123456789|123456789|100|98<cr>
SPM|1||123456789||023^血清^JC10|||||201510120000|20151012165011|||||001^生化学
^99C01<cr>
PID||0000000101^^^PI||YAMADA^TARO^^^L^A~山田^太郎^^^L^I~ヤマダ^タロウ
^^^L^P||196303241225|M<cr>
ORC|NW|20151012000001|||||20151012170950|||10001^鈴木^次郎^^^L^^^I~スズキ^ジロウ
^^^L^^^P|01^^^C||||01^内科^99R01|||||O<cr>
TQ1|1|||||201510121630||R<cr>
OBR|1|20151012000001|006^CRP^99I01|||201510120000|||||20151012165011||10001^鈴木^次郎
^^^L^^^I~スズキ^ジロウ^^^L^^^P|||||20151012170950<cr>
ORC|NW|20151012000001|||||20151012170950|||10001^鈴木^次郎^^^L^^^I~スズキ^ジロウ
^^^L^^^P|01^^^C||||01^内科^99R01|||||O<cr>
TQ1|1|||||201510121630||R<cr>
OBR|2|20151012000001|004^γ-GTP^99I01|||201510120000|||||20151012165011||10001^鈴木^次郎
^^^L^^^I~スズキ^ジロウ^^^L^^^P|||||20151012170950<cr>
ORC|NW|20151012000001|||||20151012170950|||10001^鈴木^次郎^^^L^^^I~スズキ^ジロウ
^^^L^^^P|01^^^C||||01^内科^99R01|||||O<cr>
TQ1|1|||||201510121630||R<cr>
OBR|3|20151012000001|003^ALT^99I01|||201510120000|||||20151012165011||10001^鈴木^次郎
^^^L^^^I~スズキ^ジロウ^^^L^^^P|||||20151012170950<cr>
ORC|NW|20151012000001|||||20151012170950|||10001^鈴木^次郎^^^L^^^I~スズキ^ジロウ
^^^L^^^P|01^^^C||||01^内科^99R01|||||O<cr>
TQ1|1|||||201510121630||R<cr>
OBR|4|20151012000001|002^AST^99I01|||201510120000|||||20151012165011||10001^鈴木^次郎
^^^L^^^I~スズキ^ジロウ^^^L^^^P|||||20151012170950<cr>
ORC|NW|20151012000001|||||20151012170950|||10001^鈴木^次郎^^^L^^^I~スズキ^ジロウ
^^^L^^^P|01^^^C||||01^内科^99R01|||||O<cr>
TQ1|1|||||201510121630||R<cr>
OBR|5|20151012000001|001^総蛋白^99I01|||201510120000|||||20151012165011||10001^鈴木^次郎
^^^L^^^I~スズキ^ジロウ^^^L^^^P|||||20151012170950<cr>
```

(b) (1)-(b)のQBP^Q11メッセージの照会に対して回答する場合

IHE PaLM LAW プロファイル仕様では、(2)-(a)のRSP^K11 メッセージにより検査依頼情報有り と応答した後、OML^O33 形式のメッセージにて検査依頼情報の回答を行う。以下に回答例を示す。

```
MSH|^~\&|LIS|Laboratory|Analyzer|Laboratory|20231027143656||OML^O33^OML_O33|mn770|P|2.5||
|NE|AL||UNICODE UTF-8||LAB-28^IHE<cr>
PID||0000000101||YAMADA^TARO^^^L^A~山田^太郎^^^L^I~ヤマダ^タロウ
^^^L^P||19630324|M<cr>
PV1||O|01<cr>
SPM|1||023^血清^JC10|||||P^Patient specimen^HL70369|||||20231027<cr>
SAC||123456789<cr>
ORC|NW|||||20231027143656<cr>
```

```

TQ1|1|1|1|1|1|1|1|R<cr>
OBR|1|20231027000001||006^CRP^99I01|1|1|1|1|1|1|1|1|10001^鈴木^次郎^^^^^^L^^^^^I~^スズキ^ジロウ
^^^^^^L^^^^^P<cr>
ORC|NW|1|1|1|1|1|1|1|1|20231027143656<cr>
TQ1|1|1|1|1|1|1|1|R<cr>
OBR|2|20231027000001||004^γ-GTP^99I01|1|1|1|1|1|1|1|1|10001^鈴木^次郎^^^^^^L^^^^^I~^スズキ^ジロウ
ウ^^^^^^L^^^^^P<cr>
ORC|NW|1|1|1|1|1|1|1|1|20231027143656<cr>
TQ1|1|1|1|1|1|1|1|R<cr>
OBR|3|20231027000001||003^ALT^99I01|1|1|1|1|1|1|1|1|10001^鈴木^次郎^^^^^^L^^^^^I~^スズキ^ジロウ
^^^^^^L^^^^^P<cr>
ORC|NW|1|1|1|1|1|1|1|1|20231027143656<cr>
TQ1|1|1|1|1|1|1|1|R<cr>
OBR|4|20231027000001||002^AST^99I01|1|1|1|1|1|1|1|1|10001^鈴木^次郎^^^^^^L^^^^^I~^スズキ^ジロウ
^^^^^^L^^^^^P<cr>
ORC|NW|1|1|1|1|1|1|1|1|20231027143656<cr>
TQ1|1|1|1|1|1|1|1|R<cr>
OBR|5|20231027000001||001^総蛋白^99I01|1|1|1|1|1|1|1|1|10001^鈴木^次郎^^^^^^L^^^^^I~^スズキ^ジロウ
ウ^^^^^^L^^^^^P<cr>

```

(4) 自動分析装置から LIS/LAS へ検体検査結果を送信する。

(3)-(a)の RSP^WOS メッセージ形式の検査依頼情報に対する自動分析装置の検査結果を OUL^R22 形式のメッセージで送信する。

```

MSH|^~#&|LD|IHE-J^LD|LIS|IHE-
J^AM|20151012171021||OUL^R22^OUL_R22|20151012171021|P|2.5|1|1|1|1|1|1|~ISO IR87||ISO 2022-
1994<cr>
PID||0000000101^^^^PI||YAMADA^TARO^^^^L^A~山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ
^^^^L^P||196303241225|M<cr>
SPM|1|123456789||023^血清^JC10|1|1|1|1|1|1|1|1|201510120000|20151012165011|1|1|1|1|1|1|001^生化学
^99C01<cr>
SAC||123456789||1|20151012171021<cr>
OBR|1|20151012000001|20151012000001|006^CRP^99I01|1|1|1|1|1|1|1|1|20151012165011||10
001^鈴木^次郎^^^^^^L^^^^^I~^スズキ^ジロウ^^^^^^L^^^^^P|1|1|1|1|1|1|20151012170950<cr>
ORC|SC|20151012000001||CM||1|20151012170950||10001^鈴木^次郎^^^^^^L^^^^^I~^スズキ^ジロウ
^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C||1|01^内科^99R01|1|1|1|1|1|1|1|1|1|0<cr>
TQ1|1|1|1|1|1|1|1|201510121630||R<cr>
OBX|1|NM|006^CRP^99I01||0.12|mg/dL|<=^0.14|1|1|1|1|1|1|1|1|F|R|20151012163034|01^技師1
^99S01|1|1|1|1|1|1|1|1|20151012163034<cr>
OBR|2|20151012000001|20151012000001|004^γ-
GTP^99I01|1|1|1|1|1|1|1|1|20151012165011||10001^鈴木^次郎^^^^^^L^^^^^I~^スズキ^ジ
ロウ^^^^^^L^^^^^P|1|1|1|1|1|1|1|1|20151012170950<cr>
ORC|SC|20151012000001||CM||1|20151012170950||10001^鈴木^次郎^^^^^^L^^^^^I~^スズキ^ジロウ
^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C||1|01^内科^99R01|1|1|1|1|1|1|1|1|1|0<cr>
TQ1|1|1|1|1|1|1|1|201510121630||R<cr>
OBX|1|NM|004^γ-GTP^99I01||37|U/L|<=^80|1|1|1|1|1|1|1|1|F|R|20151012163034|01^技師1
^99S01|1|1|1|1|1|1|1|1|20151012163034<cr>
OBR|3|20151012000001|20151012000001|003^ALT^99I01|1|1|1|1|1|1|1|1|20151012165011||10
001^鈴木^次郎^^^^^^L^^^^^I~^スズキ^ジロウ^^^^^^L^^^^^P|1|1|1|1|1|1|20151012170950<cr>
ORC|SC|20151012000001||CM||1|20151012170950||10001^鈴木^次郎^^^^^^L^^^^^I~^スズキ^ジロウ
^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C||1|01^内科^99R01|1|1|1|1|1|1|1|1|1|0<cr>
TQ1|1|1|1|1|1|1|1|201510121630||R<cr>
OBX|1|NM|003^ALT^99I01||20|U/L|5-40|1|1|1|1|1|1|1|1|F|R|20151012163034|01^技師1
^99S01|1|1|1|1|1|1|1|1|20151012163034<cr>
OBR|4|20151012000001|20151012000001|002^AST^99I01|1|1|1|1|1|1|1|1|20151012165011||10
001^鈴木^次郎^^^^^^L^^^^^I~^スズキ^ジロウ^^^^^^L^^^^^P|1|1|1|1|1|1|20151012170950<cr>
ORC|SC|20151012000001||CM||1|20151012170950||10001^鈴木^次郎^^^^^^L^^^^^I~^スズキ^ジロウ
^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C||1|01^内科^99R01|1|1|1|1|1|1|1|1|1|0<cr>
TQ1|1|1|1|1|1|1|1|201510121630||R<cr>

```

```

OBX|1|NM|002^AST^99I01||18|U/L|10-40|||F|R|20151012163034|01^技師1
^99S01|||20151012163034<cr>
OBR|5|20151012000001|20151012000001|001^総蛋白
^99I01|||201510120000|||20151012165011||10001^鈴木^次郎^^^^^^L^^^^I~^スズキ^ジロウ
^^^^^^L^^^^P|||20151012170950<cr>
ORC|SC|20151012000001||CM|||20151012170950|||10001^鈴木^次郎^^^^^^L^^^^I~^スズキ^ジロウ
^^^^^^L^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||O<cr>
TQ1|1|||201510121630||R<cr>
OBX|1|NM|001^総蛋白^99I01||6.9|g/dL|6.7-8.3|||F|R|20151012163034|01^技師1
^99S01|||20151012163034<cr>

```

IHE PaLM LAW プロファイル仕様では、(3)-(b)の OML^O33 メッセージ形式の検査依頼情報に対する自動分析装置の検査結果を OUL^R22 形式のメッセージで送信する。

```

MSH|^~¥&|Analyzer|Laboratory|LIS|Laboratory|20231027144512||OUL^R22^OUL_R22|mn771|P|2.5||
|NE|AL||UNICODE UTF-8||LAB-29^IHE<cr>
PID|||0000000101||YAMADA^TARO^^^^^L^A~山田^太郎^^^^^L^I~ヤマダ^タロウ
^^^^^L^P||19630324|M<cr>
PV1||O|01<cr>
SPM|1|123456789||023^血清^JC10|||P^HL70369|||20231027<cr>
SAC|||123456789<cr>
OBR|1|20231027000001||006^CRP^99I01<cr>
ORC|SC|||CM<cr>
TQ1|1|||R<cr>
OBX|1|NM|006^CRP^99I01|1^1|0.12|mg/dL|<=^0.14|||F|||Operator|Analyzer|
20231027144323|||RSLT<cr>
OBR|2|20231027000001||004^γ-GTP^99I01<cr>
ORC|SC|||CM<cr>
TQ1|1|||R<cr>
OBX|1|NM|004^γ-GTP^99I01|1^1|37|U/L|<=^80|||F|||Operator|Analyzer|
20231027144323|||RSLT<cr>
OBR|3|20231027000001||003^ALT^99I01<cr>
ORC|SC|||CM<cr>
TQ1|1|||R<cr>
OBX|1|NM|003^ALT^99I01|1^1|20|U/L|5-40|||F|||Operator|Analyzer|
20231027144323|||RSLT<cr>
OBR|4|20231027000001||002^AST^99I01<cr>
ORC|SC|||CM<cr>
TQ1|1|||R<cr>
OBX|1|NM|002^AST^99I01|1^1|18|U/L|10-40|||F|||Operator|Analyzer|
20231027144323|||RSLT<cr>
OBR|5|20231027000001||001^総蛋白^99I01<cr>
ORC|SC|||CM<cr>
TQ1|1|||R<cr>
OBX|1|NM|001^総蛋白^99I01|1^1|6.9|g/dL|6.7-8.3|||F|||Operator|Analyzer|
20231027144323|||RSLT<cr>

```

注) LAW プロファイルでは OBX-4 (Observation Sub-ID 検査サブ ID) に HL7 Ver.2.9 で拡張された OG 型 (observation grouper) を採用している。

成分:<Original Sub-Identifier (ST)> ^ <Group (NM)> ^ <Sequence (NM)> ^ <Identifier (ST)>

詳細は IHE PaLM Technical Framework および HL7 Ver.2.9 を参照。

9. 自動化装置ステータス更新メッセージの例

(1) 生化学分析装置（装置 ID=0001）から LAS へ検体ステータス情報を送信する。

生化学分析装置（装置 ID=0001）が血液を載せた分注採取管（id=092321A）を「認識」している事を LAS へ送信。この採取管は 5 本キャリア（id=120）の 1 番目にあり、（このキャリアは）input buffer 1 にある。

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-  
J^AM|20150630080040||SSU^U03^SSU_U03|20150630080040|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-  
1994<cr>  
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>  
SAC|||092321A^LAS|||20150620080037|I|R05|120|1|||IB1^INPUT_BUFFER_1<cr>  
SPM|1|092321A||023^血清^JC10|||||20150630000000|20150630075040|||||001^容器  
001^99C01<cr>
```

(2) 前処理装置（装置 ID=0001）から LAS へ検体ステータス情報を送信する。

前処理装置 0001 が仕分け分注操作を行った。（図 14 検体ステータス更新の参考図 参照）output buffer1 にあった、2 番目の位置に親採取管（id=12345）があるキャリア（id=2002）は、output tray（id=A1203）の 4 番目のポジションに移動した。分注採取管（id=12345A）は可搬キャリア id=045）の 3 行 2 列目に仕分けされた。このキャリアは仕分け架台の 4 番目である。

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-  
J^AM|20150630080040||SSU^U03^SSU_U03|20150630080040|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-  
1994<cr>  
EQU|0001^AQS|20150630080043|OP<cr>  
SAC|||12345^LAS|||20150620080039|R^COMPLETED|R03|2002|2|OT^OUTPUT_TRAY|A1203^AQSTRAY|4|O  
B1^OUTPUT_BUFFER_1<cr>  
SPM|1|12345||023^血清^JC10|||||20150630000000|20150630075040|||||001^容器  
001^99C01<cr>  
SAC|||12345A^LAS|12345^LAS|||20150620080039|R^COMPLETED|R14|045|3^2|||4|||||2|0.5||mL<c  
r>  
SPM|1|12345A||023^血清^JC10|||||20150630000000|20150630075040|||||101^分注容器  
101^99C01<cr>
```

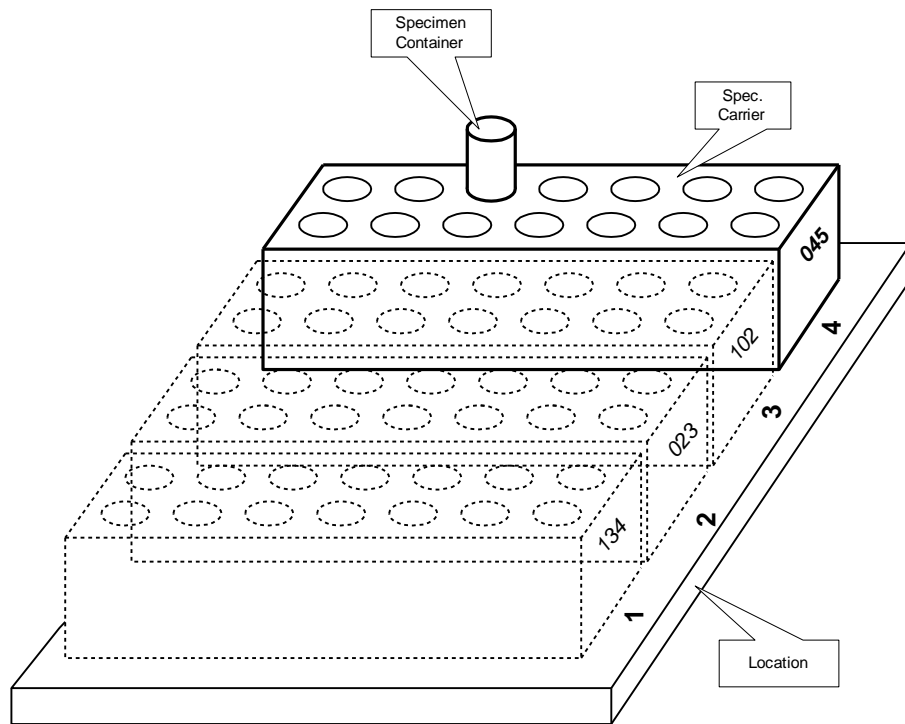
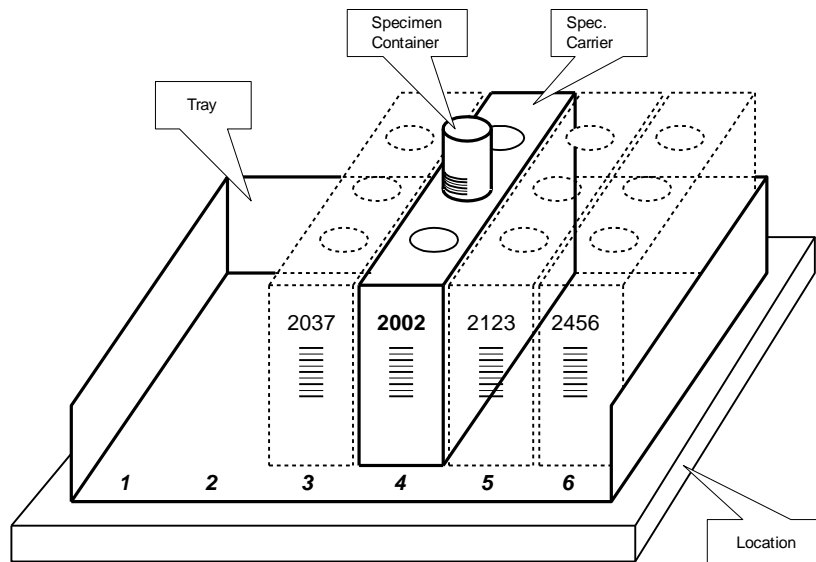


図14 検体ステータス更新の参考図

10. 検体ステータス要求(Specimen status request)メッセージの例

生化学分析装置 (装置 ID=0001) から LAS に採取管 (id=092321A) のステータスを要求する。

```
MSH|^~\&|LAS|IHE-J^AM|LD|IHE-
J^LD|20150630080040||SSR^U04^SSR_U04|20150630080040|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-
1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
SAC|||092321A^LAS|||20150620080023<cr>
SPM|1|092321A||001^血清^99M01|||||20150630000000|20150630075040|||||001^容器
001^99C01<cr>
```

検査情報システム(LAS)から検体検査自動化システム(検体搬送) (装置 ID=0001)へ採取管

(id=092321A) のステータスを要求する。

```
MSH|^~\&|LAS|IHE-J^AM|LD|IHE-
  J^LD|20150630080040||SSR^U04^SSR_U04|20150630080040|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-
  1994<cr>
EQU|0001^AQS|20150630080038|OP<cr>
SAC|||092321A^LAS|||20150620080023<cr>
SPM|1|092321A||001^血清^99M01|||||20150630000000|20150630075040|||||001^容器
  001^99C01<cr>
```

前処理装置 0001 が仕分け分注操作を行った。(図 14 検体ステータス更新の参考図 参照) output buffer1 にあった、2 番目の位置に親採取管(id=12345)があるキャリア(id=2002)は、output tray(id=A1203)の 4 番目のポジションに移動した。分注採取管(id=12345A)は可搬キャリア(id=045)の 3 行 2 列目に仕分けされた。このキャリアは仕分け架台の 4 番目である。

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-
  J^AM|20150630080040||SSU^U03^SSU_U03|20150630080040|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-
  1994<cr>
EQU|0001^AQS|20150630080043|OP<cr>
SAC|||092321^LAS|||20150620080039|R^COMPLETED|R03|2002|2|OT^OUTPUT_TRAY|A1203^AQSTRAY|4|
  OB1^OUTPUT_BUFFER_1<cr>
SPM|1|092321||023^血清^JC10|||||20150630000000|20150630075040|||||001^容器
  001^99C01<cr>
SAC|||092321A^LAS|092321^LAS|||20150620080039|R^COMPLETED|R14|045|3^2|||4|||||2|0.5||mL
  <cr>
SPM|1|092321A||023^血清^JC10|||||20150630000000|20150630075040|||||101^分注容器
  101^99C01<cr>
```

<あるいは自動分析の例>

検査情報システム(LAS)から検体検査自動化システム(検体搬送)(装置 ID=0001)へ採取管(id=092321A)のステータスを要求する。

```
MSH|^~\&|LAS|IHE-J^AM|LD|IHE-
  J^LD|20150630080040||SSR^U04^SSR_U04|20150630080040|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-
  1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
SAC|||092321A^LAS|||20150620080023<cr>
SPM|1|092321A||001^血清^99M01|||||20150630000000|20150630075040|||||001^容器
  001^99C01<cr>
```

生化学分析装置(装置 ID=0001)が血液を載せた分注採取管(id=092321A)を「認識」している事を LAS へ送信。この採取管は 5 本キャリア(id=120)の 1 番目にあり、(このキャリアは) input buffer 1 にある。

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-
  J^AM|20150630080040||SSU^U03^SSU_U03|20150630080040|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-
  1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
SAC|||092321A^LAS|||20150620080037|I|R05|120|1|||IB1^INPUT_BUFFER_1<cr>
SPM|1|092321A||023^血清^JC10|||||20150630000000|20150630075040|||||001^容器
  001^99C01<cr>
```

11. 自動化装置在庫更新メッセージの例

生化学分析装置(装置 ID=0001)から LAS へ試薬ボトル(id=12345)に入っている TSH 試薬(id=01239)の状態を送信する。

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-
  J^AM|20150630080040||INU^U05^INU_U05|20150630080040|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-
  1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
INV|MF01239^REAGENT1|OK^OK_STATUS|SR^SINGLE_TEST_REAGENT|12345^BOTTLE_NUM|||190||ML|200
  0101|||TSH|A12345678|PROD1||60^D<cr>
```

12. 自動化装置在庫要求メッセージの例

LAS から生化学分析装置（装置 ID=0001）へ物資(id=MF01239)のすべての容器の状態を問い合わせる。

```
MSH|^~\&|LAS|IHE-J^AM|LD|IHE-
  J^LD|20150630080040||INR^U06^INR_U06|20150630080040|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-
  1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
INV|MF01239^REAGENT1|OK^OK_STATUS<cr>
```

13. 自動化装置コマンド(Automated equipment command)メッセージの例

LAS から生化学分析装置（装置 ID=0001）へ通知クリアコマンドを送信する。

```
MSH|^~\&|LAS|IHE-J^AM|LD|IHE-
  J^LD|20150630080040||EAC^U07^EAC_U07|20150630080040|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-
  1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
ECD|89421|CN^CLEAR_NOTIFICATION|Y<cr>
CNS|1209|1500|201506010800|201506300800<cr>
```

14. 自動化装置応答(Automated equipment response)メッセージの例

生化学分析装置（装置 ID=0001）から LAS へ初期化コマンドの実行完了を送信する。

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-
  J^AM|20150630080040||EAR^U08^EAR_U08|20150630080040|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-
  1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
ECD|89421|IN^INIT|Y<cr>
ECR|OK^COMMAND_COMPLETE|20150630080035<cr>
```

15. 自動化装置通知(Automated equipment notification)メッセージの例

生化学分析装置（装置 ID=0001）が検知ユニットのドリフトについての通知(警告)を送信する。

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-
  J^AM|20150630080040||EAN^U09^EAN_U09|20150630080040|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-
  1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
NDS|8923|201506300800|W^WARNING|DU001^DETECTION UNIT DRIFT<cr>
```

16. 自動化装置検査コード設定更新メッセージの例

LAS より生化学分析装置（装置 ID=0001）に対し、グルコース検査の設定を以下のように更新する。

APID : GLU-HK、検査材料 : 血清、自動希釈率のデフォルト : 10、再検希釈率のデフォルト : 10、予備希釈無し、残量警告レベル : 500、自動再検許可、多重測定許可、自動追加(reflex)禁止、ダイナミックレンジ : 2-400 mg/dL、通常処理

```
MSH|^~\&|LAS|IHE-J^AM|LD|IHE-
  J^LD|20150630080040||TCU^U10^TCU_U10|20150630080040|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-
  1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
SPM|||SER^SERUM^L<cr>
TCC|15074-8^GLUCOSE^LN|GLU-HK^CHEMISTRYANALYZER|^10|^10|^0|^0|500|Y|Y|N|^2^-
  ^400|mg/dL|P<cr>
```

17. 自動化装置検査コード設定要求メッセージの例

生化学分析装置（装置 ID=0001）より LAS に対し、グルコース検査の検査コード設定を以下のように要求する。

```

APID:GLU-HK
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-
  J^AM|20150630080040||TCR^U11^TCU_U10|20150630080040|P|2.5|||~ISO IR87||ISO 2022-
  1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
TCC|15074-8^GLUCOSE^LN|GLU-HK^CHEMISTRYANALYZER<cr>

```

18. 自動化装置ログ/サービス更新メッセージの例

生化学分析装置（装置 ID=0001）が LAS へイベントログの 1 レコードを送信する。

```

MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-
  J^AM|20150630080040||LSU^U12^LSU_U12|20150630080040|P|2.5|||~ISO IR87||ISO 2022-
  1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>

```

```

EQP|LOG^LOG_EVENT||201506300755|201506300800|I976 Instrument Initialization<cr>

```

19. 自動化装置ログ/サービス要求メッセージの例

LAS が生化学分析装置（装置 ID=0001）へ、2015 年 6 月 30 日午前 7 時から同 8 時までに起こったイベントのログファイルを要求する。

```

MSH|^~\&|LAS|IHE-J^AM|LD|IHE-
  J^LD|20150630080040||LSR^U13^LSU_U12|20150630080040|P|2.5|||~ISO IR87||ISO 2022-
  1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
EQP|LOG^LOG_EVENT||201506300700|201506300800|""<cr>

```

注：EQP-5 は NULL (") を設定している。

20. ロケーションマスタファイル照会

(1) ナースステーション 2N、101 号室のロケーションマスタファイル情報を要求する

```

MSH|^~\&|BEDMGMT|HSP1|HIS|HSP1|200105311135||QBP^Znn^QBP_Q11|8699|P|2.5..<cr>
QPD|Znn^Find Location^HL70471|1022|LOC^Location Master^HL70175|HSP1|2N^101^HSP1..<cr>
RCP|I||R..<cr>

```

(2) ナースステーション 2N、101 号室のロケーションマスタファイル情報を応答する

```

MSH|^~\&|HIS|HSP1|BEDMGMT|HSP1|200105311136||RSP^Znn^RSP_Q11|1|P|2.5|..<cr>
MSA|AA|8699<cr>
QAK|1022|OK| Znn^Find Location^HL70471|1|1|0..<cr>
QPD|Znn^Find Location^HL70471|1022|LOC^Location Master^HL70175|HSP1|2N^101^HSP1..<cr>
MFE|MAD|||2N^101^HSP1|PL<cr>
LOC|2N^101^HSP1|Station 2 North, room 101|R||^PRN^PH^^^^^^^^(407)804-5000||IVP|P<cr>
LCH|2N^101^HSP1||PRL^Privacy level^HL70324|S^Semi-private room^HL70262<cr>
LCH|2N^101^HSP1||SMK^Smoking^HL70324|Y^HL70136<cr>

```

QAK セグメントで識別された単一の一致が返された。そのロケーション定義と特性は LOC と LCH セグメントで返される。

21. 一般マスタファイル更新通知（オリジナル応答モード）

(1) サイト定義「Z」セグメントを含むメッセージを応答システムへ送信する

```

MSH|^~\&|HL7REG|UH|HL7LAB|CH|200106290544||MFN^M14^MFN_ZGN|MSGID001|P|2.5..<cr>
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD|||AL<cr>
MFE|MAD|6772331|200106290500|BUD^Buddhist^HL70006|CWE<cr>
ZGN|BUD^Buddhist^HL70006|3<cr>
MFE|MAD|6772332|200106290500|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE<cr>
ZGN|BOT^Buddhist: Other^HL70006|4<cr>

```

(2) 受信したメッセージは処理可能と判断し、MFN^M14 メッセージを開始側システムへ送信する

```
MSH|^~\&|HL7LAB|CH|HL7REG|UH|200106290545||MFK^M14^MFK_M01|MSGID99001|P|2.5.0.0<br>MSA|AA|MSGID001<br>MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD||AL<br>MFA|MAD|6772331|200106290545|S|BUD^Buddhist^HL70006|CWE<br>MFA|MAD|6772332|200106290545|S|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE<br>
```

MSA-1 - Acknowledgment Code はメッセージが受信され成功裏に処理されたことを示す「AA」を含んでいることに注意。この値はメッセージが受信されたが成功裏に処理しなかったことを示す「AE」または「AR」であることもある。MSA-2 - Message Control ID は開始側メッセージへの応答と連携する開始側 MFN^M14 メッセージ(MSGID001)の MSH-10 - Message Control ID からの値を含む。

(3) 日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード材料コード表の更新例

この例では既存の材料コード表を更新する（「蓄尿」を「24時間蓄尿」と変更）。

```
MSH|^~\&|JSCPREG|JSCP|LAB|OAL|20000313143000||MFN^M14^MFN_ZGN|MSGID1|P|2.5.0.0||NE|NE.0.0<br><br>MFI|SP^材料コード^JC10||UPD||NE<br>MFE|MUP||200003150000|004^蓄尿&pooled urine^JC10|CWE<br>ZGN|004^24時間蓄尿&24h pooled urine^JC10<br>
```

22. 一般マスタファイル更新通知（拡張モードアプリケーションレベル応答）

(1) サイト定義「Z」セグメントを含まないメッセージを応答側システムへ送信する。

```
MSH|^~\&|HL7REG|UH|HL7LAB|CH|200106290544||MFN^M13^MFN_M01|MSGID004|P|2.5.0.0||AL|AL.0.0<br>MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD||AL<br>MFE|MAD|6772333|200106290500|BUD^Buddhist^HL70006|CWE<br>MFE|MAD|6772334|200106290500|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE<br>
```

ACK メッセージを開始側システムへ送信する。

受信したメッセージは処理可能と判断し、開始側メッセージの MSH-15 - Accept Acknowledgment は受信応答が必要（「AL」）と識別しているため、ACK メッセージが応答側によって組み立てられ、MFN^M13 メッセージの応答と識別して開始側システムへ送信される。

```
MSH|^~\&|HL7LAB|CH|HL7REG|UH|200106290545||ACK^M13^ACK|MSGID99004|P|2.5.0.0<br>MSA|CA|MSGID004<br>
```

MSA-1 - Acknowledgment Code はメッセージが受信されそして安全に保管することを約束した識別である「CA」を含んでいることに注意。この値はメッセージが受信されたが成功裏に処理しなかったことを示す「CE」または「CR」であることもある。MSA-2 - Message Control ID は開始側メッセージへの応答と連携する開始側 MFN^M13 メッセージ(MSGID004)の MSH-10 - Message Control ID からの値を含む。

MFK^M13 応答メッセージを開始側システムへ送信する

開始側システムはこの例ではアプリケーションレベル応答（「AL」）を要求していることを MSH-16 - Application Acknowledgment Type によって識別している。応答側は、開始側システムに上記 ACK メッセージの送信することに続きある時点で、MFN^M13 メッセージの処理を行うであろう。メッセージ処理が完了すれば、アプリケーション応答はメッセージが処理された識別で応答側から開始側システムへ送信される。応答側は MFK^M13 応答メッセージを組み立て、そしてそれを開始側システムへ送信する。

```
MSH|^~\&|HL7LAB|CH|HL7REG|UH|200106290550||MFK^M13^MFK_M01|MSGID99501|P|2.5.0.0||AL|.0.0<br>MSA|AA|MSGID004<br>MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD||AL<br>
```


ることを示す。

```
MSH|^~\&|LABxxx|ClinLAB|ICU||19910918060544||MFN^M03^MFN_M03|MSGID002|P|2.5. . .<cr>
MFI|LABxxx^Lab Test Dictionary^99F01||UPD||AL<cr>
MFE|MUP|199109051000|199110010000|12345^WBC^99I01<cr>
OM1|. . .<cr>
MFE|MUP|199109051015|199110010000|6789^RBC^99I01
OM1|. . .<cr>
```

MFI 応答レベルコード AL による HL7 メッセージのオリジナルモード応答

```
MSH|^~\&|ICU||LABxxx|ClinLAB|19910918060545||MFK^M03^MFK_M01|MSGID99002|P|2.5. . .<cr>
MSA|AA|MSGID002<cr>
MFI|LABxxx^Lab Test Dictionary^99F01||UPD||AL<cr>
MFA|MUP|199110010000|199110010040|S|12345^WBC^99I01<cr>
MFA|MUP|199110010000|199110010041|S|6789^RBC^99I01<cr>
```

25. 検査項目マスタファイル更新通知（拡張モード）

応答受諾を伴う初期メッセージ

```
MSH|^~\&|LABxxx|ClinLAB|ICU||19910918060544||MFN^M03^MFN_M03|MSGID002|P|2.5. . .|AL|AL. . .
<cr>
MFI|LABxxx^Lab Test Dictionary^99F01||UPD||AL<cr>
MFE|MUP|199109051000|199110010000|12345^WBC^99I01<cr>
OM1|. . .<cr>
MFE|MUP|199109051015|199110010000|6789^RBC^99I01<cr>
OM1|. . .<cr>

MSH|^~\&|ICU||LABxxx|ClinLAB|19910918060545||ACK^M03^ACK|MSGID99002|P|2.2. . .<cr>
MSA|CA|MSGID002<cr>
```

アプリケーション応答メッセージ

```
MSH|^~\&|ICU||LABxxx|ClinLAB|19911001080504||MFK^M03^MFK_M01|MSGID5002|P|2.5. . .|AL|. . .
<cr>
MSA|AA|MSGID002<cr>
MFI|LABxxx^Lab Test Dictionary^99F01||UPD||AL<cr>
MFA|MUP|199109051000|199110010040|S|12345^WBC^99I01<cr>
MFA|MUP|199109051015|199110010041|S|6789^RBC^99I01<cr>

MSH|^~\&|LABxxx|ClinLAB|ICU||19911001080507||ACK^M03^ACK|MSGID444|P|2.5. . .<cr>
MSA|CA|MSGID5002<cr>
```

26. 検査項目マスタファイル更新通知（遅延アプリケーション応答）

もし「オリジナルモードの例」でメッセージレベルアプリケーション応答を必要としない MFN メッセージであったなら（すなわち、MSH セグメント = NE のアプリケーション応答コード）、オリジナル MFN メッセージに結付かない遅延アプリケーションレベル応答を提供するために（マスタファイル章が定義した）MFD メッセージが使われる。

次の例はオリジナルメッセージにない MFE セグメントのための応答を含む。

受諾応答を伴う初期メッセージ

```
MSH|^~\&|LABxxx|ClinLAB|ICU||19910918060544||MFN^M03^MFN_M03|MSGID002|P|2.5. . .|AL|NE. . .
<cr>
MFI|LABxxx^Lab Test Dictionary^99F01|UPD||AL<cr>
MFE|MUP|199109051000|199110010000|12345^WBC^99I01<cr>
OM1|. . .<cr>
MFE|MUP|199109051015|199110010000|6789^RBC^99I01<cr>
OM1|. . .<cr>
```

```
MSH|^~\&|ICU||LABxxx|ClinLAB|19910918060545||ACK^M03^ACK|MSGID99002|P|2.2. . .<cr>
MSA|CA|MSGID002<cr>
```

遅延アプリケーション応答

```
MSH|^~\&|ICU||LABxxx|ClinLAB|19911001080504||MFD^M03^MFD_MFA|MSGID65002|P|2.5|||AL|. . .
<cr>
MFI|LABxxx^Lab Test Dictionary^99F01||UPD|||AL<cr>
MFA|MUP|199109051000|199110010040|S|12345^WBC^99I01<cr>
MFA|MUP|199109051015|199110010041|S|6789^RBC^99I01<cr>
MFA|MUP|199109051025|199110010041|S|4339^HGB^99I01<cr>

MSH|^~\&|LABxxx|ClinLAB|ICU||19911001080507||ACK^MFD^ACK|MSGID444|P|2.5. . .<cr>
MSA|CA|MSGID65002<cr>
```

27. 検体ラベル発行メッセージの例

1. 内科（科コード：051）の山田次郎医師（職員番号：14789）は患者、豊田太郎(患者番号：1111222)を診察し、肝機能検査（オーダ番号：1234561、セット検査コード：17432）と血球計数検査（オーダ番号：1234562、セット検査コード：18655）を HIS 端末を通して依頼する。
2. 患者は中央採血室の受付に診察カードを差し出す。
3. 採血受付担当者は HIS 端末にて当該患者の検査依頼をチェックし、検体ラベルの発行を指示する。
4. HIS がラベル情報を採血管準備システム（LBL system）に送信する。
採血管は2種（容器コード021：生化、容器コード015：血算）。

検体番号（バーコード番号）はそれぞれ 1234560001 および 1234560002。

5. 採血管準備システムはバーコードラベルを発行、所定の採血管に貼付け、払い出す。
6. 採血担当者は採血を実施する。

28. ラベル情報メッセージの例（OML^O33^OML_O33）

```
MSH|^~\&|LIP|HIS|LB|LBL
system|20070112134854||OML^O33^OML_O33|20070112134854|P|2.5|||~ISO IR87||ISO
2022-1994<cr>
PID|||1111222||Toyota^Taro^^^^L^A~豊田^太郎^^^^L^I~とよた^たろう^^^^L^P||19810101|M<cr>
PV1||O|01^^^^C|||14789^山田^次郎^^^^L^^^^I|||01<cr>
SPM|1|1234560001||023^血清^JC10|||P|6.0^mL|||20070112|||1|021^生化^99C01<cr>
ORC|NW|1234561|||200701121348|14789^山田^次郎^^^^L^^^^I||14789^山田^次郎
^^^^L^^^^I|||051^内科^99R01|||O<cr>
TQ1|||R<cr>
OBR||1234561||17432^肝機能^99I01|||14789^山田^次郎^^^^L^^^^I<cr>
SPM|2|1234560002||019^全血(添加物入り)^JC10|||P|2.0^mL|||20070112|||1|015^血算
^99C01<cr>
ORC|NW|1234561|||200701121348|14789^山田^次郎^^^^L^^^^I||山田^次郎
^^^^L^^^^I|||051^内科^99R01|||O<cr>
TQ1|||R<cr>
OBR||1234561||18655^血球計数^99I01|||14789^山田^次郎^^^^L^^^^I<cr>
```

29. 検体ラベル情報照会メッセージの例

1. 内科（科コード：051）の山田次郎医師（職員番号：14789）は患者、豊田太郎(患者 ID：1111222)を診察し、肝機能検査（オーダ番号：1234561、セット検査コード：17432）と血球計数検査（オーダ番号：1234562、セット検査コード：18655）を HIS 端末を通して依頼する。
2. 患者は中央採血室に移動し、採血受付機に診察カードを通し採血の受付を行う。
3. 採血管準備システム（LBL system）は HIS に検体ラベル情報照会メッセージを送信する。
4. HIS がラベル情報を採血管準備システムに返信する。

採血管は2種（容器コード021：生化、容器コード015：血算）。

検体番号（バーコード番号）はそれぞれ1234560001および1234560002。

5. 採血管準備システムはバーコードラベルを発行、所定の採血管に貼付け、払い出す。
6. 採血担当者は採血を実施する。

ラベル情報照会メッセージの例 (QBP^SLI^QBP_Q11)

```
MSH|^~¥&|LIP|HIS|LB|LBL
system|20070112142312||QBP^SLI^QBP_Q11|20070112142312|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO
2022-1994<cr>
QPD|SLI^Specimen Labeling Instructions^IHE_LABTF|20070112142312|1111222<cr>
RCP|I||R<cr>
```

(1) ラベル情報応答メッセージの例 (RSP^SLI^RSP_K11)

```
MSH|^~¥&|LIP|HIS|LB|LBL
system|20070112142315||RSP^SLI^RSP_K11|20070112142315|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO
2022-1994<cr>
MSA|AA|20070112142312<cr>
QAK|20070112142312|OK<cr>
QPD|SLI^Specimen Labeling Instructions^IHE_LABTF|20070112142312|1111222<cr>
PID|||1111222||Toyota^Taro^^^^L^A~豊田^太郎^^^^L^I~とよた^たろう^^^^L^P||19810101|M<cr>
PV1||O|||||14789^山田^次郎^^^^L^^^^I|||051<cr>
SPM|1|1234560001||023^血清^JC10|||||P|6.0^mL|||||20070112|||||1|021^生化^99C01<cr>
ORC|NW|1234561|||||200701121348|14789^山田^次郎^^^^L^^^^I||14789^山田^次郎
^^^^L^^^^I||||051^内科^99R01|||||O<cr>
TQ1|||||R<cr>
OBR|1|1234561||17432^肝機能^99I01|||||14789^山田^次郎^^^^L^^^^I<cr>
SPM|2|1234560002||019^全血 (添加物入り)^JC10|||||P|2.0^mL|||||20070112|||||1|015^血算
^99C01<cr>
ORC|NW|1234562|||||200701121348|14789^山田^次郎^^^^L^^^^I||14789^山田^次郎
^^^^L^^^^I||||051^内科^99R01|||||O<cr>
TQ1|||||R<cr>
OBR|1|1234562||18655^血球計数^99I01|||||14789^山田^次郎^^^^L^^^^I<cr>
```


付録—2. 作成者名簿

作成者（社名五十音順）

津田 裕史	アイテック阪急阪神（株）
打保 昭典	アイテック阪急阪神（株）
千葉 信行	（株）エイアンドティー
深川 一成	（株）エイアンドティー
近藤 恵美	シスメックス CNA（株）
花田 修	シスメックス CNA（株）
山本 樹峰	日本光電工業（株）
川田 剛	（株）日立ハイテク
福重 二三男	（株）日立ハイテク
高橋 賢一	（株）日立ハイテク
鈴木 一雄	富士通 Japan（株）
磯部 典隆	富士通 Japan（株）
水本 康裕	富士通 Japan（株）
藤咲 喜丈	特別委員

改定履歴		
日付	バージョン	内容
2008年3月	Ver.3.0	オフライン版 Ver.2.0 とオンライン版 Ver.2.0 を統合し、「臨床検査データ交換規約 Ver.3.0」として全面改訂
2011年12月1日	Ver.3.1	3ヶ年後の見直しの時期ならびに日本 HL7 協会の適合性認定での指摘事項踏まえ、説明不足箇所の見直しなど実施
2016年	Ver.4.0C	(1) JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 との整合 (2) 検査項目表記の表現の見直し、補足修正 (3) 全体にわたる表現・記述の見直し、誤訳の修正 (4) HL7、IHE Technical Framework の整合性の確認
2024年	Ver.5.0C	(1) JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 との整合 (2) 章立ての変更、全体にわたる表現・記述の見直し、誤訳の修正 (3) HL7、IHE Technical Framework の整合性の確認、LAW プロファイルの記載

(JAHIS標準 24-***)

2024年 *月発行

JAHIS臨床検査データ交換規約 Ver. 5.0C

発行元 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業
会

〒105-0004 東京都港区新橋2丁目5番5号
(新橋2丁目MTビル5階)

電話 03-3506-8010 FAX 03-3506-8070

(無断複写・転載を禁ず)